

**令和元年度
渋川市市民意識調査結果報告書
2019**

令和元年 8 月

目 次

I	調査概要	1
1	調査目的.....	1
2	調査方法.....	1
3	調査票の配布・回収状況.....	1
4	グラフ中の表記.....	1
II	調査結果	3
1	回答者の属性について	3
(1)	性別	3
(2)	年代	3
(3)	職業	3
(4)	家族構成	4
(5)	居住地区	4
(6)	居住年数	4
2	市政との関わりについて.....	5
問 1	合併後のまちづくり	5
問 2	合併後の市民サービス	8
問 3	今後の定住意向.....	11
3	市の現状の評価について.....	13
問 4	市の取組の満足度・重要度	13
(1)	安全・安心、暮らし分野	15
(2)	健康、福祉、スポーツ分野	18
(3)	産業分野	22
(4)	都市基盤、自然環境分野	24
(5)	教育、文化分野.....	28
(6)	自治、協働分野.....	30
(9)	4 8 項目の満足度と重要度の関係	34
4	ネーミングライツ（命名権）について	36
問 5	ネーミングライツの認知度	36
問 6	ネーミングライツの導入について	38
問 7	「導入すべき」と思った理由	41
問 8	「導入すべきではない」と思った理由	42

5 市民会館について	43
問 9 行ってみたいと思う市民会館事業	43
問 10 市民会館の文化教養事業企画への意見	45
6 マイナンバーカードについて	46
問 11 マイナンバーカードの所有状況	46
問 12 持っていない理由	47
問 13 利用してみたいサービス	48
7 成年後見制度について	49
問 14 成年後見制度の認知度	49
問 15 利用意向	51
問 16 判断力が低下して不安を感じた時の相談先・相手	53
8 がん検診について	55
問 17・18 がん検診の受診状況	55
問 19 検診を受けなかった理由	68
9 読書について	70
問 20 紙の本の読書冊数	70
問 21 電子書籍の読書冊数	72
問 22 図書館の利用頻度	74
10 市政について	75
問 23 住みやすいまちづくりのために力を入れたいこと	75
資料	78
1. 48項目の居住地区別満足度・重要度（加重平均値）	78
2. 48項目の年代別満足度・重要度（加重平均値）	94
3. 48項目の項目別・年代別満足度・重要度（加重平均値）	101
4. 分野別満足度・重要度の経年変化（加重平均値）	149
5. 市民意識調査及び中学生・高校生意識調査の回答統合による3区分比較	155
6. 調査票	181

I 調査概要

1 調査目的

この調査は、市民の本市の行政に対する評価や意向等を統計的に把握し、まちづくりの指針となる総合計画の進行管理や市政運営の基礎資料とするため実施しました。

2 調査方法

- ① 調査地域 渋川市内
- ② 調査対象 市内に居住する 18 歳以上の市民 4,000 人を無作為抽出
- ③ 調査方法 アンケート用紙による自記式アンケート
- ④ 調査時期 令和元（2019）年 5 月 21 日～6 月 4 日
- ⑤ 配布回収方法 郵送による直接配布、直接回収

3 調査票の配布・回収状況

- ① 配布数 4,000 通
- ② 回収数 1,288 通
- ③ 回収率 32.2%

4 グラフ中の表記

- ① 各設問に対する回答者数を n で表記しています。
- ② 数値は小数第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100.0%にならない場合があります。
- ③ 合併後のまちづくり（問 1）、ネーミングライツの導入について（問 6）では、以下の算出方法で加重平均値を求めて点数化しています。点数は 2 点から -2 点の間に分布し、中間点の 0.0 点を境として、2 点に近いほど合併後のまちづくりが「進んだ」（問 1）、ネーミングライツを「導入すべきである」（問 6）、-2 点に近いほど「進んでいない」（問 1）、「導入すべきでない」（問 6）であることを示します。

	問 1 選択肢	問 6 選択肢	加重値
ア	進んだ	導入すべきである	2
イ	どちらかと言えば進んだ	どちらかというと導入すべきである	1
ウ	どちらとも言えない	どちらでもいい（分からない）	0
エ	どちらかと言えば進んでいない	どちらかというと導入すべきではない	-1
オ	進んでいない	導入すべきではない	-2

$$\text{加重平均値} = \frac{\text{ア} \times 2 + \text{イ} \times 1 + \text{ウ} \times 0 + \text{エ} \times (-1) + \text{オ} \times (-2)}{\text{無回答を除く回答者数}}$$

- ④ 市の取組の満足度・重要度（問 4）の評価については、以下の算出方法で加重平均値を求めて評価点としています。評価点は 2 点から -2 点の間に分布し、中間点の 0.0 点を境として、2 点に近いほど評価が高く、-2 点に近いほど評価が低いことを示します。

	満足度選択肢	重要度選択肢	加重値
ア	満足	重要	2
イ	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば重要	1
ウ	どちらとも言えない	どちらとも言えない	0
エ	どちらかと言えば不満	どちらかと言えば重要ではない	-1
オ	不満	重要ではない	-2

$$\text{加重平均値} = \frac{\text{ア} \times 2 + \text{イ} \times 1 + \text{ウ} \times 0 + \text{エ} \times (-1) + \text{オ} \times (-2)}{\text{無回答を除く回答者数}}$$

- ⑤ 本文中の「H30 年度」「H29 年度」「H28 年度」はそれぞれ以下を示し、グラフ中では「平成 30 年度」「平成 29 年度」「平成 28 年度」と示します。

これら昨年度までの結果について、今回（令和元年度）と「H30 年度」「H29 年度」の 3 か年での比較を基本とし、「H28 年度」の結果については経年傾向を把握する上で参考として用いることとします。

なお、これらの調査結果との比較において、選択肢の文章表現等が若干異なる場合、本調査の内容に準じたものとみなして、本調査票の表現で表記しています。

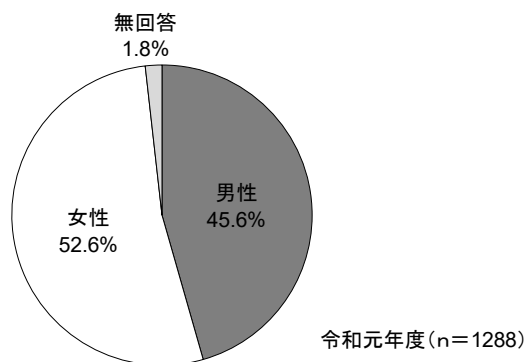
H30 年度	市民意識調査 平成 30（2018）年 5～6 月実施 配布 4,000 通・回収 1,255 通（回収率 31.4%） 調査対象は本調査と同様（市内在住の 18 歳以上の市民）
H29 年度	市民意識調査 平成 29（2017）年 5～6 月実施 配布 4,000 通・回収 1,438 通（回収率 36.0%） 調査対象は本調査と同様（市内在住の 18 歳以上の市民）
H28 年度	市民意識調査 平成 28（2016）年 6～7 月実施 配布 4,000 通・回収 1,378 通（回収率 34.5%） 調査対象は本調査と同様（市内在住の 18 歳以上の市民）

Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性について

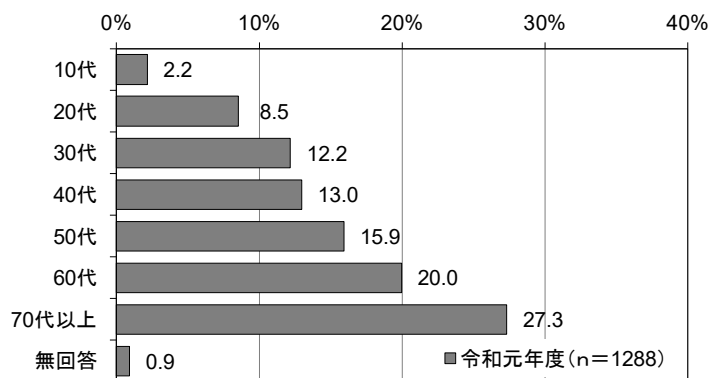
(1) 性別

男性（45.6%）が4割以上、女性（52.6%）が5割以上となっています。



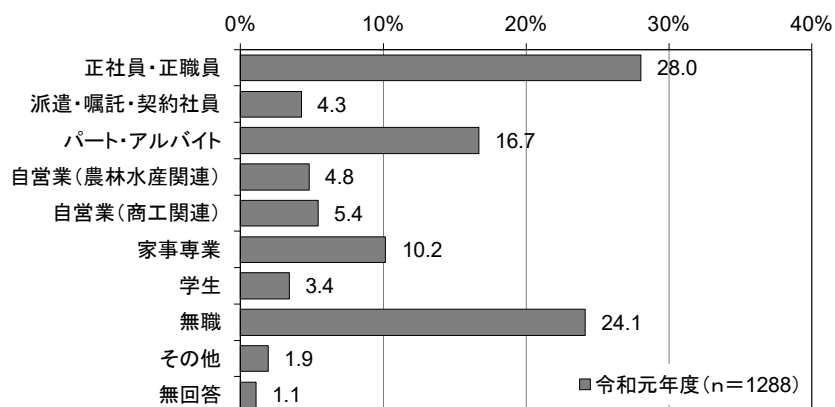
(2) 年代

70代以上（27.3%）が約3割で最も高く、次いで60代（20.0%）、50代（15.9%）となっています。



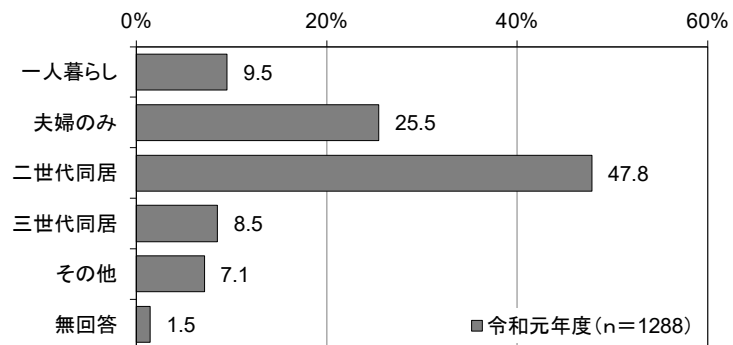
(3) 職業

正社員・正職員（28.0%）が約3割で最も高く、次いで無職（24.1%）が2割以上、パート・アルバイト（16.7%）、家事専業（10.2%）となっています。



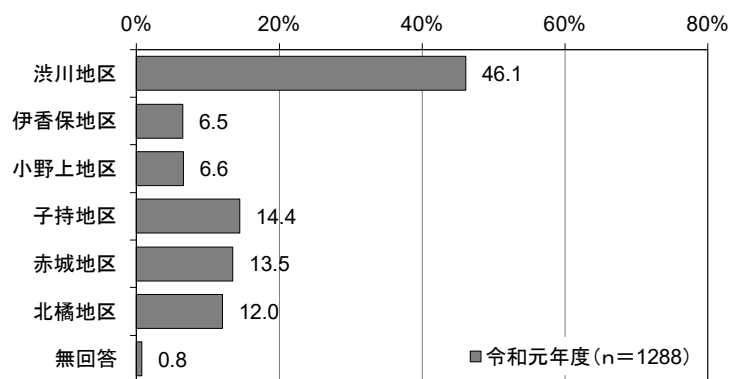
(4) 家族構成

二世世代同居（47.8%）が約5割で最も高く、次いで夫婦のみ（25.5%）、一人暮らし（9.5%）となっています。



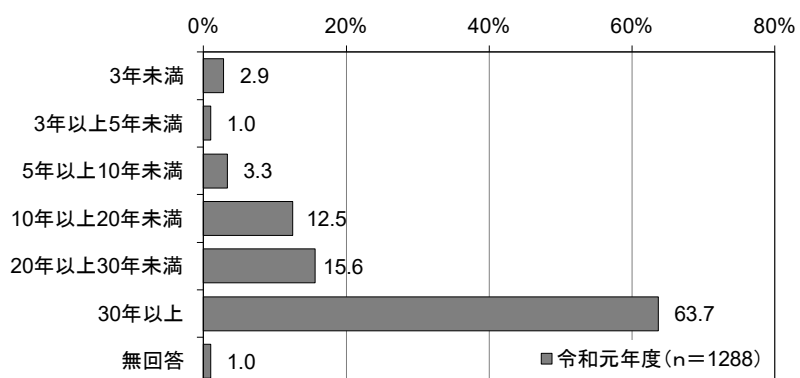
(5) 居住地区

渋川地区（46.1%）が4割以上で最も高く、次いで子持地区（14.4%）、赤城地区（13.5%）、北橘地区（12.0%）となっています。



(6) 居住年数

30年以上（63.7%）が6割以上で最も高く、次いで20年以上30年未満（15.6%）、10年以上20年未満（12.5%）となっています。



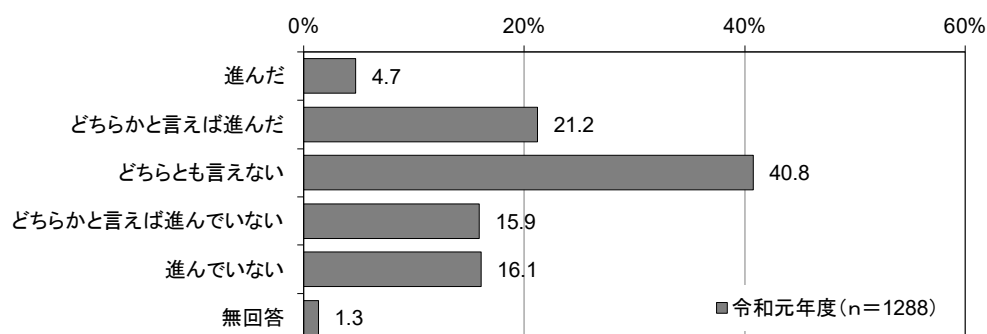
2 市政との関わりについて

問1 合併後のまちづくり

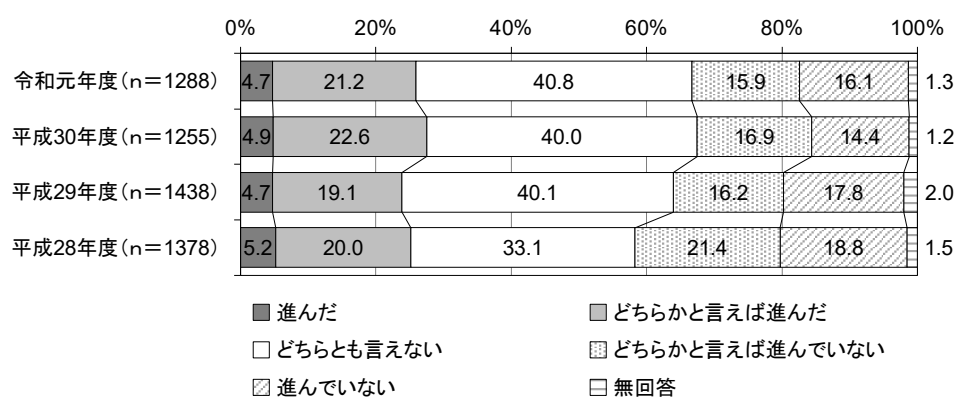
あなたは、合併後のまちづくりについて、どのように感じていますか。まちが整備され、生活が便利になったと感じるかどうかで判断してください。（1つ選択）

「どちらとも言えない」（40.8%）が4割以上で最も高くなっています。

「進んだ」（4.7%）と「どちらかと言えば進んだ」（21.2%）の合計値『進んだ』（25.9%）は2割以上、「どちらかと言えば進んでいない」（15.9%）と「進んでいない」（16.1%）の合計値『進んでいない』（32.0%）は3割以上となっています。



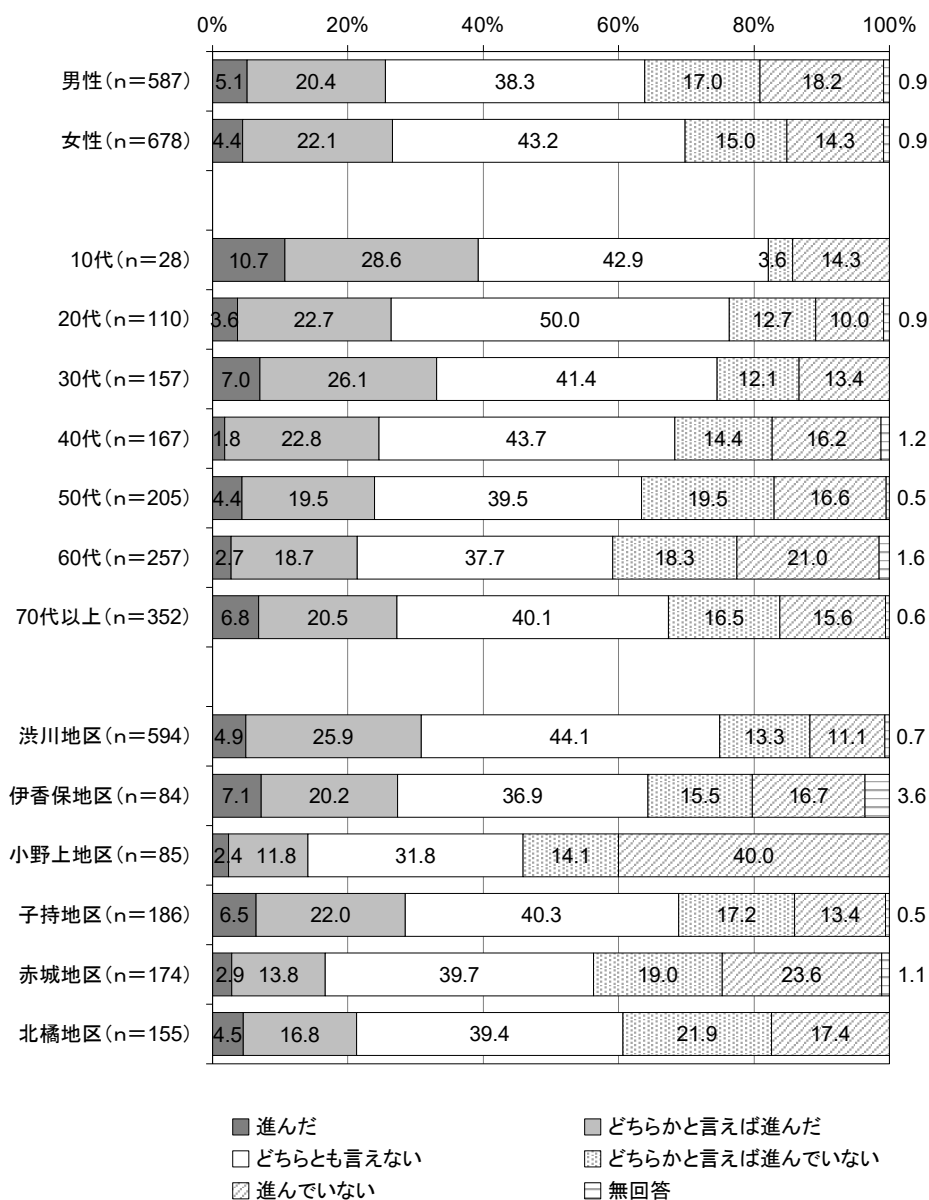
前回までの調査結果と比較すると、合計値『進んだ』（今回 25.9%、H30 年度 27.5%、H29 年度 23.8%、H28 年度 25.2%）は H30 年度より若干低くなっていますが、4 か年で大きな変化は見られません。合計値『進んでいない』（今回 32.0%、H30 年度 31.3%、H29 年度 34.0%、H28 年度 40.2%）は H28 年度から H30 年度にかけて低くなっていますが、今回と H30 年度では同程度となっています。



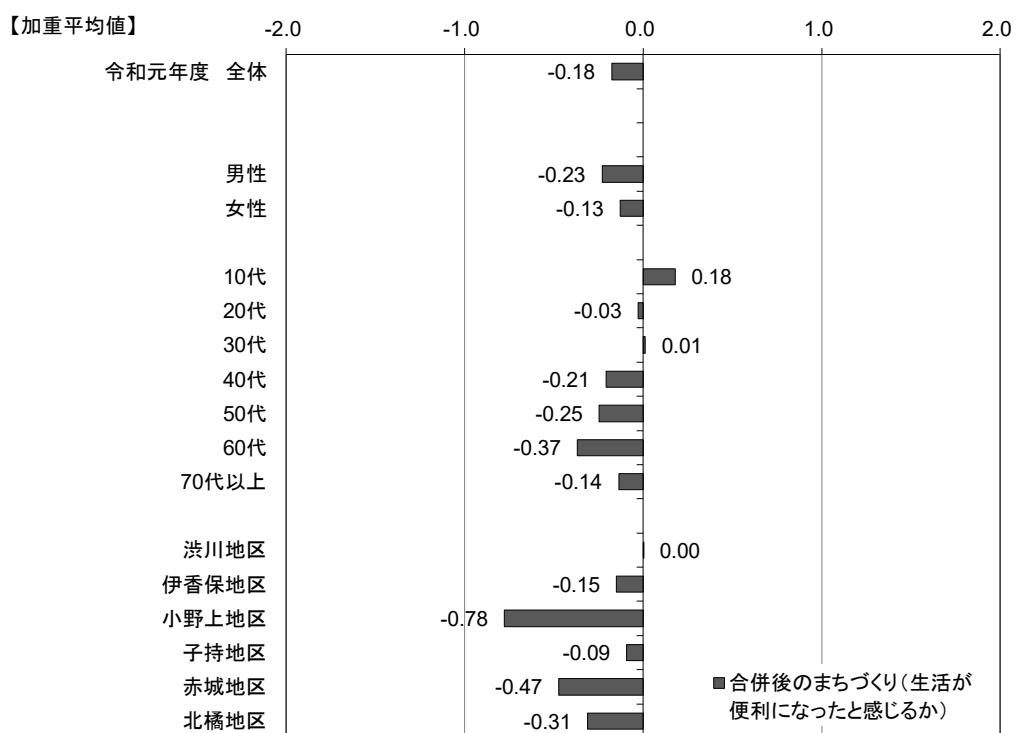
属性別に見ると、「進んだ」と「どちらかと言えば進んだ」の合計値『進んだ』は、性別では大きな差は見られません。

年代別では10代（39.3%）が約4割で最も高く、次いで30代（33.1%）が3割以上で比較的高く、それ以外はいずれの年代も2割台となっています。

地区別では渋川地区（30.8%）が3割以上で最も高く、次いで子持地区（28.5%）、伊香保地区（27.3%）が約3割で比較的高い一方、小野上地区（14.2%）、赤城地区（16.7%）は2割未満となっています。



加重平均値を見ると、全体（－0.18 ポイント）ではマイナス値となっており、10 代（0.18 ポイント）、30 代（0.01 ポイント）、渋川地区（0.00 ポイント）を除き、いずれの属性もマイナス値となっています。また、年代別では 60 代以下で高い年代ほどマイナス値が概ね大きく、60 代は－0.37 ポイントとなっています。地区別では小野上地区（－0.78 ポイント）のマイナス値が特に大きく、次いで赤城地区（－0.47 ポイント）、北橘地区（－0.31 ポイント）のマイナス値が大きくなっています。

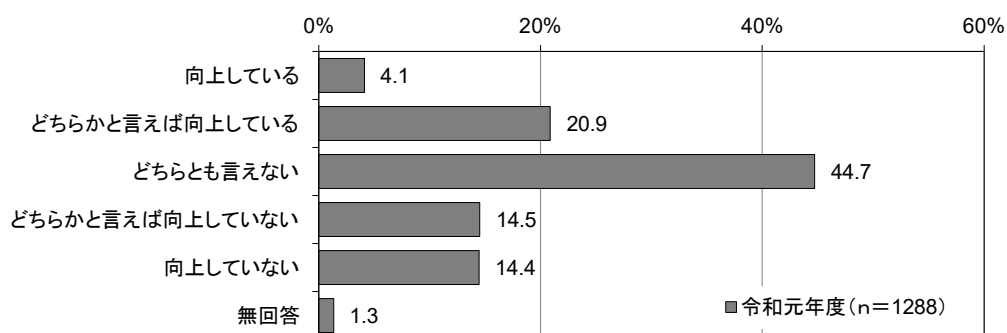


問2 合併後の市民サービス

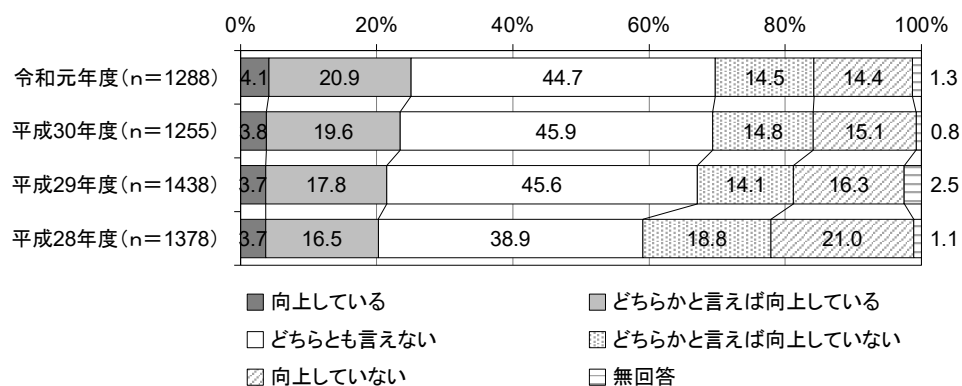
あなたは、合併後のさまざまな分野での市民サービスについてどのように感じていますか。(1つ選択)

「どちらとも言えない」(44.7%)が4割以上で最も高くなっています。

「向上している」(4.1%)と「どちらかと言えば向上している」(20.9%)の合計値『向上している』(25.0%)は2割以上、「どちらかと言えば向上していない」(14.5%)と「向上していない」(14.4%)の合計値『向上していない』(28.9%)は約3割となっています。



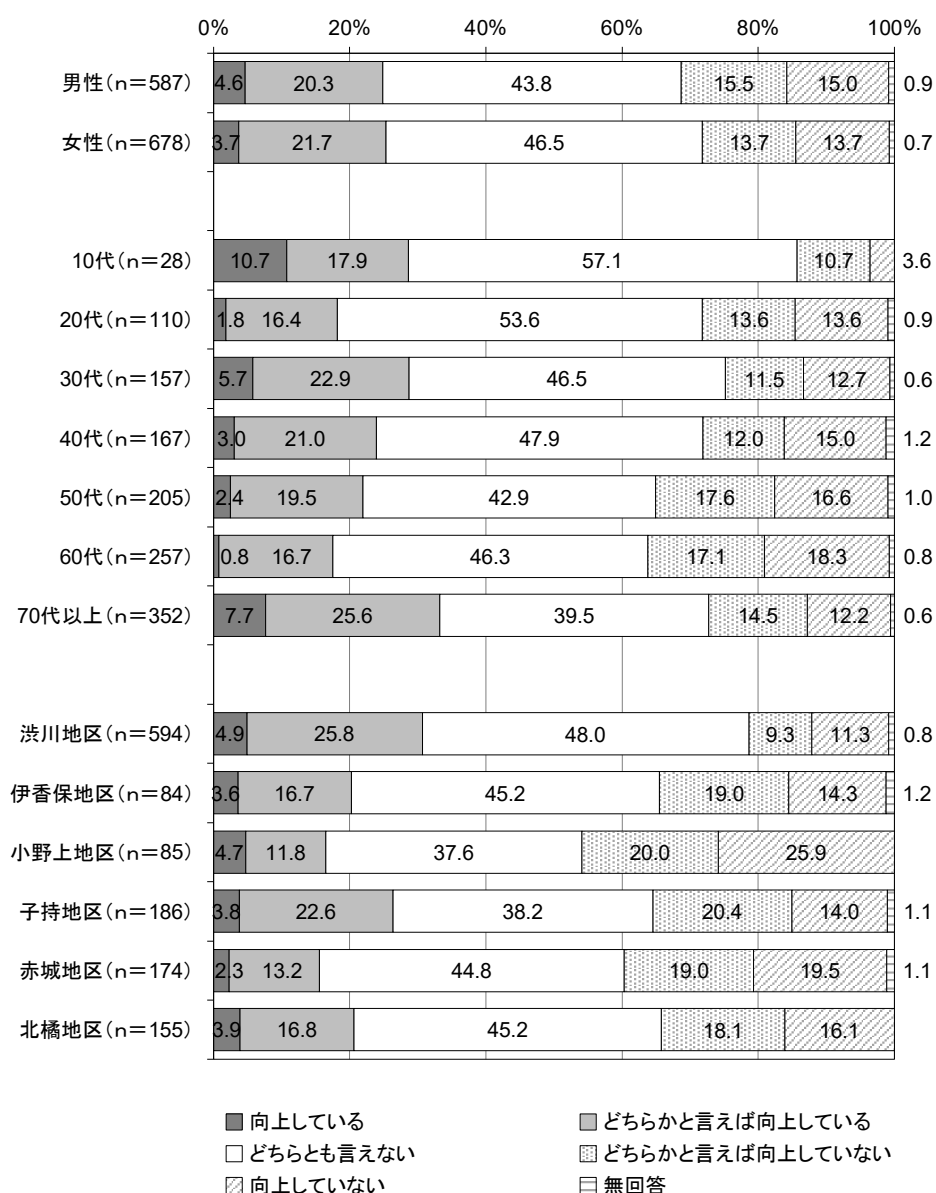
前回までの調査結果と比較すると、合計値『向上している』(今回 25.0%、H30 年度 23.4%、H29 年度 21.5%、H28 年度 20.2%)は高くなる傾向がうかがえます。一方、合計値『向上していない』(今回 28.9%、H30 年度 29.9%、H29 年度 30.4%、H28 年度 39.8%)は平成 29 年度以降、大きな変化は見られません。



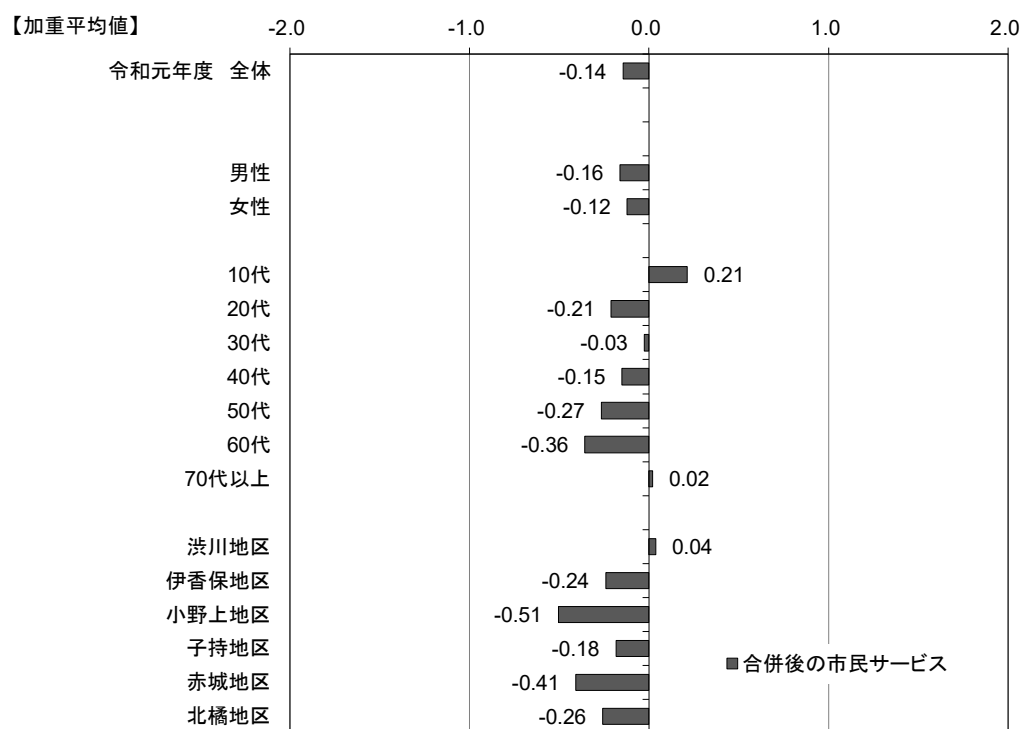
属性別に見ると、「向上している」と「どちらかと言えば向上している」の合計値『向上している』は、性別では大きな差は見られません。

年代別では 70 代以上（33.3%）が 3 割以上で最も高く、次いで 10 代、30 代（28.6%で同値）が約 3 割となっています。一方、20 代（18.2%）、60 代（17.5%）は 2 割未満で低くなっており、30 代から 60 代では高い年代ほど低くなっています。

地区別では渋川地区（30.7%）が 3 割以上で最も高く、次いで子持地区（26.4%）が 2 割以上となっています。一方、小野上地区（16.5%）、赤城地区（15.5%）は 2 割未満となっています。



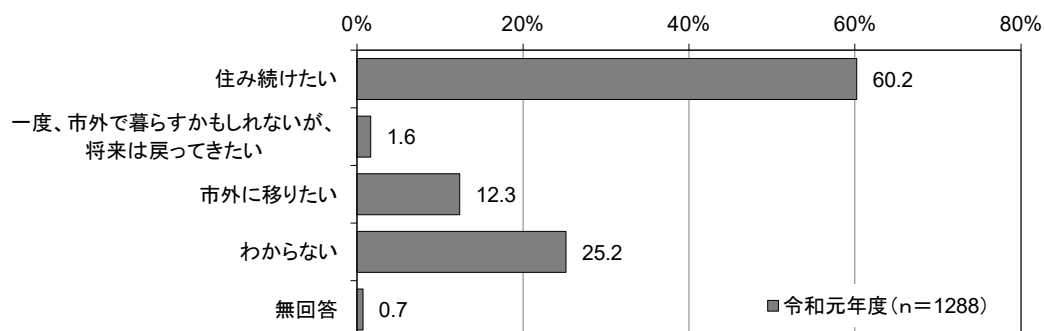
加重平均値を見ると、全体（－0.14 ポイント）ではマイナス値となっており、10 代（0.21 ポイント）、70 代以上（0.02 ポイント）、渋川地区（0.04 ポイント）を除き、いずれの属性もマイナス値となっています。また、年代別では 60 代（－0.36 ポイント）のマイナス値が最も大きくなっています。地区別では小野上地区（－0.51 ポイント）、赤城地区（－0.41 ポイント）のマイナス値が大きくなっています。



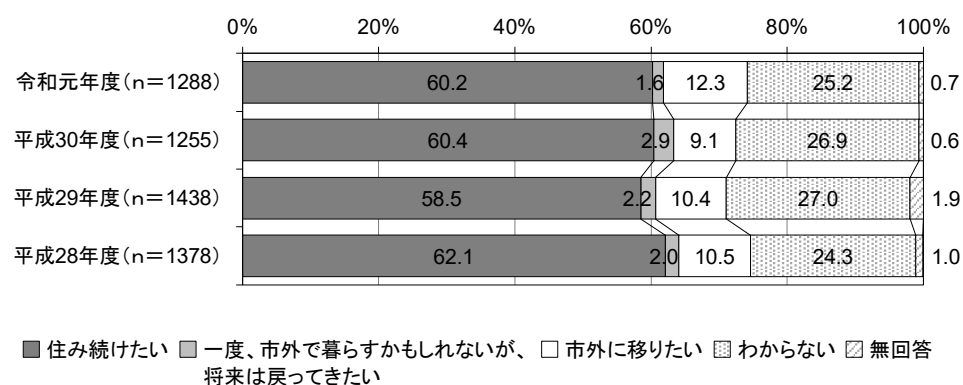
問3 今後の定住意向

あなたは、これからもずっと渋川市に住み続けたいと思いますか。（1つ選択）

「住み続けたい」（60.2%）が6割以上で最も高く、次いで「わからない」（25.2%）が2割以上、「市外に移りたい」（12.3%）が1割以上となっています。



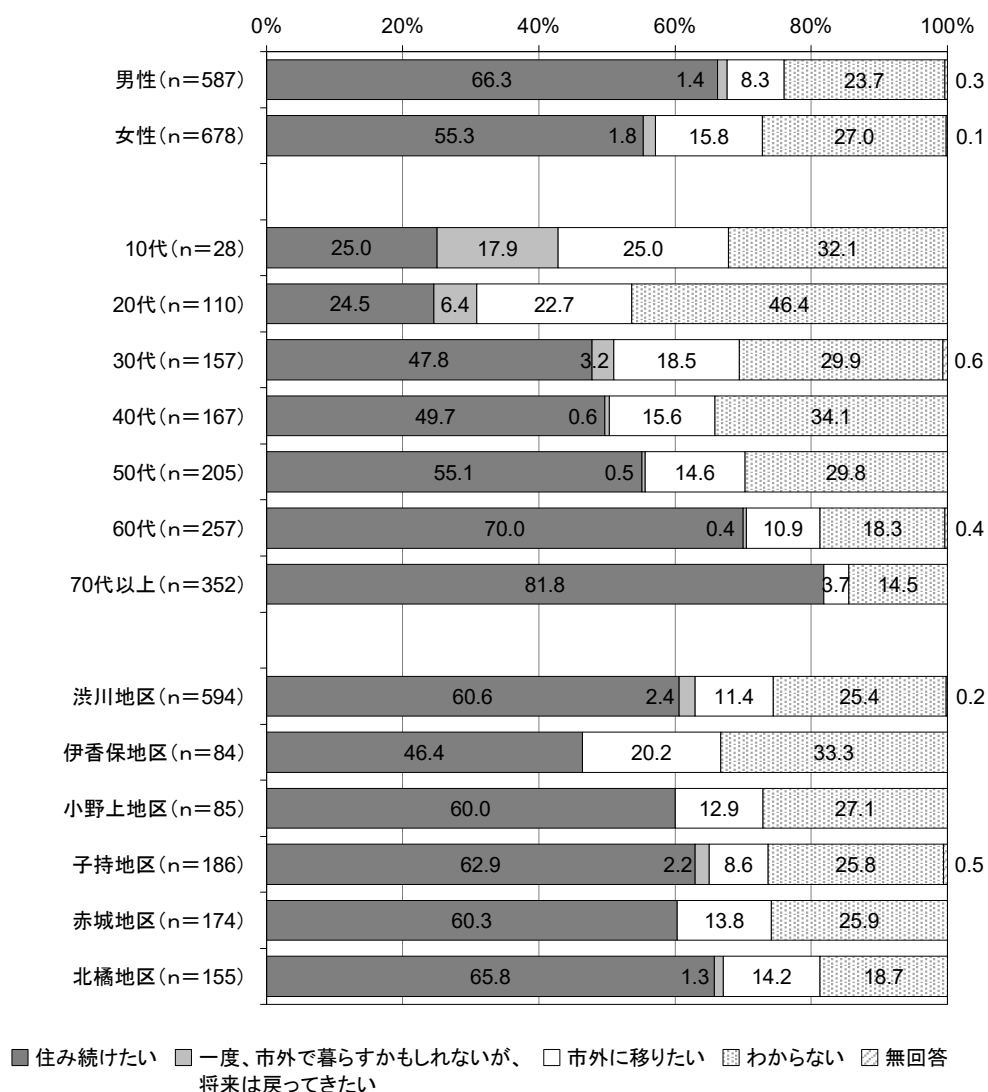
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られません。



属性別に見ると、「住み続けたい」は性別では男性（66.3%）が6割以上、女性（55.3%）が5割以上で男性が高くなっています。女性は「市外に移りたい」（15.8%）が1割以上で比較的高くなっています。

年代別では「住み続けたい」で差が大きく、概ね高い年代ほど高くなっています。特に70代以上（81.8%）は8割以上と高い一方、10代（25.0%）、20代（24.5%）は3割未満となっています。10代、20代は「市外に移りたい」（それぞれ25.0%、22.7%）が2割以上で比較的高く、10代は「一度、市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい」（17.9%）も約2割となっています。また、「市外に移りたい」は30代から60代でも1割以上となっています。

地区別では「住み続けたい」は伊香保地区（46.4%）を除き、いずれの地区も6割以上となっています。伊香保地区は「市外に移りたい」（20.2%）が2割以上で高くなっています。

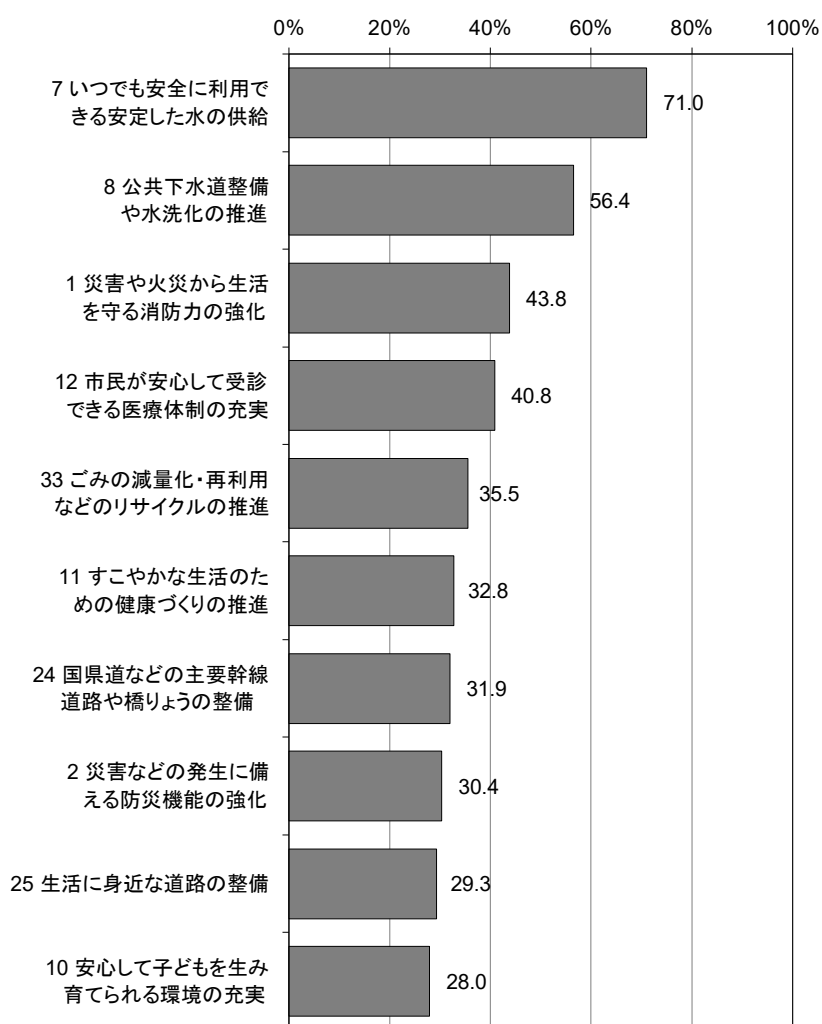


3 市の現状の評価について

問4 市の取組の満足度・重要度

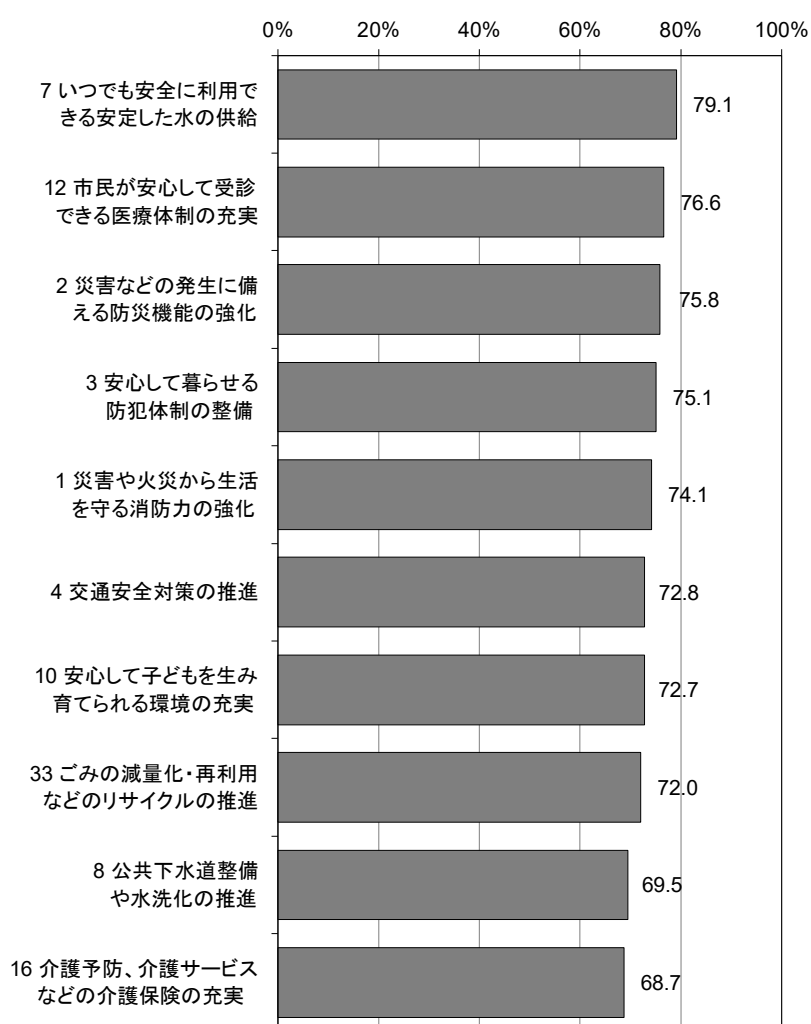
あなたは、市の取組について、どのように感じていますか。（各項目の「満足度」欄及び「重要度」欄の5段階評価の中から、1つずつ選択）

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』の上位10項目を見ると、「7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」（71.0%）が7割以上で最も高く、次いで「8 公共下水道整備や水洗化の推進」（56.4%）が5割以上、「1 災害や火災から生活を守る消防力の強化」（43.8%）、「12 市民が安心して受診できる医療体制の充実」（40.8%）の2項目が4割以上となっています。



■ 令和元年度 合計値『満足』（「満足」+「どちらかと言えば満足」）（n=1288）

「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』の上位 10 項目を見ると、「7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」(79.1%) が約 8 割で最も高く、次いで「12 市民が安心して受診できる医療体制の充実」(76.6%)、「2 災害などの発生に備える防災機能の強化」(75.8%) などとなっており、10 項目中 8 項目が 7 割以上となっています。

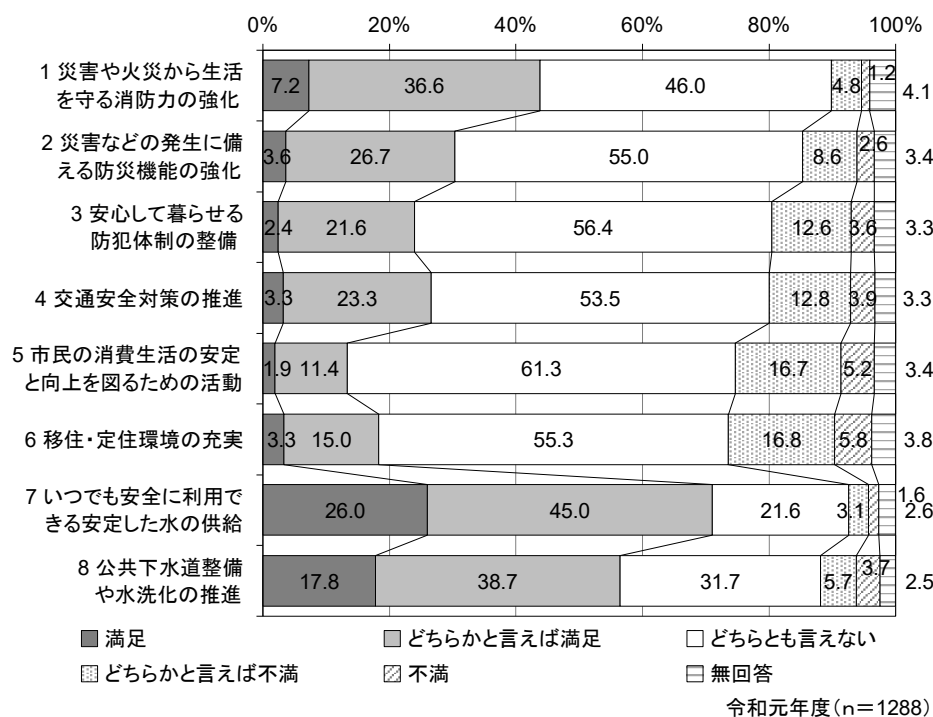


■令和元年度 合計値『重要』(「重要」+「どちらかと言えば重要」)(n=1288)

(1) 安全・安心、暮らし分野

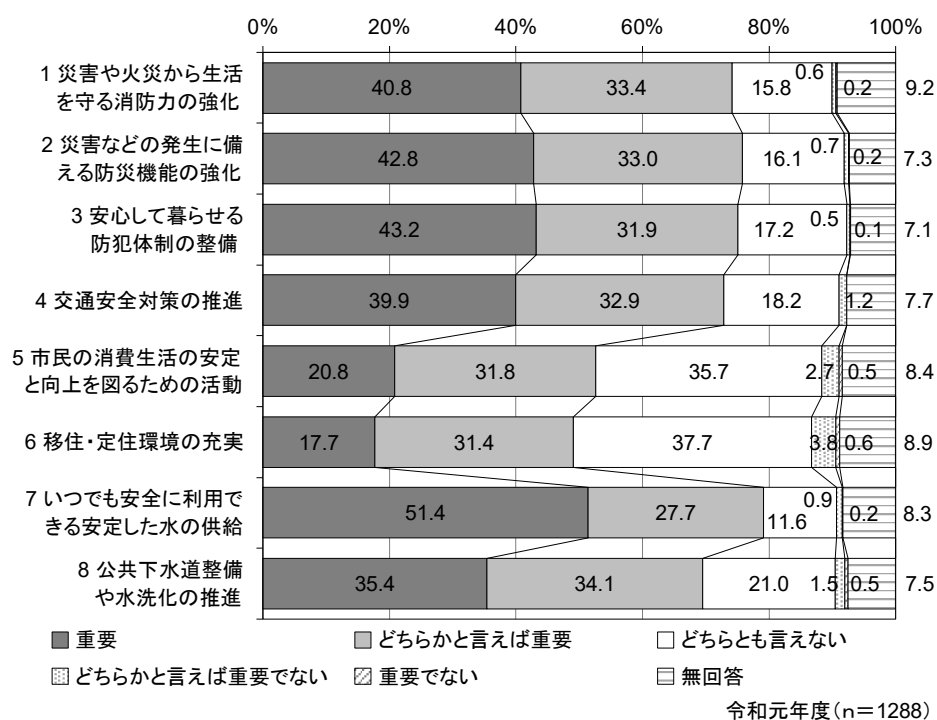
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」(71.0%) が7割以上で最も高くなっています。



【重要度】

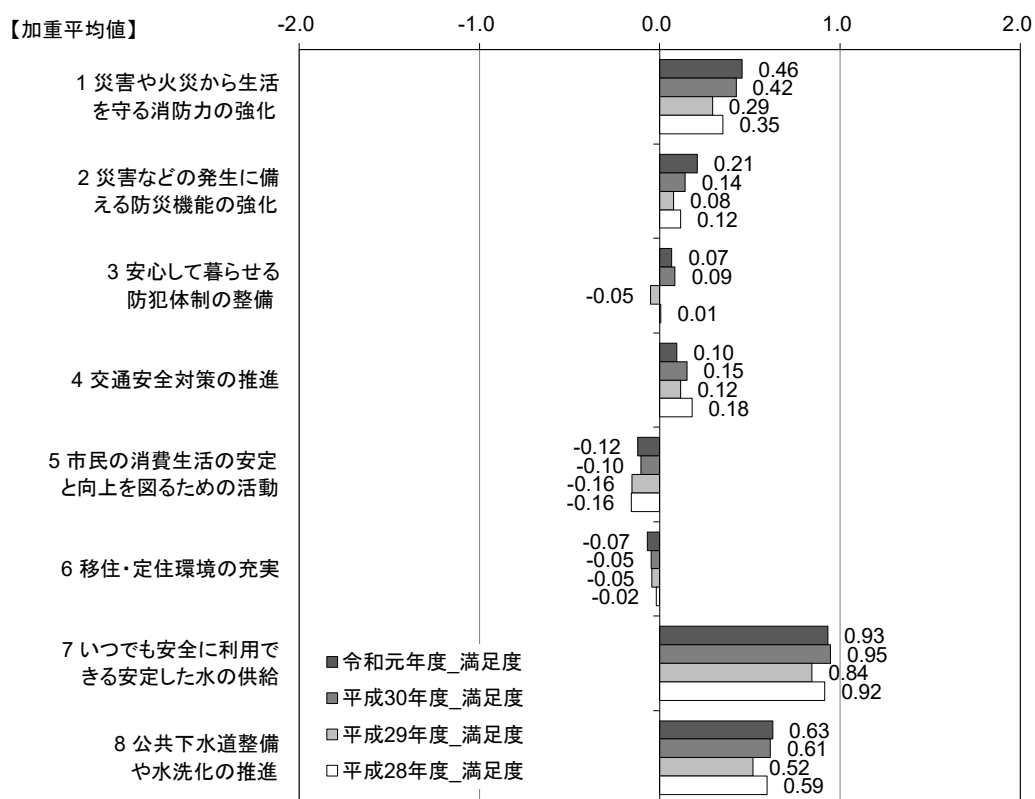
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」(79.1%) が約8割で最も高くなっています。



【満足度 経年変化】

加重平均値を見ると、「7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」(0.93 ポイント)が最も高くなっています。一方、「5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動」(-0.12 ポイント)、「6 移住・定住環境の充実」(-0.07 ポイント)の2項目はマイナス値となっています。

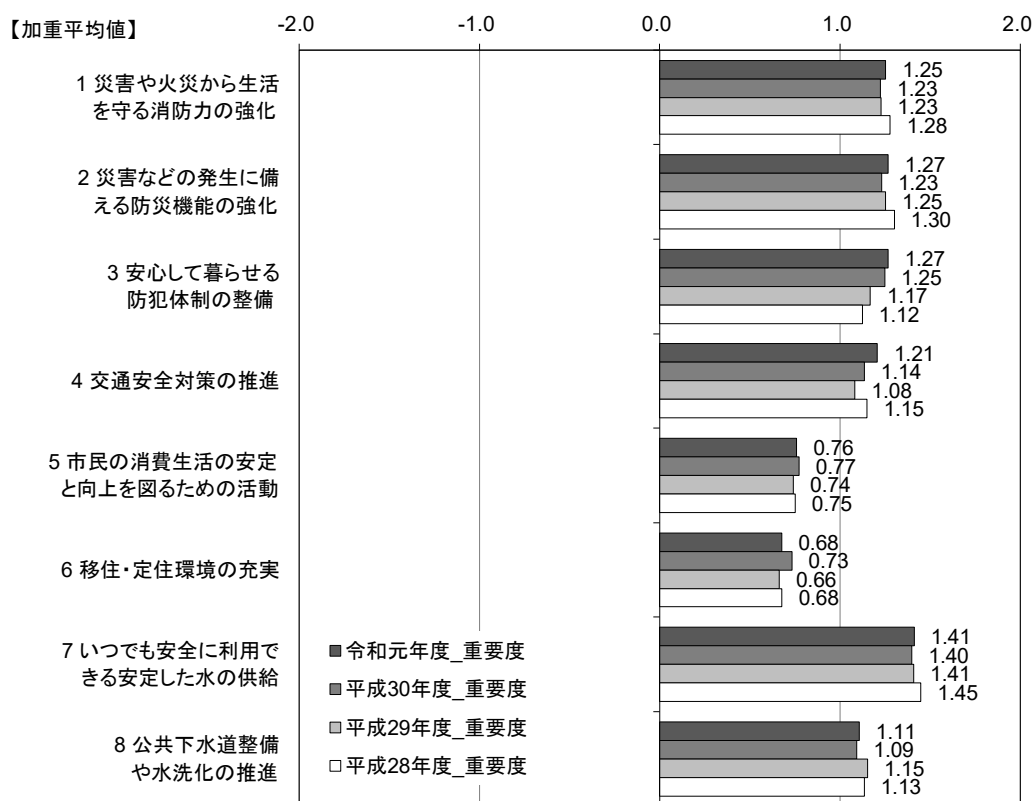
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られませんが、「1 災害や火災から生活を守る消防力の強化」(0.46 ポイント)、「2 災害などの発生に備える防災機能の強化」(0.21 ポイント)は満足度が若干高くなる傾向がうかがえます。



【重要度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」(1.41 ポイント)が最も高くなっています。

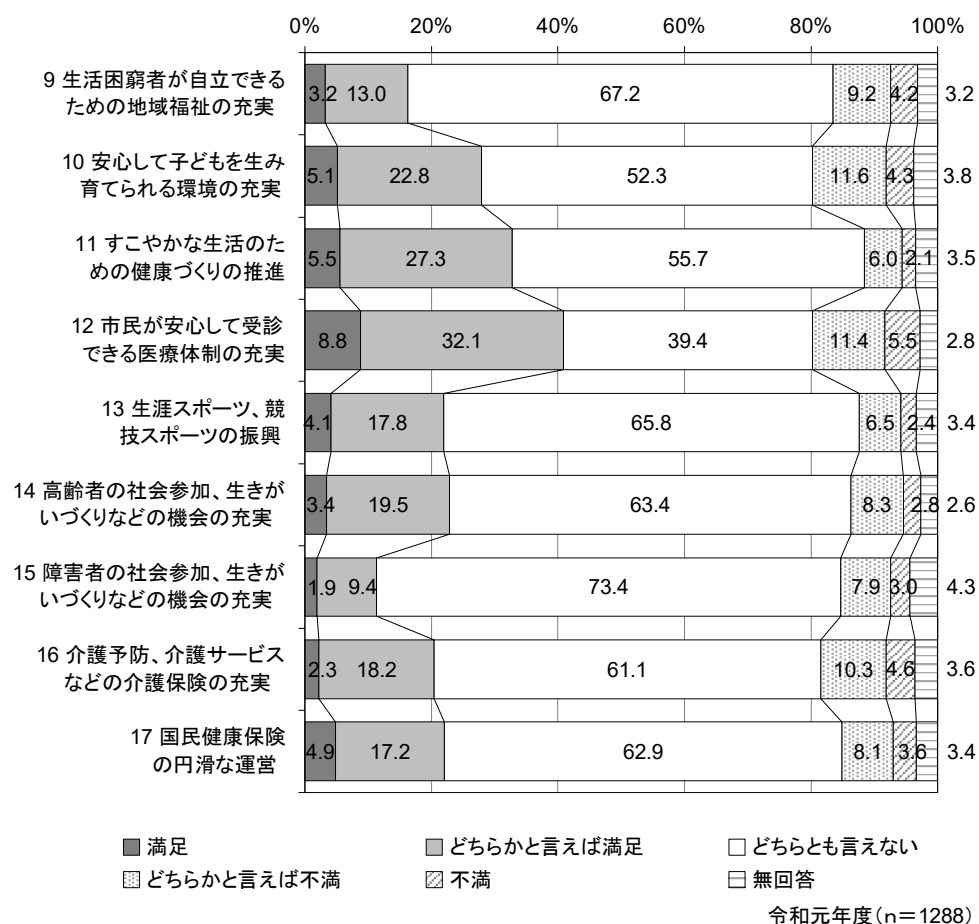
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られませんが、「3 安心して暮らせる防犯体制の整備」(1.27 ポイント)、「4 交通安全対策の推進」(1.21 ポイント)は重要度が若干高くなる傾向がうかがえます。



（２）健康、福祉、スポーツ分野

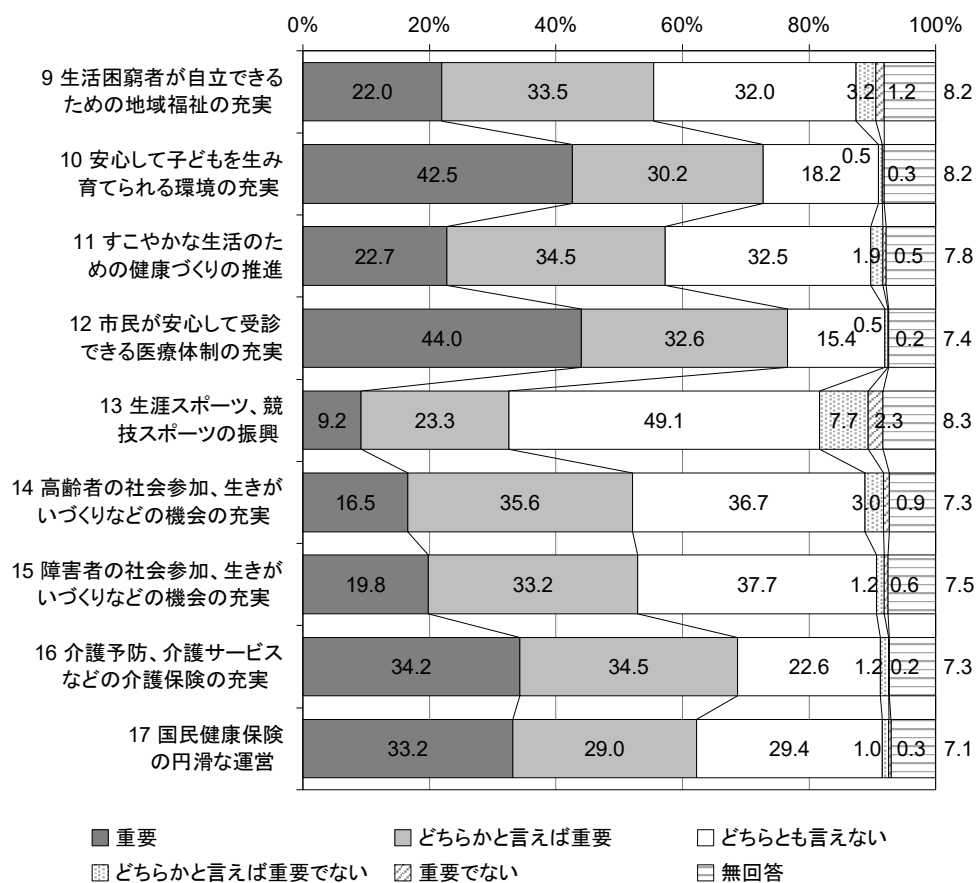
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「12 市民が安心して受診できる医療体制の充実」（40.9%）が４割以上で最も高くなっています。



【重要度】

「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「12 市民が安心して受診できる医療体制の充実」(76.6%)が約8割で最も高く、次いで高い「10 安心して子どもを産み育てられる環境の充実」(72.7%)が7割以上となっています。

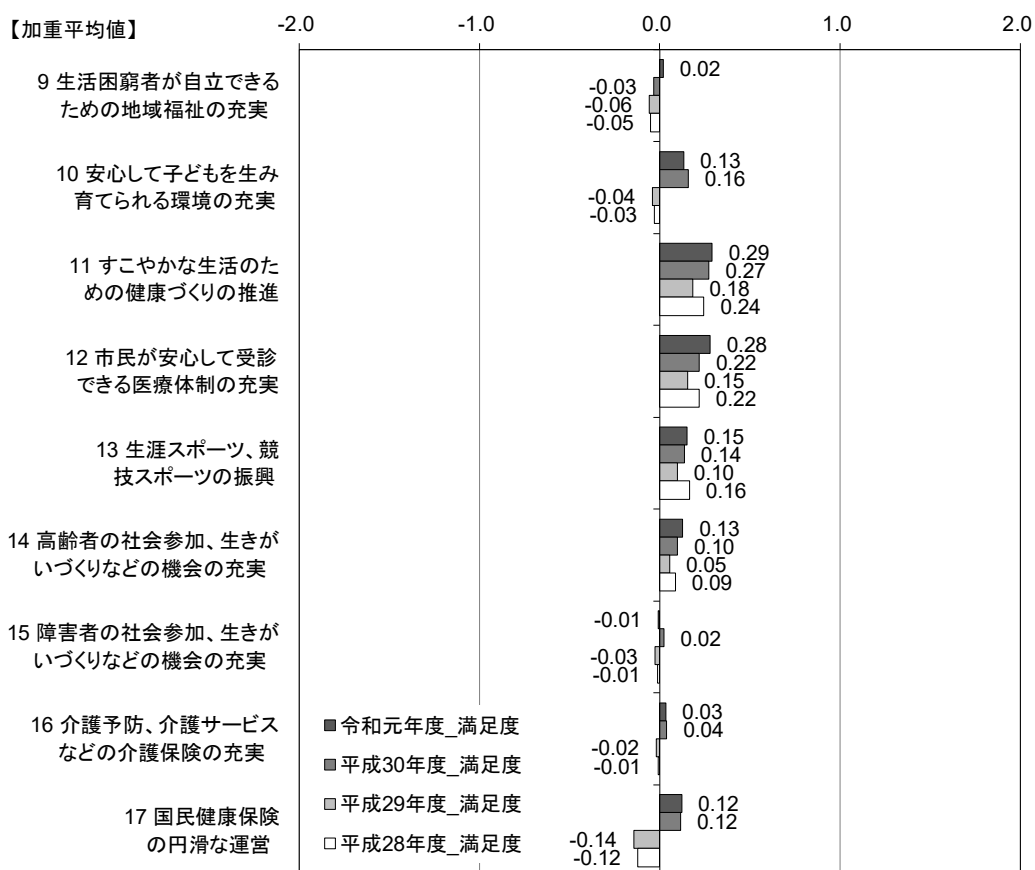


令和元年度 (n=1288)

【満足度 経年変化】

加重平均値を見ると、「11 すこやかな生活のための健康づくりの推進」(0.29 ポイント)が最も高く、次いで高い「12 市民が安心して受診できる医療体制の充実」(0.28 ポイント)も同程度となっています。一方、「15 障害者の社会参加、生きがいきづくりなどの機会の充実」(－0.01 ポイント)のみマイナス値となっています。

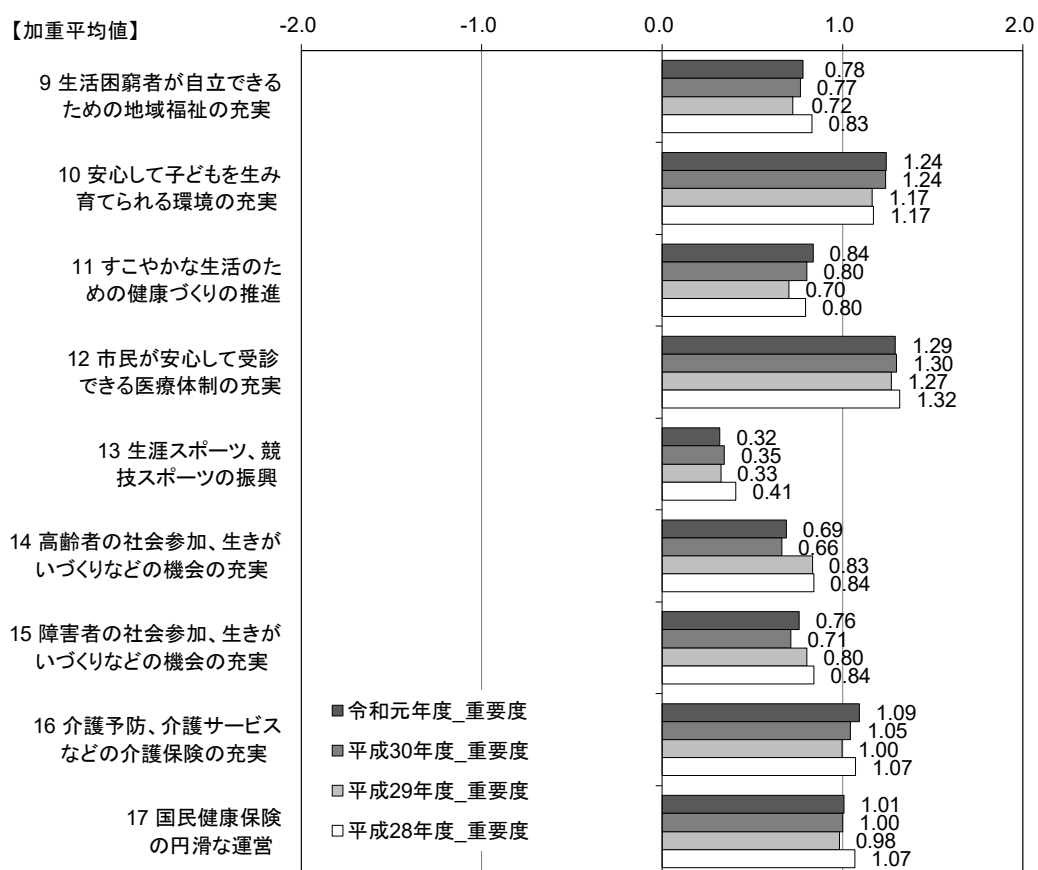
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られませんが、「10 安心して子どもを産み育てられる環境の充実」(0.13 ポイント)、「17 国民健康保険の円滑な運営」(0.12 ポイント)はH30年度(それぞれ0.16 ポイント、0.12 ポイント)からプラス値となっており、平成29年度以前とは傾向が異なっています。また、「9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実」(0.02 ポイント)は前回までのマイナス値からプラス値となっています。「12 市民が安心して受診できる医療体制の充実」は満足度が若干高くなる傾向がうかがえます。



【重要度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「12 市民が安心して受診できる医療体制の充実」(1.29 ポイント)が最も高くなっています。

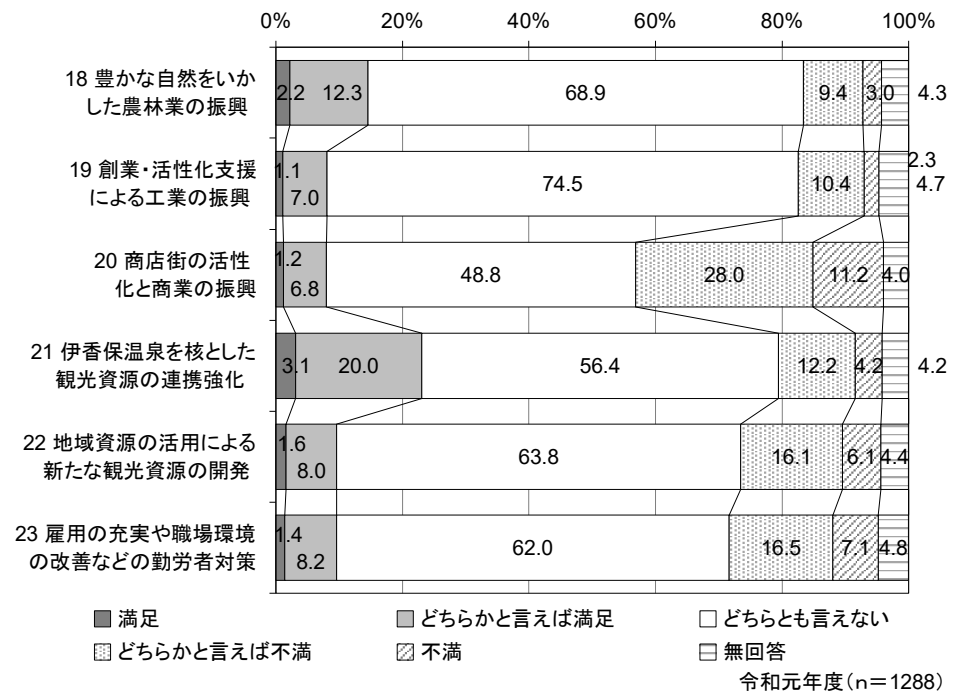
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られませんが、その中で「14 高齢者の社会参加、生きがいがづくりなどの機会の充実」(0.69 ポイント)は平成30年度(0.66 ポイント)と同程度となっており、平成29年度以前より重要度が低くなっています。また、「11 すこやかな生活のための健康づくりの推進」(0.84 ポイント)、「16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実」(1.09 ポイント)は重要度が若干高くなる傾向がうかがえます。



（３）産業分野

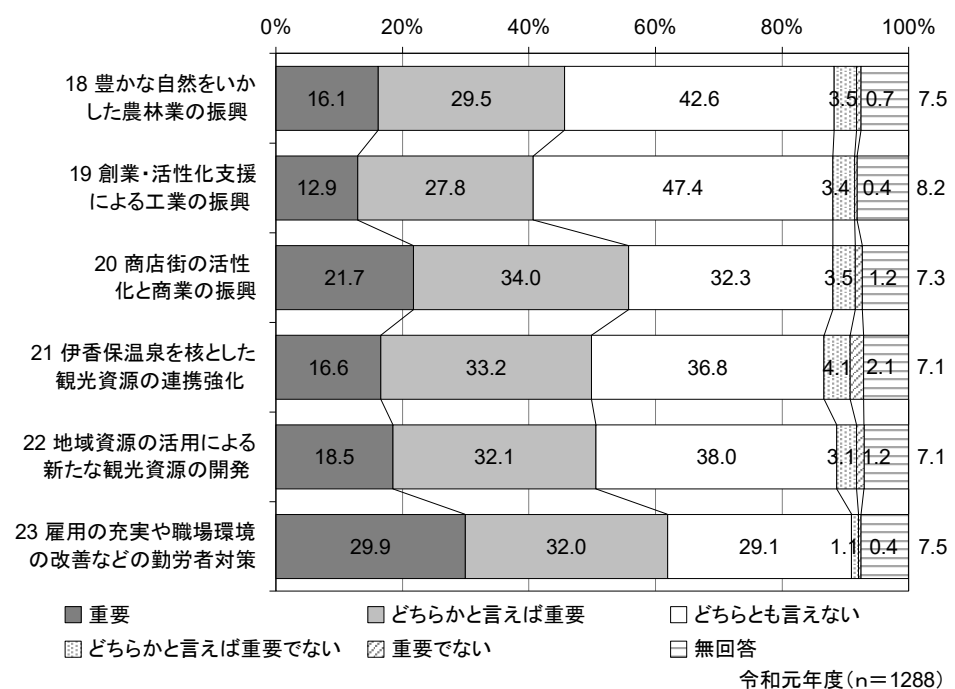
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化」（23.1％）が２割以上で最も高くなっています。



【重要度】

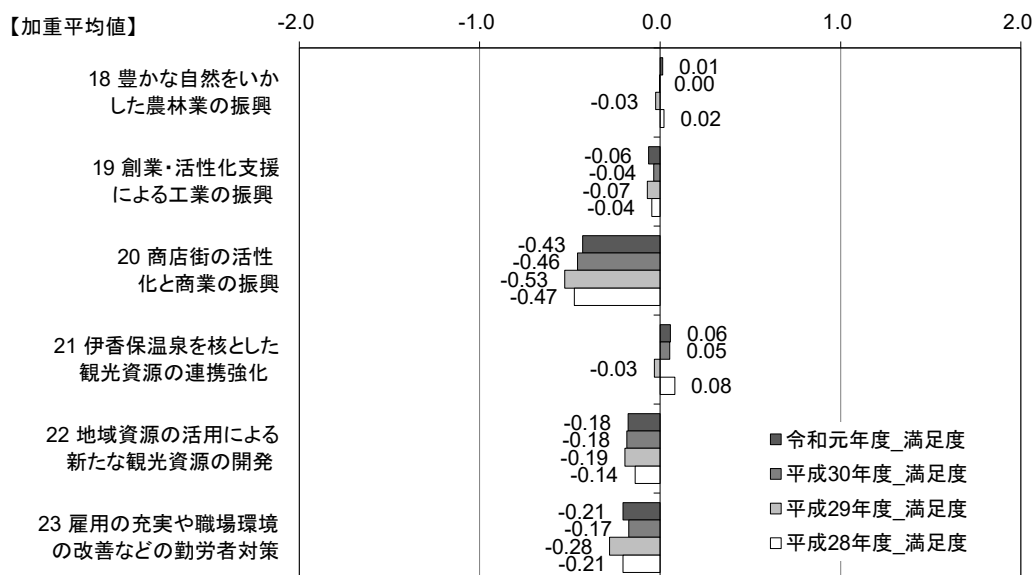
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策」（61.9％）が６割以上で最も高くなっています。



【満足度 経年変化】

加重平均値を見ると、「21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化」（0.06 ポイント）が最も高くなっています。「21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化」と、次いで高い「18 豊かな自然をいかした農林業の振興」（0.01 ポイント）を除き、いずれの項目もマイナス値となっています。

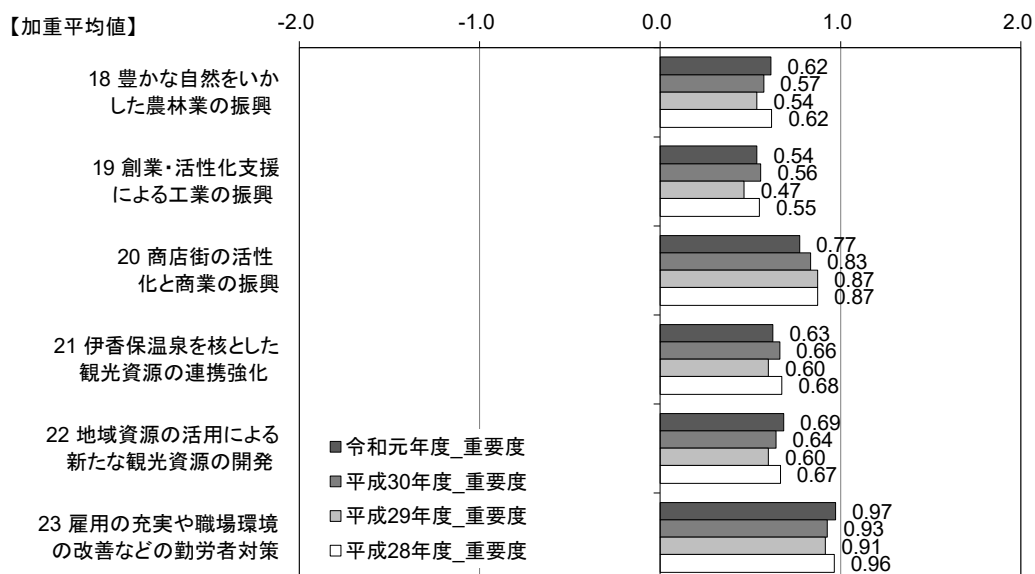
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られません。その中で「20 商店街の活性化と商業の振興」（－0.43 ポイント）は、平成 29 年度（－0.53 ポイント）以降、マイナス値ですが、満足度が若干高くなる傾向がうかがえます。



【重要度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、「23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策」（0.97 ポイント）が最も高くなっています。

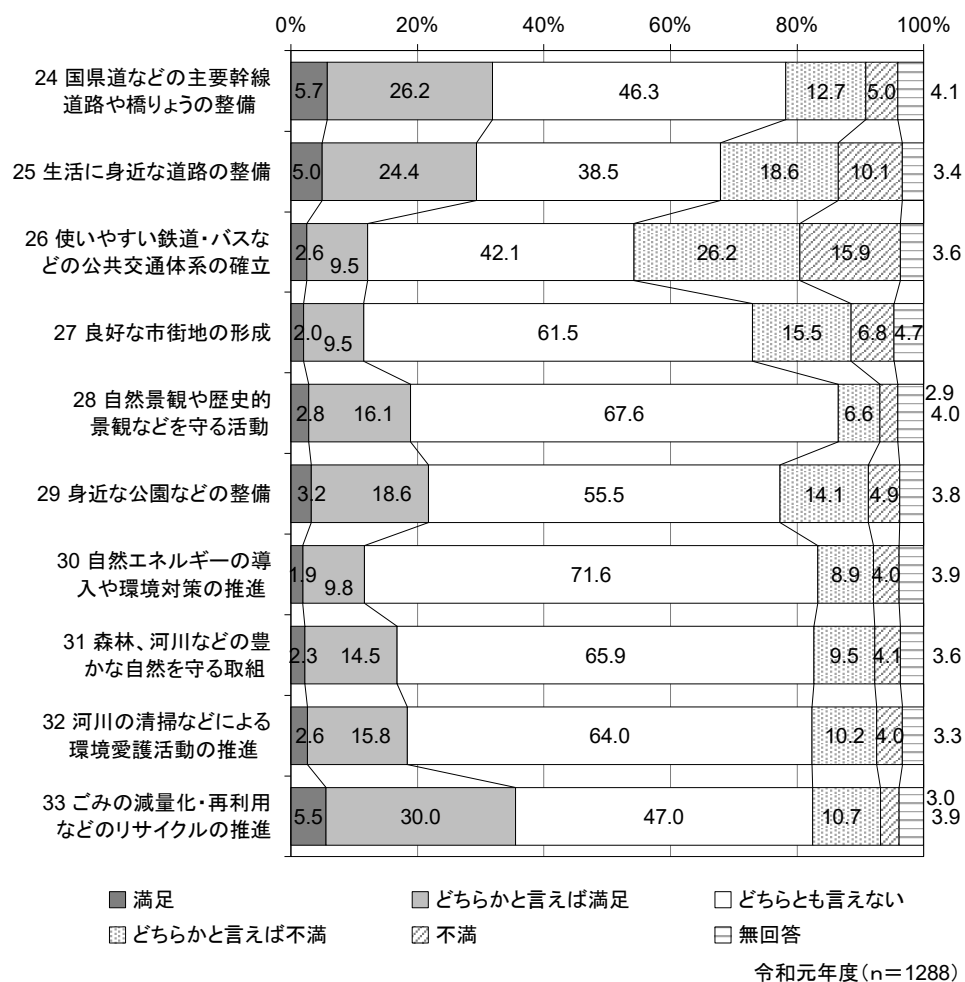
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られませんが、その中で「20 商店街の活性化と商業の振興」（0.77 ポイント）は重要度が若干低くなる傾向がうかがえます。



(4) 都市基盤、自然環境分野

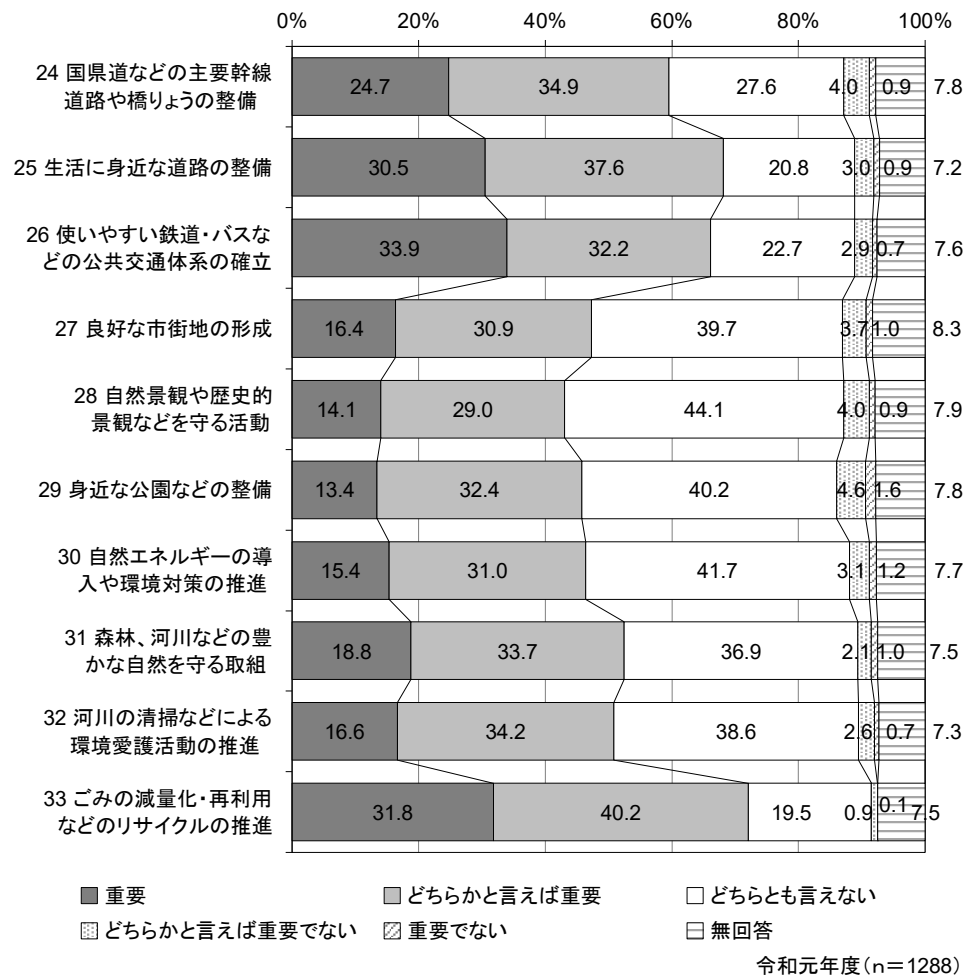
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進」(35.5%)が3割以上で最も高く、次いで高い「24 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備」(31.9%)も3割以上となっています。



【重要度】

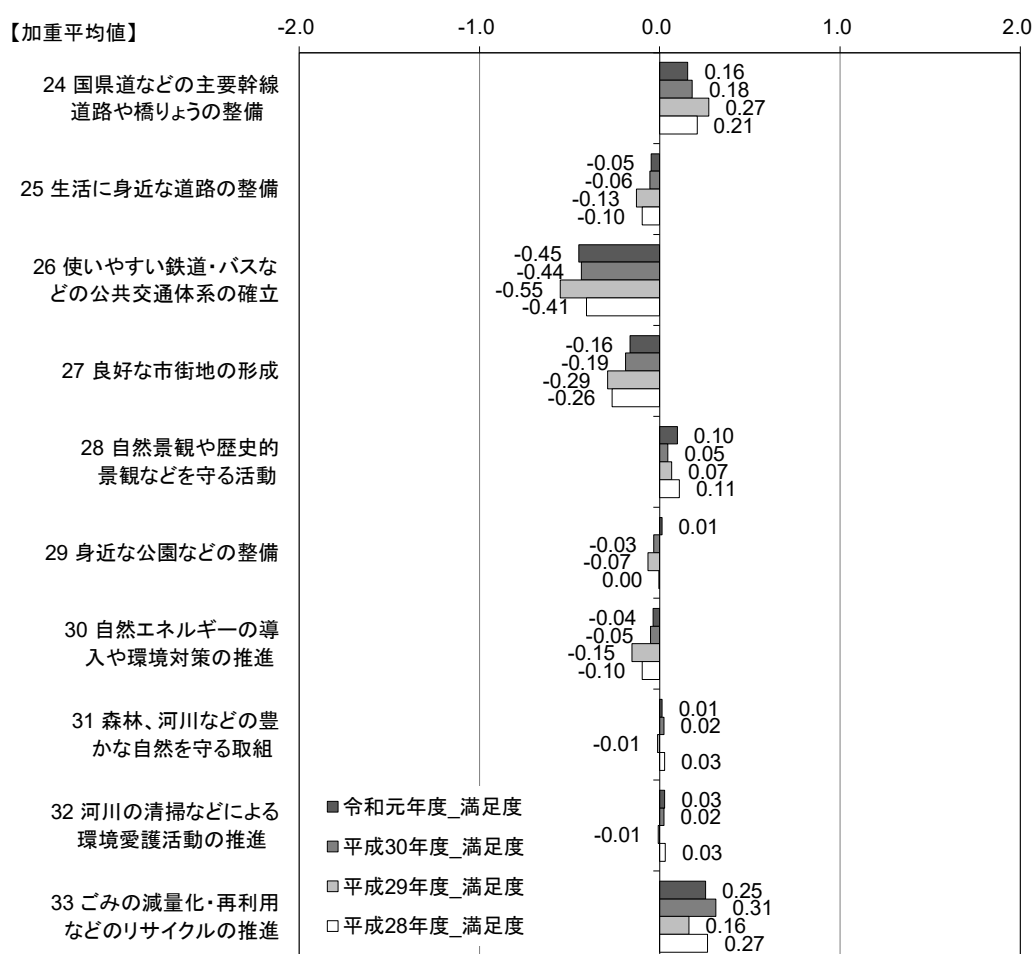
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進」（72.0%）が7割以上で最も高く、次いで高い「25 生活に身近な道路の整備」（68.1%）、「26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立」（66.1%）も約7割となっています。



【満足度 経年変化】

加重平均値を見ると、「33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進」(0.25 ポイント)が最も高くなっています。また、10項目のうち4項目がマイナス値となっており、その中で「26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立」(−0.45 ポイント)が最も低くなっています。

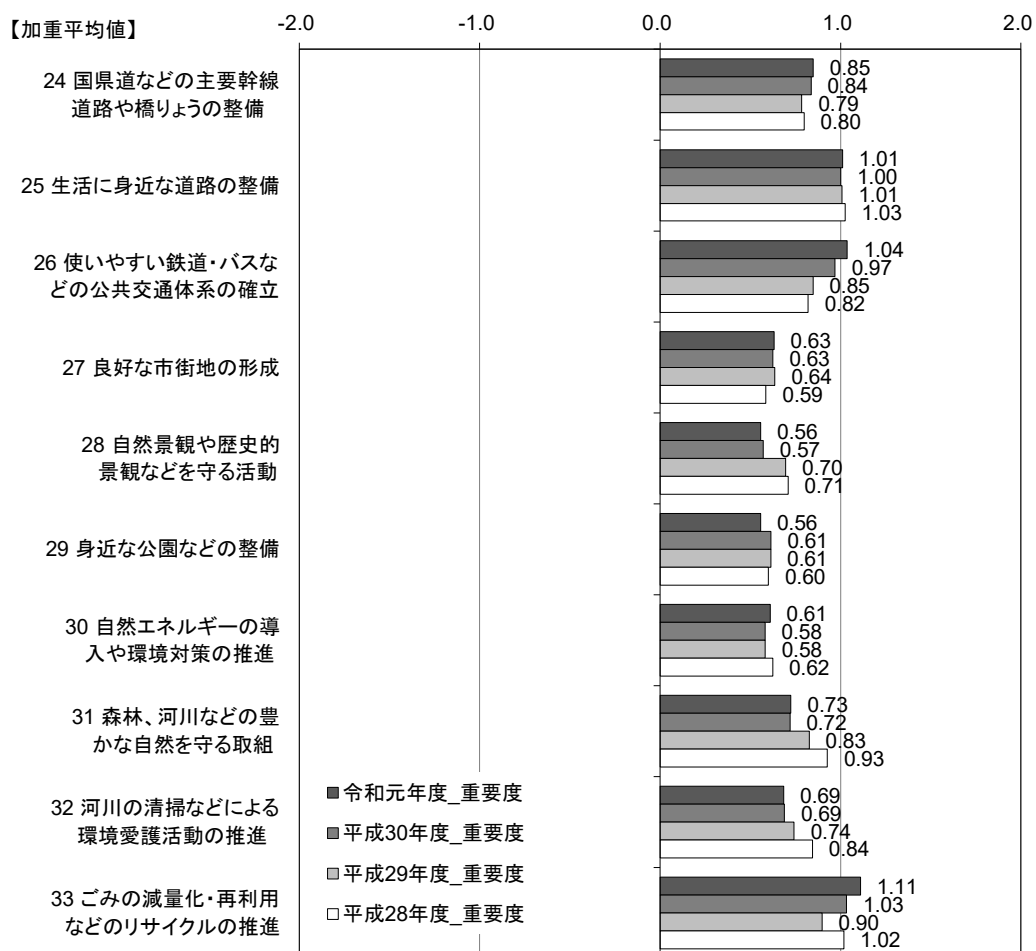
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られませんが、その中で「24 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備」(0.16 ポイント)は平成29年度(0.27 ポイント)以降、満足度が若干低くなる傾向がうかがえます。また、「27 良好な市街地の形成」(−0.16 ポイント)は平成29年度(−0.29 ポイント)以降、マイナス値ですが、満足度が若干高くなる傾向がうかがえます。



【重要度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進」(1.11 ポイント)が最も高くなっています。

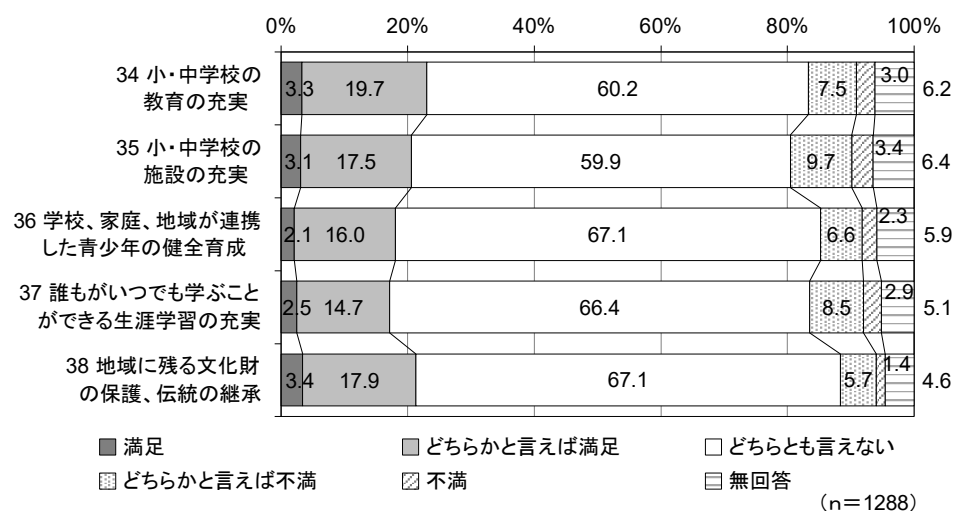
前回までの調査結果と比較すると、「26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立」(1.04 ポイント)、「33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進」は重要度が高くなる傾向がうかがえます。



（５）教育、文化分野

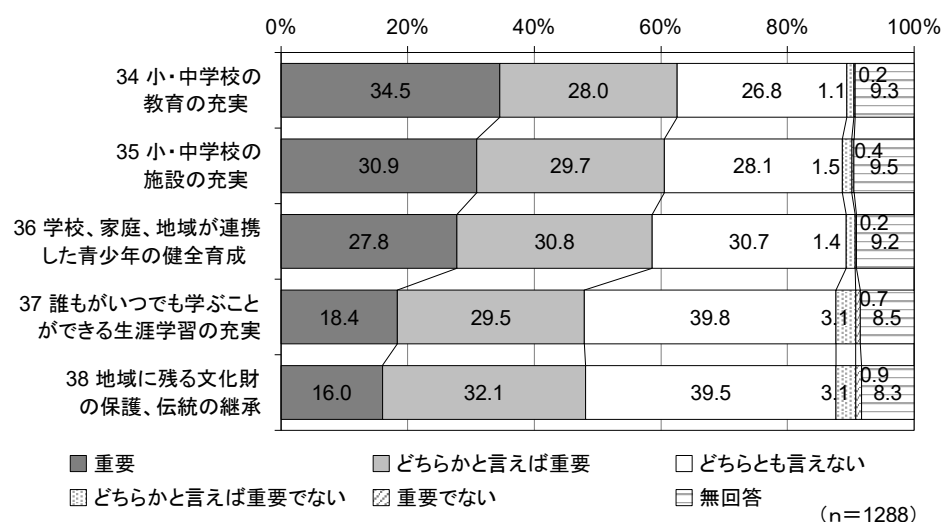
【満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「34 小・中学校の教育の充実」(23.0%)が2割以上で最も高くなっていますが、いずれの項目も2割程度で大きな差は見られません。



【重要度】

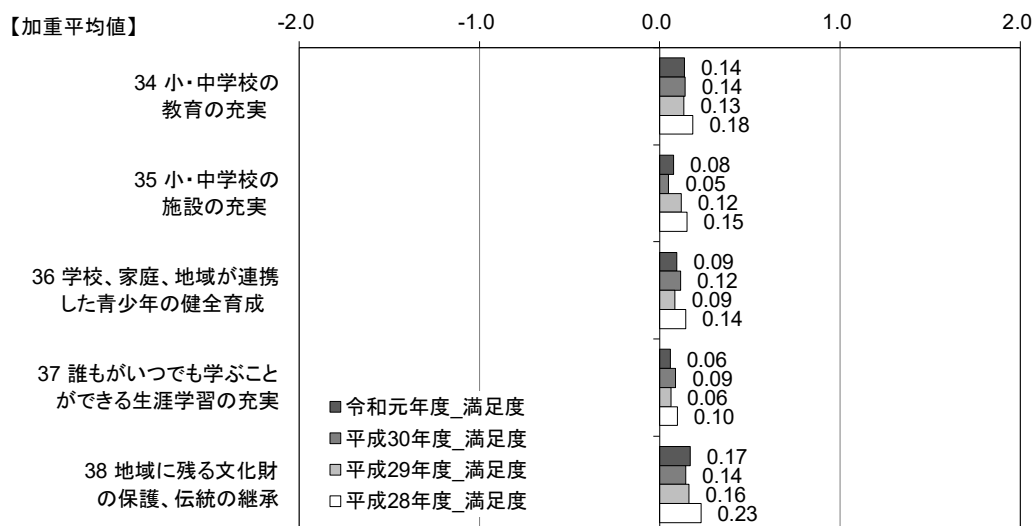
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「34 小・中学校の教育の充実」(62.5%)が6割以上で最も高く、次いで高い「35 小・中学校の施設の充実」(60.6%)も6割以上、「36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成」(58.6%)が約6割で比較的高くなっています。



【満足度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承」(0.17 ポイント) が最も高くなっています。

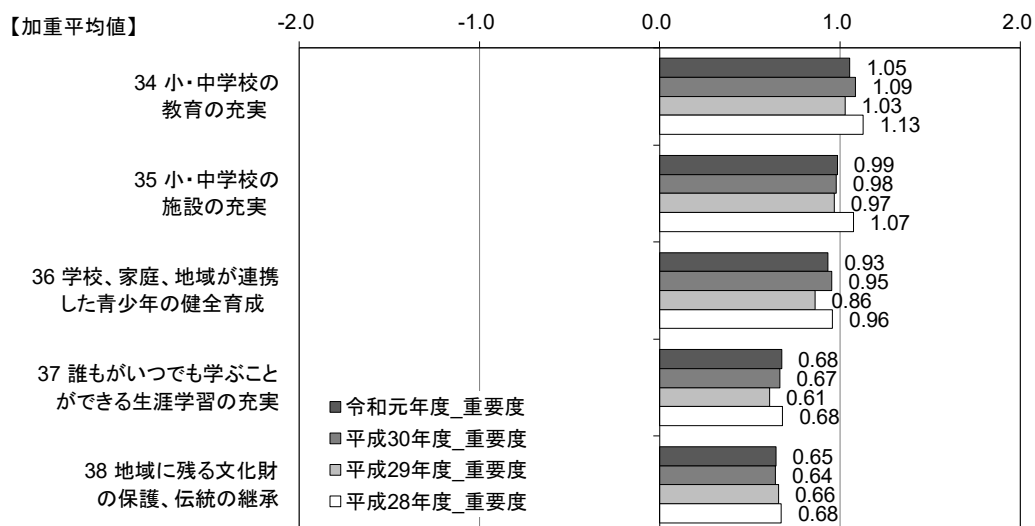
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られません。



【重要度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「34 小・中学校の教育の充実」(1.05 ポイント) が最も高くなっています。

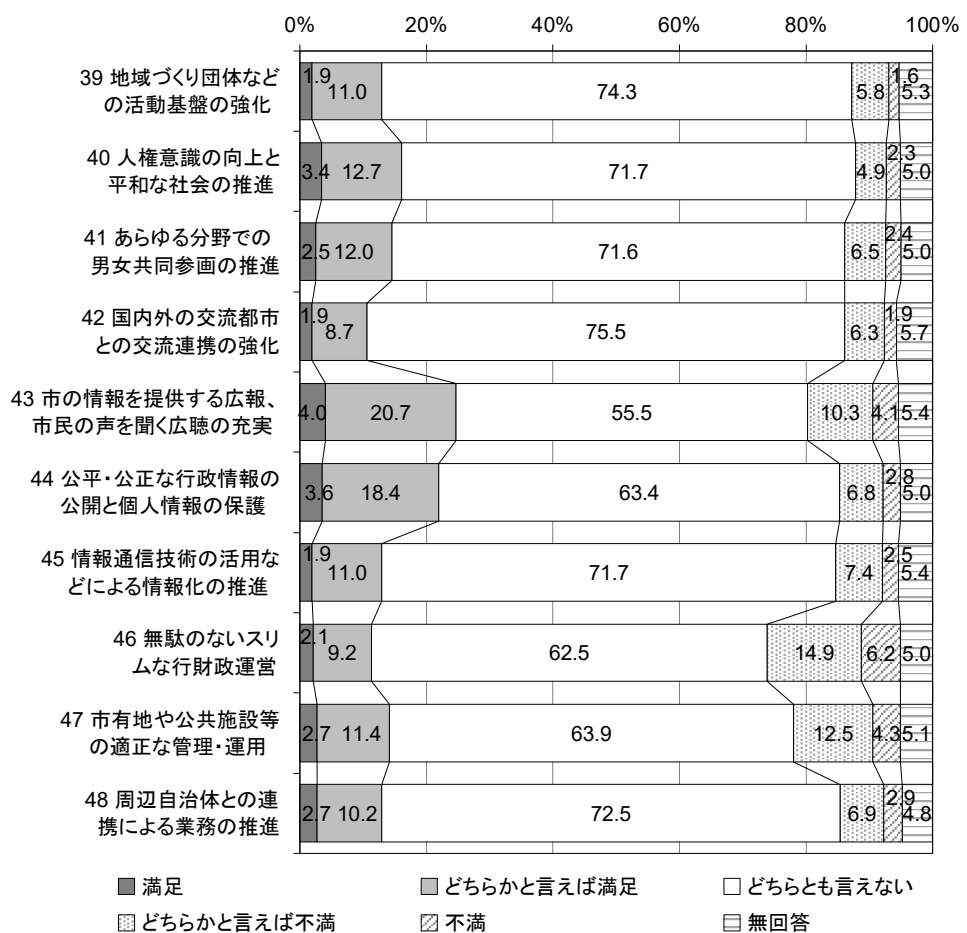
前回までの調査結果と比較すると、大きな変化は見られません。



(6) 自治、協働分野

【満足度】

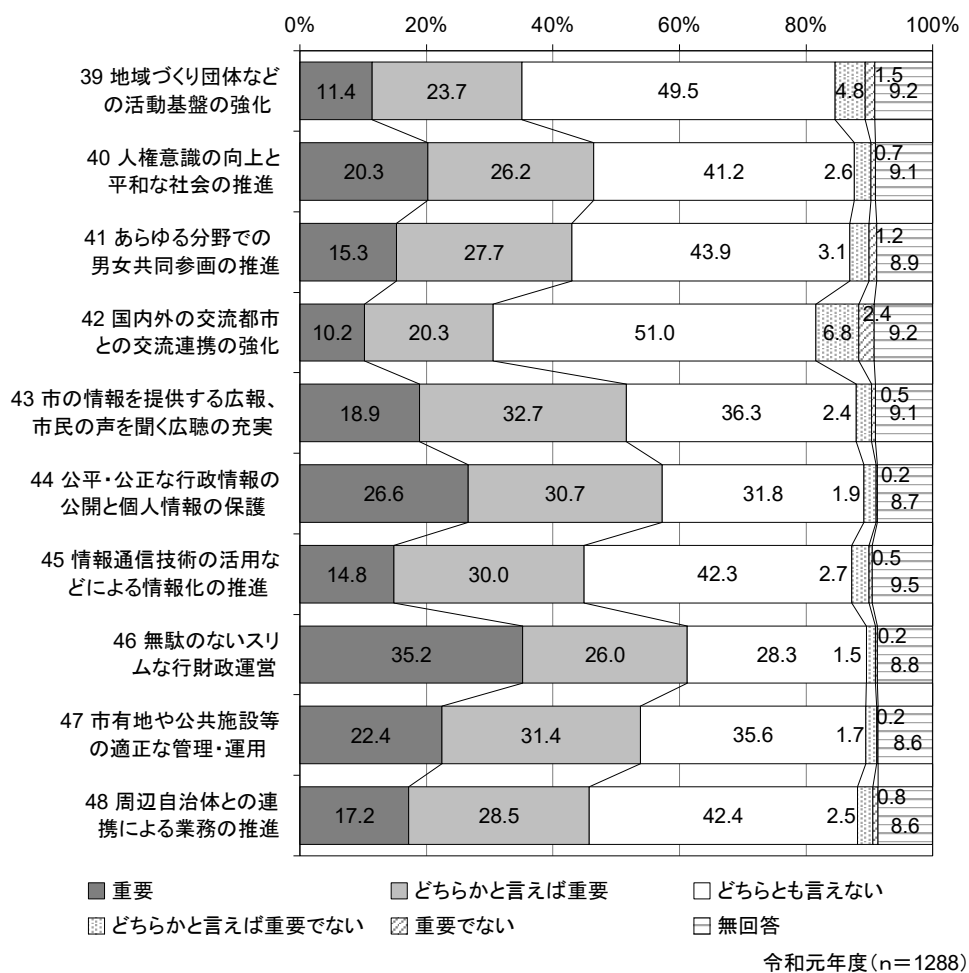
「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実」(24.7%)が2割以上で最も高く、次いで高い「44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護」(22.0%)も2割以上となっています。



令和元年度(n=1288)

【重要度】

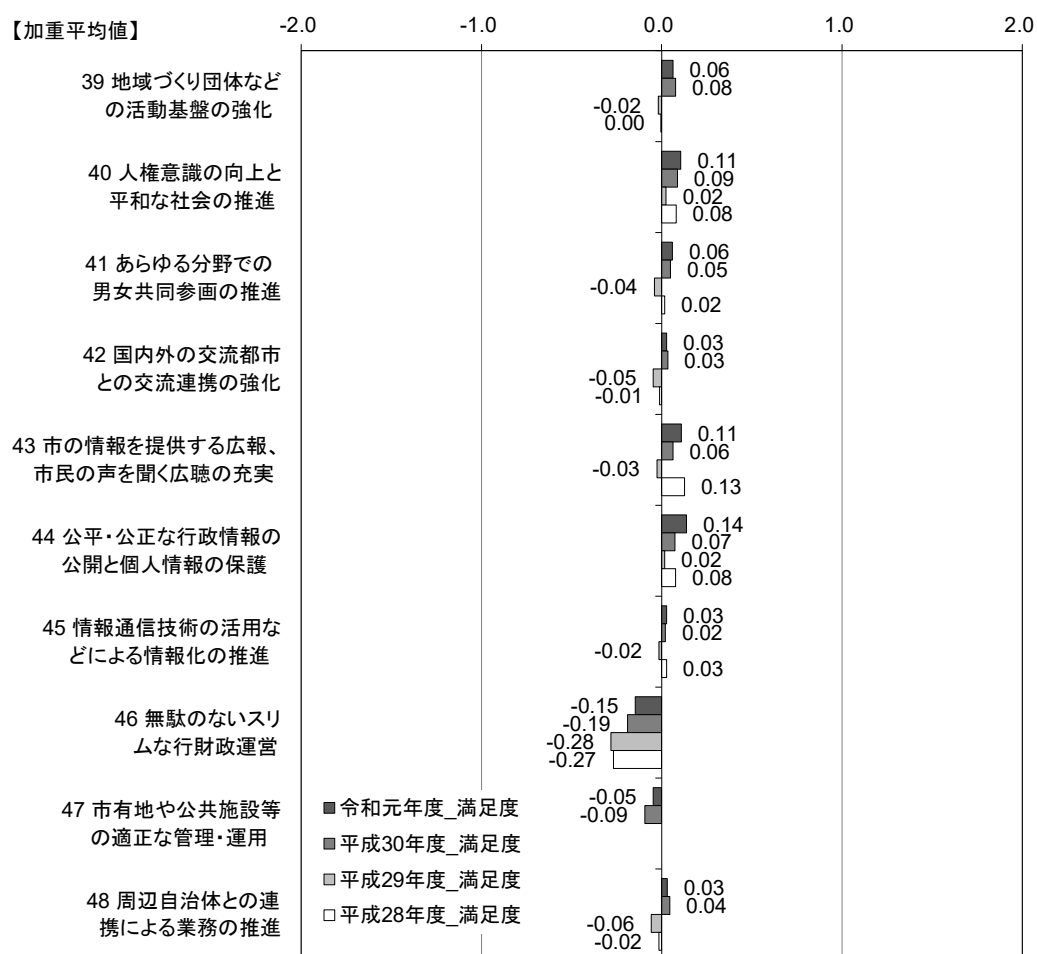
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「46 無駄のないスリムな行財政運営」(61.2%)が6割以上で最も高く、次いで高い「44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護」(57.3%)も約6割となっています。



【満足度 経年変化】

加重平均値を見ると、プラス値が特に高い項目は見られません。一方、「46 無駄のないスリムな行財政運営」（-0.15 ポイント）、「47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用」（-0.05 ポイント）の2項目はマイナス値となっています。

前回までの調査結果と比較すると、「46 無駄のないスリムな行財政運営」は、マイナス値ですが、満足度が若干高くなる傾向がうかがえます。また、「43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実」（0.11 ポイント）、「44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護」（0.14 ポイント）も満足度が若干高くなる傾向がうかがえます。

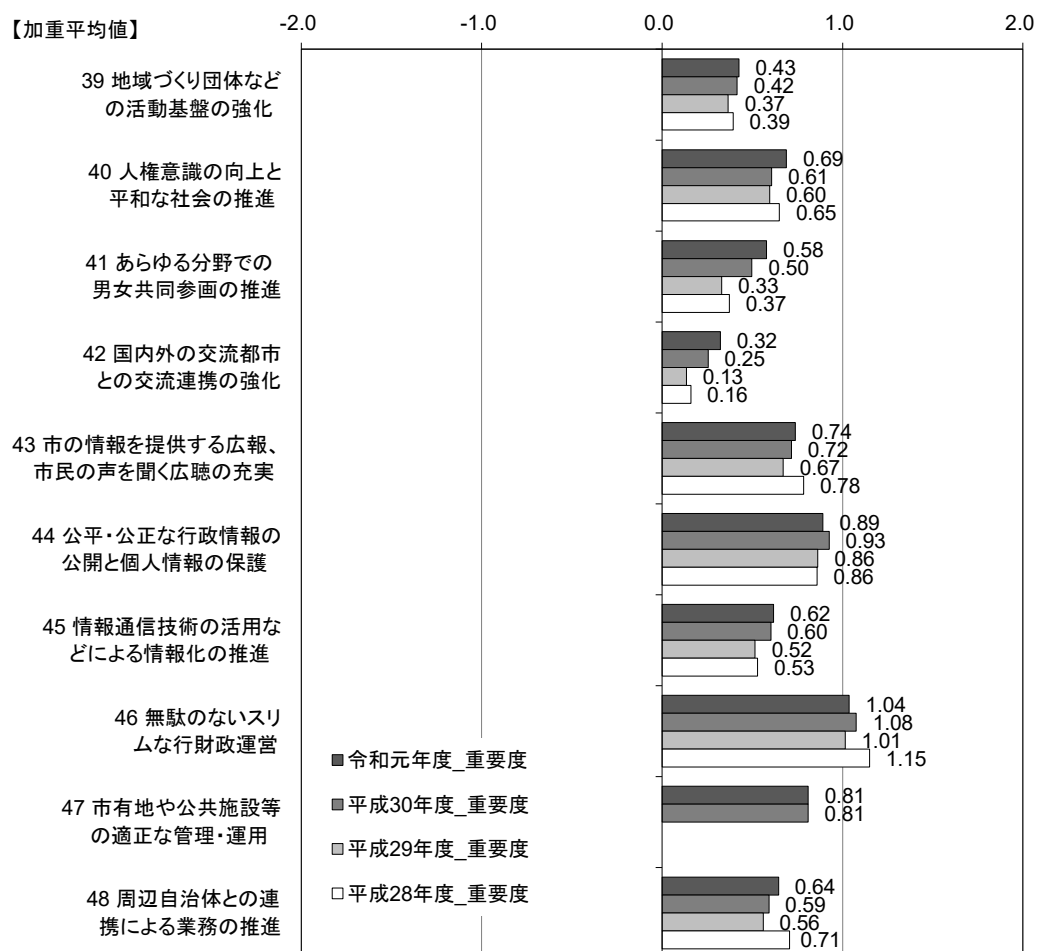


※「47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用」は H30 年度から設定

【重要度 経年変化】

加重平均値を見ると、いずれの項目もプラス値となっており、その中で「46 無駄のないスリムな行財政運営」(1.04 ポイント)が最も高くなっています。

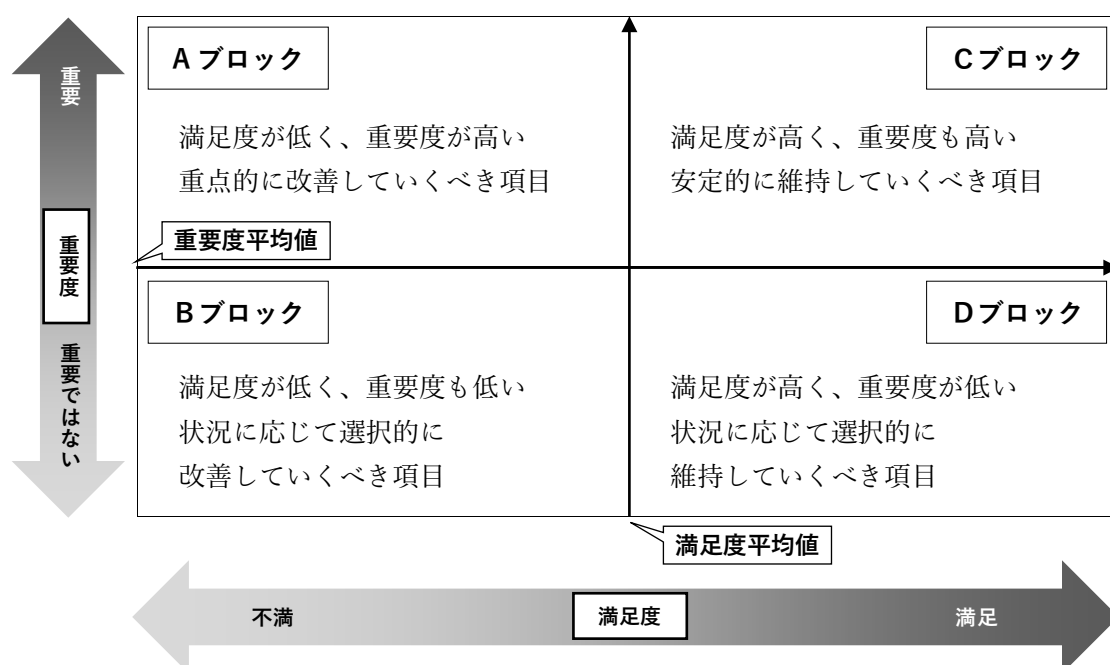
前回までの調査結果と比較すると、「41 あらゆる分野での男女共同参画の推進」(0.58 ポイント)、「42 国内外の交流都市との交流連携の強化」(0.32 ポイント)は重要度が若干高くなる傾向がうかがえます。



※「47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用」は H30 年度から設定

（９）４８項目の満足度と重要度の関係

48 項目それぞれの満足度と重要度の加重平均値をマトリックスグラフに示し、満足度及び重要度の全項目平均値を基準として、相対的な位置について 4 つの象限で見ると、おおむね以下に分類できます。



A ブロック 重点的に改善していくべき項目

満足度が低い一方、重要度が高く、施策の緊急性が高いと考えられる分野です。低い満足度の要因の分析と、それに基づく施策の早急な見直しが求められています。

B ブロック 状況に応じて選択的に改善していくべき項目

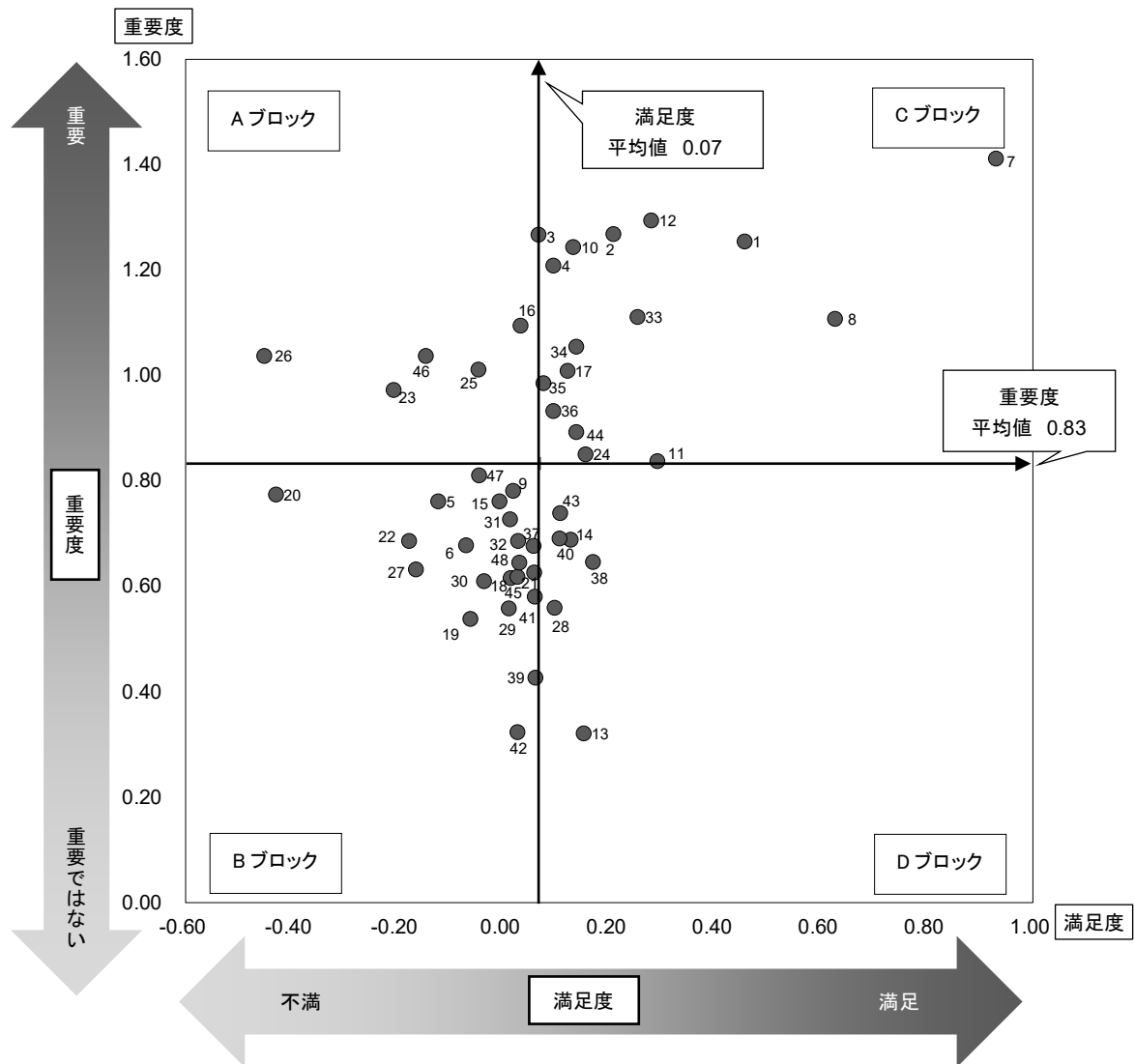
重要度・満足度ともに低く、市民に施策の必要性や具体的な方向性があまり認識されていないと考えられる分野です。施策の必要性和市としての方向性、位置づけについて、市民への説明や情報提供に努めることが必要と考えられます。

C ブロック 安定的に維持していくべき項目

満足度・重要度ともに高く、施策の方向性と成果が市民の需要と合致していると考えられる分野です。現状の安定的な維持とともに、さらに高いレベルでの拡充が求められていると考えられます。

D ブロック 状況に応じて選択的に維持していくべき項目

満足度が高い一方、重要度が低く、施策の成果が浸透してきており、現状の水準の維持が求められていると考えられる分野です。一方、新たな視点での施策推進や拡充を進める必要がある場合には、その必要性が認識されにくい分野であると考えられ、必要性の周知や認識の共有を図ることが必要と考えられます。



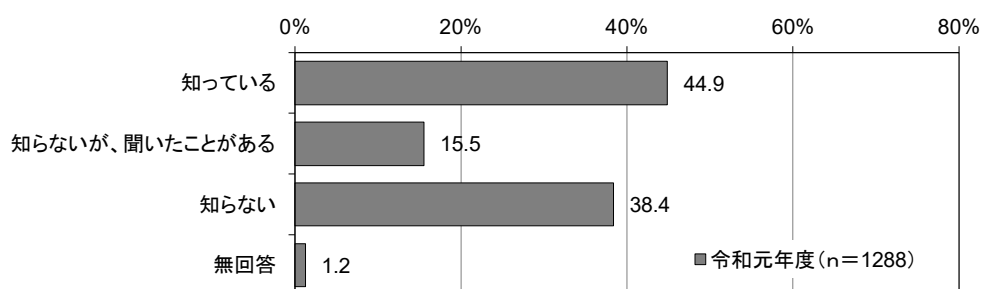
- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 災害や火災から生活を守る消防力の強化 | 25 生活に身近な道路の整備 |
| 2 災害などの発生に備える防災機能の強化 | 26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立 |
| 3 安心して暮らせる防犯体制の整備 | 27 良好な市街地の形成 |
| 4 交通安全対策の推進 | 28 自然景観や歴史的景観などを守る活動 |
| 5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動 | 29 身近な公園などの整備 |
| 6 移住・定住環境の充実 | 30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進 |
| 7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給 | 31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組 |
| 8 公共下水道整備や水洗化の推進 | 32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進 |
| 9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実 | 33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進 |
| 10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実 | 34 小・中学校の教育の充実 |
| 11 すこやかな生活のための健康づくりの推進 | 35 小・中学校の施設の充実 |
| 12 市民が安心して受診できる医療体制の充実 | 36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成 |
| 13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興 | 37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実 |
| 14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 | 38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承 |
| 15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 | 39 地域づくり団体などの活動基盤の強化 |
| 16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実 | 40 人権意識の向上と平和な社会の推進 |
| 17 国民健康保険の円滑な運営 | 41 あらゆる分野での男女共同参画の推進 |
| 18 豊かな自然をいかした農林業の振興 | 42 国内外の交流都市との交流連携の強化 |
| 19 創業・活性化支援による工業の振興 | 43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実 |
| 20 商店街の活性化と商業の振興 | 44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報保護 |
| 21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化 | 45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進 |
| 22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発 | 46 無駄のないスリムな行財政運営 |
| 23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策 | 47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用 |
| 24 国道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備 | 48 周辺自治体との連携による業務の推進 |

4 ネーミングライツ（命名権）について

問5 ネーミングライツの認知度

あなたは、「ネーミングライツ」について知っていますか。（1つ選択）

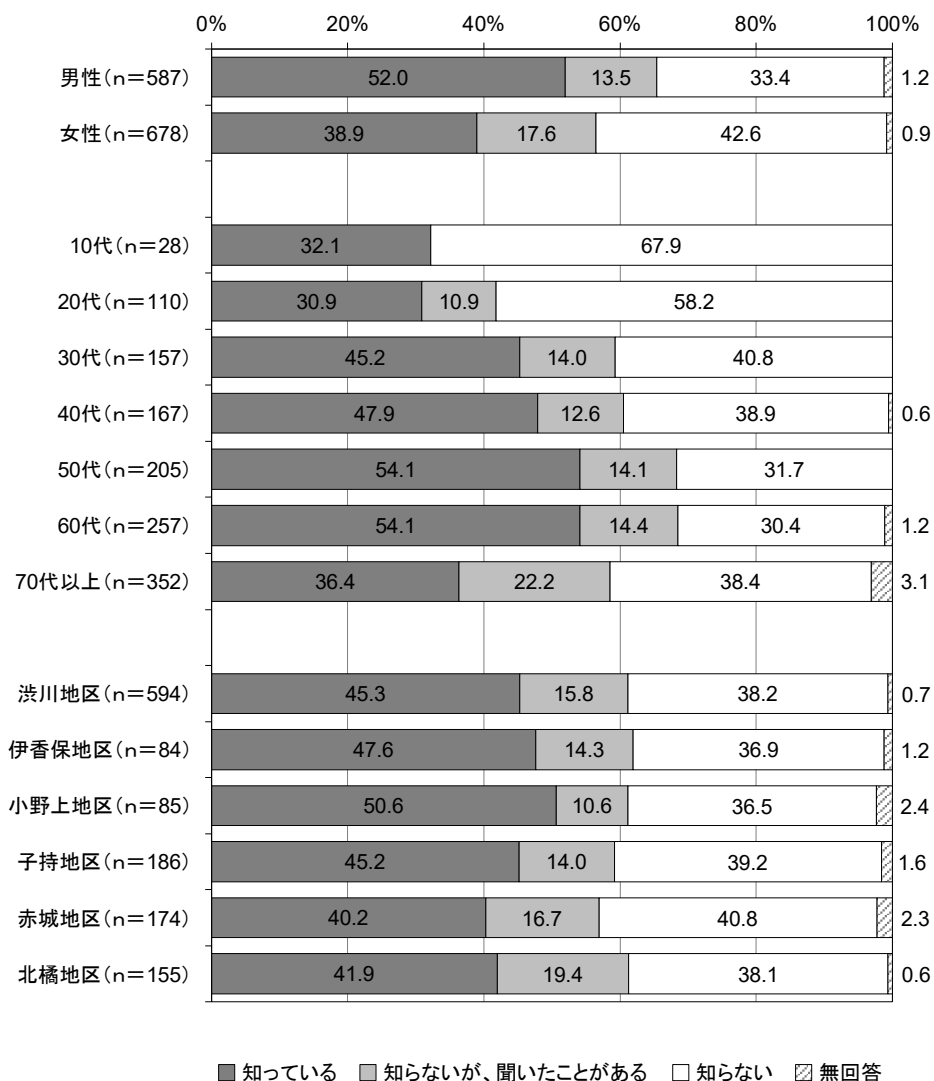
「知っている」（44.9%）が4割以上で最も高く、次いで「知らない」（38.4%）が約4割となっています。



属性別に見ると、「知っている」は男性（52.0%）が5割以上、女性（38.9%）が約4割で、男性が女性より高くなっています。

年代別では「知っている」は50代、60代（54.1%で同値）が5割以上で高く、20代（30.9%）が3割以上で最も低くなっており、70代以上を除き、「知っている」は高い年代ほど高くなる傾向がうかがえます。

地区別では「知っている」は小野上地区（50.6%）が5割以上で最も高く、赤城地区（40.2%）、北橘地区（41.9%）が4割以上で比較的低くなっています。



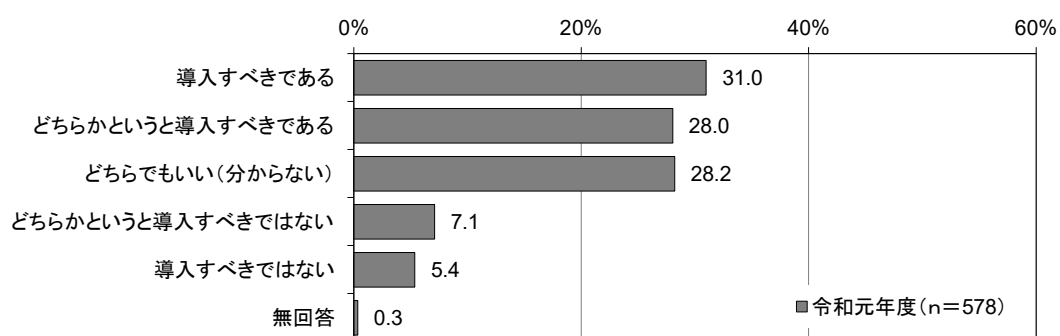
※問文に語句の説明として「「ネーミングライツ」とは、スポーツ施設や文化ホールなどの施設の名称に、スポンサー企業の社名や商品ブランド名を付与する権利のことです。」を付記

問6 ネーミングライツの導入について

あなたは、市内の公共施設にネーミングライツを導入することについてどう思いますか。
(問5で「知っている」の場合・1つ選択)

「導入すべきである」(31.0%)が4割以上で最も高く、次いで「どちらでもいい(分からない)」(28.2%)、「どちらかというと導入すべきである」(28.0%)の2項目が約3割で同程度となっています。

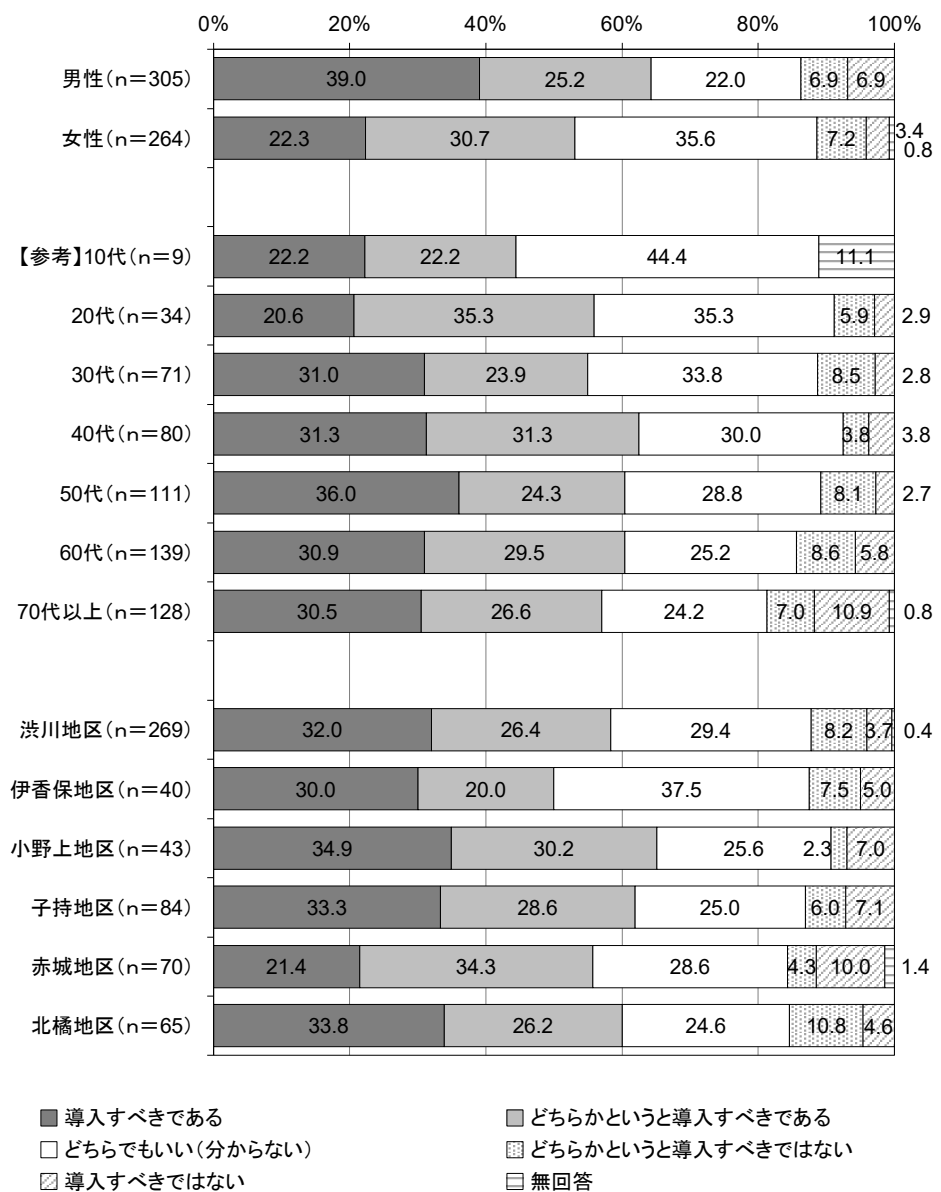
「導入すべきである」と「どちらかというと導入すべきである」の合計値『導入すべきである』(59.0%)は約6割、「どちらかというと導入すべきではない」(7.1%)と「導入すべきではない」(5.4%)の合計値『導入すべきではない』(12.5%)は1割以上となっています。



属性別に見ると、「導入すべきである」と「どちらかという導入すべきである」の合計値『導入すべきである』は男性（64.2%）が6割以上、女性（53.0%）が5割以上で、男性が高くなっています。

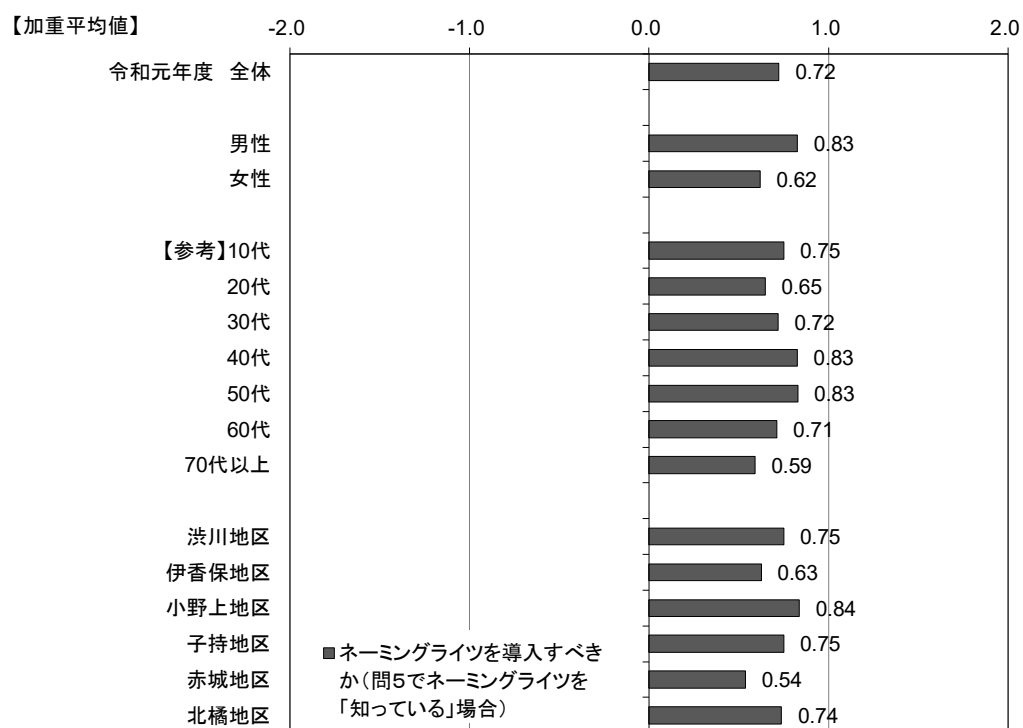
年代別では40代（62.6%）が6割以上で最も高く、次いで高い50代、60代（それぞれ60.3%、60.4%）も6割以上となっています。

地区別では小野上地区（65.1%）が6割以上で最も高く、次いで高い子持地区（61.9%）、北橘地区（60.0%）も6割以上となっています。一方、伊香保地区（50.0%）が5割で最も低くなっています。



※10代は該当者が10人未満であるため参考表示

加重平均値を見ると、いずれの属性もプラス値となっており、性別では男性（0.83 ポイント）、年代別では 40 代、50 代（0.83 ポイントで同値）、地区別では小野上地区（0.84 ポイント）がそれぞれ最も高くなっています。一方、地区別の赤城地区（0.54 ポイント）が比較的低くなっています。



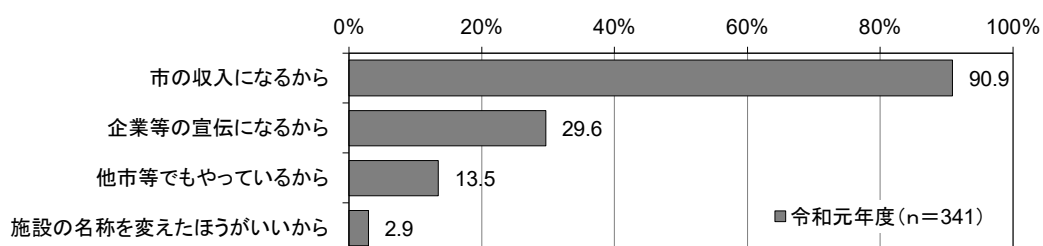
※10代は該当者が10人未満であるため参考表示

問7 「導入すべき」と思った理由

あなたが、ネーミングライツを「導入すべき」と思った理由は何ですか。(問6で「導入すべきである」、「どちらかという導入すべきである」の場合・1つ選択)

「市の収入になるから」(90.9%)が9割以上で特に高くなっています。次いで「企業等の宣伝になるから」(29.6%)が約3割となっています。

属性別に見ると、「市の収入になるから」はいずれの属性でも特に高く、その中でも年代別の20代、地区別の子持地区ではすべての回答者が選択しています。次いで、いずれの属性も「企業等の宣伝になるから」が高くなっています。



(%)	n	市の収入になるから	企業等の 宣伝になるから	他市等でも やっているから	施設の名称を変え たほうが良いから
男性	196	93.4	29.1	11.2	2.6
女性	140	87.1	30.0	16.4	3.6
【参考】10代	4	100.0	75.0	25.0	0.0
20代	19	100.0	31.6	15.8	0.0
30代	39	92.3	28.2	10.3	2.6
40代	50	92.0	34.0	14.0	6.0
50代	67	92.5	34.3	9.0	3.0
60代	84	92.9	23.8	16.7	3.6
70代以上	73	82.2	26.0	13.7	1.4
渋川地区	157	89.2	31.8	16.6	4.5
伊香保地区	20	90.0	35.0	0.0	5.0
小野上地区	28	89.3	28.6	7.1	0.0
子持地区	52	100.0	15.4	13.5	0.0
赤城地区	39	92.3	17.9	7.7	0.0
北橘地区	39	84.6	46.2	17.9	5.1

※各属性で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示

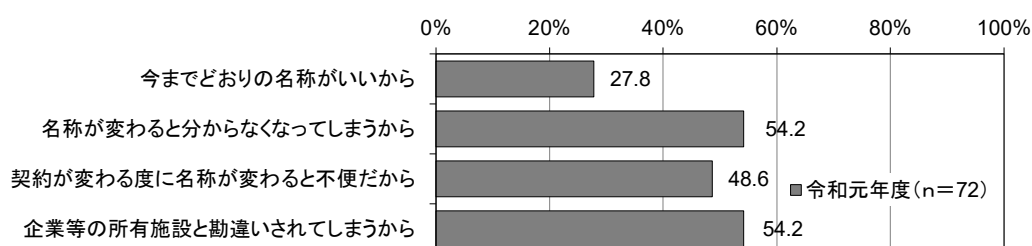
※10代は該当者が10人未満であるため参考表示とし、色表示なし

問8 「導入すべきではない」と思った理由

あなたが、ネーミングライツを「導入すべきではない」と思った理由は何ですか。(問6で「導入すべきではない」、「どちらかという導入すべきではない」の場合・1つ選択)

「名称が変わると分からなくなってしまうから」「企業等の所有施設と勘違いされてしまうから」(54.2%で同値)が5割以上、次いで「契約が変わる度に名称が変わると不便だから」(48.6%)が約5割となっています。

属性別に見ると、回答者が少ない属性があることに留意する必要がありますが、いずれの属性も「名称が変わると分からなくなってしまうから」「企業等の所有施設と勘違いされてしまうから」「契約が変わる度に名称が変わると不便だから」の3項目のいずれかが高くなっています。その中で女性、60代は「名称が変わると分からなくなってしまうから」(それぞれ71.4%、70.0%)、赤城地区は「企業等の所有施設と勘違いされてしまうから」(70.0%)がそれぞれ7割以上で比較的高くなっています。



(%)	n	今までもおりの名称 がいいから	名称が変わると 分からなくなっ てしまうから	契約が変わる度に 名称が変わると 不便だから	企業等の所有施設 と勘違いされて しまうから
男性	42	33.3	42.9	38.1	59.5
女性	28	17.9	71.4	64.3	46.4
【参考】20代	3	0.0	33.3	100.0	33.3
【参考】30代	8	37.5	50.0	50.0	50.0
【参考】40代	6	33.3	50.0	83.3	33.3
50代	12	16.7	50.0	66.7	58.3
60代	20	30.0	70.0	30.0	65.0
70代以上	23	30.4	47.8	39.1	52.2
渋川地区	32	34.4	53.1	53.1	56.3
【参考】伊香保地区	5	0.0	80.0	60.0	20.0
【参考】小野上地区	4	0.0	50.0	0.0	100.0
子持地区	11	27.3	63.6	45.5	45.5
赤城地区	10	20.0	40.0	60.0	70.0
北橋地区	10	40.0	50.0	40.0	40.0

※各属性で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示

※10代は該当者がいないため非表示

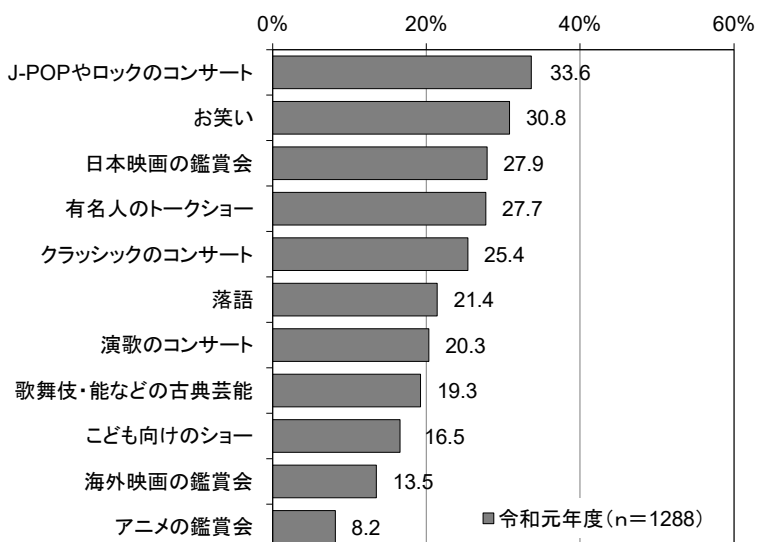
※20代、30代、40代、伊香保地区、小野上地区は該当者が10人未満であるため参考表示とし、色表示なし

5 市民会館について

問9 行ってみたいと思う市民会館事業

市民会館では様々な文化教養事業を企画しています。あなたが、行ってみたいと思う市民会館の事業は何ですか。（3つまで選択）

「J-POP やロックのコンサート」（33.6％）が 3 割以上で最も高く、次いで高い「お笑い」（30.8％）も 3 割以上となっています。



属性別に見ると、特に年代別で傾向の違いが見られ、10代から50代までは「J-POPやロックのコンサート」が最も高く、特に10代から40代では約6割から7割となっています。60代は「有名人のトークショー」(35.0%)が3割以上で最も高く、次いで「日本映画の鑑賞会」「クラシックのコンサート」(31.5%で同値)も3割以上となっており、特に高い項目は見られません。70代以上は「演歌のコンサート」(44.9%)が4割以上で最も高くなっています。また、10代は「お笑い」「有名人のトークショー」(57.1%で同値)が約6割、30代は「こども向けのショー」(47.8%)が約5割で比較的高くなっています。

(%)	n	J-POPやロック のコンサート	お笑い	日本映画の 鑑賞会	有名人の トークショー	クラシックの コンサート	落語	演歌の コンサート	歌舞伎・能などの 古典芸能	こども向けの ショー	海外映画の 鑑賞会	アニメの 鑑賞会
男性	587	29.8	29.8	26.9	25.4	25.4	24.5	21.8	16.4	14.8	15.0	7.5
女性	678	37.2	32.2	28.9	30.1	25.8	18.9	19.3	22.0	18.0	12.1	8.8
10代	28	71.4	57.1	14.3	57.1	10.7	7.1	0.0	21.4	0.0	17.9	14.3
20代	110	59.1	42.7	25.5	28.2	20.9	14.5	0.9	14.5	14.5	16.4	18.2
30代	157	61.8	31.8	24.8	22.9	15.3	11.5	2.5	9.6	47.8	14.6	17.2
40代	167	60.5	37.7	25.7	25.1	28.7	10.8	3.0	14.4	19.2	16.8	9.0
50代	205	44.9	30.7	29.8	29.8	26.8	20.0	10.7	22.0	12.7	14.6	6.8
60代	257	14.8	26.5	31.5	35.0	31.5	29.2	26.8	23.3	14.0	11.3	3.9
70代以上	352	5.1	24.1	29.0	22.7	25.9	29.0	44.9	22.7	7.4	10.8	4.0
渋川地区	594	36.5	30.0	30.3	28.6	25.6	19.0	16.8	17.3	16.8	15.2	9.1
伊香保地区	84	31.0	31.0	29.8	20.2	26.2	29.8	23.8	22.6	13.1	16.7	7.1
小野上地区	85	41.2	28.2	22.4	32.9	31.8	18.8	21.2	17.6	9.4	14.1	3.5
子持地区	186	26.9	31.2	26.3	25.3	25.3	23.1	25.8	16.7	16.7	10.2	8.6
赤城地区	174	29.9	33.9	27.0	28.7	27.6	20.7	27.6	22.4	20.1	10.3	7.5
北橘地区	155	32.3	31.0	24.5	28.4	18.7	25.8	16.8	25.2	16.8	11.6	7.7

※各属性で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示

問10 市民会館の文化教養事業企画への意見

市民会館の文化教養事業の企画について、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

108人から記述をいただきました。主なものを以下に示します。なお、原則として原文のままとしています。

- ・全国的に知名度の高い人を招いた催しを行い、渋川市をもっとアピールする。
- ・日本を代表する各界の著名人の講演会をやってほしい。選択肢の中の「クラシックのコンサート」「歌舞伎・能などの古典芸能」を除くと、文化教養事業と言える選択肢がありません。市民会館でいう文化・教養って「お笑い」「アニメ」「演歌」ですか。もっと渋川市の教養レベルを引っ張る企画をしてください。
- ・もっと有名な音楽家を呼ぶ、群馬出身の芸能人を誘致するなど、積極的に活用するようにしてほしい。
- ・様々な有名人を呼び、共通のファンの人との交流をすることで、市民同士の交流を図れる。
- ・渋川市（旧町村部も含む）出身またはゆかりのある人のイベントやトークショー、講演会等を開催してほしい。
- ・市民の中で長寿の方に、経験してきたことなどのお話しをしていただく機会をお願いします。
- ・発達障害や統合失調症など精神疾患などの講演会など。
- ・歴史・経済等の教養講座等を数多く開催してほしい。
- ・文化講座を多く開いてほしい。例えば健康のための講座や文学等。
- ・市民のための学会や講演など。
- ・映画の種類を増やしてほしい。ミュージカル映画などホールの音響を利用できるものなど。
- ・有識者やアスリート等の講演。
- ・オペラやバレエ企画はあまりないようで、ぜひリクエストします。
- ・有名人、美術家、漫画家等の作品が観たい。
- ・市民会館をホームにして劇団や楽団の育成、それに携わる人物の育成に目を向けた方がよい。
- ・一般市民の利用できるよう開放してほしい。
- ・市民会館友の会のようなものをつくってほしい。コンサート等1回利用で1ポイント、10ポイントになると1回無料の利用券がもらえるというものがあったら利用が増えると思う。
- ・駐車場が本庁舎・第二庁舎も使用可であるが、高齢になると移動が大変。家族の世話を頼むのも面倒。支所から無料のマイクロバスなどを発着させてもらえると助かる。チケット購入時に利用申し込みをするなど、無駄にならない方法も一考。
- ・幅広くいろいろな行事を行ってもらいたい。金額も安く。
- ・何をやっているか知らない。情報がない。
- ・駐車場が狭くて、車との間隔が狭いので止めにくく、車の台数が多く、止められる場所が近くにあるといいなと思う。
- ・駐車場について。先に駐車した人が先に出られるような方法を工夫してほしい（詰め込み駐車の場合）。

6 マイナンバーカードについて

問 1 1 マイナンバーカードの所有状況

あなたは、マイナンバーカードを持っていますか。(1つ選択)

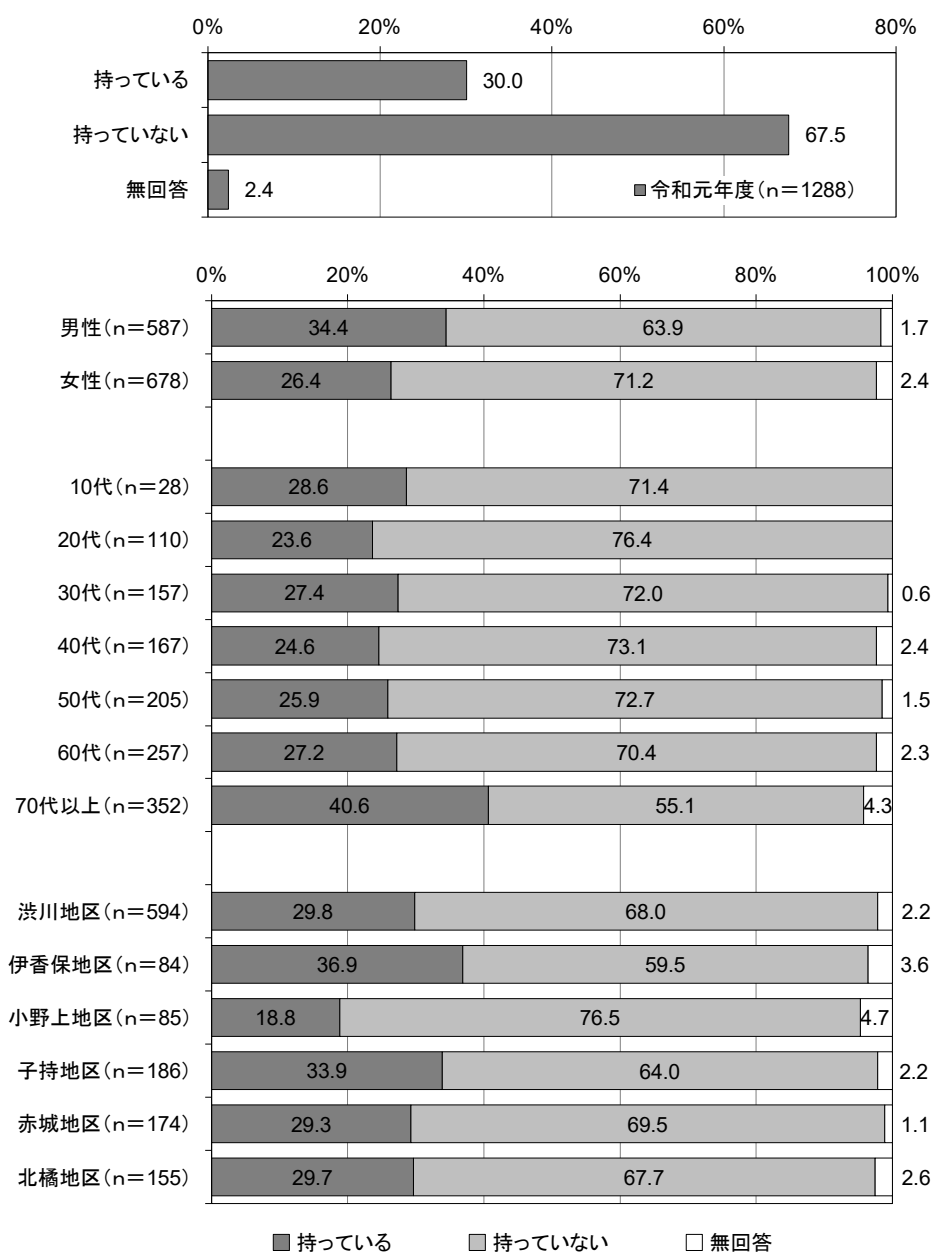
「持っている」(30.0%)が3割、「持っていない」(67.5%)が約7割となっています。

属性別に見ると「持っている」は性別では男性(34.4%)が3割以上、女性(26.4%)が2割以上で男性が高くなっています。

年代別では70代以上(40.6%)が4割以上で特に高く、それ以外の年代はいずれも2割台となっています。

地区別では伊香保地区(36.9%)が約4割で最も高く、小野上地区(18.8%)が約2割で特に低くなっています。

(参考)渋川市全体のマイナンバーカードの所有率は約8%です(令和元年6月30日現在)。

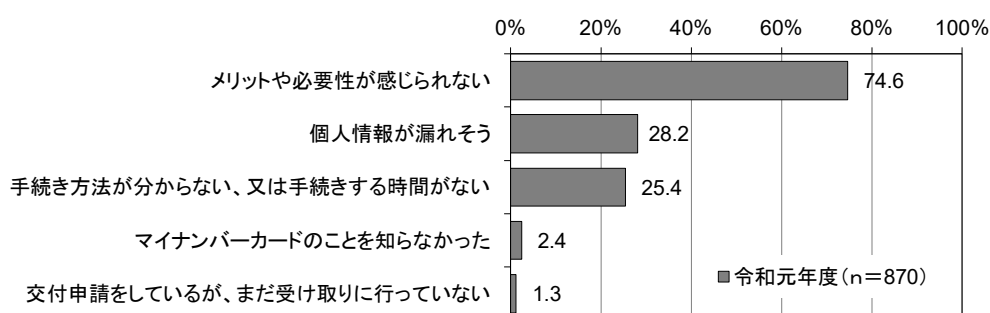


問 1 2 持っていない理由

あなたが、マイナンバーカードを持っていない理由は何ですか。(問 11 で「持っていない」の場合・全て選択)

「メリットや必要性を感じられない」(74.6%) が 7 割以上で特に高くなっています。次いで「個人情報が漏れそう」(28.2%) が約 3 割、「手続き方法が分からない、又は手続きする時間がない」(25.4%) が 2 割以上となっています。

属性別に見ると「メリットや必要性を感じられない」はいずれの属性でも特に高く、その中でも年代別の 60 代 (84.0%)、地区別の小野上地区 (81.5%) は 8 割以上となっています。次いで、年代別の 10 代から 40 代、地区別の伊香保地区、小野上地区、子持地区は「手続き方法が分からない、又は手続きする時間がない」、それ以外の属性は「個人情報が漏れそう」が高くなっています。



(%)	n	メリットや 必要性が 感じられない	個人情報が 漏れそう	手続き方法が 分からない、 又は手続きする 時間がない	マイナンバー カードのことを 知らなかった	交付申請を しているが、 まだ受け取りに 行っていない
男性	375	73.6	28.3	25.3	2.7	1.6
女性	483	75.4	28.0	25.5	2.3	1.0
10 代	20	60.0	15.0	30.0	5.0	10.0
20 代	84	67.9	26.2	34.5	2.4	0.0
30 代	113	78.8	24.8	34.5	1.8	0.9
40 代	122	65.6	22.1	33.6	0.8	0.8
50 代	149	77.9	24.8	24.8	1.3	1.3
60 代	181	84.0	38.7	17.1	0.6	1.7
70 代以上	194	71.6	28.4	18.0	6.2	1.0
渋川地区	404	75.0	28.7	23.8	3.5	1.7
伊香保地区	50	66.0	22.0	34.0	2.0	2.0
小野上地区	65	81.5	27.7	30.8	0.0	0.0
子持地区	119	74.8	21.0	26.1	2.5	0.0
赤城地区	121	70.2	29.8	22.3	2.5	1.7
北橘地区	105	78.1	35.2	26.7	0.0	1.0

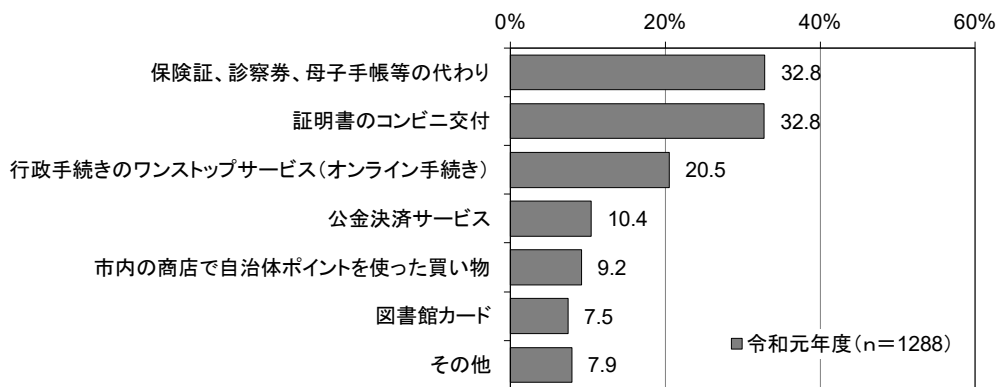
※各属性で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示

問 1 3 利用してみたいサービス

マイナンバーカードを利用したサービスについて、あなたが、利用してみたいと思うサービスは何ですか。（全て選択）

「保険証、診察券、母子手帳等の代わり」「証明書のコンビニ交付」（32.8%で同値）が3割以上、次いで「行政手続きのワンストップサービス（オンライン手続き）」（20.5%）が2割以上となっています。

属性別に見ると70代以上を除き、いずれの属性も「保険証、診察券、母子手帳等の代わり」「証明書のコンビニ交付」が上位2項目となっています。70代以上は「保険証、診察券、母子手帳等の代わり」（28.1%）が約3割で最も高く、次いで「行政手続きのワンストップサービス（オンライン手続き）」（16.8%）となっていますが、次いで「証明書のコンビニ交付」（15.9%）も同程度に高くなっています。



(%)	n	保険証、 診察券、 母子手帳等 の代わり	証明書の コンビニ 交付	行政手続き のワンストップ サービス (オンライン 手続き)	公金決済 サービス	市内の商店 で自治体ポ イントを使っ た買い物	図書館 カード	その他
男性	587	33.6	33.2	24.4	13.3	9.2	7.8	8.0
女性	678	32.2	32.7	17.6	8.1	9.1	7.2	8.1
10代	28	50.0	53.6	14.3	17.9	17.9	14.3	10.7
20代	110	40.9	38.2	17.3	7.3	12.7	14.5	7.3
30代	157	40.1	42.7	21.0	13.4	10.8	11.5	5.7
40代	167	37.1	43.1	25.7	10.2	11.4	11.4	9.6
50代	205	32.2	42.9	24.4	10.2	10.2	4.9	6.8
60代	257	27.2	31.1	21.4	11.3	8.9	5.1	8.9
70代以上	352	28.1	15.9	16.8	9.1	5.1	4.3	8.0
渋川地区	594	33.8	31.5	19.0	10.1	9.9	8.2	9.3
伊香保地区	84	28.6	35.7	20.2	14.3	8.3	3.6	2.4
小野上地区	85	23.5	30.6	21.2	10.6	8.2	3.5	8.2
子持地区	186	38.7	32.8	24.2	10.8	11.3	10.2	8.1
赤城地区	174	29.3	38.5	23.0	12.1	7.5	6.9	7.5
北橘地区	155	33.5	31.0	19.4	7.1	6.5	5.8	5.8

※各属性で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示

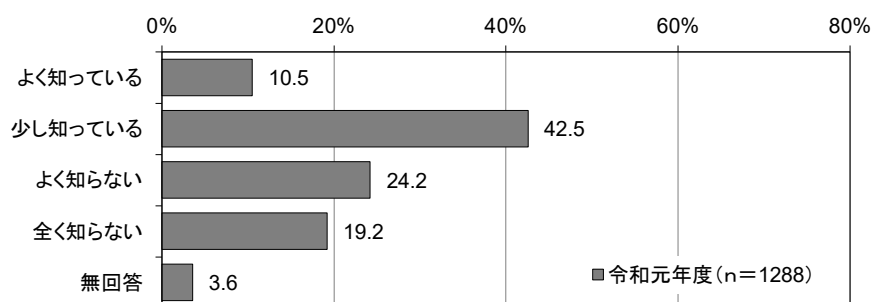
7 成年後見制度について

問 1 4 成年後見制度の認知度

あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。（1つ選択）

「少し知っている」(42.5%) が4割以上で特に高く、次いで「よく知らない」(24.2%) が2割以上となっています。

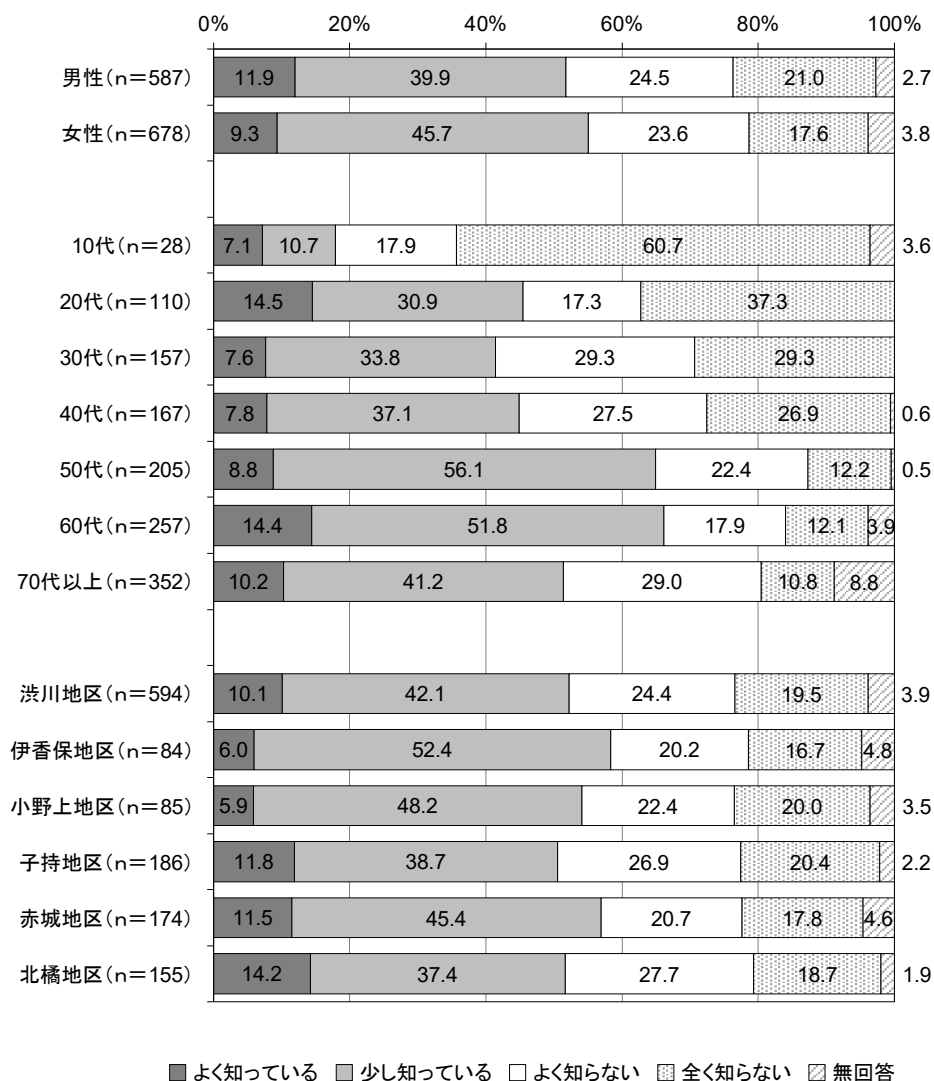
「よく知っている」(10.5%) と「少し知っている」の合計値『知っている』(53.0%) は5割以上、「よく知らない」(24.2%) と「全く知らない」(19.2%) の合計値『知らない』(43.4%) は4割以上となっています。



属性別に見ると、「よく知っている」と「少し知っている」の合計値『知っている』は、性別では大きな差は見られません。

年代別では差が大きく、60代、50代（それぞれ66.2%、64.9%）が6割以上で高い一方、70代以上（51.4%）は5割以上、20代から30代は4割台となっています。10代（17.8%）は2割未満で特に低い一方、「全く知らない」（60.7%）が6割以上で特に高くなっています。

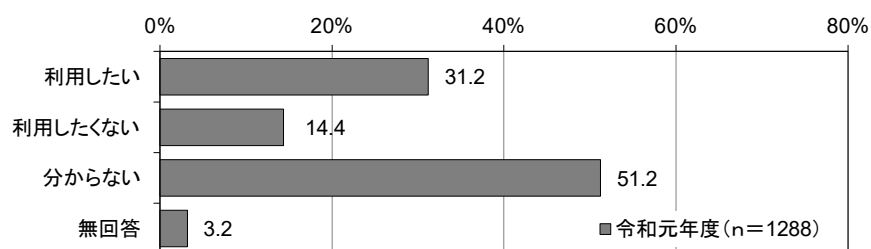
地区別では大きな差は見られませんが、伊香保地区、赤城地区（それぞれ58.4%、56.9%）が約6割で比較的高くなっています。



問 1 5 利用意向

あなたは、あなた自身や親戚が認知症等により判断が十分にできなくなったとき、後見人等を定めて権利や財産を守るための制度「成年後見制度」を利用したいですか。（1つ選択）

「分からない」（51.2%）が5割以上で特に高く、次いで「利用したい」（31.2%）が3割以上、「利用したくない」（14.4%）が1割以上となっています。

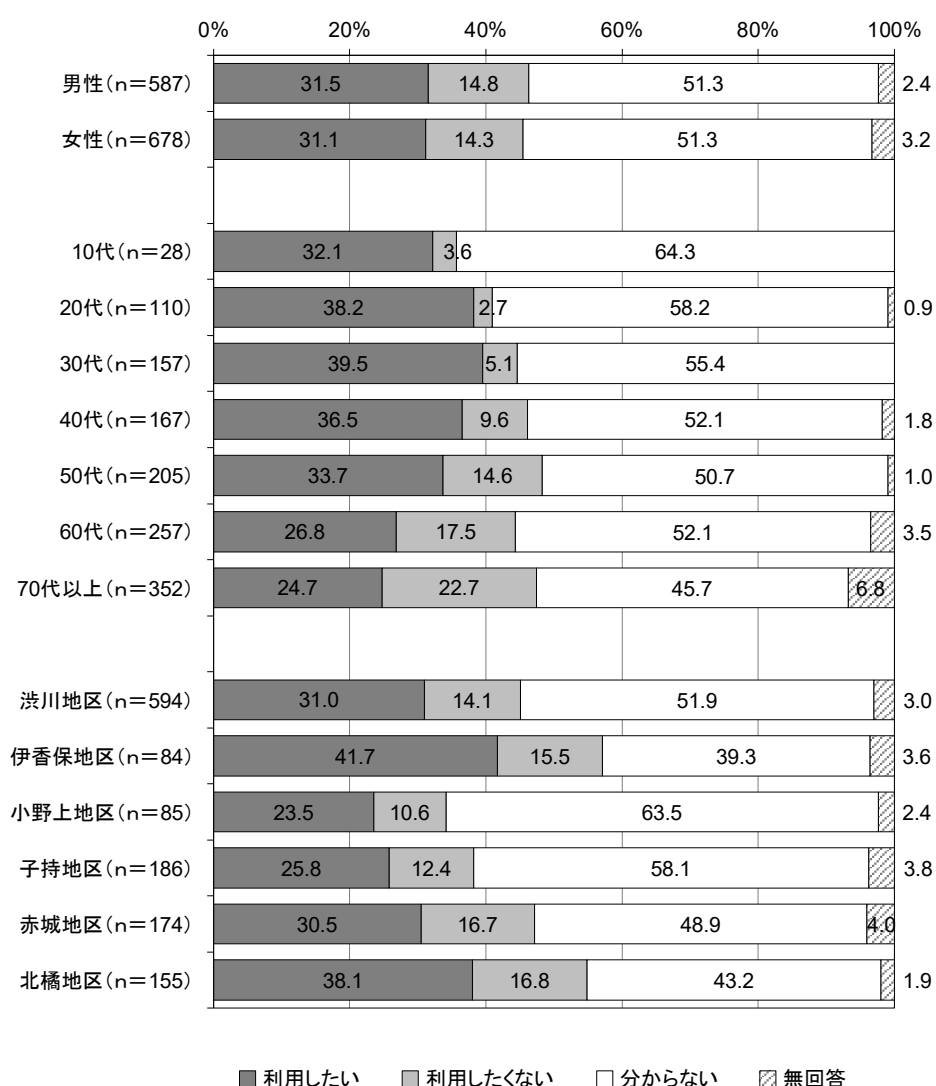


属性別に見ると、「分からない」は地区別における伊香保地区（39.3%）を除き、いずれの属性でも最も高くなっています。

性別では大きな差は見られません。

年代別では「利用したい」は20代、30代（それぞれ38.2%、39.5%）が約4割で比較的高くなっており、30代をピークに若い年代、高い年代ほど値が低くなる傾向がうかがえます。一方、「利用したくない」は概ね高い年代ほど高くなる傾向がうかがえ、70代以上（22.7%）は2割以上で、「利用したい」（24.7%）と同程度となっています。

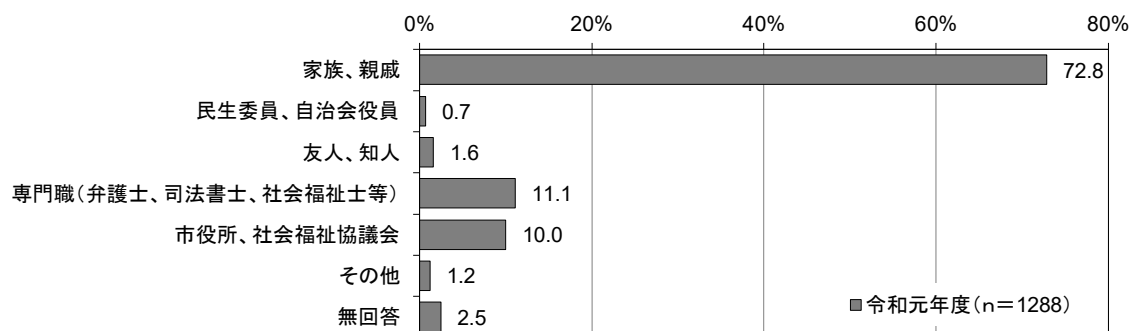
地区別では「利用したい」は伊香保地区、北橘地区（それぞれ41.7%、38.1%）が約4割で比較的高い一方、小野上地区、子持地区（それぞれ23.5%、25.8%）は2割以上で比較的低くなっています。一方、「利用したくない」は大きな差は見られません。



問 1 6 判断力が低下して不安を感じた時の相談先・相手

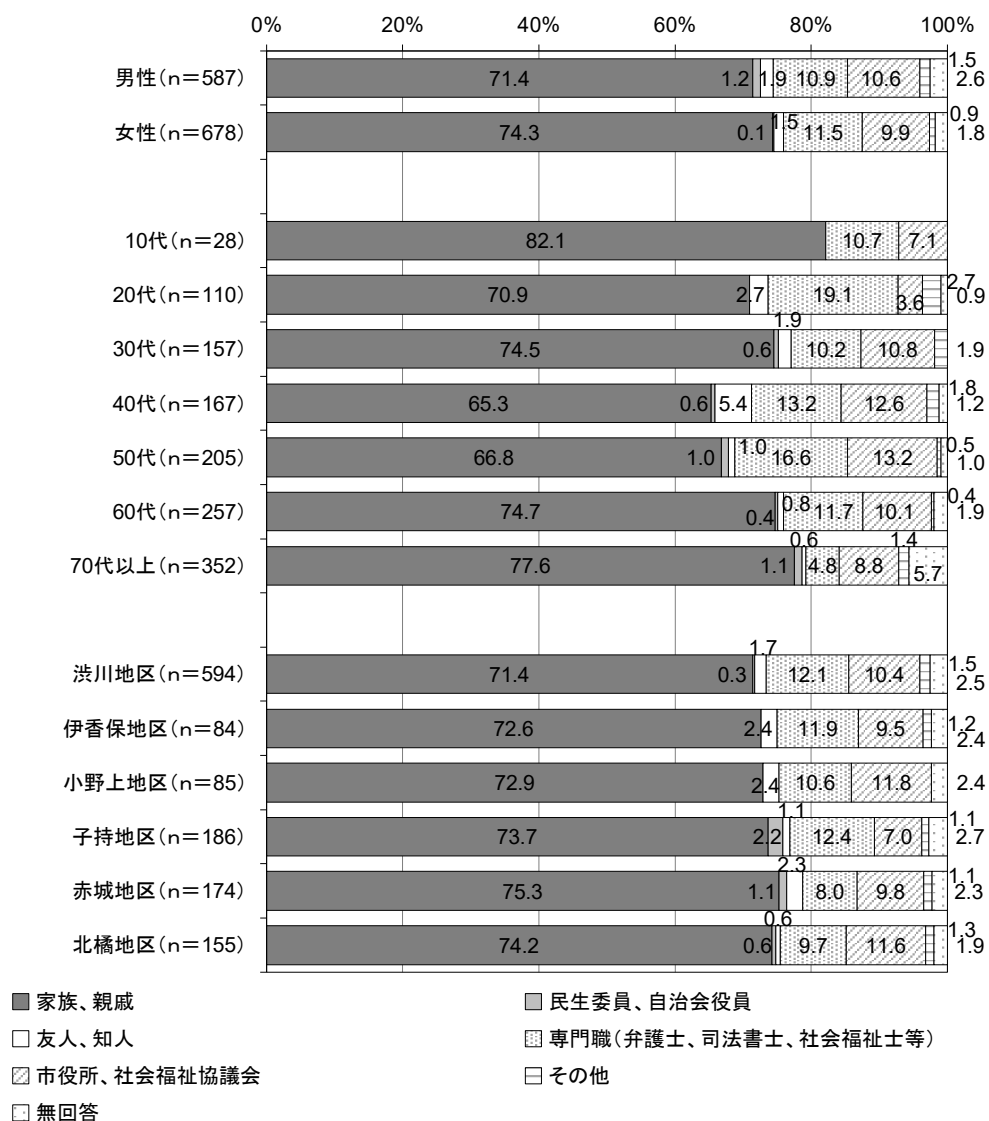
あなたが、もし加齢や病気等により判断能力が低下し、預貯金や不動産等の財産の管理、家族の世話、様々なサービスを利用するための契約行為に不安を感じたとき、誰（どこ）に相談しますか。（1つ選択）

「家族、親戚」（72.8%）が7割以上で特に高く、次いで「専門職（弁護士、行政書士、社会福祉士等）」（11.1%）、「市役所、社会福祉協議会」（10.0%）が1割以上となっています。



属性別に見ると、性別や地区別では大きな差は見られません。

年代別ではいずれの年代も「家族、親戚」が特に高くなっていますが、その中で10代(82.1%)は8割以上で比較的高い一方、40代、50代(それぞれ65.3%、66.8%)は6割以上で比較的低くなっています。



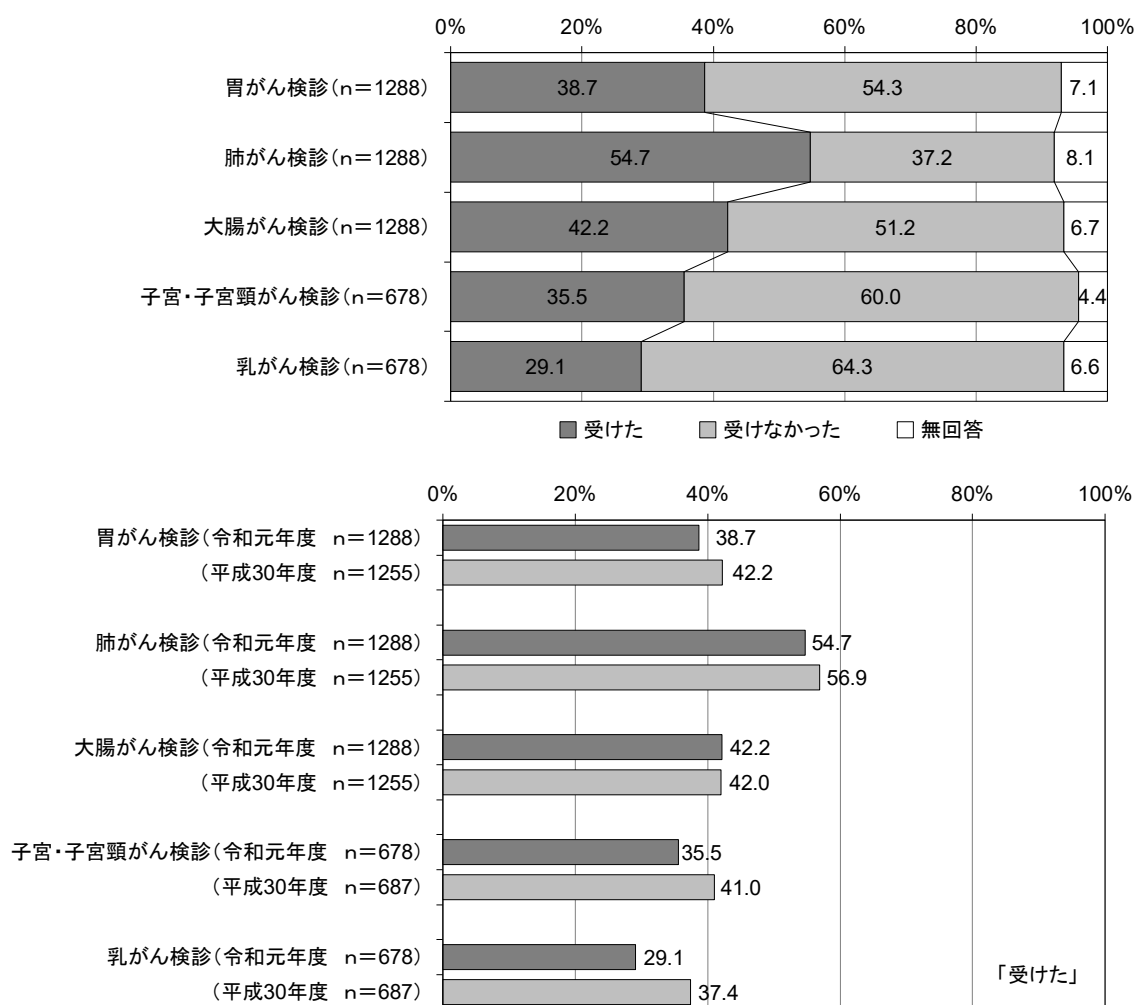
8 がん検診について

問 17・18 がん検診の受診状況

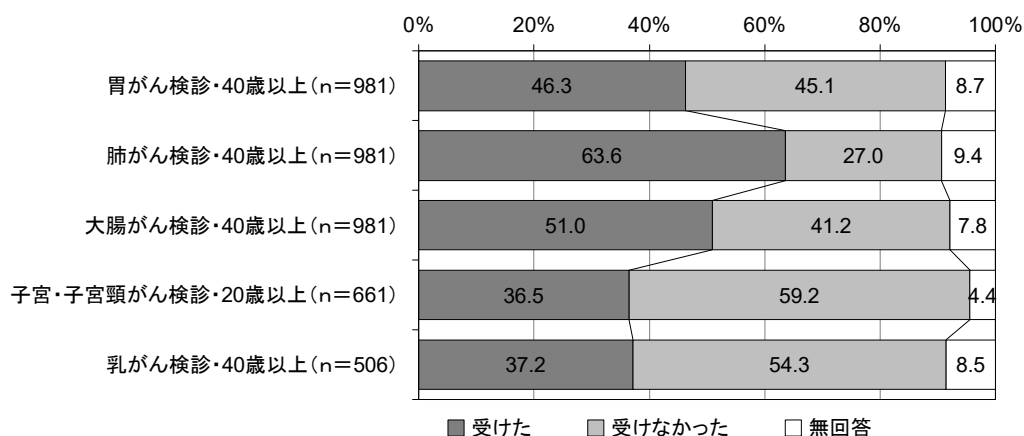
あなたは、平成30年4月から平成31年3月までに、次のがん検診を受けましたか。
検診を受けた人は、どのような機会に受けたかお答えください。（それぞれ1つ選択）

「受けた」は肺がん検診（54.7%）が5割以上で最も高くなっています。次いで、大腸がん検診（42.2%）が4割以上、胃がん検診（38.7%）が約4割となっています。

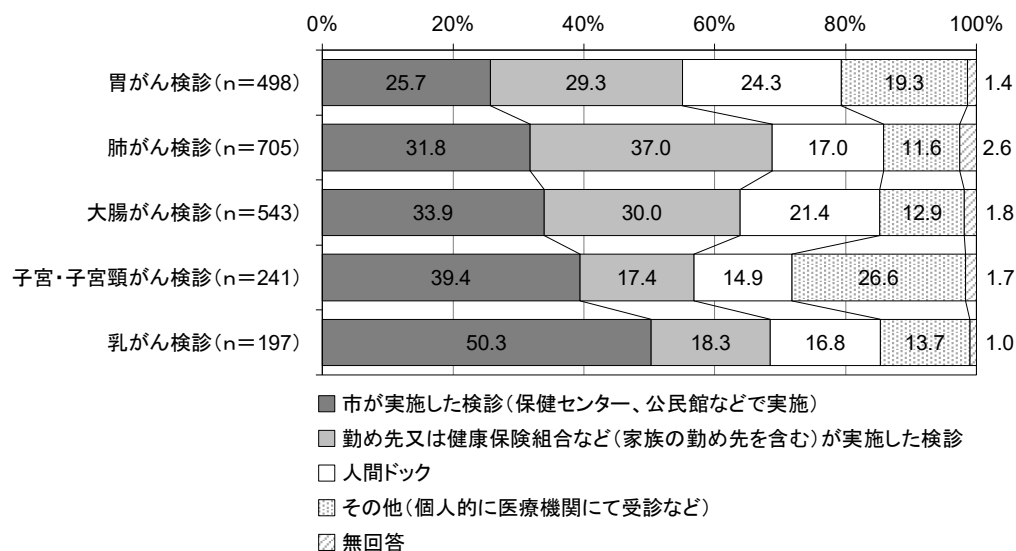
前回調査の結果と比較すると、「受けた」は大腸がん検診がH30年度（42.0%）と同程度となっていますが、それ以外の検診はいずれも若干低くなっており、その中でも乳がん検診（今回29.1%、H30年度37.4%）は8.3ポイント低下しています。



市が実施するそれぞれの検診の対象年齢（胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診は 40 歳以上、乳がん検診は 40 歳以上の女性、子宮・子宮頸がん検診は 20 歳以上の女性）で見ると、「受けた」は肺がん検診（63.6%）が 6 割以上で最も高くなっています。次いで、大腸がん検診（51.0%）が 5 割以上、胃がん検診（46.3%）が 4 割以上となっています。



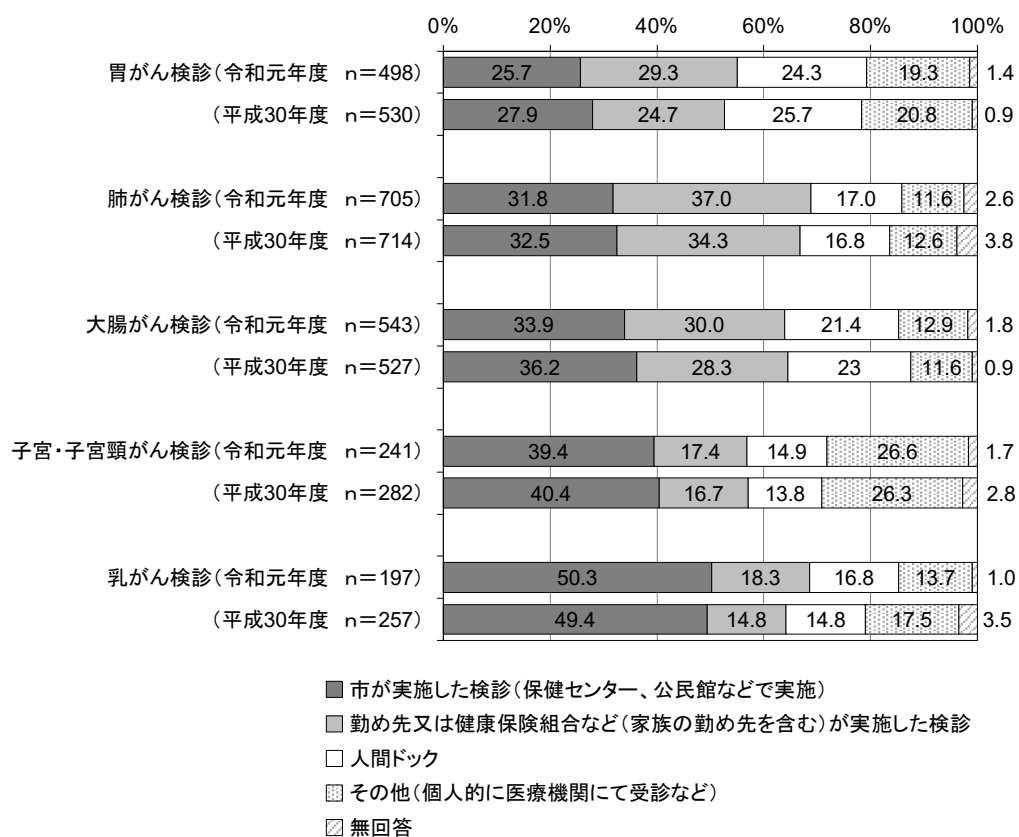
「受けた」機会は、大腸がん検診、子宮・子宮頸がん検診、乳がん検診は「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）※」（それぞれ 33.9%、39.4%、50.3%）が最も高く、乳がん検診では 5 割以上となっています。胃がん検診、肺がん検診は「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」（それぞれ 29.3%、37.0%）が最も高くなっていますが、子宮・子宮頸がん検診、乳がん検診を除き上記 2 項目の大きな差は見られません。



※子宮・子宮頸がん検診、乳がん検診では「市が実施した検診（保健センター、公民館、指定医療機関などで実施）」

※「市が実施した検診」は胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診は 40 歳以上、子宮・子宮頸がん検診は 20 歳以上女性、乳がん検診は 40 歳以上女性が対象

前回調査の結果と比較すると、大きな変化は見られません。



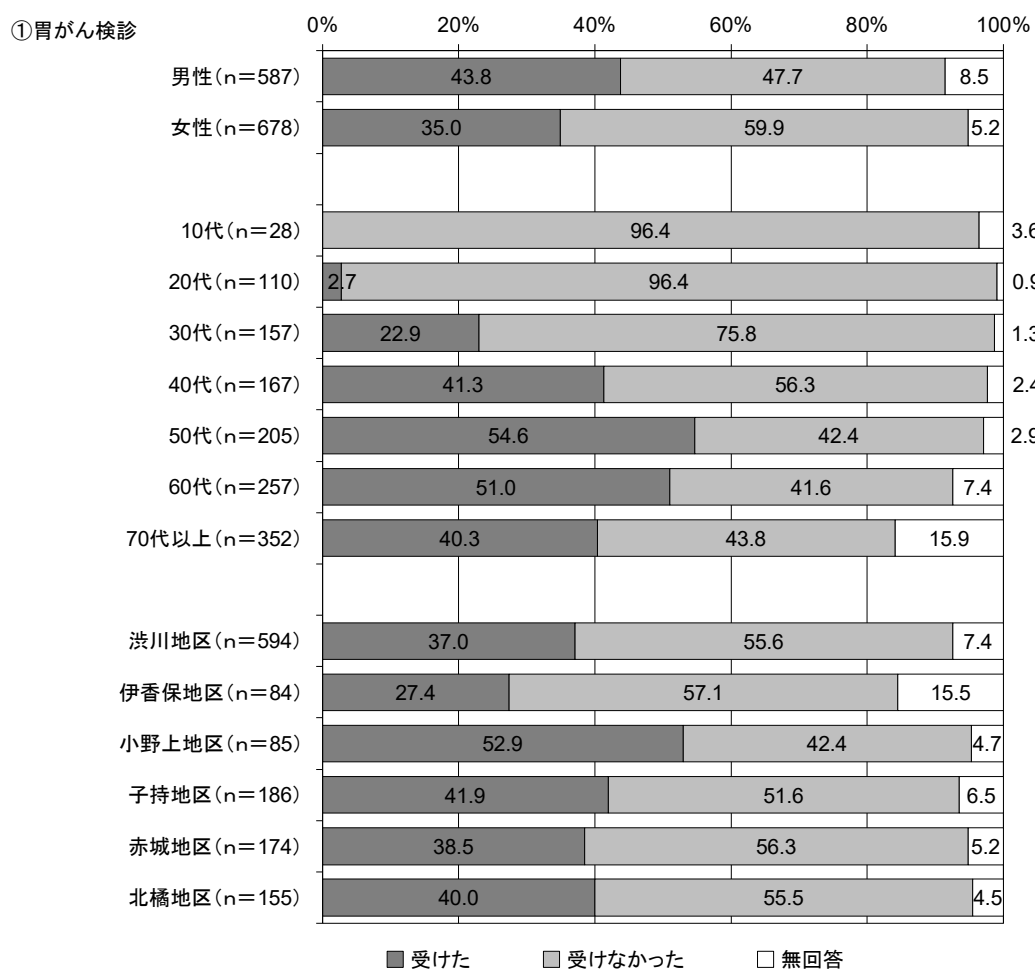
※平成30年度の「その他(個人的に医療機関にて受診など)」には「妊婦検診」(平成30年度のみ設定)を含む

問 1 7 ①胃がん検診（バリウムによるレントゲン撮影や内視鏡（胃カメラ）による撮影など）

「受けた」について属性別に見ると、性別では男性（43.8%）が4割以上、女性（35.0%）が3割以上で、男性が高くなっています。

年代別では50代（54.6%）が5割以上で最も高く、次いで高い60代（51.0%）も5割以上となっています。また、50代をピークに若い年代、高い年代ほど値が低くなる傾向がうかがえます。

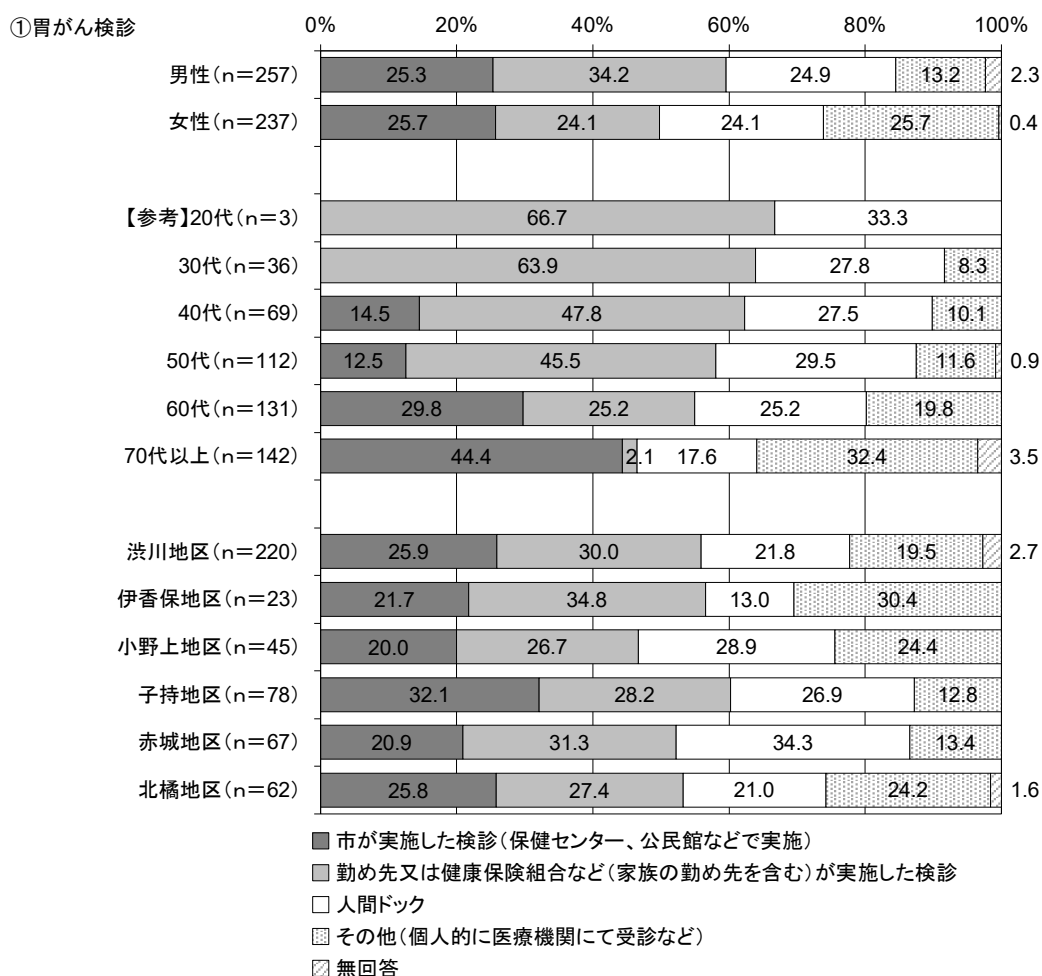
地区別では小野上地区（52.9%）が5割以上で最も高く、伊香保地区（27.4%）が約3割で最も低くなっています。



「受けた」機会について属性別に見ると、性別では男性は「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」（34.2%）が3割以上で最も高くなっています。女性はいずれの項目も2割以上で同程度となっています。

年代別では30代、40代、50代では「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」（それぞれ63.9%、47.8%、45.5%）が最も高く、特に30代は6割以上となっています。60代以上は「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」が最も高く、60代（29.8%）は約3割、70代以上（44.4%）は4割以上となっています。また、30代では「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」は見られません。70代以上は「その他（個人的に医療機関にて受診など）」（32.4%）も3割以上で高くなっています。

地区別では渋川地区、伊香保地区、北橘地区では「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」（それぞれ30.0%、34.8%、27.4%）が最も高く、伊香保地区は「その他（個人的に医療機関にて受診など）」（30.4%）も3割以上となっています。小野上地区、赤城地区は「人間ドック」（それぞれ28.9%、34.3%）が最も高くなっています。子持地区は「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」（32.1%）が3割以上で最も高くなっています。



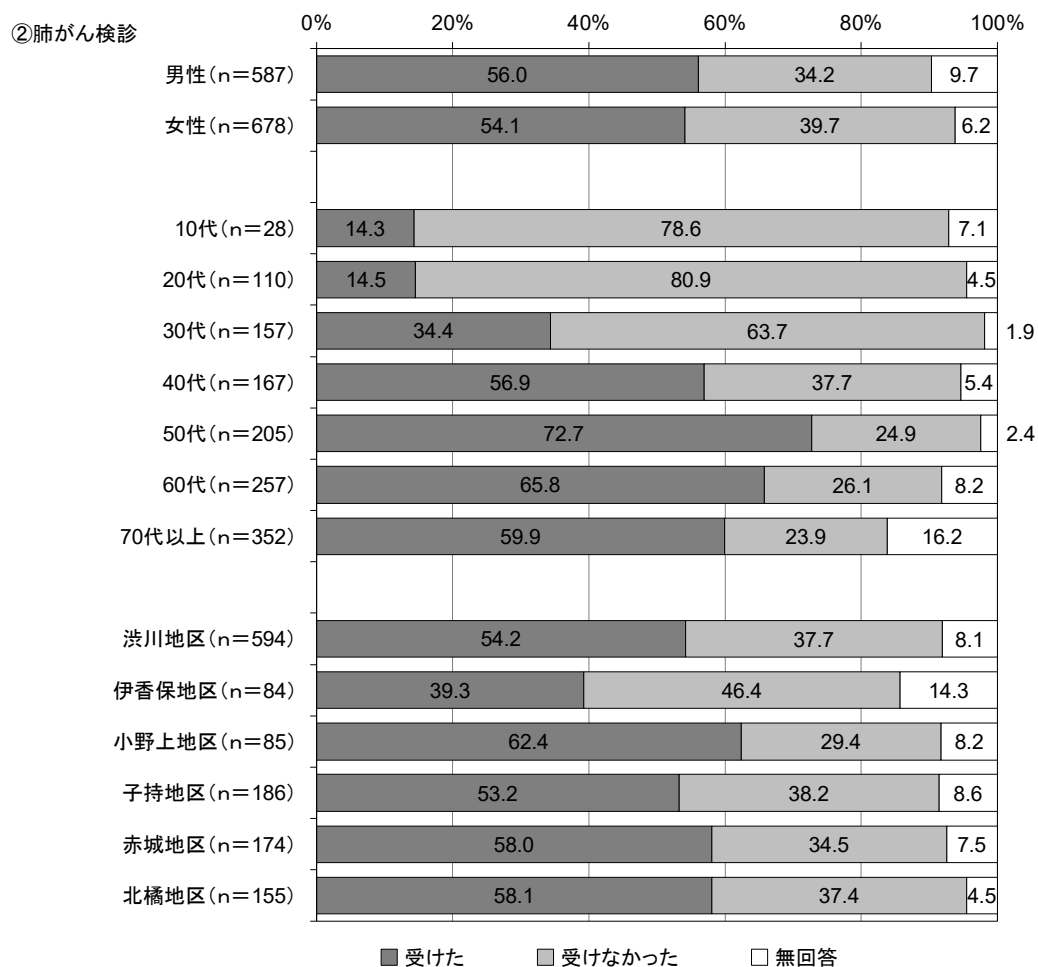
※10代は該当者がいないため非表示、20代は該当者が10人未満であるため参考表示
 ※「市が実施した検診」は40歳以上が対象

問 1 7 ②肺がん検診（胸のレントゲン撮影や喀痰（かくたん）検査など）

「受けた」について属性別に見ると、性別では大きな差は見られません。

年代別では50代（72.7%）が7割以上で最も高く、次いで高い60代（65.8%）も6割以上となっています。また、50代をピークに若い年代、高い年代ほど値が低くなる傾向がうかがえます。

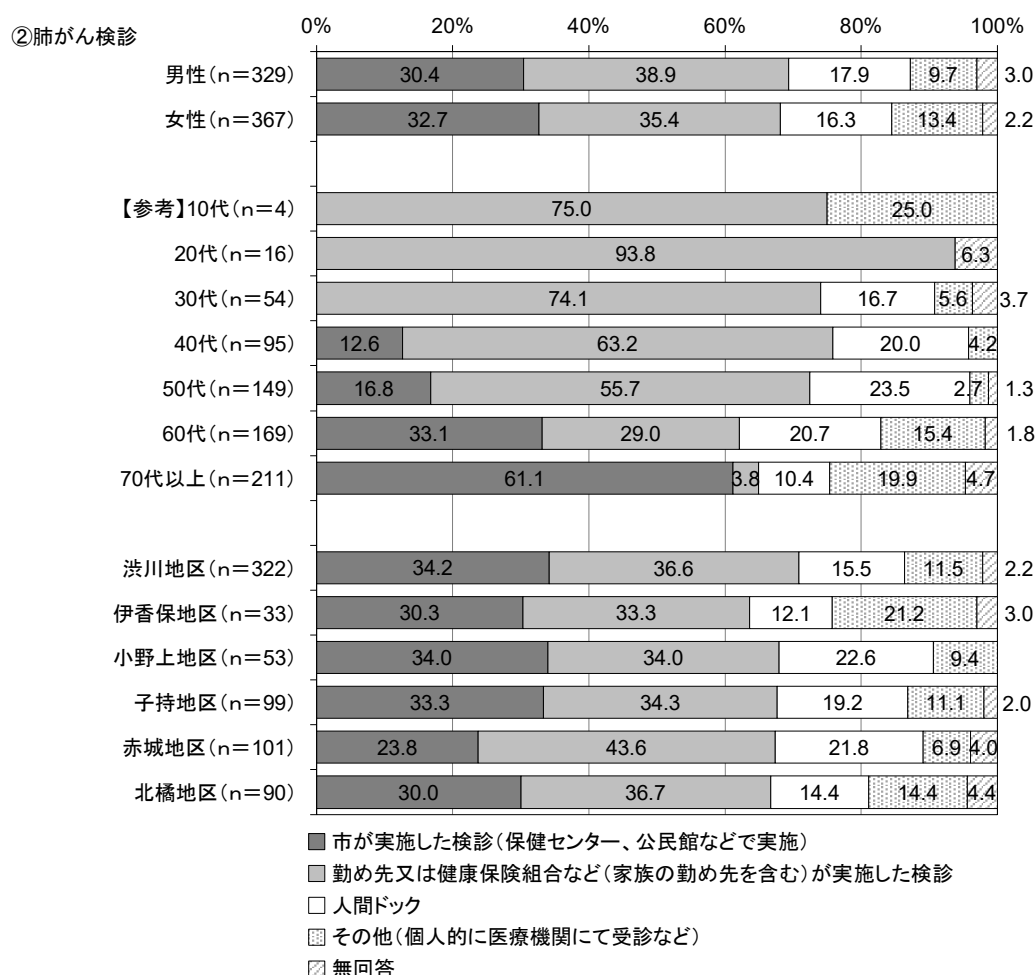
地区別では小野上地区（62.4%）が6割以上で最も高く、伊香保地区（39.3%）が約4割で最も低くなっています。



「受けた」機会について属性別に見ると、性別では大きな差は見られません。

年代別では20代から50代では「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」が最も高く、20代（93.8%）は9割以上、30代（74.1%）は7割以上と高くなっています。60代、70代以上では「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」（それぞれ33.1%、61.1%）が最も高く、特に70代以上では6割以上と高くなっています。また、「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」は、高い年代ほど高くなる一方、「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」は、若い年代ほど高くなる傾向がうかがえます。

地区別ではいずれの地区も「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」が最も高く（小野上地区は「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」（34.0%）と同値）、その中で赤城地区（43.6%）は4割以上となっており、「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」（23.8%）との差が見られます。



※10代は該当者が10人未満であるため参考表示

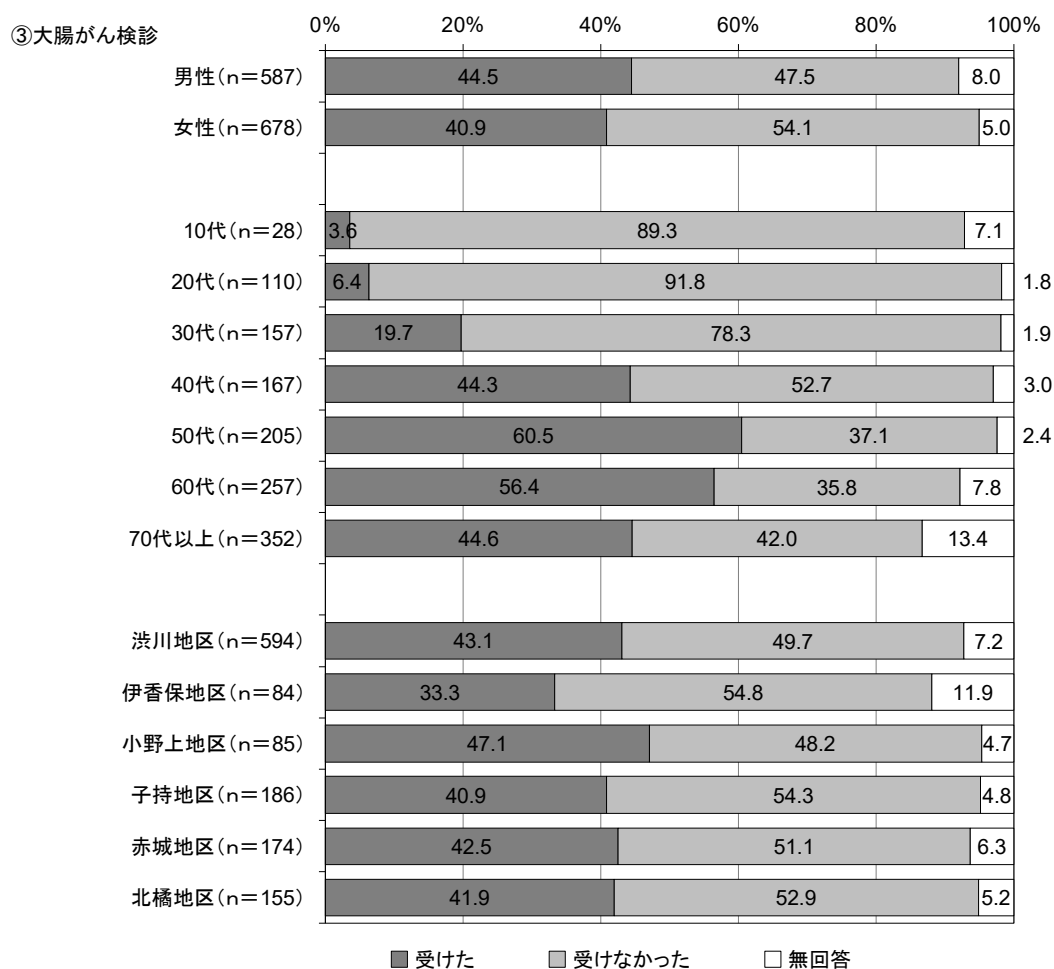
※「市が実施した検診」は40歳以上が対象

問 1 7 ③大腸がん検診（便潜血反応検査（検便）など）

「受けた」について属性別に見ると、性別では大きな差は見られません。

年代別では50代（60.5%）が6割以上で最も高く、次いで60代（56.4%）が5割以上となっています。また、50代をピークに若い年代、高い年代ほど値が低くなる傾向がうかがえます。

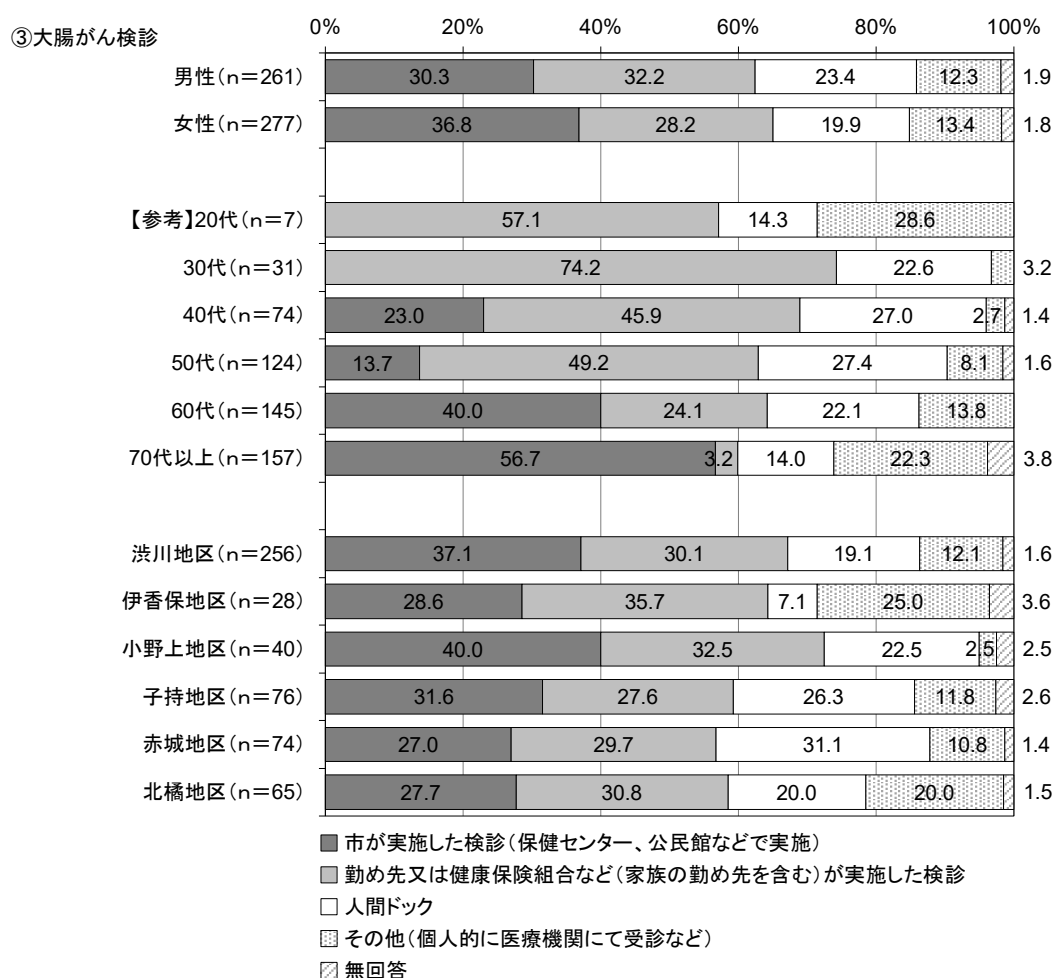
地区別では小野上地区（47.1%）が約5割で最も高く、伊香保地区（33.3%）が3割以上で最も低くなっています。



「受けた」機会について属性別に見ると、性別では男性は「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」（それぞれ 30.3%、32.2%）が 3 割以上で同程度に高くなっています。女性は「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」（36.8%）が約 4 割で最も高くなっています。

年代別では 30 代、40 代、50 代では「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」（それぞれ 74.2%、45.9%、49.2%）が最も高く、特に 30 代は 7 割以上と高くなっています。60 代、70 代以上では「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」（それぞれ 40.0%、56.7%）がそれぞれ最も高く、特に 70 代以上では約 6 割と高くなっています。また、「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」は、概ね高い年代ほど高くなる傾向がうかがえます。

地区別では伊香保地区、北橘地区では「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」（それぞれ 35.7%、30.8%）が 3 割以上で最も高くなっています。渋川地区、小野上地区、子持地区は「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」（それぞれ 37.1%、40.0%、31.6%）が最も高くなっています。赤城地区は「人間ドック」（31.1%）が 3 割以上で最も高くなっています。

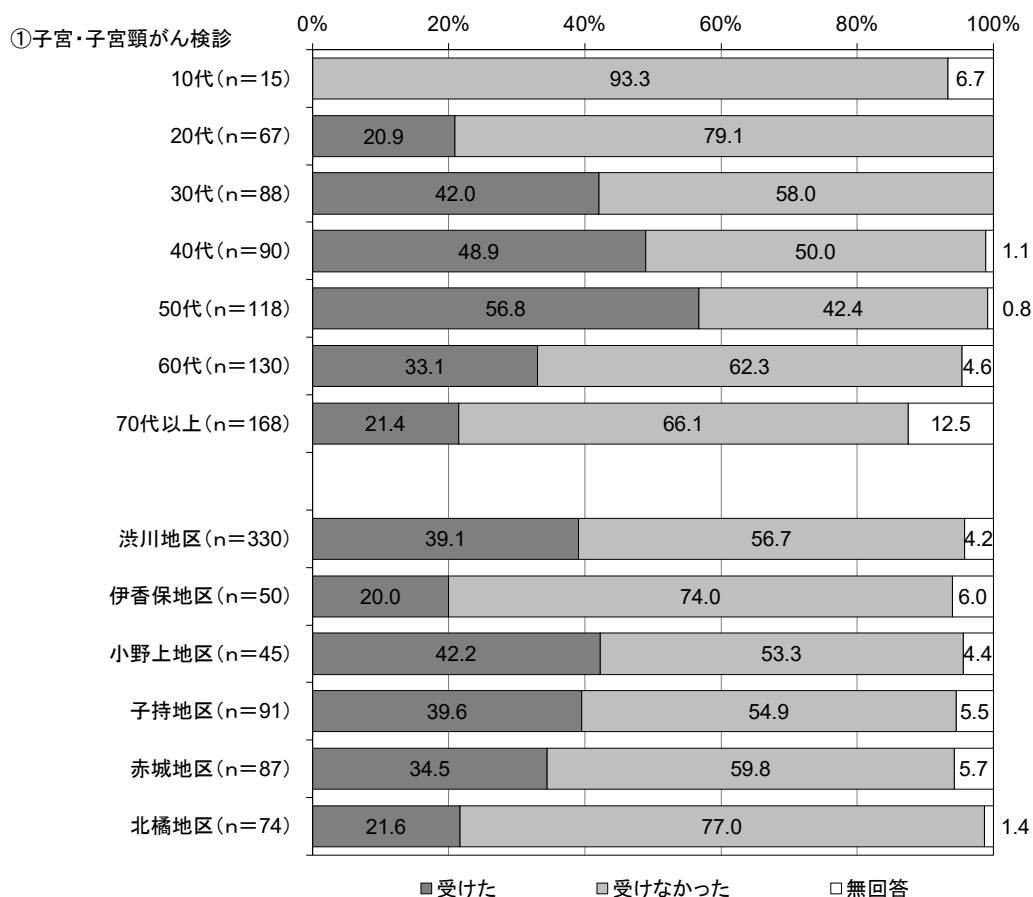


※10代は該当者が1人（無回答）であるため非表示、20代は該当者が10人未満であるため参考表示
 ※「市が実施した検診」は40歳以上が対象

問 1 8 ①子宮がん（子宮頸がん）検診（子宮の細胞診検査など）（女性のみ）

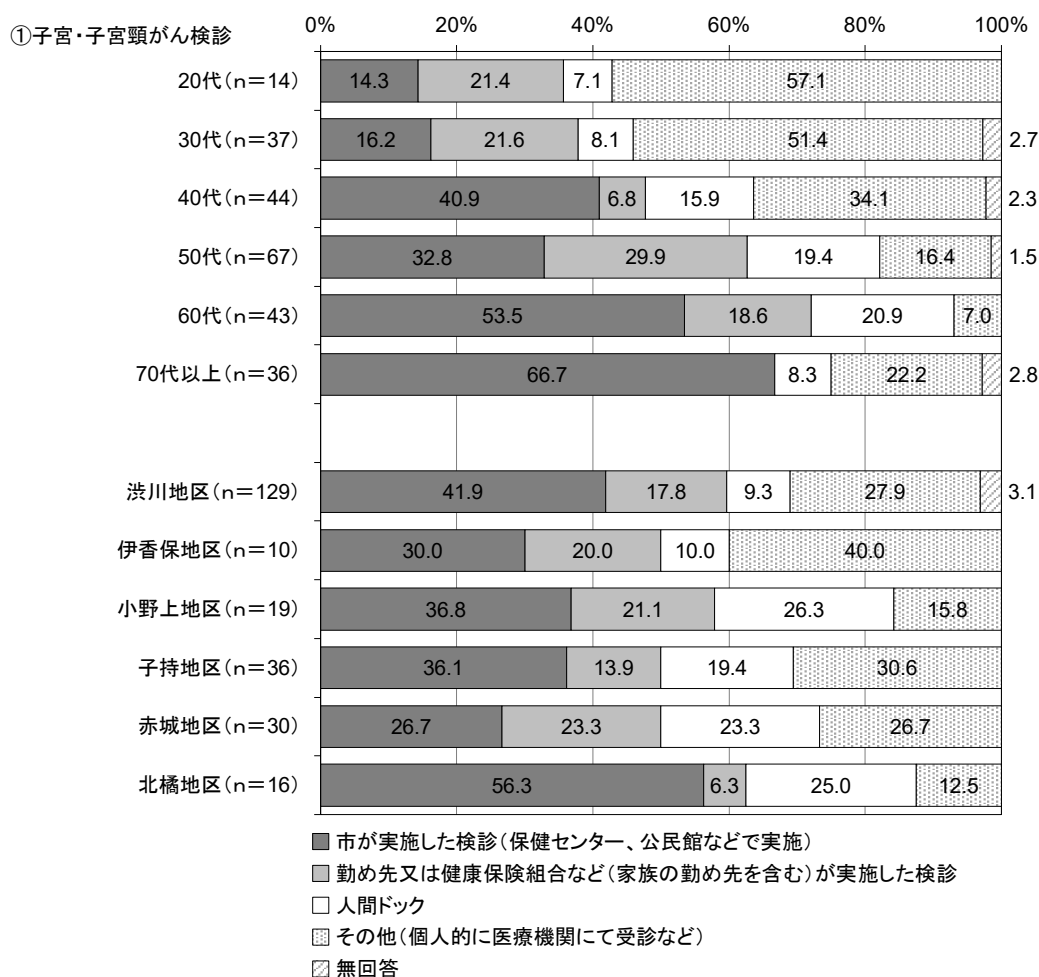
「受けた」について属性別に見ると、年代別では 50 代（56.8%）が約 6 割で最も高くなっています。また、50 代をピークに若い年代、高い年代ほど値が低くなる傾向がうかがえます。

地区別では小野上地区（42.2%）が 4 割以上で最も高く、次いで子持地区（39.6%）、渋川地区（39.1%）も約 4 割、赤城地区（34.5%）が 3 割以上となっています。一方、伊香保地区（20.0%）が 2 割で最も低く、北橘地区（21.6%）も同程度となっています。



「受けた」機会について属性別に見ると、年代別では、20代、30代は「その他（個人的に医療機関にて受診など）」（それぞれ57.1%、51.4%）が最も高く、20代は約6割、30代は5割以上となっています。40代以上は「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」が最も高く、40代は「その他（個人的に医療機関にて受診など）」（34.1%）、50代は「勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診」（29.9%）も高くなっています。60代、70代以上は「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」（それぞれ53.5%、66.7%）が特に高く、60代は5割以上、70代以上は約7割となっています。

地区別では伊香保地区を除き「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」が最も高く（赤城地区は「その他（個人的に医療機関にて受診など）」（26.7%）と同値）、特に北橘地区（56.3%）は5割以上となっています。伊香保地区は「その他（個人的に医療機関にて受診など）」（40.0%）が4割で最も高くなっています。



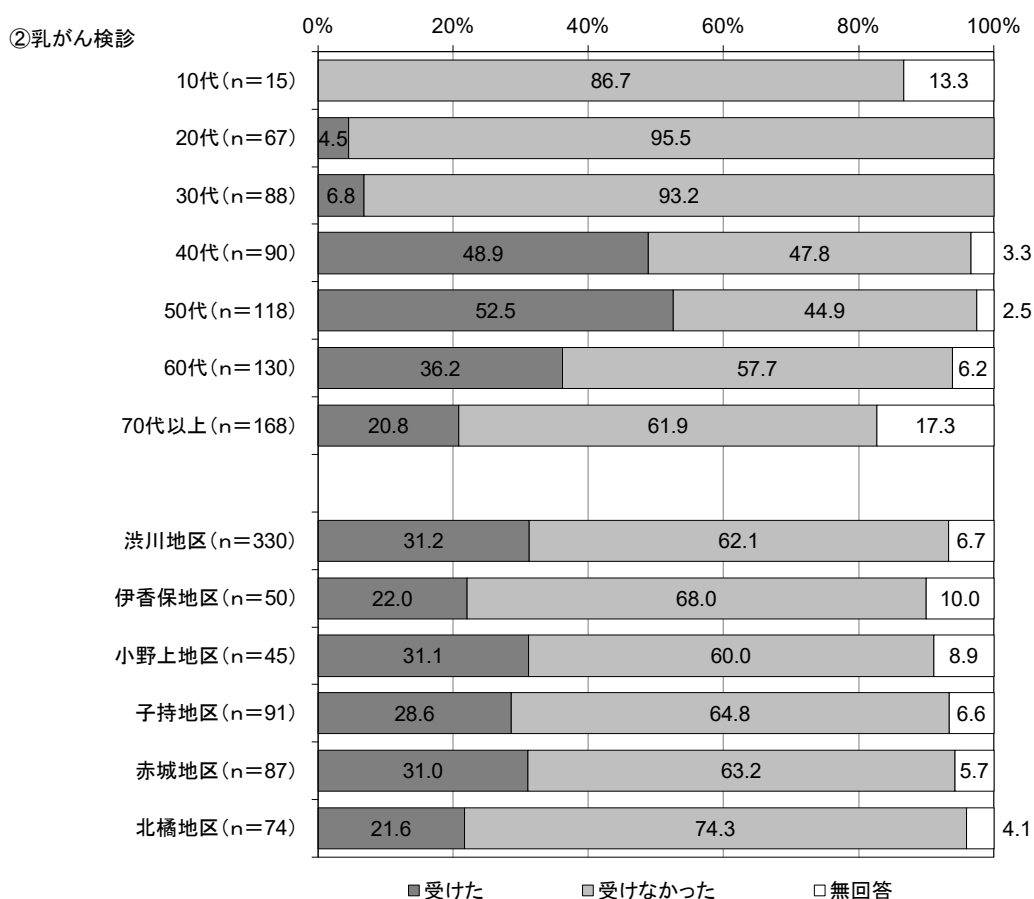
※10代は該当者がいないため非表示

※「市が実施した検診」は20歳以上女性が対象

問 1 8 ②乳がん検診（マンモグラフィ撮影や乳房超音波検査など）

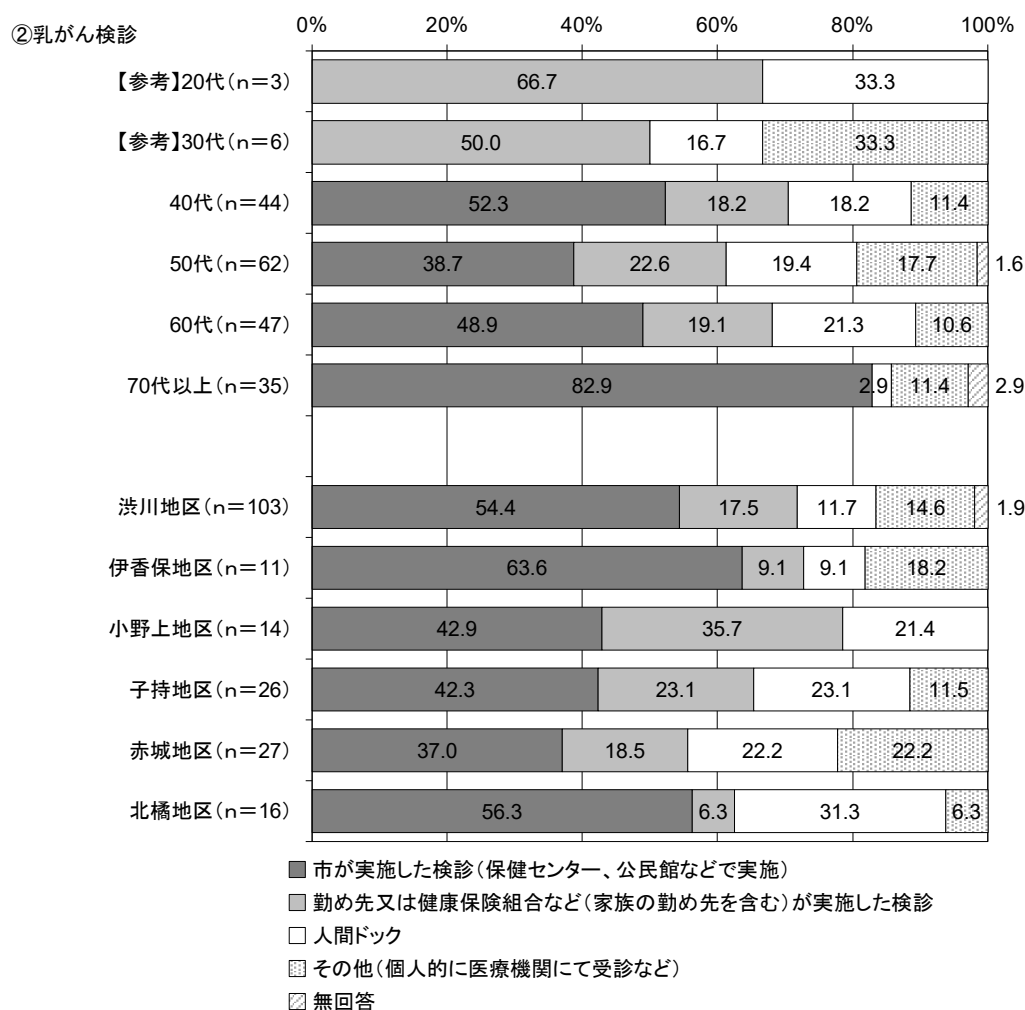
「受けた」について属性別に見ると、年代別では50代（52.5%）が5割以上で最も高く、次いで高い40代（48.9%）が約5割となっています。また、50代をピークに若い年代、高い年代ほど値が低くなる傾向がうかがえます。

地区別では大きな差は見られませんが、その中で、伊香保地区（22.0%）、北橘地区（21.6%）は2割以上で比較的低くなっています。



受けた機会について属性別に見ると、年代別では、40代以上はいずれも「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」が最も高く、70代以上（82.9%）は8割以上で特に高くなっています。

地区別ではいずれも「市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施）」が最も高く、伊香保地区（63.6%）では6割以上、渋川地区、北橘地区（それぞれ54.4%、56.3%）では5割以上となっています。また、北橘地区は「人間ドック」（31.3%）が3割以上で比較的高くなっています。



※10代は該当者がいないため非表示。20代、30代は該当者が10人未満であるため参考表示

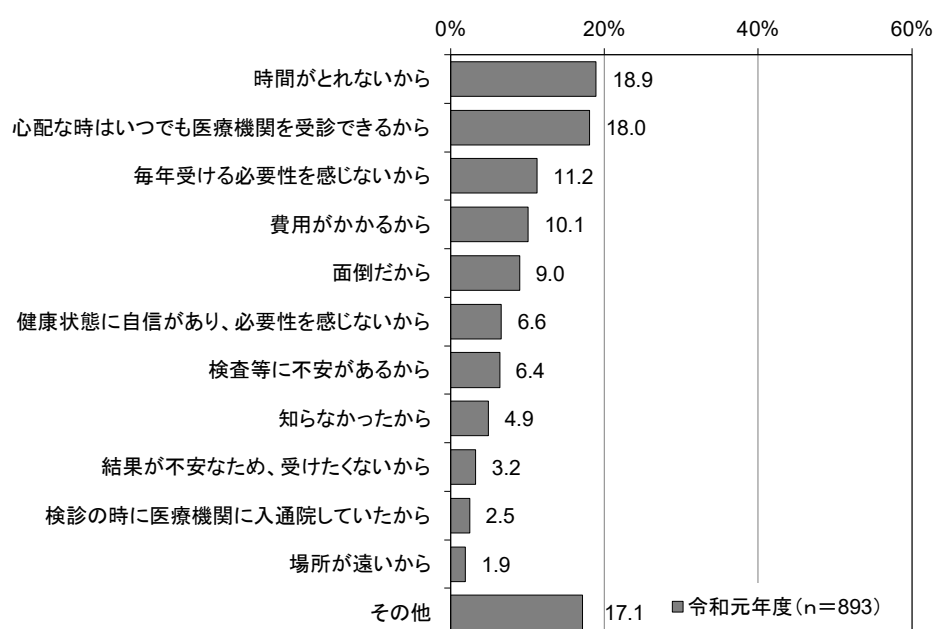
※「市が実施した検診」は40歳以上女性が対象

問 1 9 検診を受けなかった理由

あなたが、がん検診を受けなかった理由は何ですか。(問 17・18 のいずれかの検診を「受けなかった」場合・全て選択)

「時間がとれないから」「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」(それぞれ 18.9%、18.0%) が約 2 割で同程度に高くなっています。

属性別に見ると、ほとんどの属性で「時間がとれないから」「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」のいずれかが最も高くなっています。その中で、年代別の 10 代では「時間がとれないから」「知らなかったから」(18.5%で同値) が同値で高く、20 代も「時間がとれないから」(27.3%) に次いで「知らなかったから」(17.3%) が高くなっています。また、30 代は「費用がかかるから」(22.8%) が 2 割以上で比較的高くなっています。



(%)	n	時間がとれないから	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	感じないから	毎年受ける必要性を感じないから	費用がかかるから	面倒だから	健康状態に自信があり、必要性を感じないから	検査等に不安があるから	知らなかったから	結果が不安なため、受けたくないから	検診の時に医療機関に通院していたから	場所が遠いから	その他
男性	342	12.9	12.3	7.0	6.7	9.1	4.1	2.6	4.4	2.9	2.0	0.9	7.3	
女性	537	22.5	21.8	14.2	12.3	8.8	8.4	8.9	5.2	3.5	2.6	2.4	23.5	
10 代	27	18.5	3.7	3.7	14.8	14.8	14.8	3.7	18.5	0.0	0.0	0.0	33.3	
20 代	110	27.3	9.1	6.4	11.8	13.6	7.3	8.2	17.3	1.8	1.8	1.8	11.8	
30 代	136	33.8	8.1	10.3	22.8	11.8	5.1	7.4	8.1	4.4	2.2	4.4	25.7	
40 代	112	33.0	11.6	8.9	11.6	9.8	8.0	8.9	3.6	4.5	0.0	0.9	14.3	
50 代	119	19.3	16.8	16.0	10.1	11.8	4.2	5.9	0.8	4.2	0.8	0.0	20.2	
60 代	155	14.2	25.2	11.0	7.7	7.7	6.5	7.7	1.3	2.6	5.2	1.3	14.8	
70 代以上	227	2.2	28.6	14.1	1.8	3.1	7.0	3.5	0.9	3.1	3.1	1.8	13.7	
渋川地区	413	19.9	17.7	12.3	10.4	9.4	7.5	7.7	5.6	2.9	2.7	1.5	17.9	
伊香保地区	62	27.4	16.1	8.1	12.9	12.9	4.8	3.2	4.8	6.5	0.0	4.8	12.9	
小野上地区	57	10.5	14.0	8.8	5.3	8.8	5.3	3.5	0.0	1.8	1.8	0.0	17.5	
子持地区	129	15.5	19.4	9.3	6.2	5.4	6.2	6.2	7.0	1.6	3.1	1.6	22.5	
赤城地区	119	16.0	16.8	9.2	16.0	7.6	4.2	6.7	5.0	5.9	0.8	2.5	14.3	
北橘地区	107	21.5	22.4	14.0	7.5	10.3	8.4	4.7	2.8	2.8	3.7	1.9	13.1	

※各属性で最も高い値を濃色、次いで高い値を淡色で表示

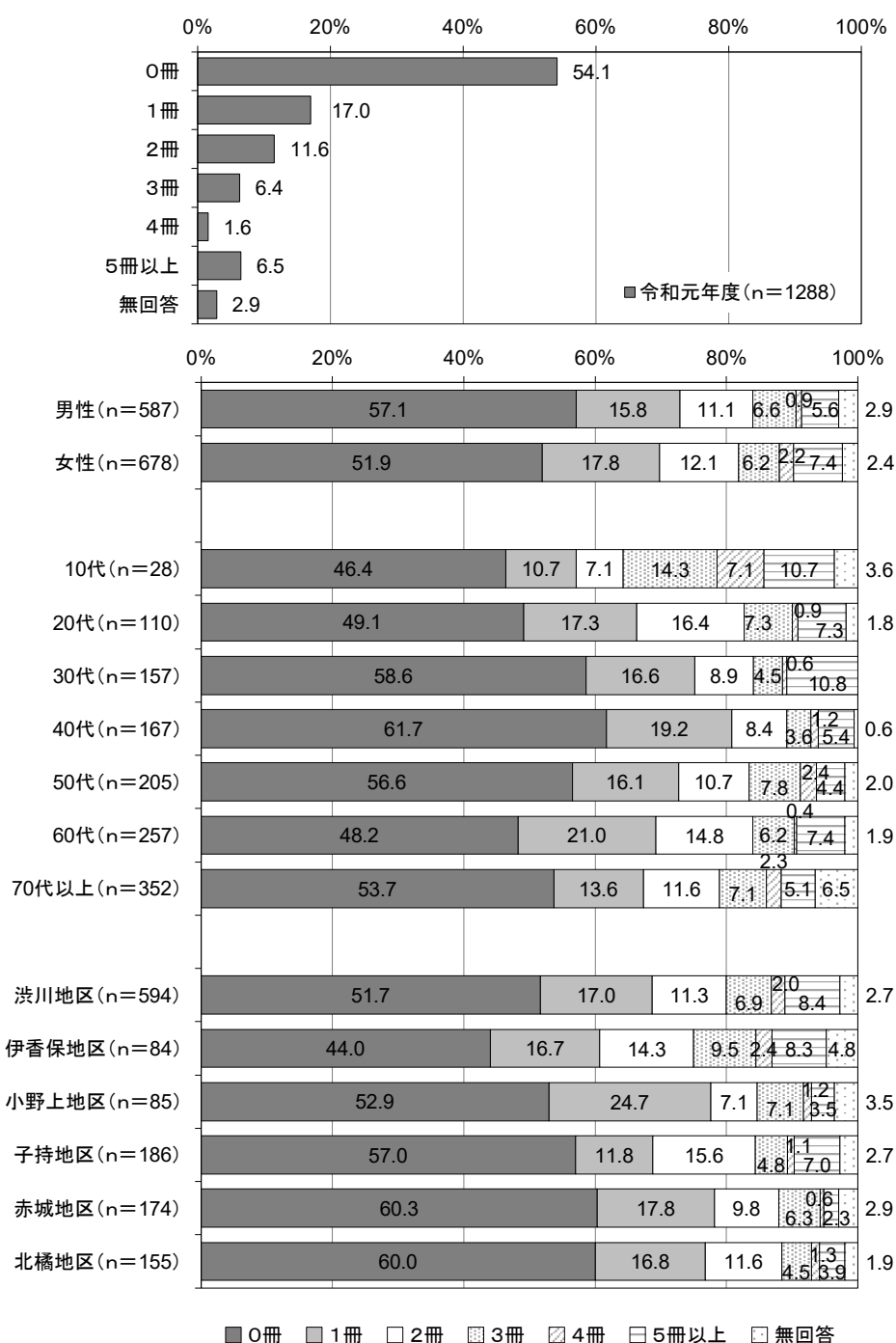
9 読書について

問20 紙の本の読書冊数

あなたは、先月1か月の間に紙の本を何冊ぐらい読みましたか。図書館や友人などから借りて読んだ本も入れてください（電子書籍・教科書・学習参考書・マンガ・雑誌を除く。）。（1つ選択）

「0冊」（54.1%）が5割以上で最も高く、次いで「1冊」（17.0%）が約2割となっています。

属性別に見ると、いずれの属性も「0冊」が最も高くなっています。

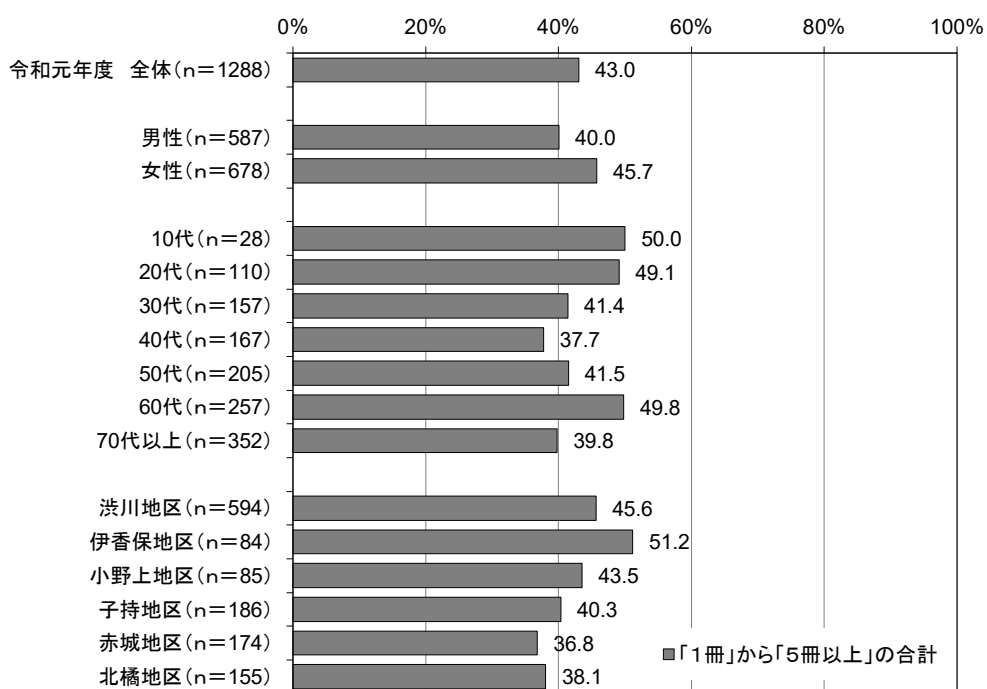


「1冊」から「5冊以上」までの合計値『読んだ』は、全体（43.1%）では4割以上となっています。

属性別に見ると、性別では男性（40.0%）、女性（45.7%）のいずれも4割以上で、女性が若干高くなっています。

年代別では10代、20代、60代（それぞれ50.0%、49.1%、49.8%）が約5割で比較的高く、40代（37.7%）が最も低くなっています。

地区別では伊香保地区（51.2%）が5割以上で最も高く、赤城地区（36.8%）が約4割で最も低くなっています。

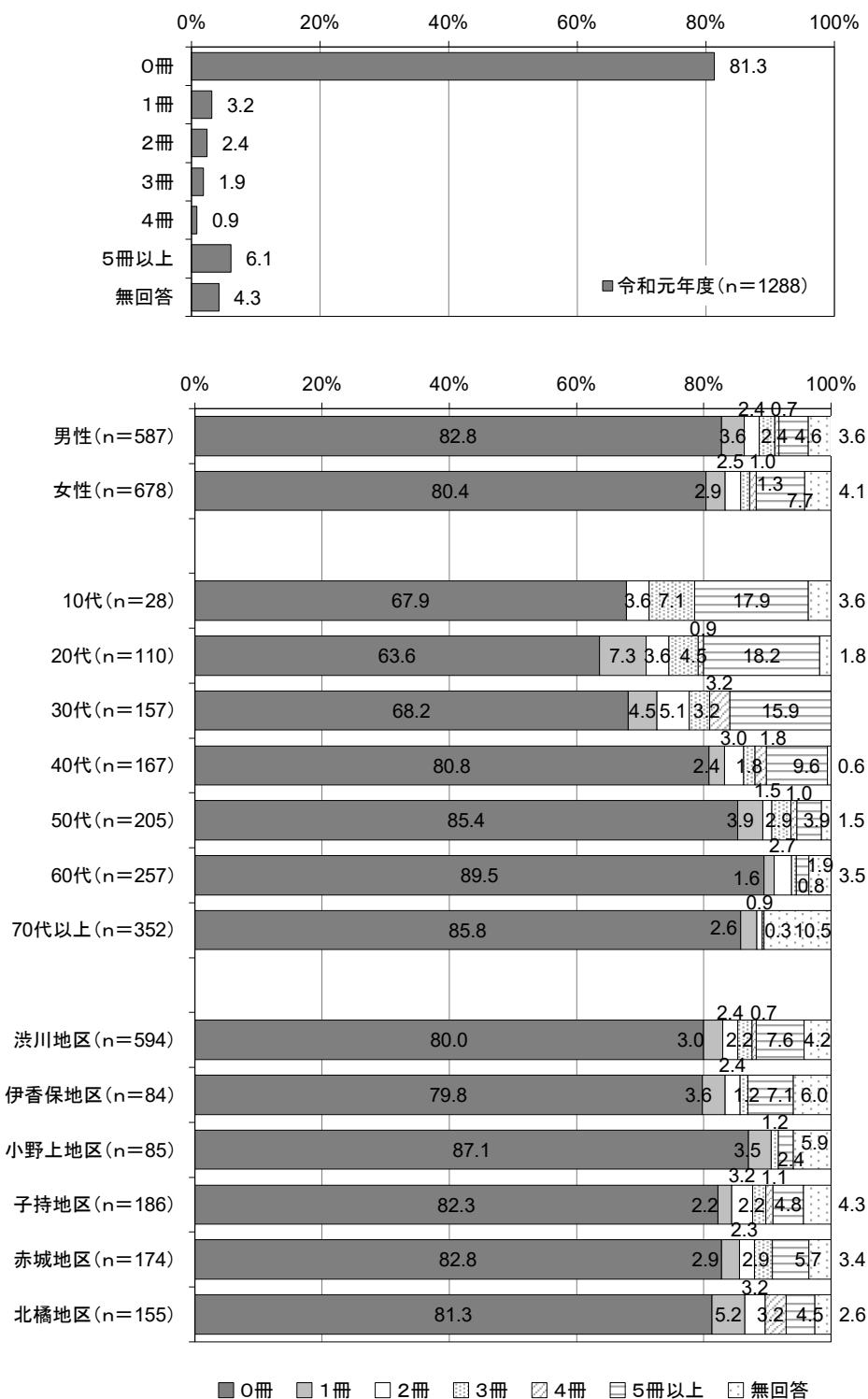


問 2 1 電子書籍の読書冊数

あなたは、先月 1 か月の間に電子書籍を何冊ぐらい読みましたか。電子図書館で借りて読んだ本も入れてください（マンガ・雑誌を含む。）。（1 つ選択）

「0 冊」（81.3%）が 8 割以上で特に高くなっています。

属性別に見ると、いずれの属性も「0 冊」が最も高くなっています。

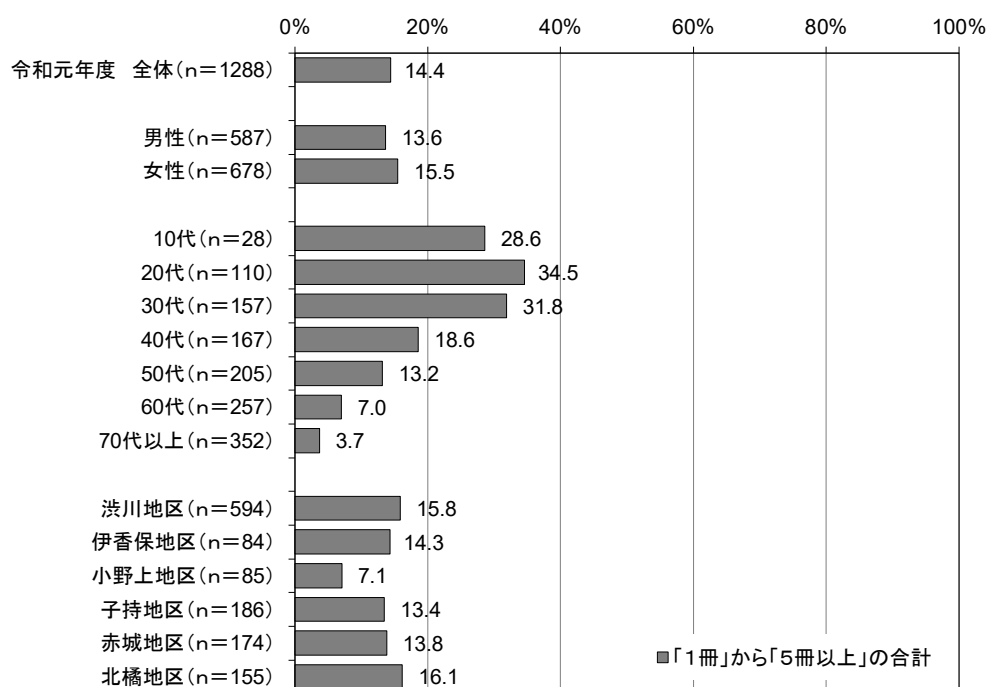


「1冊」から「5冊以上」までの合計値『読んだ』は、全体（14.4%）では1割以上となっています。

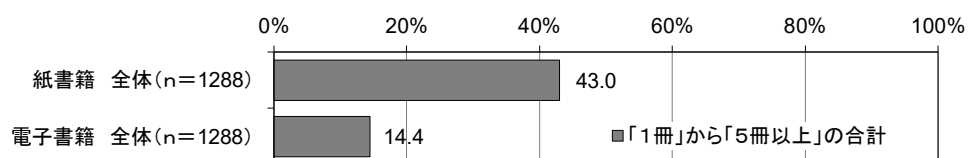
属性別に見ると、性別では大きな差は見られません。

年代別では20代、30代（それぞれ34.5%、31.8%）が3割以上で比較的高く、次いで10代（28.6%）も約3割となっています。また、20代をピークに若い年代、高い年代ほど値が低くなる傾向がうかがえ、60代、70代以上（それぞれ7.0%、3.7%）は1割未満となっています。

地区別では小野上地区（7.1%）が1割未満で低くなっていますが、それ以外の地区では大きな差は見られません。



「1冊」から「5冊以上」までの合計値『読んだ』について、全体値を紙書籍（問20）と電子書籍（問21）で比較すると、紙書籍（43.0%）が4割以上、電子書籍（14.4%）が1割以上で差が大きくなっています。

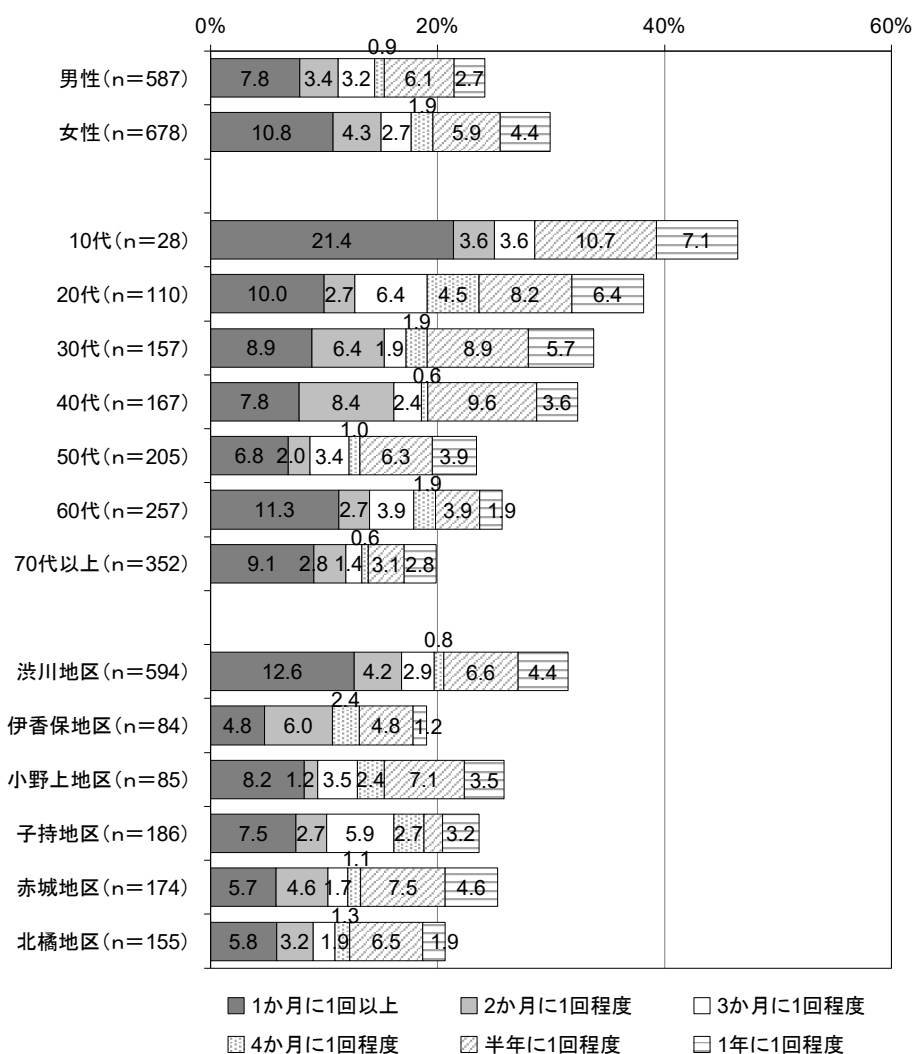
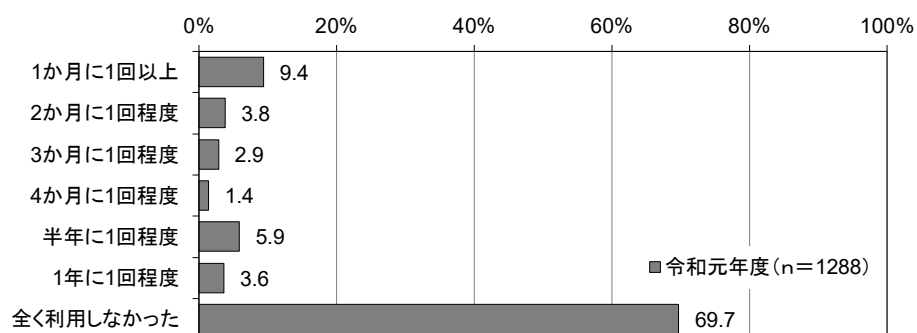


問 2 2 図書館の利用頻度

あなたは、平成30年1月から平成30年12月までに、どのくらいの頻度で図書館を利用しましたか。(渋川市外の図書館や、学校や公民館にある図書室などを含む。)(1つ選択)

「全く利用しなかった」(69.7%)が約7割で特に高くなっています。

「1か月に1回以上」から「1年に1回程度」までを属性別に見ると、10代は「1か月に1回以上」(21.4%)が2割以上で特に高くなっています。



※「全く利用しなかった」、無回答を非表示

10 市政について

問23 住みやすいまちづくりのために力を入れたいこと

あなたが渋川市の市長になったとしたら、市民が住みやすいまちをつくるために、どのようなことに力を入れたいですか。（自由記入）

555 人から意見をいただきました。これを現行の総合計画の 6 分野別に読み分けました。なお、複数の分野にまたがる内容についてはそれぞれの分野に整理、集計し、意見数は全 800 件となりました。

各分野に関する主な意見を以下に示します。なお、原則として原文のままとしています。

分野	意見数（件）
1 安全・安心、暮らし分野	94
2 健康、福祉、スポーツ分野	157
3 産業分野	133
4 都市基盤、自然環境分野	200
5 教育、文化分野	39
6 自治、協働、行財政分野	125
7 その他	52
合計	800

【1 安全・安心、暮らし分野】

- ・防犯対策に力を入れ、すべての市民が安心して住め、他地域からもモデルケースとして注目をあびるようにしたい。
- ・標示の消えかけた道路が多いので、補装も含めしっかり整備する。防災渋川がどこにいてもハッキリ聞こえるようスピーカーの調整や、放送者の選別にも取り組む。
- ・水がおいしくなるようにする。
- ・水道事業は絶対に民営化しない。
- ・若い世代が住みやすくなるよう空き家を格安で貸す。
- ・子どもが安心して住めるまち。防犯対策を強化してほしいです。
- ・将来年金収入だけになってしまうので、市営住宅の充実、アパート家賃等の補助があれば良いです。
- ・空き家、空き地について、壊した後の税金を高くしないでほしい。壊す前の額にする。草だらけで冬の火事が怖いので（空き家も同じく）、土地の管理をしっかりしたい。
- ・結婚して、渋川市が合併した後に住み始めましたが、皆が合併後はまったく良いことがないと言っています。出産しても良いサービスもなく、家を新築しても市外からの転入者には補助金とかあるのに、市内の人には全くなし。新築に伴う水道工事も市では負担してくれないので自己負担と、家を建てて渋川市に住む人に対して差がありすぎる。市内に住んでいる人をもっと大事にしてほしい。人口を増やすためなのかもしれないけど、人口を減らさないように、今住んでいる人々を大切にしてください。

【2 健康、福祉、スポーツ分野】

- ・妊婦さんや子育てをしている方々が生活しやすくなるサービス、場所、支援が充実するようにしていきたい。消費税の増税で生活が苦しくなってしまう方々への対応が行き届くような地域にしたい。介護で悩みをかかえている方々の声を聞き、今まで以上に手厚いサービス、支援を考えていきたい。
- ・子どもの医療費負担を無料にせず、わずかではあるが支払うよう負担する。なぜならば、無料のため軽い症状でもすぐに医者へ行き、薬を飲んでというケースを多く聞くため。
- ・もっと若いうちから乳ガン検診を受けられるようにするなど、年齢問わず希望者には受診できるようにする。
- ・平凡ですが、市民が安心して住んでいけるような市の対応が必要だと思います。今住んでいる周辺でも高齢化が進み、お子さんのいる家庭は2件のみ、あとは高齢者世帯や1人住まいの人が多くなり空き家も増えています。今後ますます高齢化が進む中、対策がなされることを望みます。安心して子どもを産み育てていける環境であり、高齢化の方々にも福祉や病院や生活しやすい環境ができることを個々のニーズに合わせて行えるようになったらと思います。
- ・子どもがスポーツをしやすいうようにしたい。

【3 産業分野】

- ・伊香保にもっと観光客を呼びこむために市全体でもっと観光都市となれるようなまちづくりをする。
- ・企業誘致して雇用促進による活性化。満足な働き場所が少ない。
- ・もう少し企業が採用してくれるよう働きかけたい。小さい子どもがいると採用してくれない企業が多い。
- ・最近、赤城では若い人達が少ない。特に子どもの姿がほとんど見られません。どうしたら若者が住んでくれるのか、戻って来てくれるのか。若い人達が働く場所が少ないのでしょうか。我が家でも子ども達は市外に働きに行ってます。市内で働く場所がつかれないのでしょうか。
- ・若い人も私みたいな50代の人にも資格がなくても、仕事できる所はないかな。いささか先行きが心配なので。

【4 都市基盤、自然環境分野】

- ・今現在、車がなくてはとても不便な所に住んでいるので、車の免許を返納した時に足がなくなり、病院、買い物、出かける時に交通機関を利用したくても遠くてできないのでとても不安に思う。年をとってもすぐに利用できる交通機関が便利になるようなことを考えてほしい。今の市のバスでは不便で困ります。
- ・高齢者免許返納した人へのタクシー代、バス代の援助。
- ・JRとタイアップ、タクシー会社との連携（支援を含む）。
- ・ごみのないまち（ポイ捨て、不法投棄、時間外持ち出し等のないまち）とごみの減量。
- ・美しいまちづくり。渋川市は自然に囲まれた豊かさを持っているので、自然環境を整備し、騒々しいまちでなく、静かで空気がきれいで、都会型でなく、ビレッジ的な市を目指してほしい。
- ・エコなまちづくり。ゴミを減らし、リサイクルを充実させたい。細かく素材別に分別し、回収できるリサイクルステーションを設置する。

【5 教育、文化分野】

- ・自分自身が住みやすいまちではなく、50年後、100年後の子や孫の世代が住みたいと思えるまちをつくるための行政であってほしいと思います。そのため、まずは子どもの環境を整備したいです。学校の施設ではなく、教育の内容を見直すこと。他と同じ内容ではなく、渋川独特の教育内容を考え、特色ある教育の市としたいです。その子ども達が、その50年後、100年後の渋川を創造していってくれると思います。
- ・市民に対し、教養、社会知識の啓蒙に努力（市民教育）
- ・短大、大学、専門学校等、市内には少なすぎて市外まで通学が大変です。
- ・小中高一貫的な考え方で進学率アップを図りたい。
- ・不登校になってしまった子どもが通えるフリースクールみたいな所、スクールカウンセラー常駐。
- ・教育にかけるお金は惜しまない。学校給食は無添加で安心なものにする。
- ・旧渋川公民館のあり方の是正、旧公民館に主権を持たせる（中央公民館が機能していない）。
- ・道路や建築物に投資せず、文化面に力を入れてください。

【6 自治、協働、行財政分野】

- ・新しい施設はつくりず、既存の施設を充分に利活用する。何でも無料にせず、たとえ少額でも受益者負担をさせる。一部の地域でなく、全地域の発展を望み、予算の分散化を図る。
- ・障害者が安心して暮らせるまちづくり
- ・市民の声をできるだけ聞くこと。要望等多くあると思うが、まず本当に必要とした所から手をつけること。そしてできないことはできないとはっきり説明すること。まずこの3点に力を尽くす。
- ・ボランティアやNPO法人などを最大限活用、募集して、地域（特に旧町村部）の活動の活性化を図る。一部の旧町村部の過疎化は深刻だと思います。
- ・市民の不満（合併したことによる）を聞き出す。各地の代表を選出し意見交換をする。マイナスイ見を改善するように取組をする。渋川市中心のみの発展では意味がないです。
- ・まず、市長としてリーダーシップをとり、生き生きと市政に取り組みたいです。そのためには、市の職員という優秀有能な方々を十分活用したい。そもそも、せっかく人々のうらやむ市職となった方々なのにその表情は暗く、みな下を向いているばかり。その方々が顔を上げ、自信を持って仕事を笑顔でやってくださること、それだけでずいぶん渋川が活性化していくことだと思う。

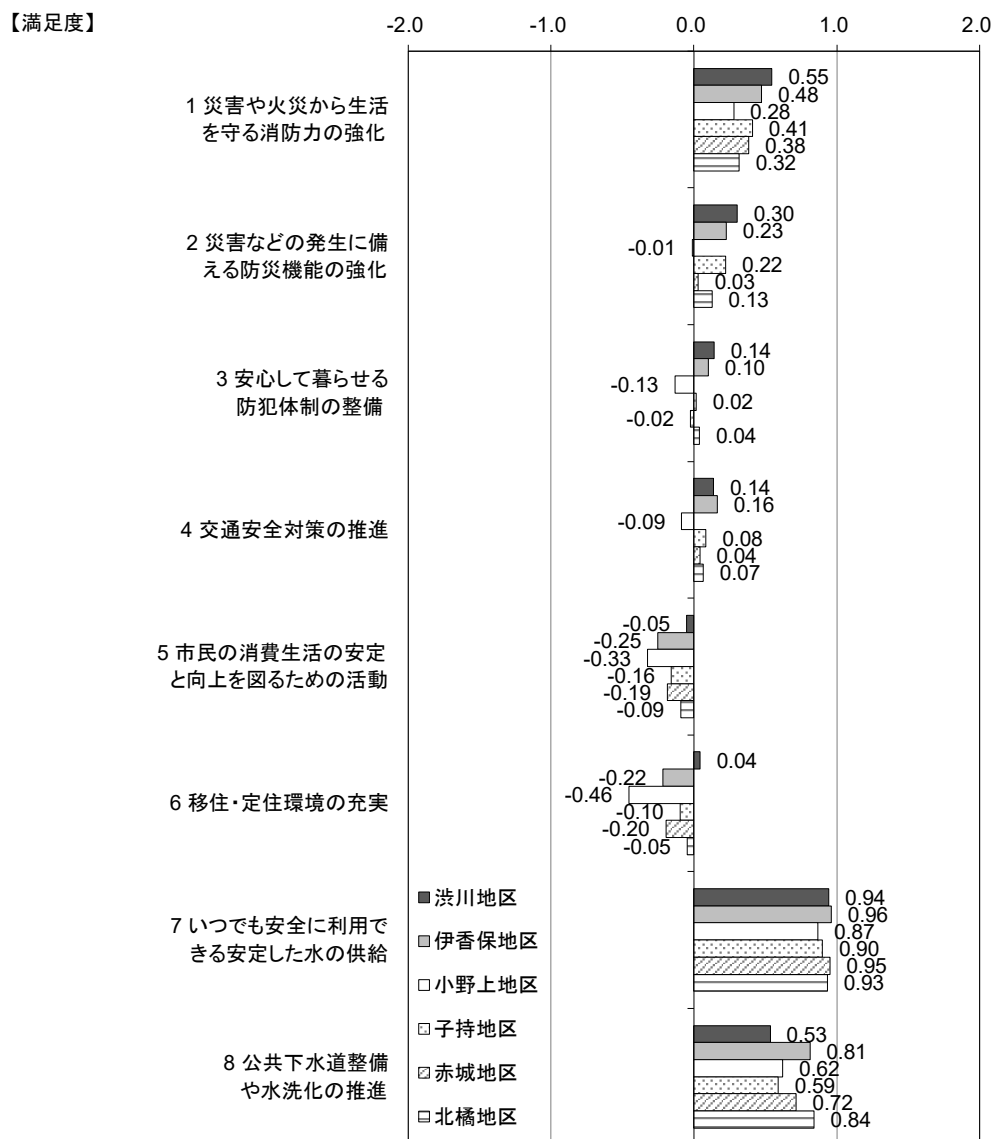
【7 その他】

- ・人口減少解決のため独身者の結婚の出会いを多くする会をつくり、市が賑やかになるよう頑張してほしい。
- ・市長がする仕事等はよく分からないが、市民のためにできることを全力でやるべきだと思う。
- ・活気のある町。人口減少をとめる
- ・特になし。合併で渋川市になったものの、特に変化なく、渋川市に親しみを感じにくいです。買い物等も前橋、吉岡の方が交通の便がよく、渋川の市街地は遠く感じます。そのため、渋川市についてどのようにするのがよいか、イメージがわきません。

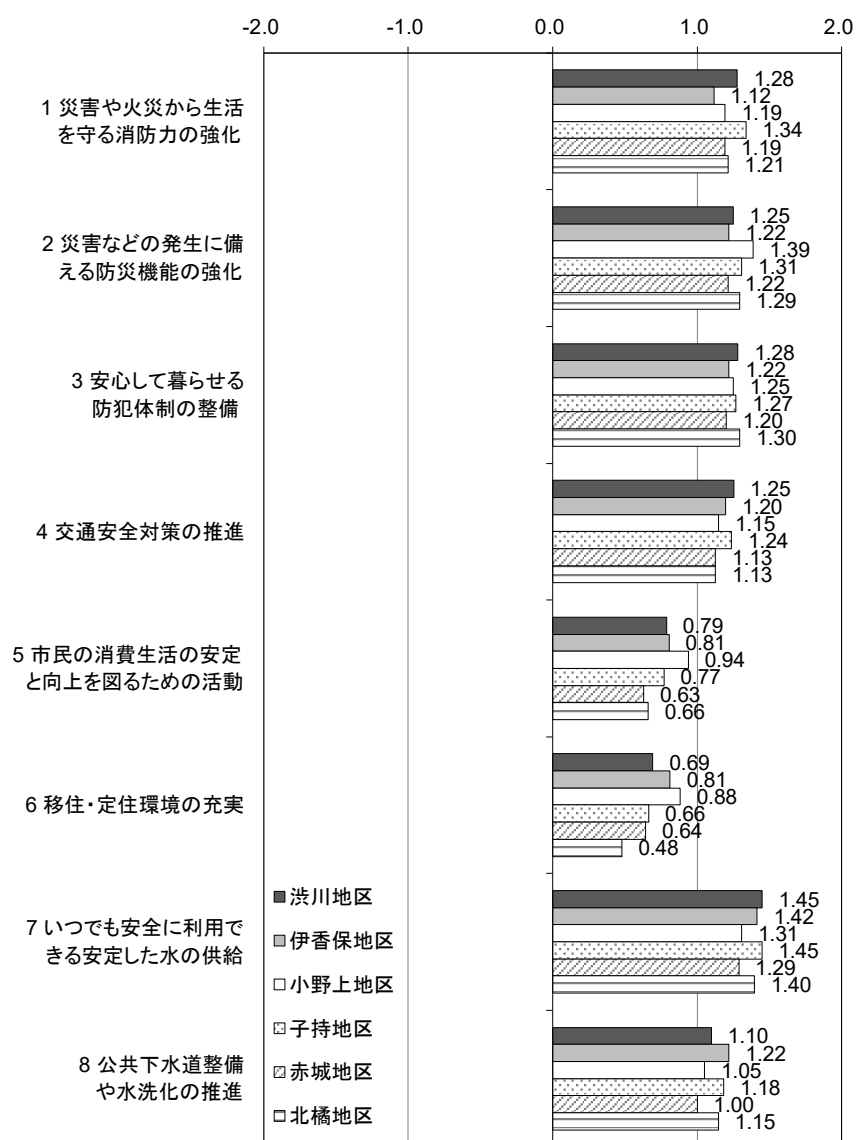
資料

1. 48項目の居住地区別満足度・重要度（加重平均値）

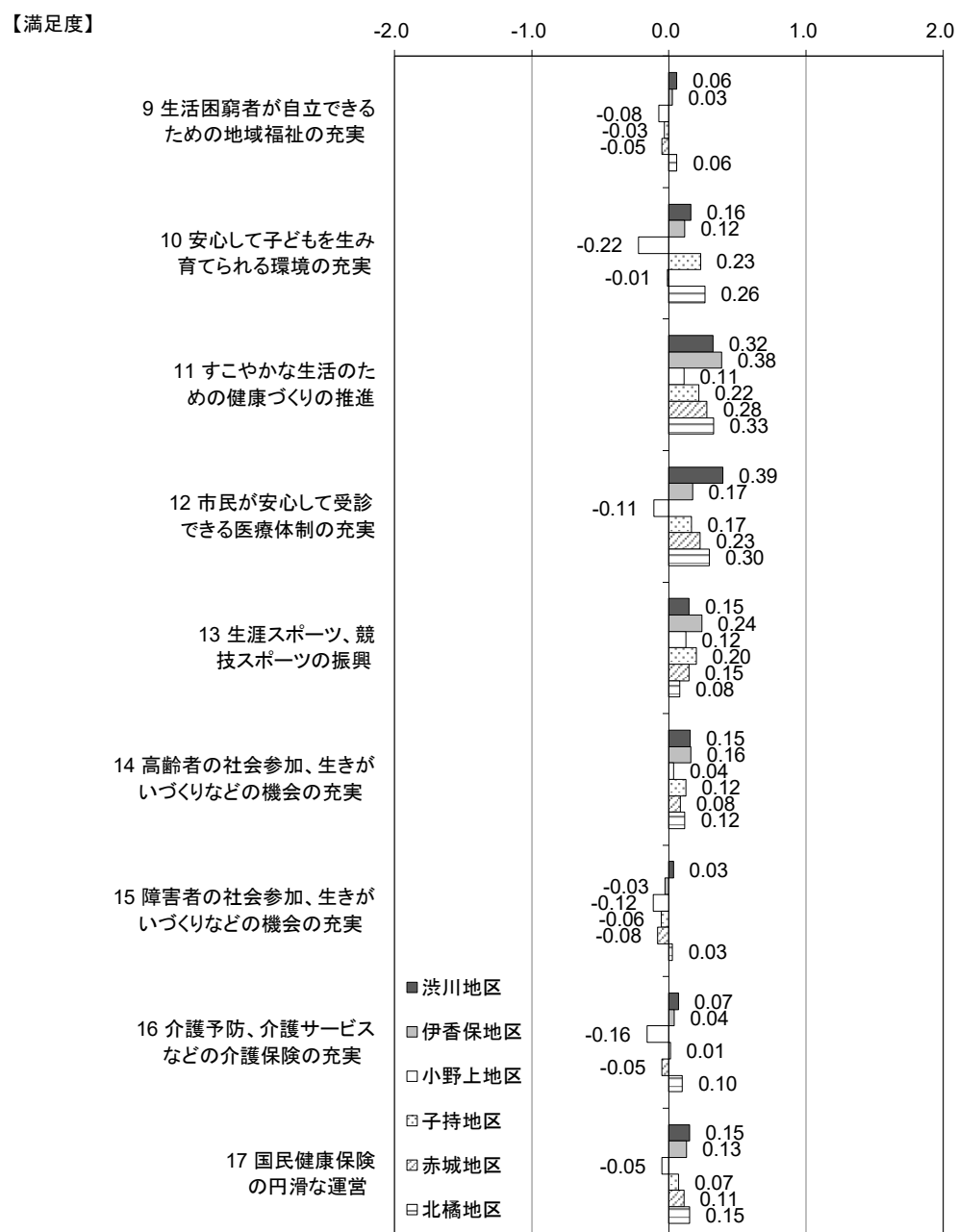
（1）安全・安心、暮らし分野



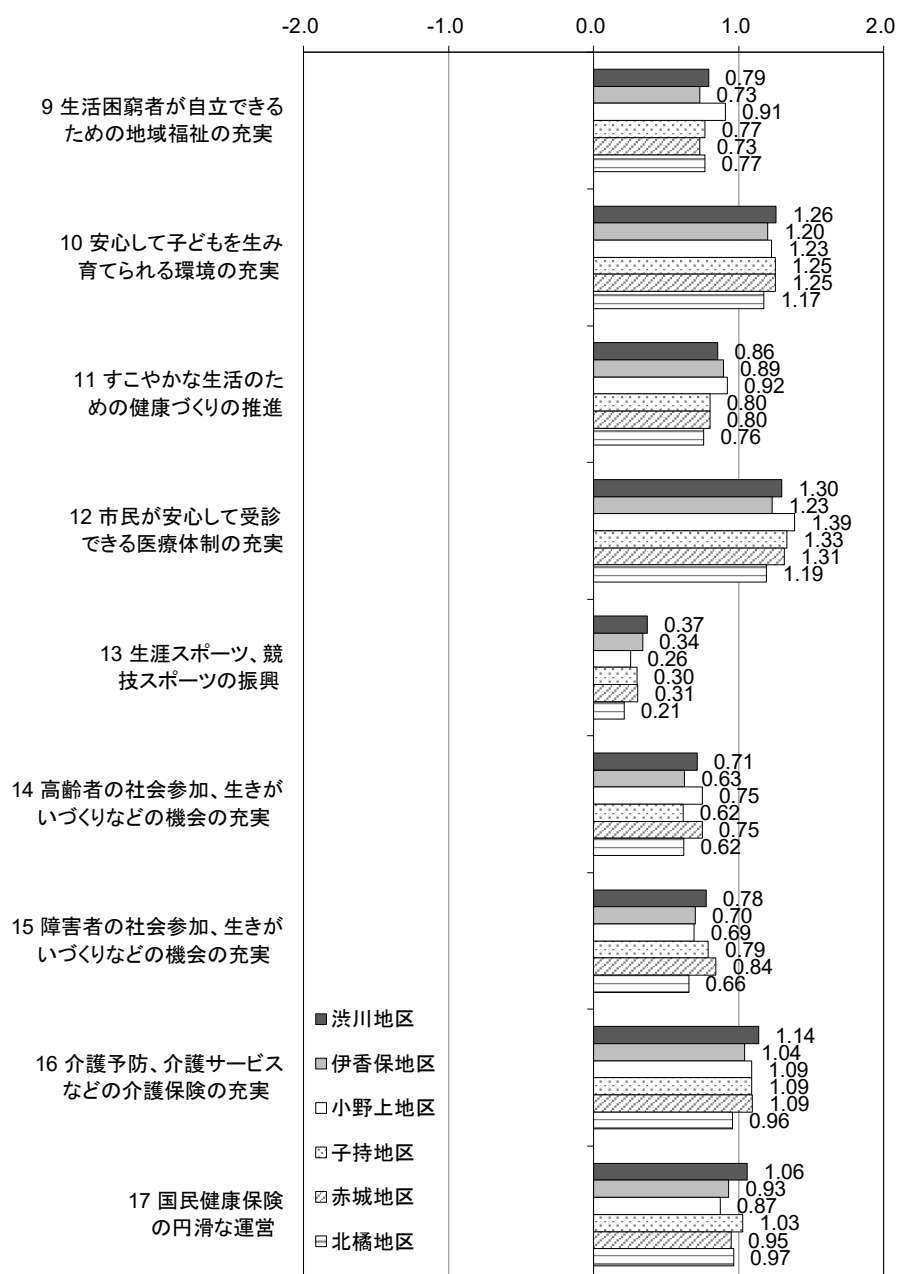
【重要度】



(2) 健康、福祉、スポーツ分野

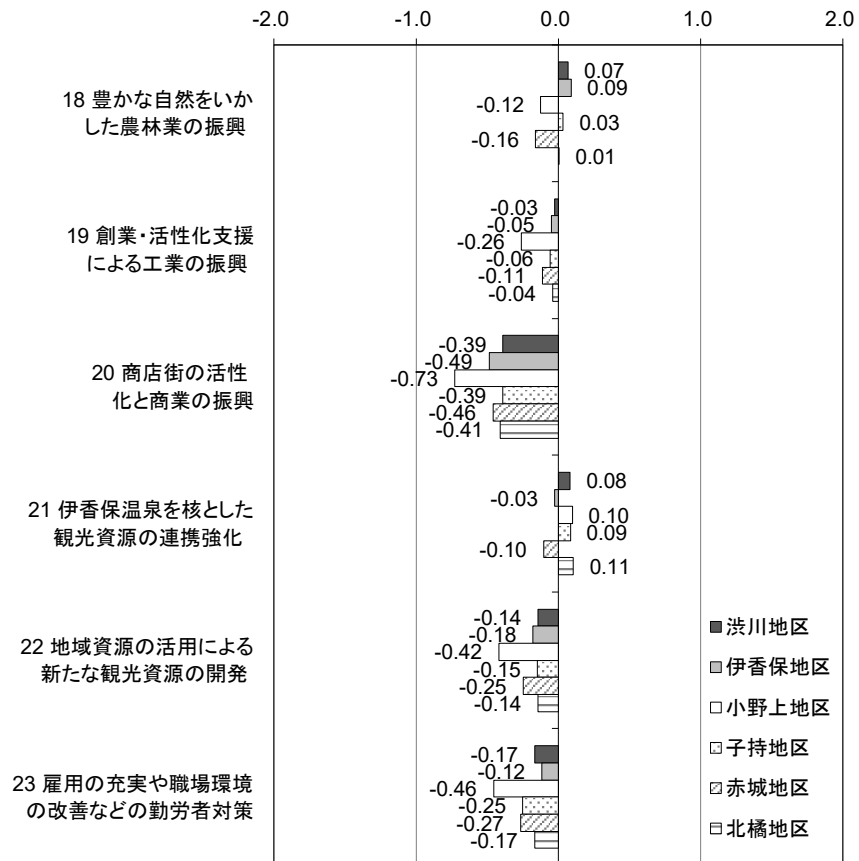


【重要度】

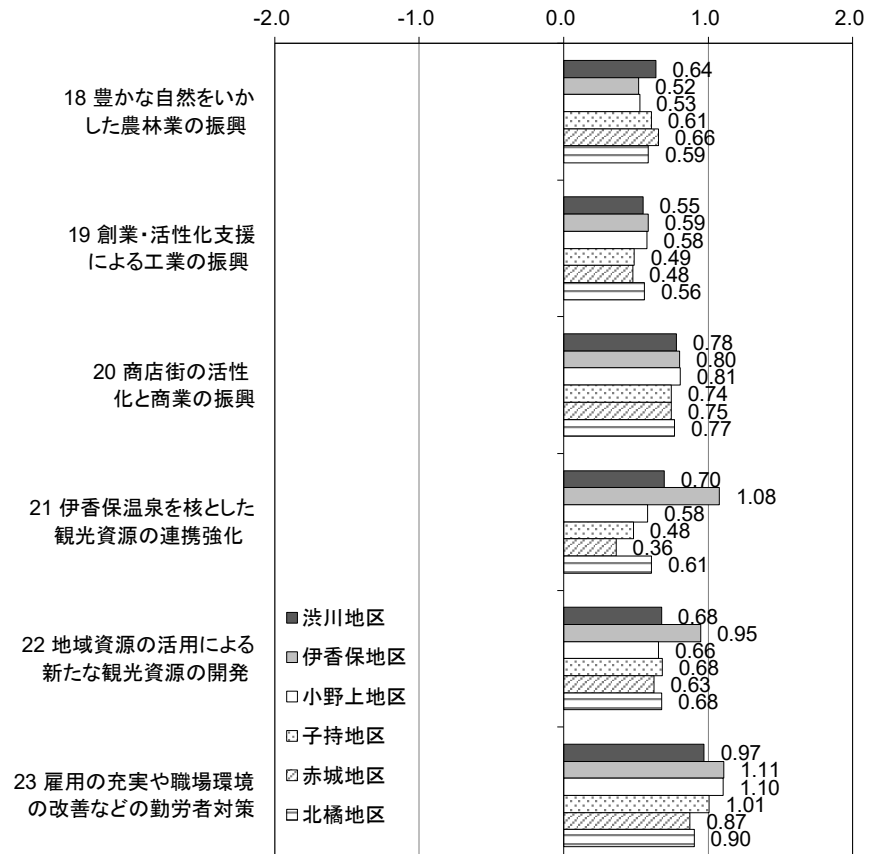


(3) 産業分野

【満足度】

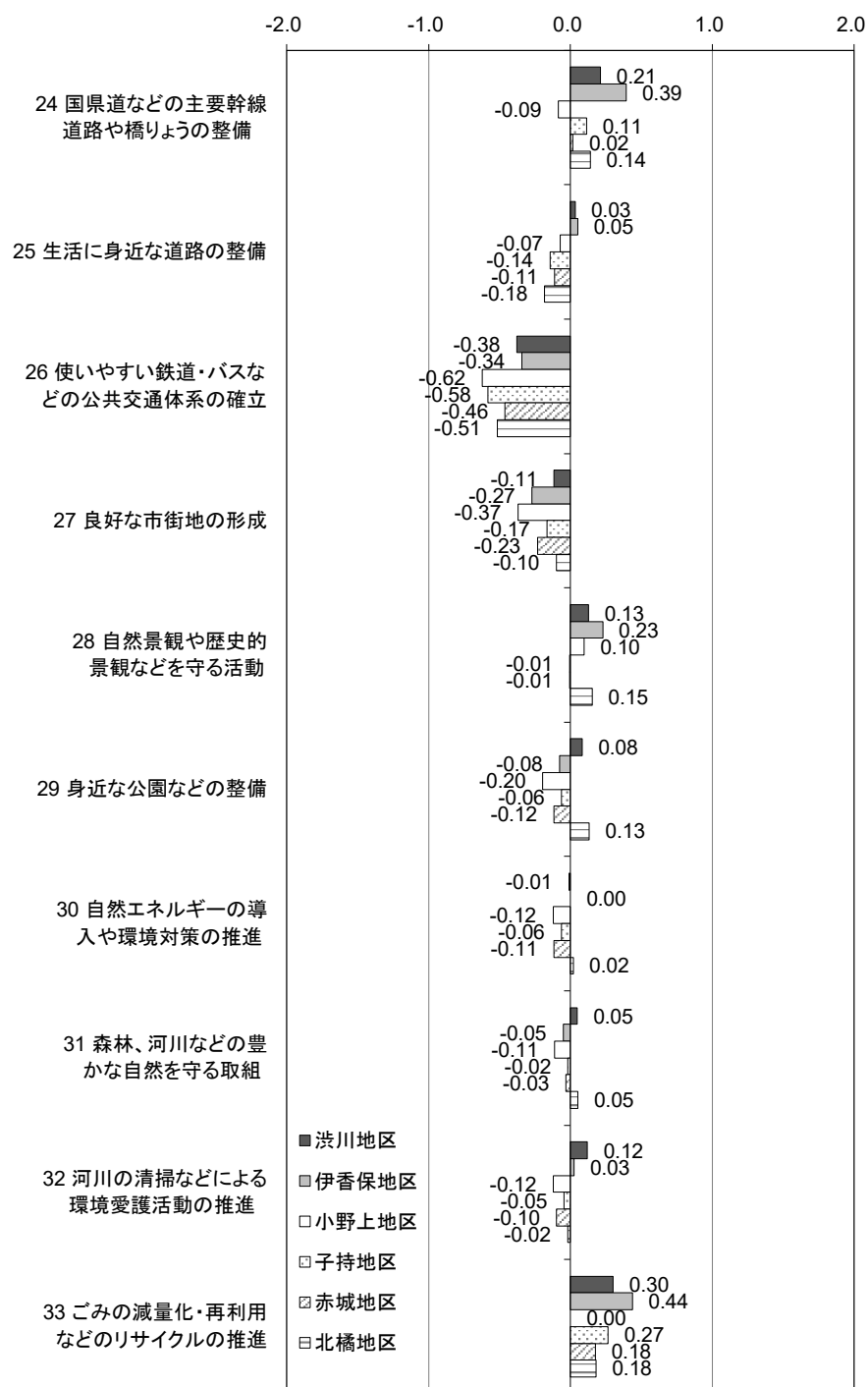


【重要度】

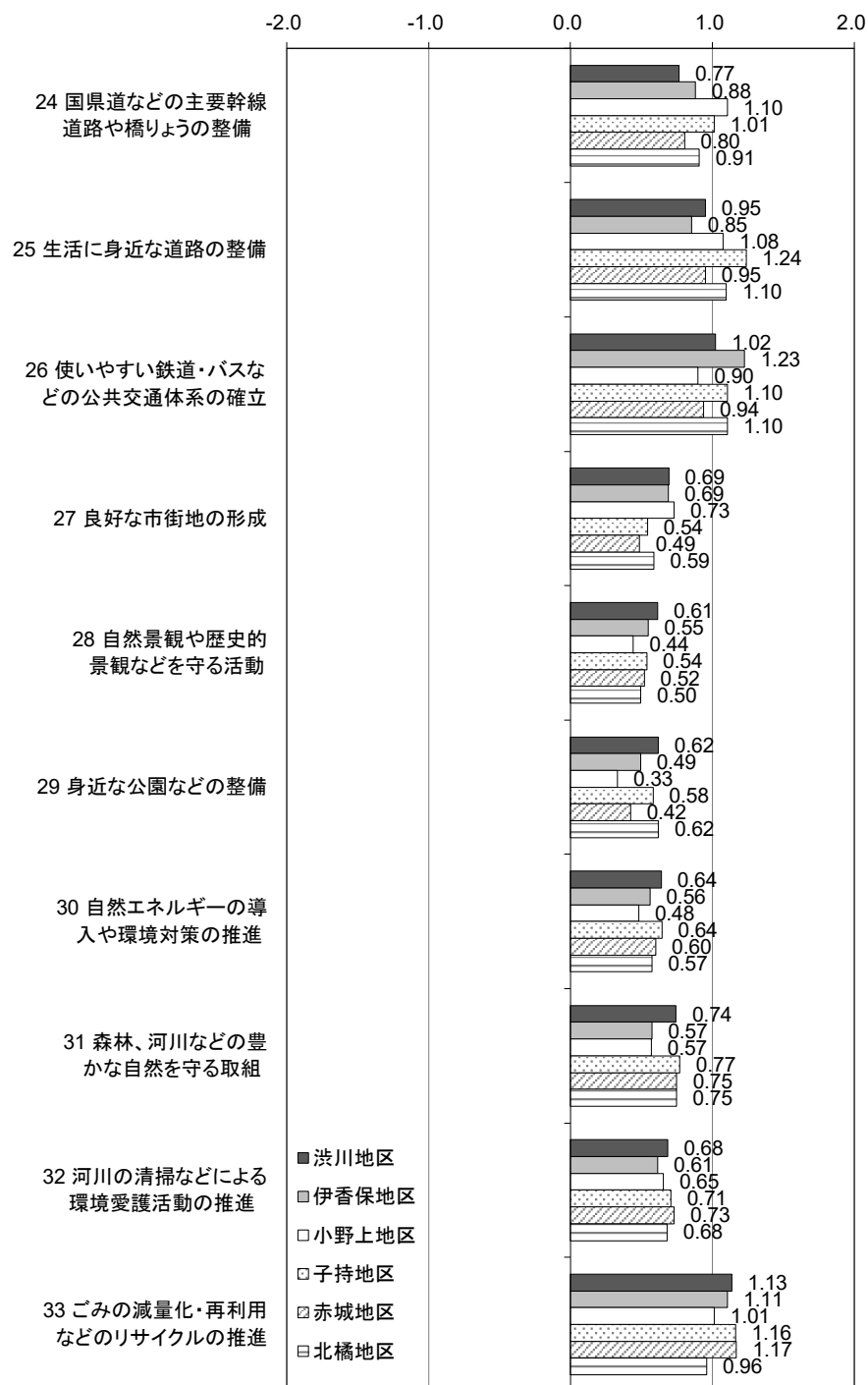


(4) 都市基盤・自然環境分野

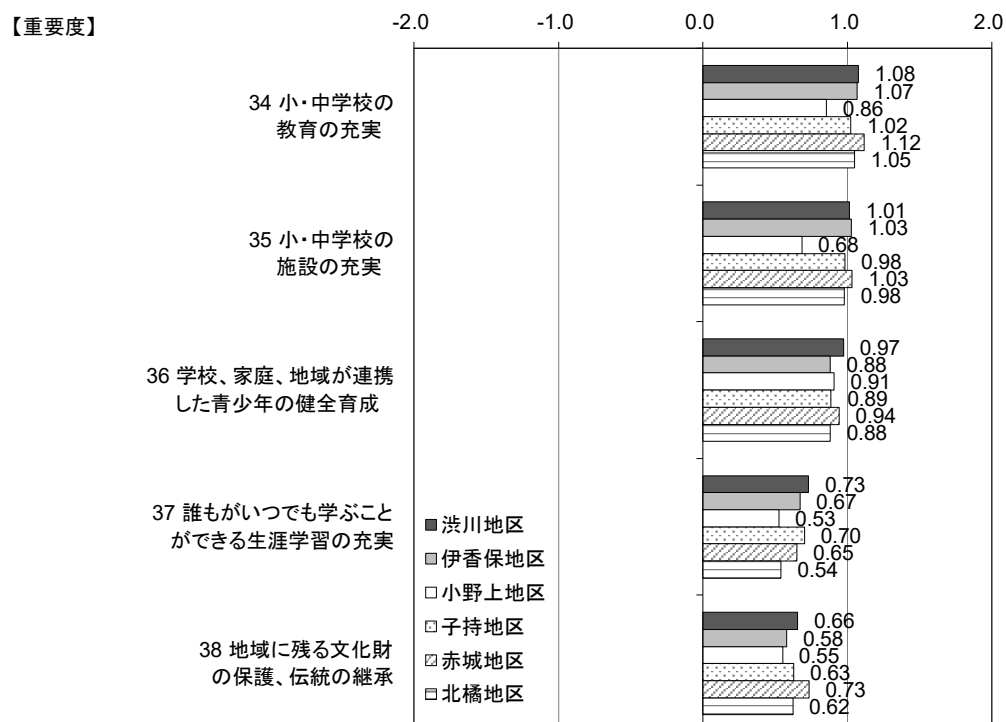
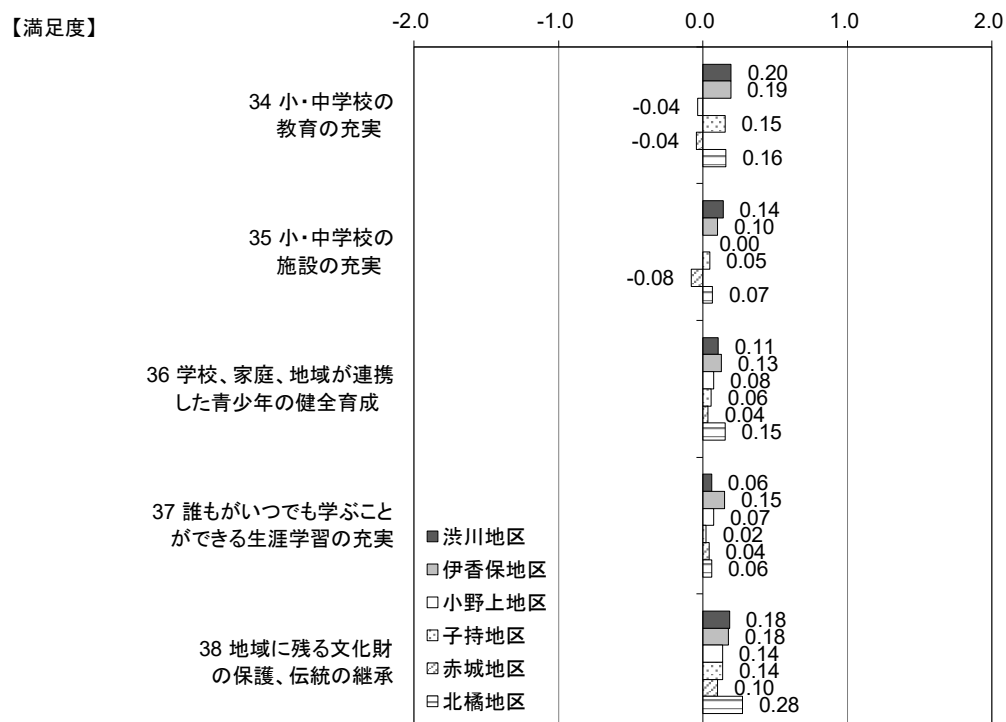
【満足度】



【重要度】

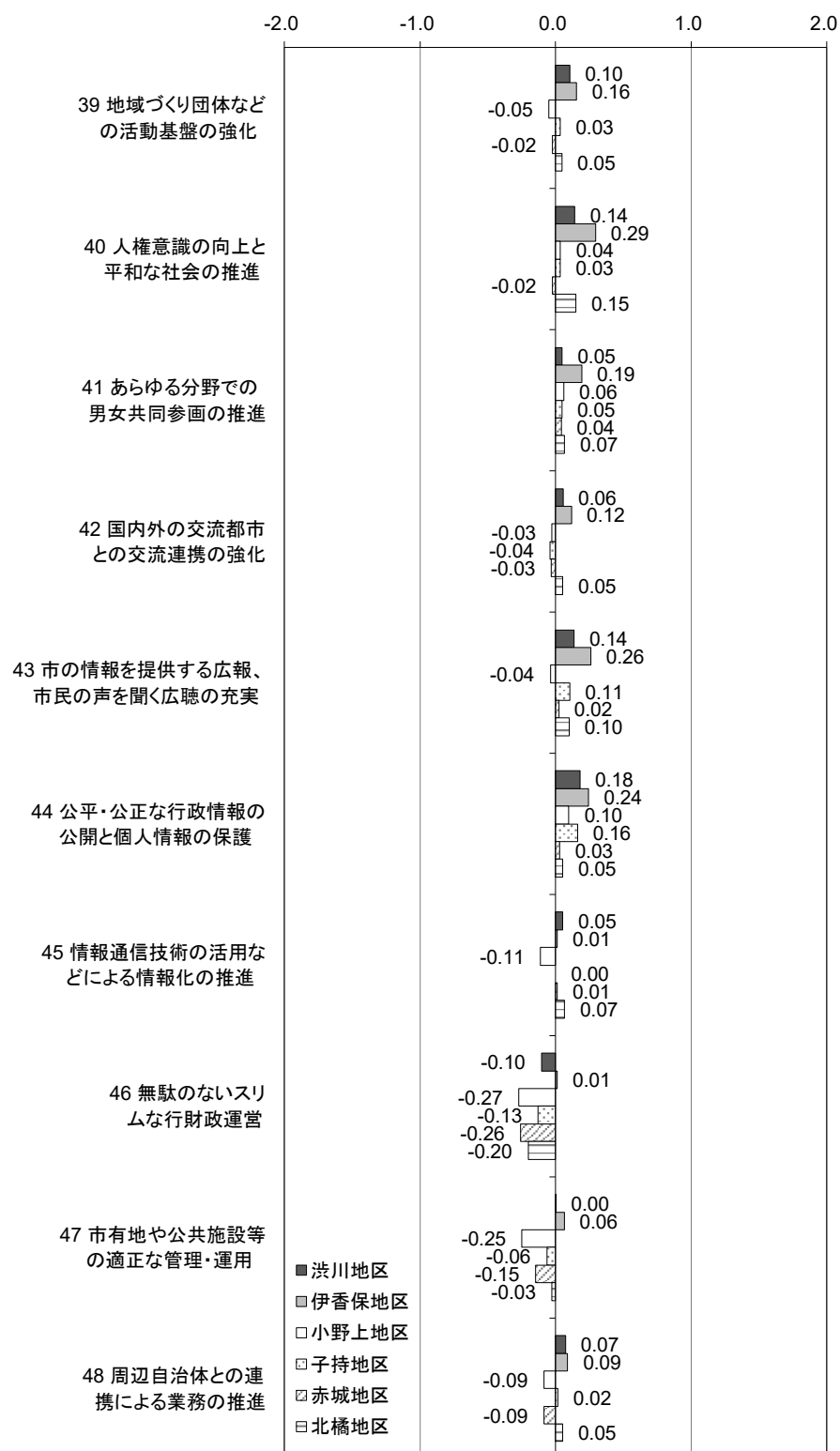


(5) 教育、文化分野

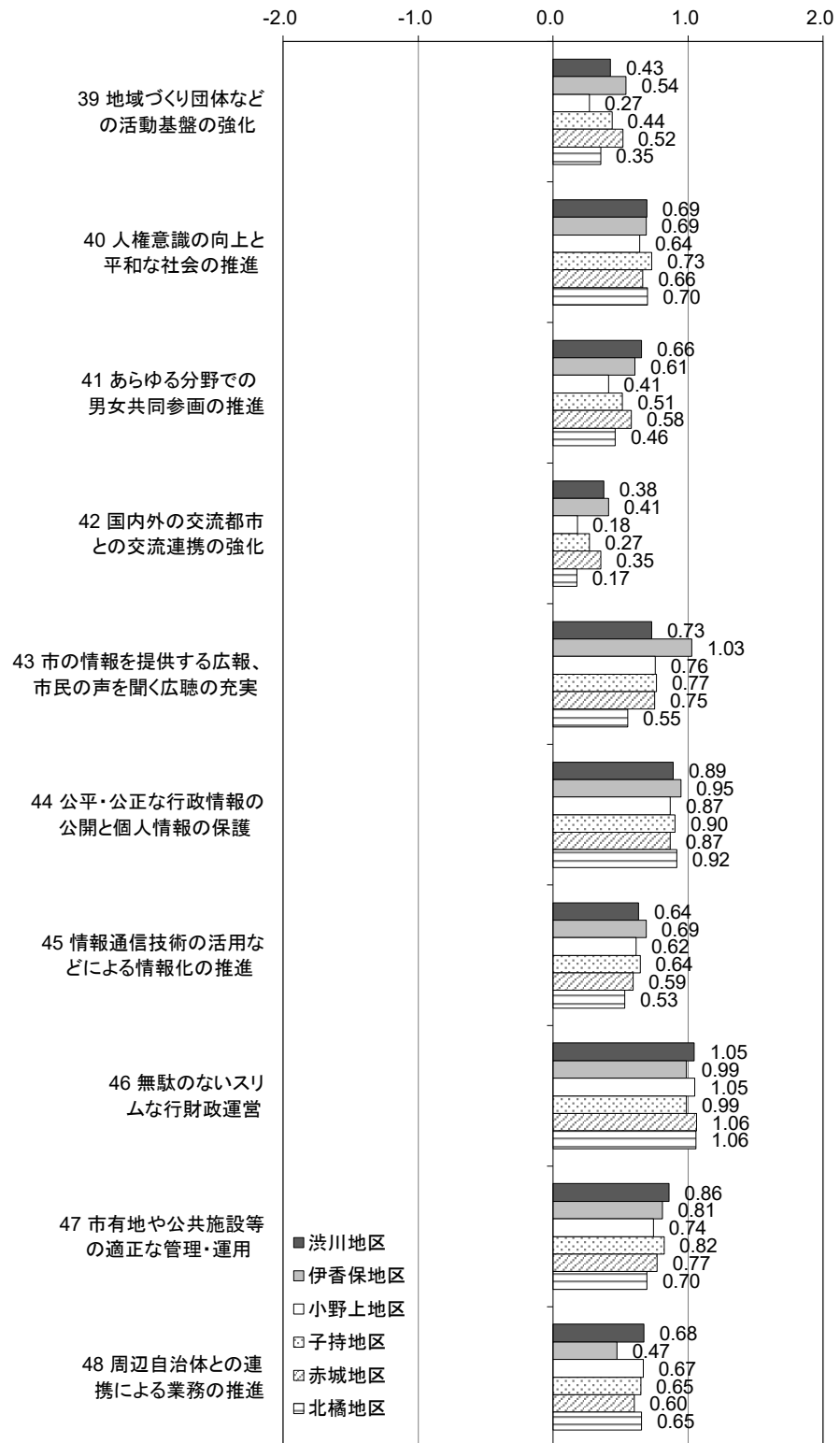


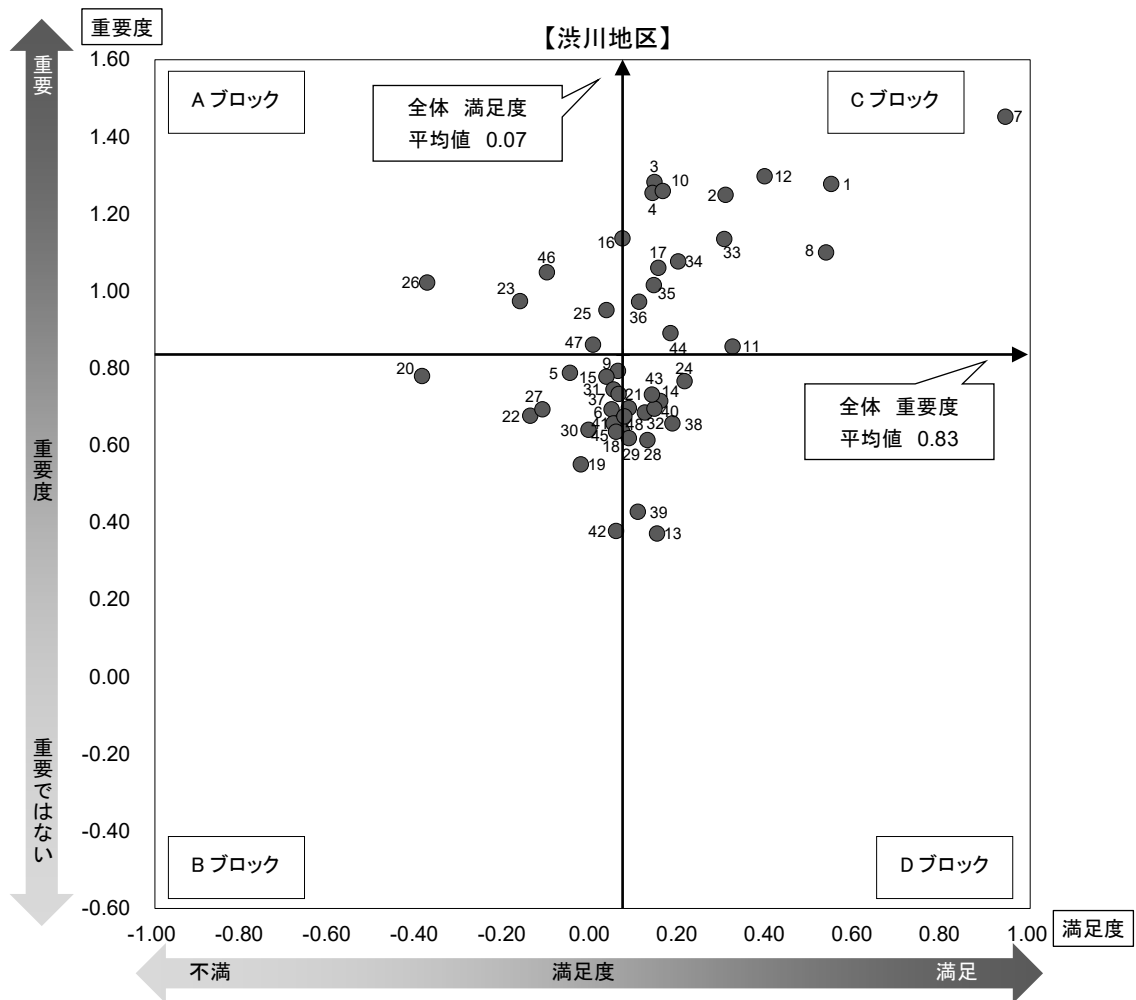
(6) 自治、協働分野

【満足度】



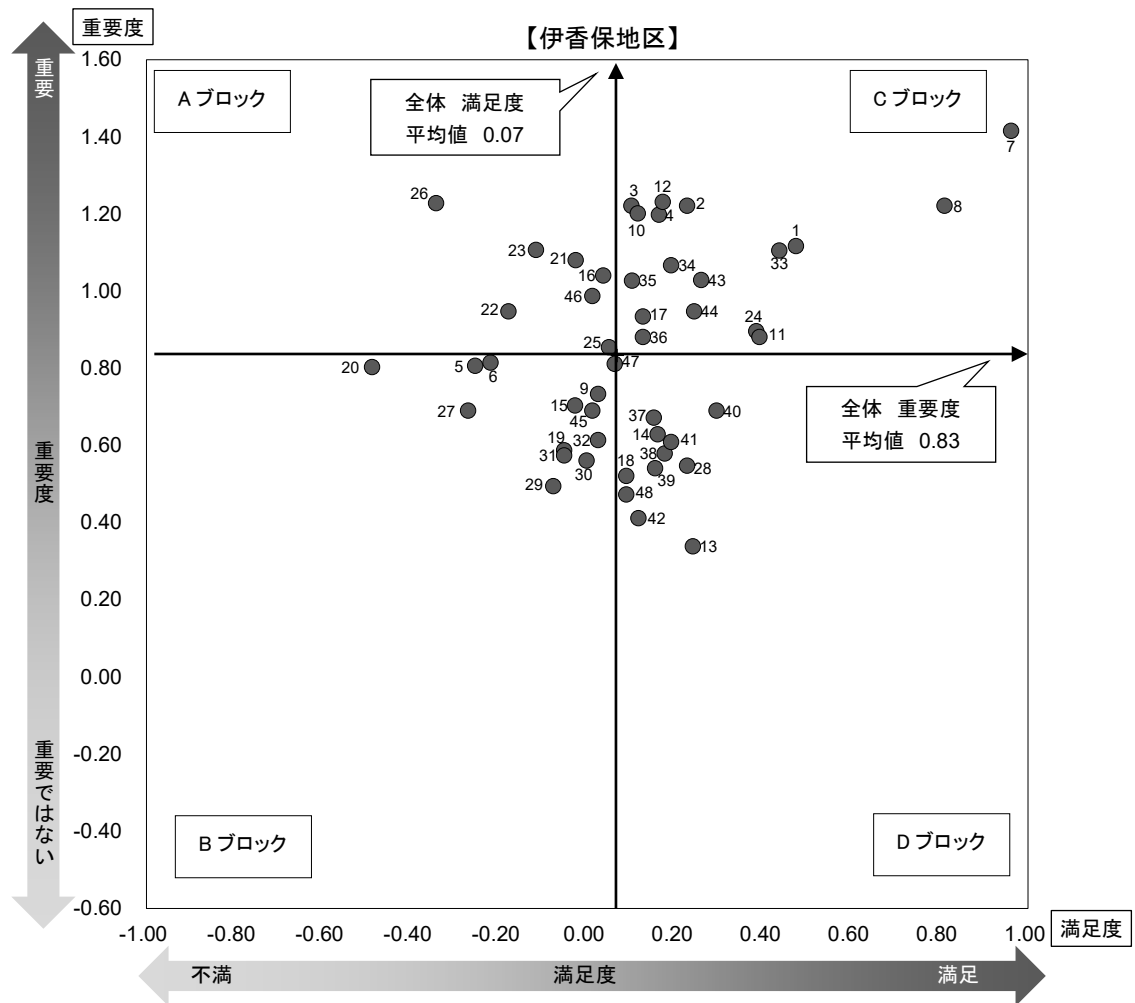
【重要度】





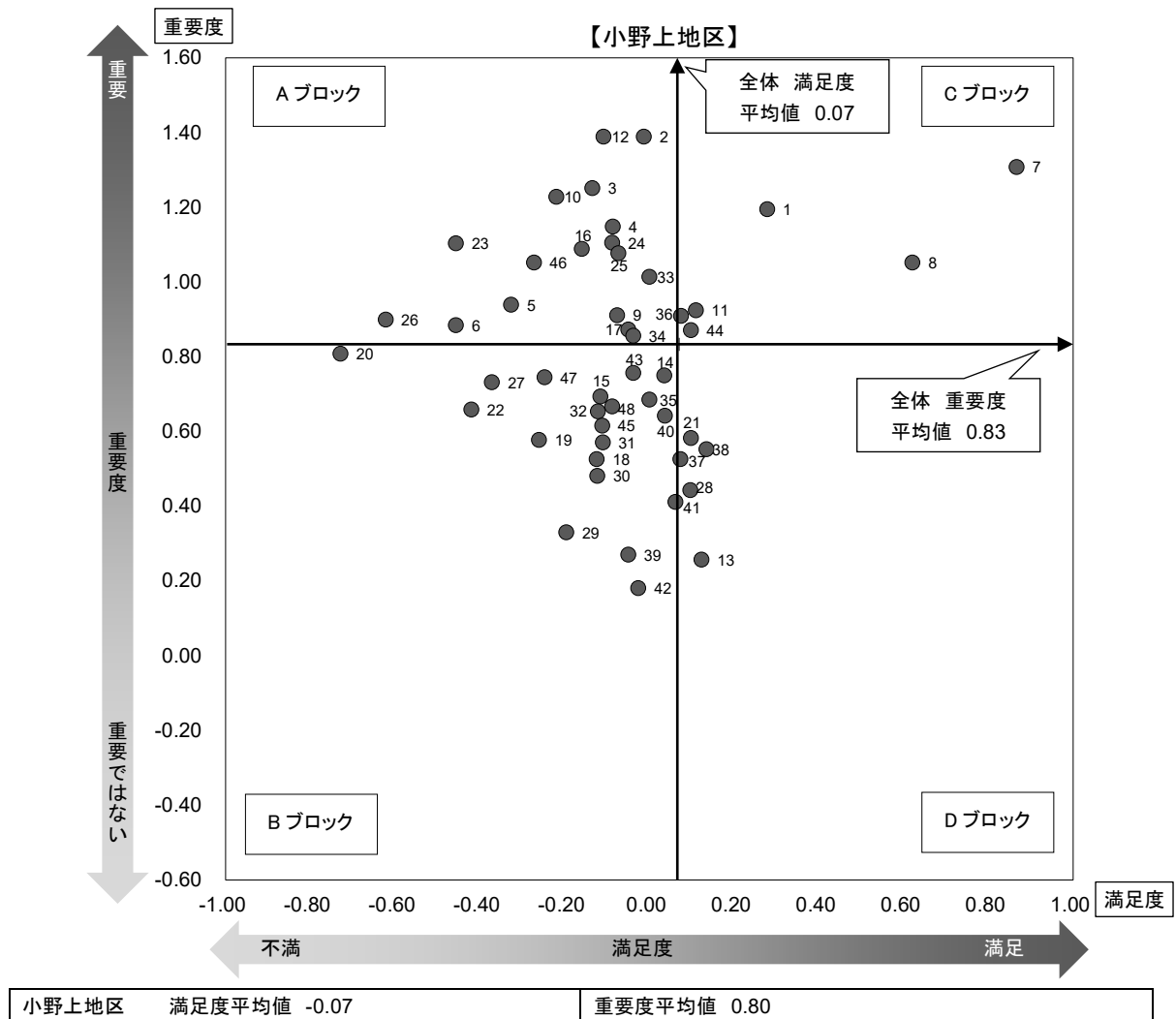
渋川地区	満足度平均値 0.11	重要度平均値 0.85
------	-------------	-------------

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報保護の推進
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進

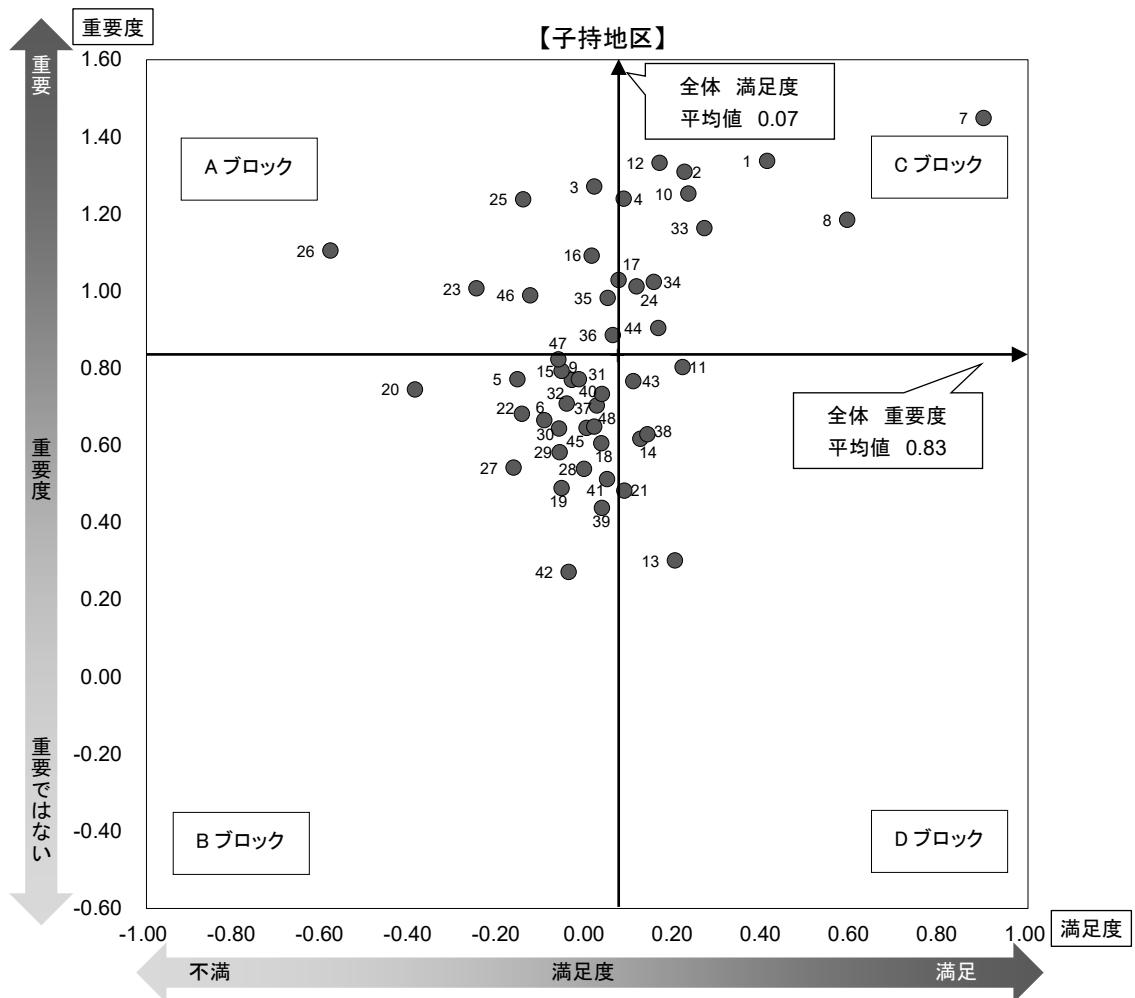


伊香保地区	満足度平均値 0.11	重要度平均値 0.85
-------	-------------	-------------

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化 2 災害などの発生に備える防災機能の強化 3 安心して暮らせる防犯体制の整備 4 交通安全対策の推進 5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動 6 移住・定住環境の充実 7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給 8 公共下水道整備や水洗化の推進 9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実 10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実 11 すこやかな生活のための健康づくりの推進 12 市民が安心して受診できる医療体制の充実 13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興 14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実 17 国民健康保険の円滑な運営 18 豊かな自然をいかした農林業の振興 19 創業・活性化支援による工業の振興 20 商店街の活性化と商業の振興 21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化 22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発 23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策 24 国道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	25 生活に身近な道路の整備 26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立 27 良好な市街地の形成 28 自然景観や歴史的景観などを守る活動 29 身近な公園などの整備 30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進 31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組 32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進 33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進 34 小・中学校の教育の充実 35 小・中学校の施設の充実 36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成 37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実 38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承 39 地域づくり団体などの活動基盤の強化 40 人権意識の向上と平和な社会の推進 41 あらゆる分野での男女共同参画の推進 42 国内外の交流都市との交流連携の強化 43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実 44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報保護 45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進 46 無駄のないスリムな行財政運営 47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用 48 周辺自治体との連携による業務の推進
--	---

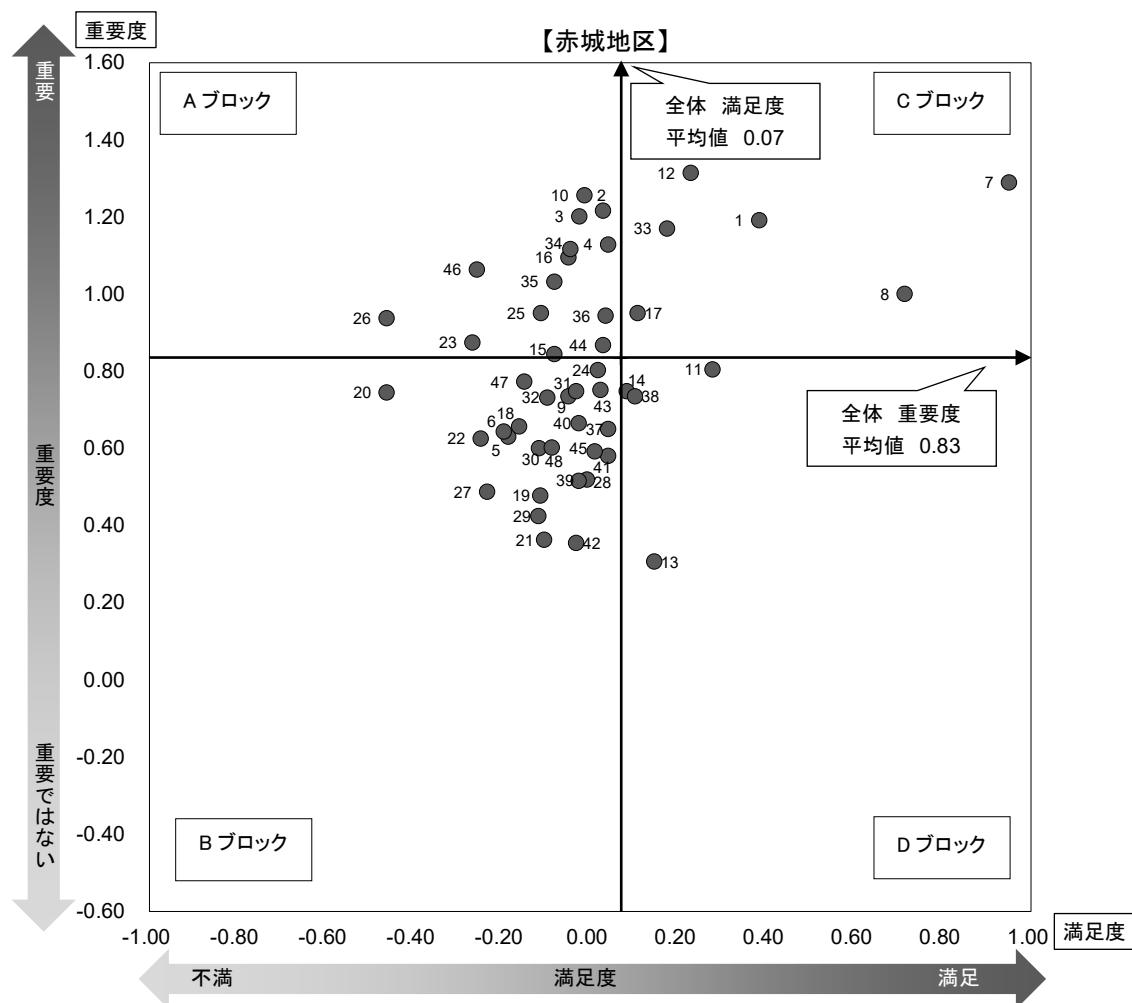


1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを産み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいがづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいがづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報保護の推進
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進



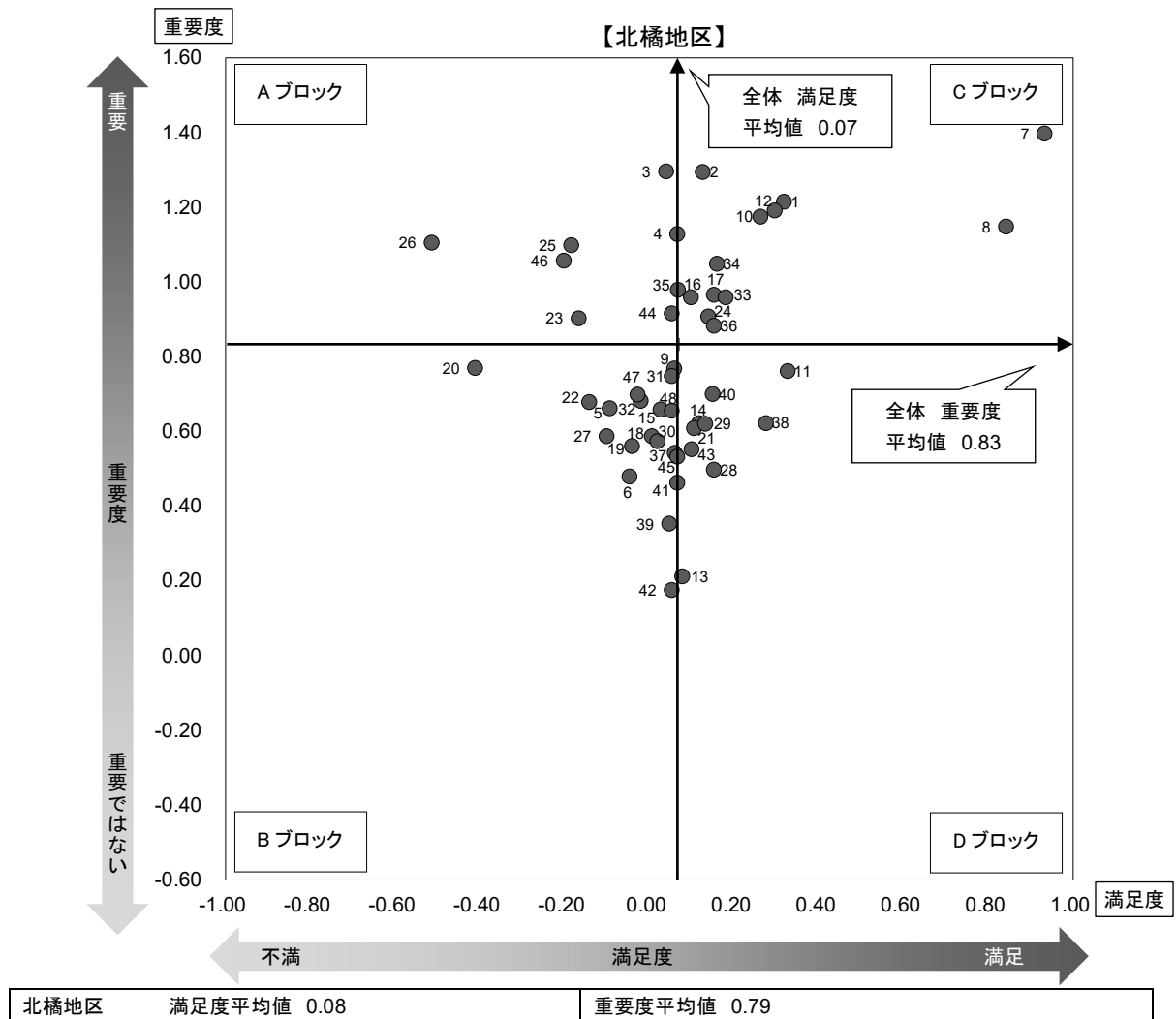
子持地区	満足度平均値 0.04	重要度平均値 0.84
------	-------------	-------------

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいがづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいがづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報保護の推進
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進



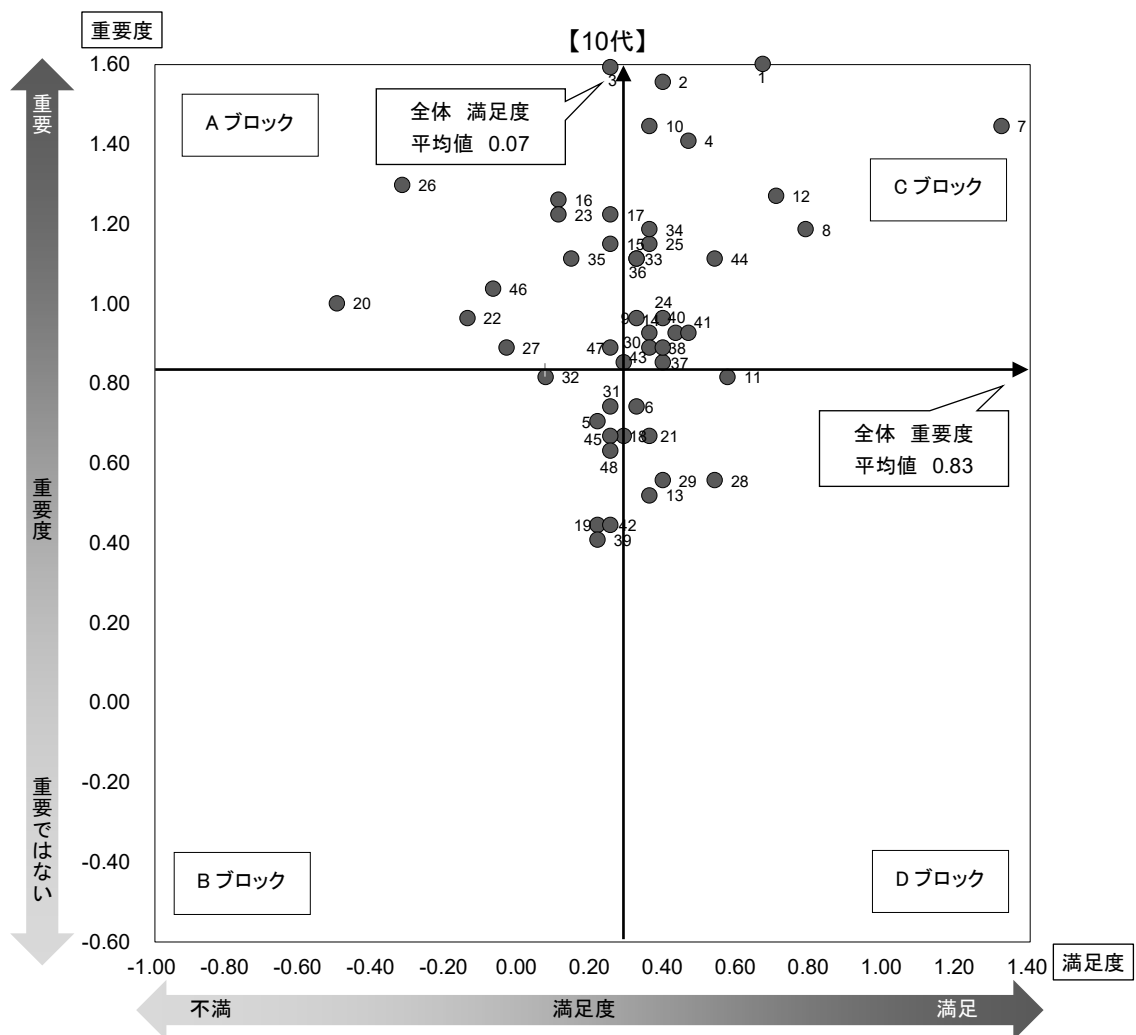
赤城地区	満足度平均値 -0.01	重要度平均値 0.81
------	--------------	-------------

1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進
9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進
10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
14 高齢者の社会参加、生きがいがづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
15 障害者の社会参加、生きがいがづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報保護の推進
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用
24 国道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進

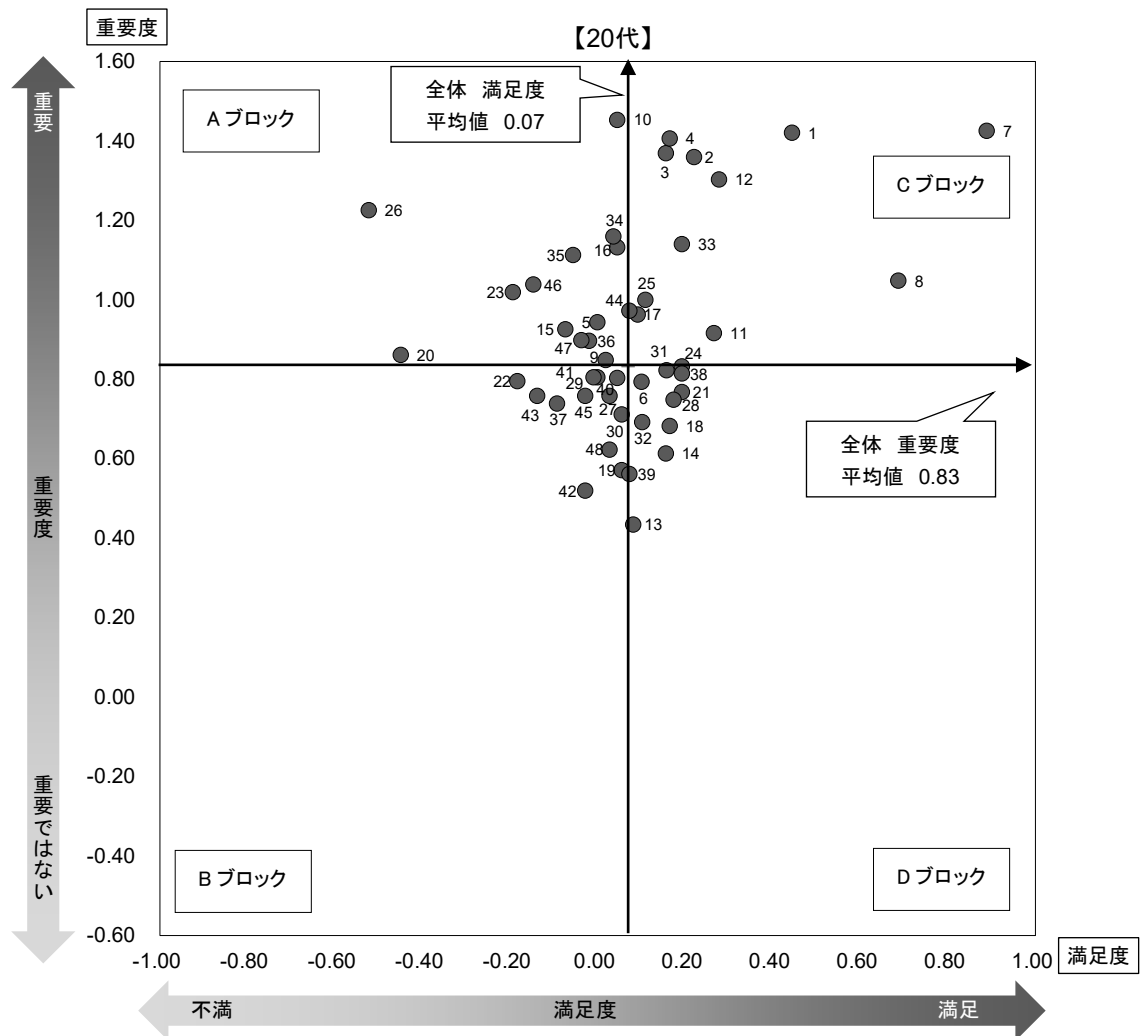


- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 災害や火災から生活を守る消防力の強化 2 災害などの発生に備える防災機能の強化 3 安心して暮らせる防犯体制の整備 4 交通安全対策の推進 5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動 6 移住・定住環境の充実 7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給 8 公共下水道整備や水洗化の推進 9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実 10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実 11 すこやかな生活のための健康づくりの推進 12 市民が安心して受診できる医療体制の充実 13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興 14 高齢者の社会参加、生きがいがづくりなどの機会の充実 15 障害者の社会参加、生きがいがづくりなどの機会の充実 16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実 17 国民健康保険の円滑な運営 18 豊かな自然をいかした農林業の振興 19 創業・活性化支援による工業の振興 20 商店街の活性化と商業の振興 21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化 22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発 23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策 24 国道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備 | <ul style="list-style-type: none"> 25 生活に身近な道路の整備 26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立 27 良好な市街地の形成 28 自然景観や歴史的景観などを守る活動 29 身近な公園などの整備 30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進 31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組 32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進 33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進 34 小・中学校の教育の充実 35 小・中学校の施設の充実 36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成 37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実 38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承 39 地域づくり団体などの活動基盤の強化 40 人権意識の向上と平和な社会の推進 41 あらゆる分野での男女共同参画の推進 42 国内外の交流都市との交流連携の強化 43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実 44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報保護 45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進 46 無駄のないスリムな行財政運営 47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用 48 周辺自治体との連携による業務の推進 |
|--|---|

2. 48項目の年代別満足度・重要度（加重平均値）

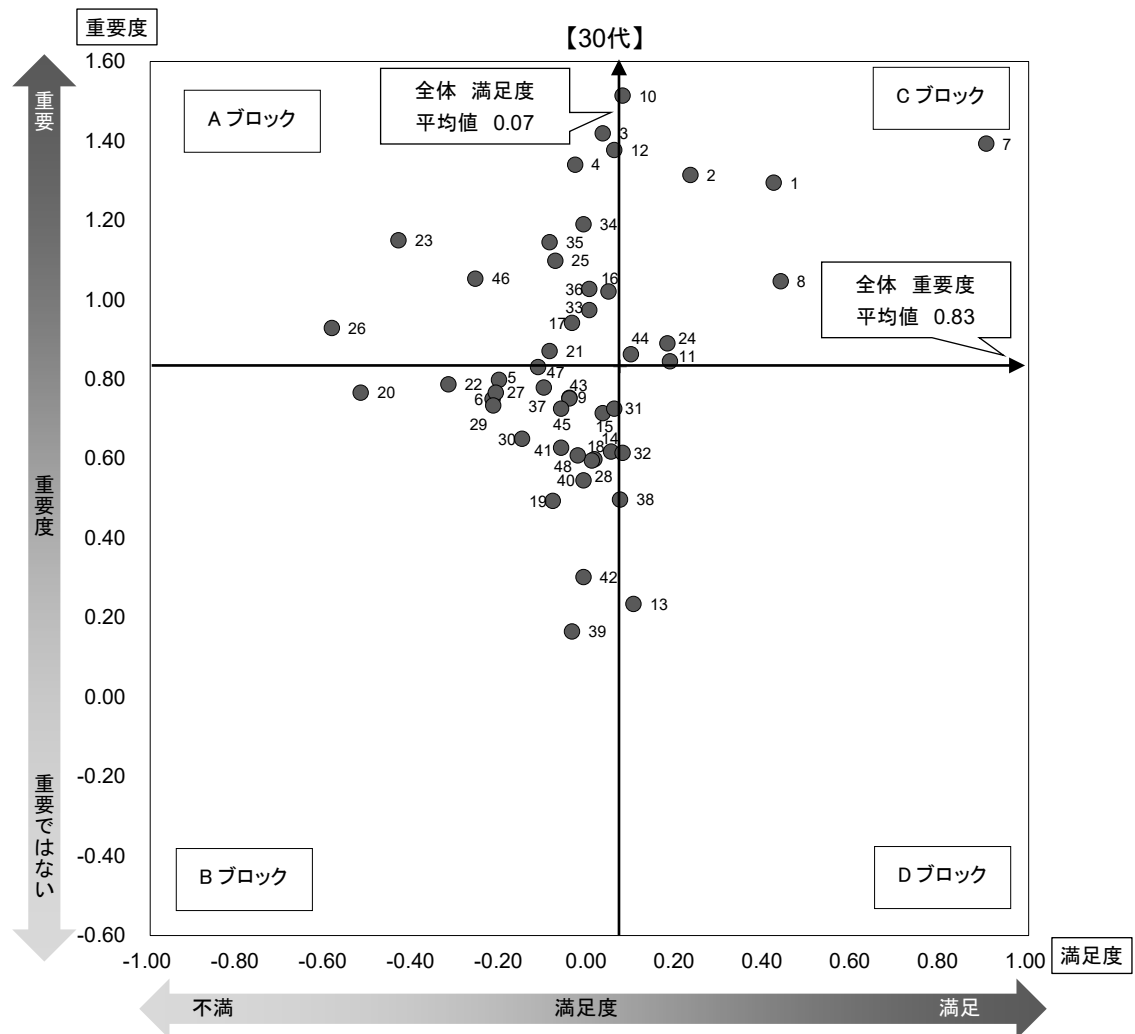


10代	満足度平均値 0.31	重要度平均値 0.97
1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備	
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立	
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成	
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動	
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備	
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進	
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組	
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進	
9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進	
10 安心して子どもを産み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実	
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実	
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成	
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実	
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承	
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化	
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進	
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進	
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化	
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実	
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護	
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進	
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営	
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用	
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進	



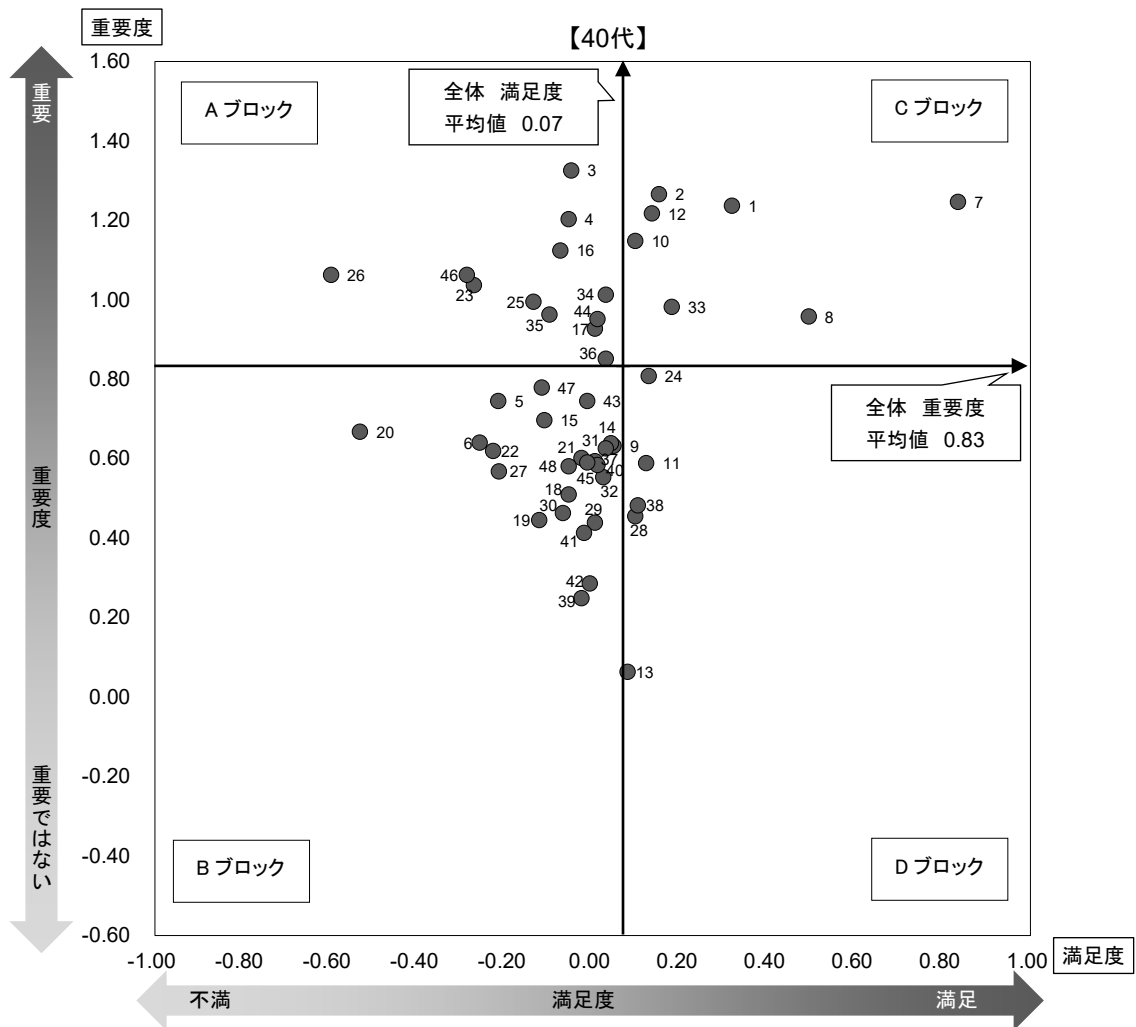
20 代	満足度平均値 0.07	重要度平均値 0.92
------	-------------	-------------

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 災害や火災から生活を守る消防力の強化 | 25 生活に身近な道路の整備 |
| 2 災害などの発生に備える防災機能の強化 | 26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立 |
| 3 安心して暮らせる防犯体制の整備 | 27 良好な市街地の形成 |
| 4 交通安全対策の推進 | 28 自然景観や歴史的景観などを守る活動 |
| 5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動 | 29 身近な公園などの整備 |
| 6 移住・定住環境の充実 | 30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進 |
| 7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給 | 31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組 |
| 8 公共下水道整備や水洗化の推進 | 32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進 |
| 9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実 | 33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進 |
| 10 安心して子どもを産み育てられる環境の充実 | 34 小・中学校の教育の充実 |
| 11 すこやかな生活のための健康づくりの推進 | 35 小・中学校の施設の充実 |
| 12 市民が安心して受診できる医療体制の充実 | 36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成 |
| 13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興 | 37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実 |
| 14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 | 38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承 |
| 15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 | 39 地域づくり団体などの活動基盤の強化 |
| 16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実 | 40 人権意識の向上と平和な社会の推進 |
| 17 国民健康保険の円滑な運営 | 41 あらゆる分野での男女共同参画の推進 |
| 18 豊かな自然をいかした農林業の振興 | 42 国内外の交流都市との交流連携の強化 |
| 19 創業・活性化支援による工業の振興 | 43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実 |
| 20 商店街の活性化と商業の振興 | 44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護 |
| 21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化 | 45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進 |
| 22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発 | 46 無駄のないスリムな行財政運営 |
| 23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策 | 47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用 |
| 24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備 | 48 周辺自治体との連携による業務の推進 |



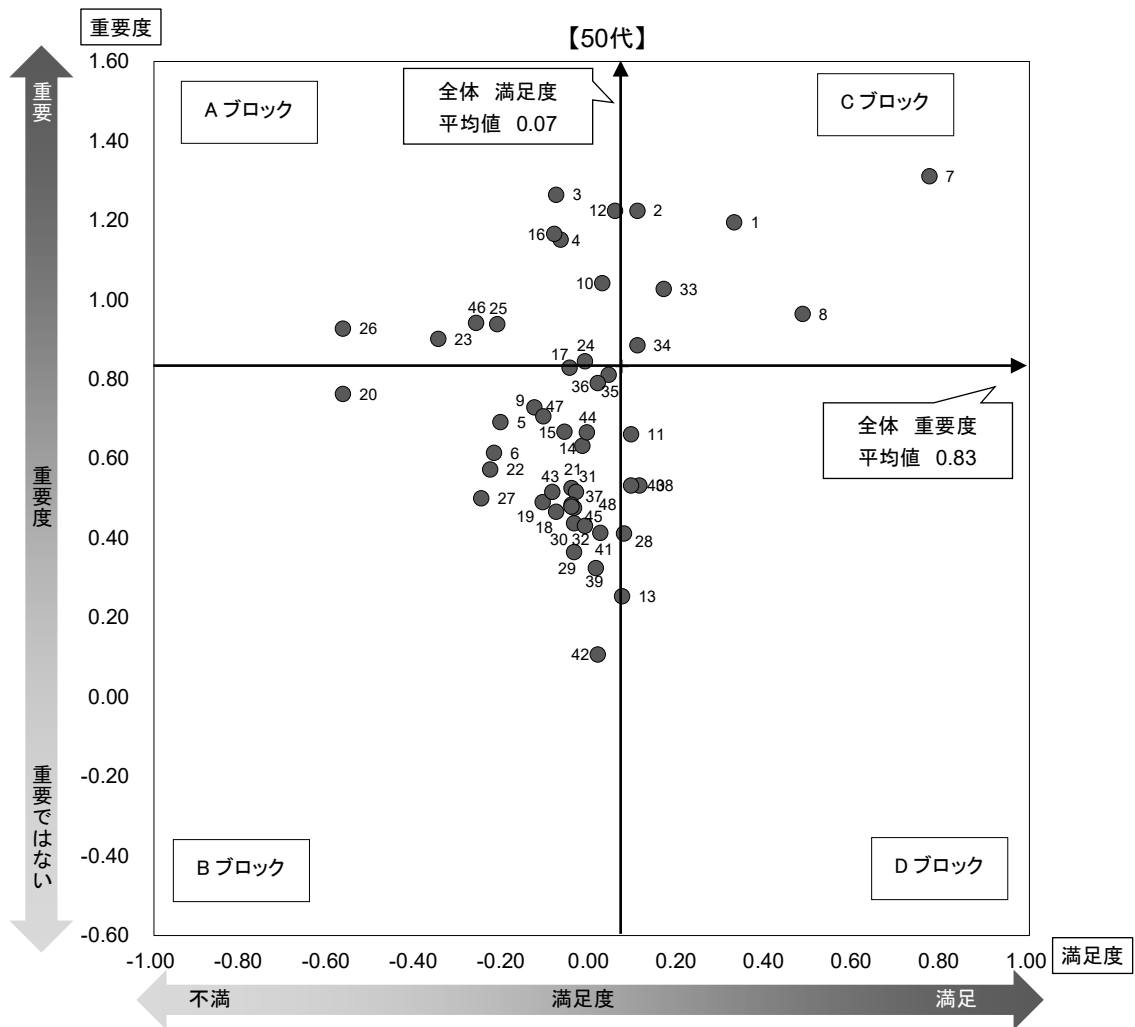
30 代	満足度平均値 -0.02	重要度平均値 0.86
------	--------------	-------------

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 災害や火災から生活を守る消防力の強化 | 25 生活に身近な道路の整備 |
| 2 災害などの発生に備える防災機能の強化 | 26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立 |
| 3 安心して暮らせる防犯体制の整備 | 27 良好な市街地の形成 |
| 4 交通安全対策の推進 | 28 自然景観や歴史的景観などを守る活動 |
| 5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動 | 29 身近な公園などの整備 |
| 6 移住・定住環境の充実 | 30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進 |
| 7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給 | 31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組 |
| 8 公共下水道整備や水洗化の推進 | 32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進 |
| 9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実 | 33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進 |
| 10 安心して子どもを産み育てられる環境の充実 | 34 小・中学校の教育の充実 |
| 11 すこやかな生活のための健康づくりの推進 | 35 小・中学校の施設の充実 |
| 12 市民が安心して受診できる医療体制の充実 | 36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成 |
| 13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興 | 37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実 |
| 14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 | 38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承 |
| 15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 | 39 地域づくり団体などの活動基盤の強化 |
| 16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実 | 40 人権意識の向上と平和な社会の推進 |
| 17 国民健康保険の円滑な運営 | 41 あらゆる分野での男女共同参画の推進 |
| 18 豊かな自然をいかした農林業の振興 | 42 国内外の交流都市との交流連携の強化 |
| 19 創業・活性化支援による工業の振興 | 43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実 |
| 20 商店街の活性化と商業の振興 | 44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護 |
| 21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化 | 45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進 |
| 22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発 | 46 無駄のないスリムな行財政運営 |
| 23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策 | 47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用 |
| 24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備 | 48 周辺自治体との連携による業務の推進 |

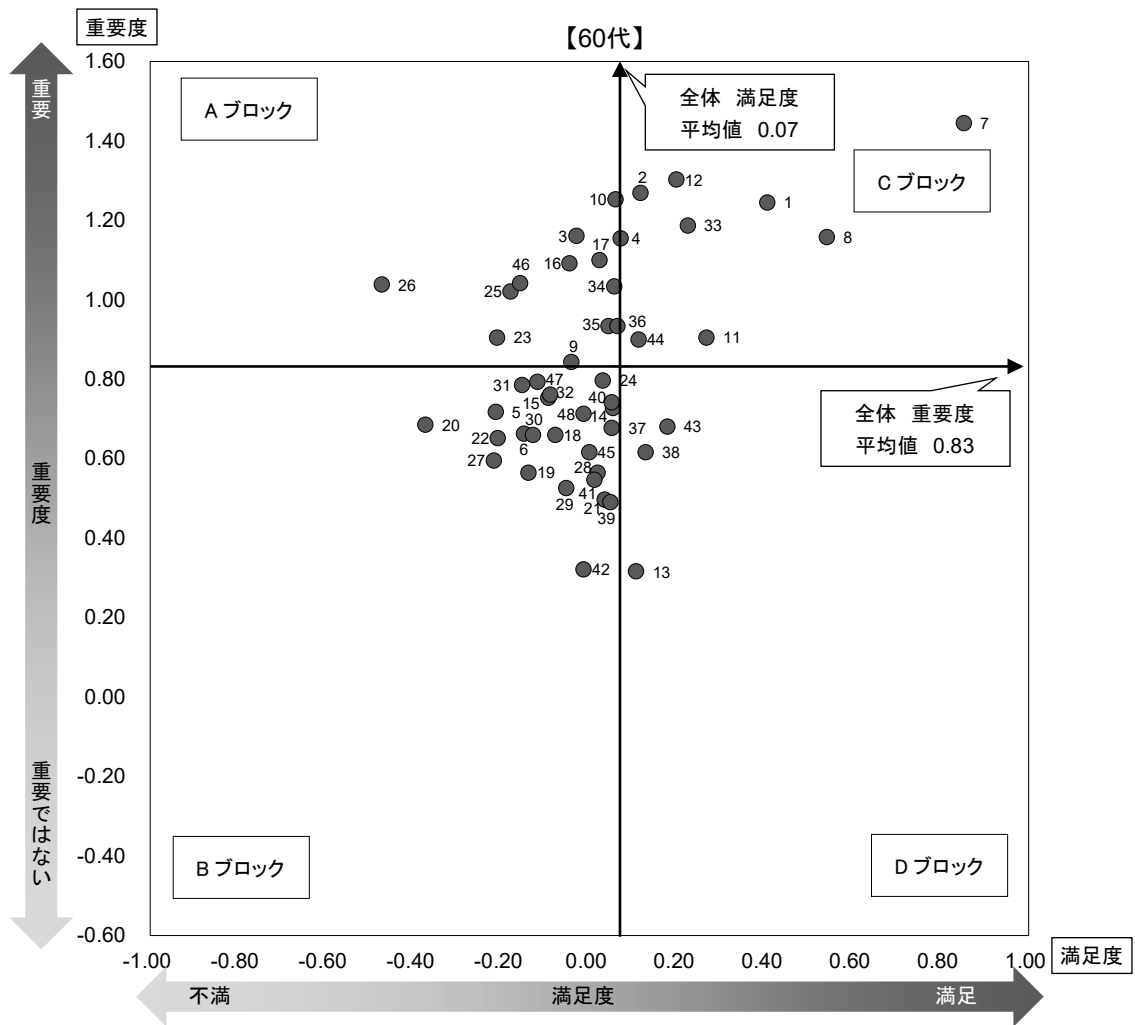


40 代	満足度平均値 -0.01	重要度平均値 0.76
------	--------------	-------------

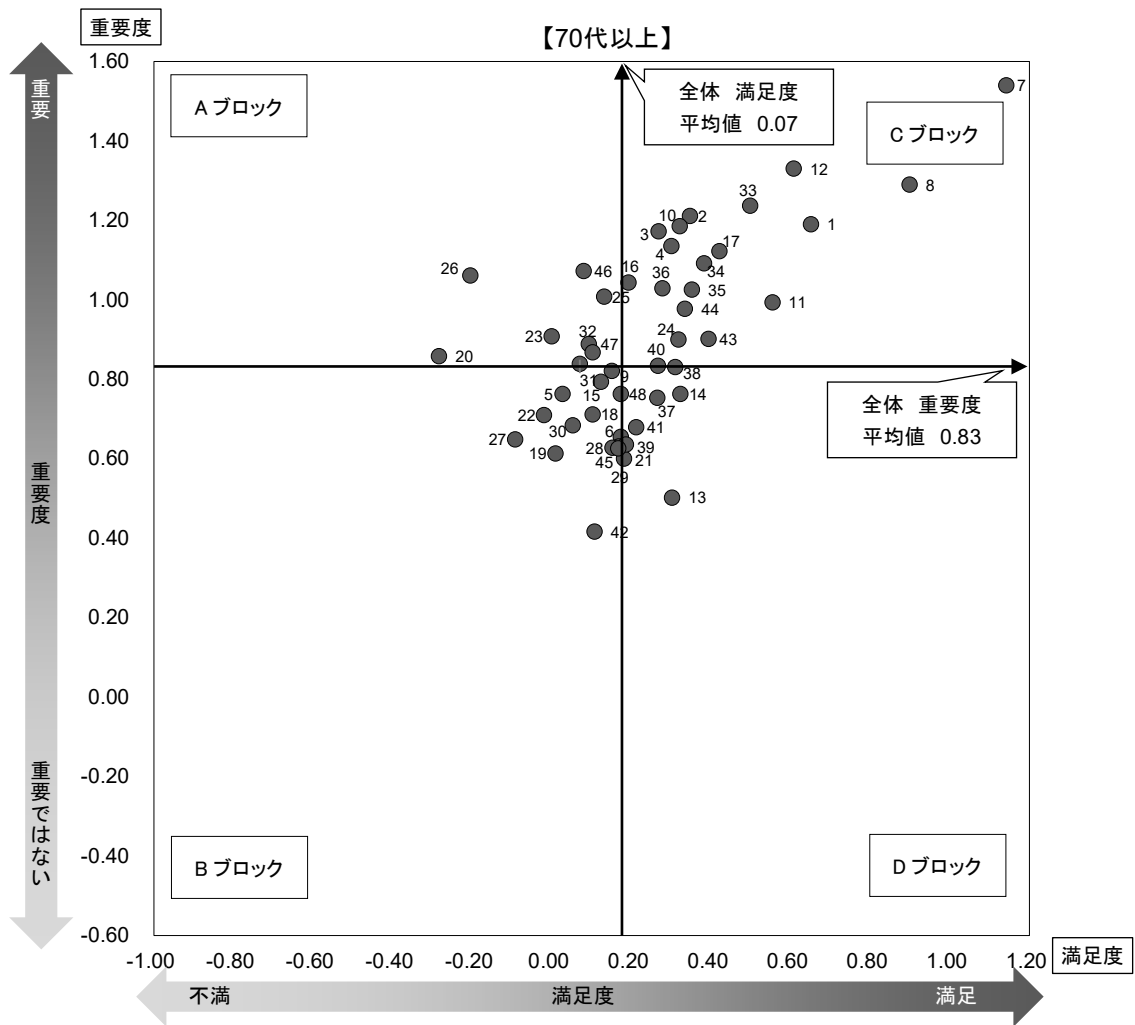
- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 災害や火災から生活を守る消防力の強化 | 25 生活に身近な道路の整備 |
| 2 災害などの発生に備える防災機能の強化 | 26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立 |
| 3 安心して暮らせる防犯体制の整備 | 27 良好な市街地の形成 |
| 4 交通安全対策の推進 | 28 自然景観や歴史的景観などを守る活動 |
| 5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動 | 29 身近な公園などの整備 |
| 6 移住・定住環境の充実 | 30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進 |
| 7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給 | 31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組 |
| 8 公共下水道整備や水洗化の推進 | 32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進 |
| 9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実 | 33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進 |
| 10 安心して子どもを産み育てられる環境の充実 | 34 小・中学校の教育の充実 |
| 11 すこやかな生活のための健康づくりの推進 | 35 小・中学校の施設の充実 |
| 12 市民が安心して受診できる医療体制の充実 | 36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成 |
| 13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興 | 37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実 |
| 14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 | 38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承 |
| 15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 | 39 地域づくり団体などの活動基盤の強化 |
| 16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実 | 40 人権意識の向上と平和な社会の推進 |
| 17 国民健康保険の円滑な運営 | 41 あらゆる分野での男女共同参画の推進 |
| 18 豊かな自然をいかした農林業の振興 | 42 国内外の交流都市との交流連携の強化 |
| 19 創業・活性化支援による工業の振興 | 43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実 |
| 20 商店街の活性化と商業の振興 | 44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報保護の推進 |
| 21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化 | 45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進 |
| 22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発 | 46 無駄のないスリムな行財政運営 |
| 23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策 | 47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用 |
| 24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備 | 48 周辺自治体との連携による業務の推進 |



50 代	満足度平均値 -0.03	重要度平均値 0.72
1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	25 生活に身近な道路の整備	
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立	
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	27 良好な市街地の形成	
4 交通安全対策の推進	28 自然景観や歴史的景観などを守る活動	
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	29 身近な公園などの整備	
6 移住・定住環境の充実	30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進	
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組	
8 公共下水道整備や水洗化の推進	32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進	
9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実	33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進	
10 安心して子どもを産み育てられる環境の充実	34 小・中学校の教育の充実	
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	35 小・中学校の施設の充実	
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成	
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実	
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承	
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化	
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	40 人権意識の向上と平和な社会の推進	
17 国民健康保険の円滑な運営	41 あらゆる分野での男女共同参画の推進	
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	42 国内外の交流都市との交流連携の強化	
19 創業・活性化支援による工業の振興	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実	
20 商店街の活性化と商業の振興	44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護	
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進	
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	46 無駄のないスリムな行財政運営	
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用	
24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備	48 周辺自治体との連携による業務の推進	

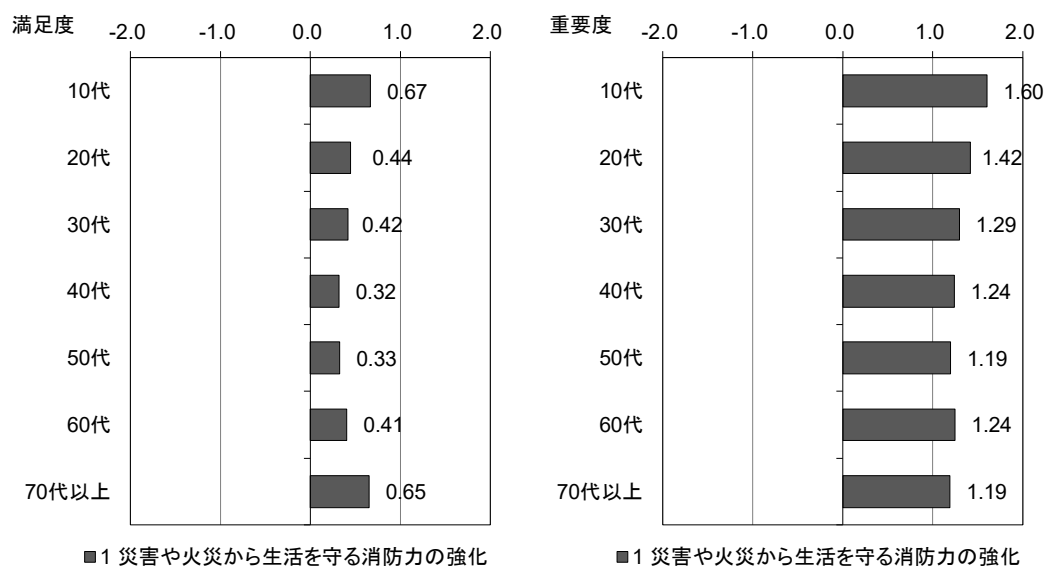
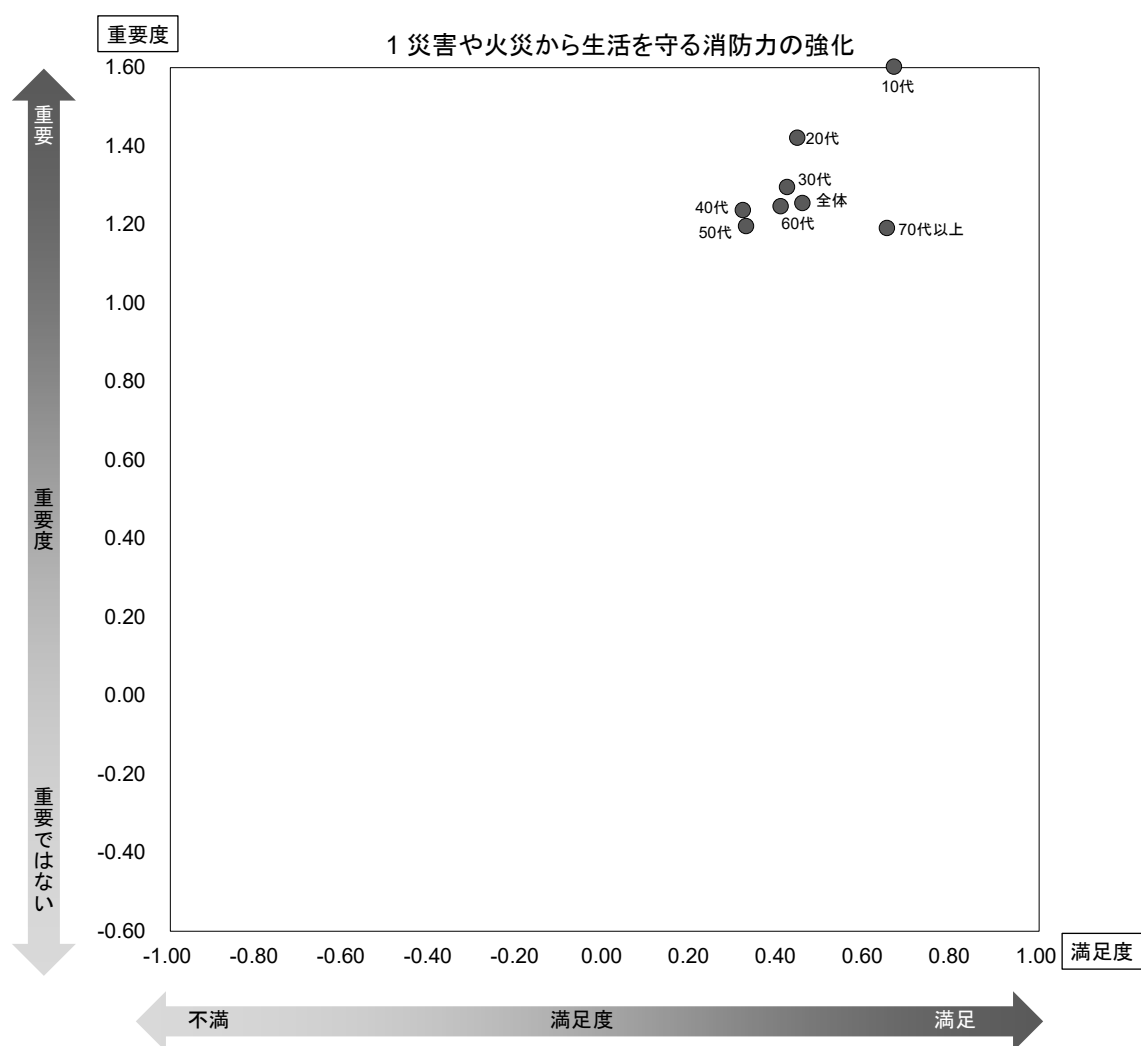


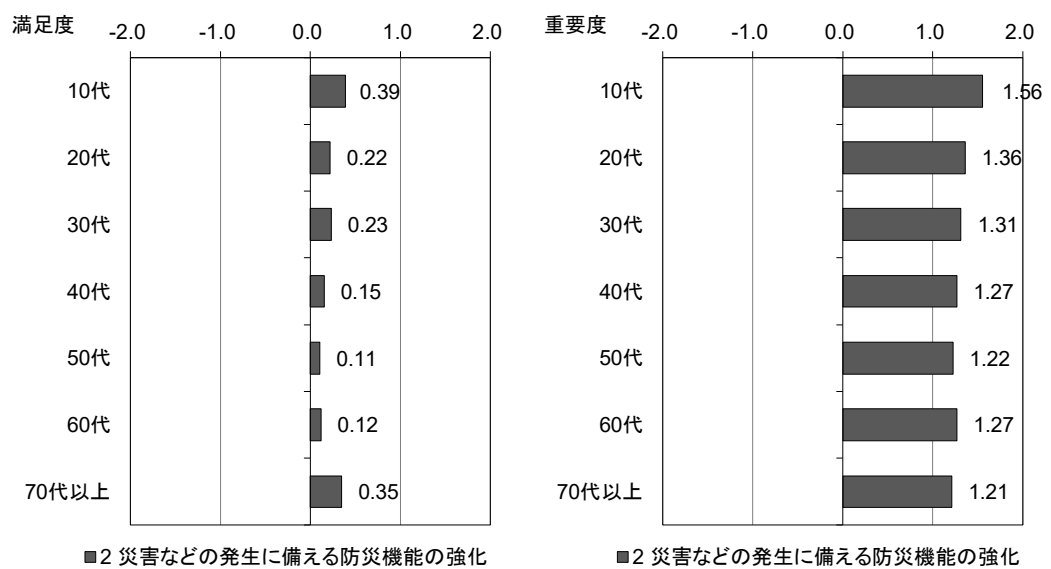
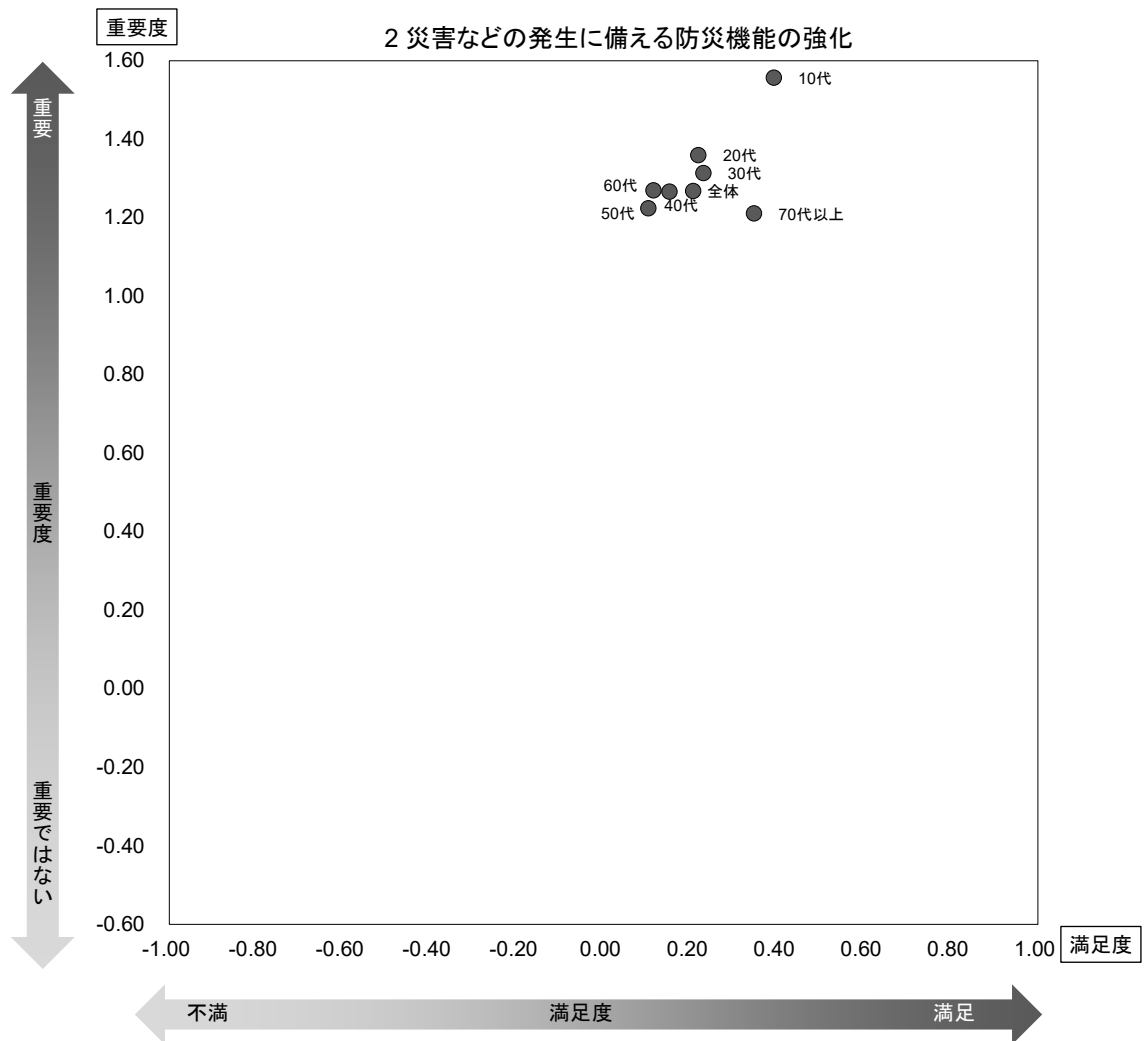
60 代		満足度平均値 0.01	重要度平均値 0.83
1 災害や火災から生活を守る消防力の強化 2 災害などの発生に備える防災機能の強化 3 安心して暮らせる防犯体制の整備 4 交通安全対策の推進 5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動 6 移住・定住環境の充実 7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給 8 公共下水道整備や水洗化の推進 9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実 10 安心して子どもを産み育てられる環境の充実 11 すこやかな生活のための健康づくりの推進 12 市民が安心して受診できる医療体制の充実 13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興 14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実 17 国民健康保険の円滑な運営 18 豊かな自然をいかした農林業の振興 19 創業・活性化支援による工業の振興 20 商店街の活性化と商業の振興 21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化 22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発 23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策 24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備 25 生活に身近な道路の整備 26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立 27 良好な市街地の形成 28 自然景観や歴史的景観などを守る活動 29 身近な公園などの整備 30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進 31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組 32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進 33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進 34 小・中学校の教育の充実 35 小・中学校の施設の充実 36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成 37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実 38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承 39 地域づくり団体などの活動基盤の強化 40 人権意識の向上と平和な社会の推進 41 あらゆる分野での男女共同参画の推進 42 国内外の交流都市との交流連携の強化 43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実 44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護 45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進 46 無駄のないスリムな行財政運営 47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用 48 周辺自治体との連携による業務の推進			

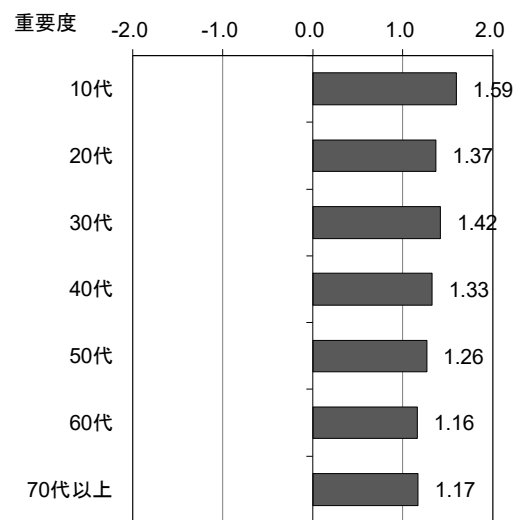
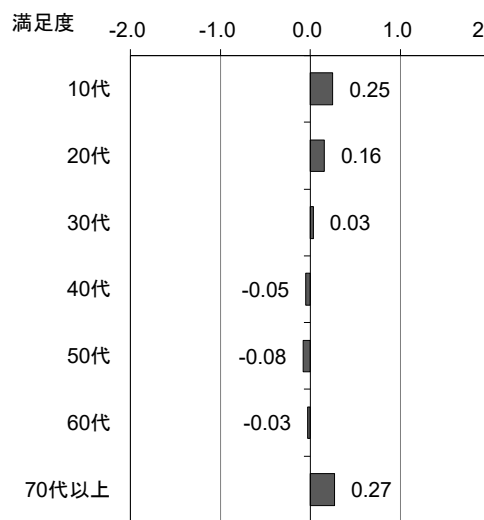
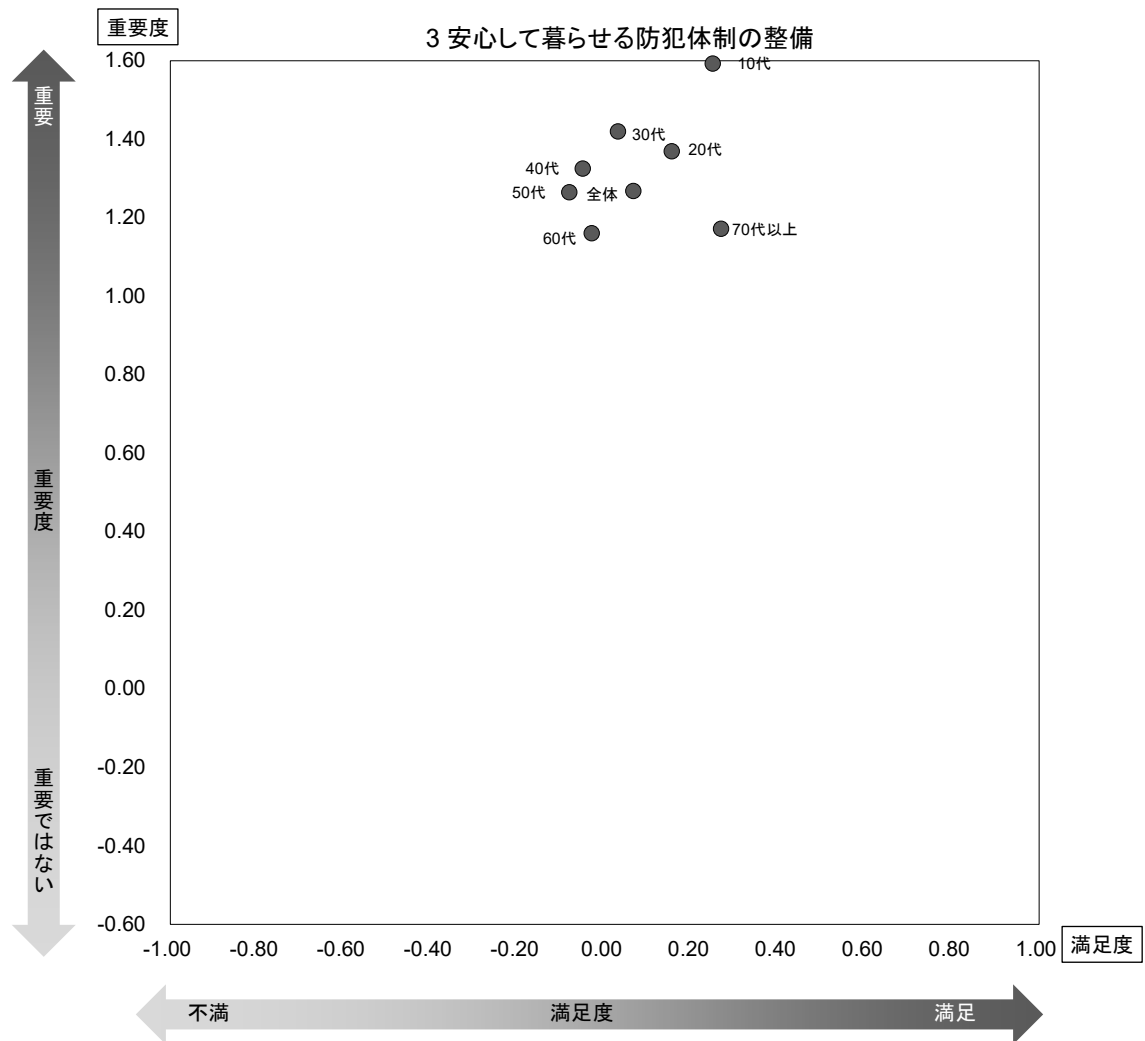


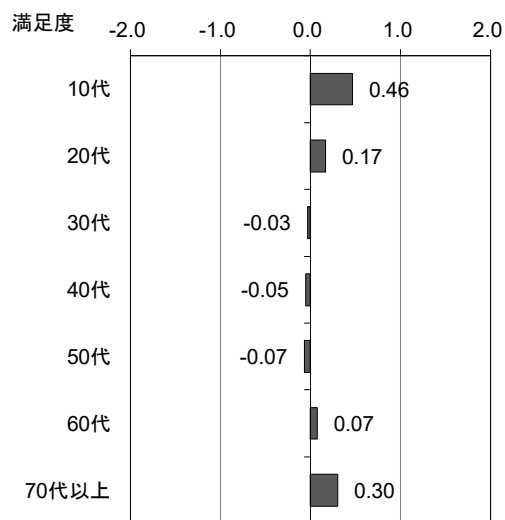
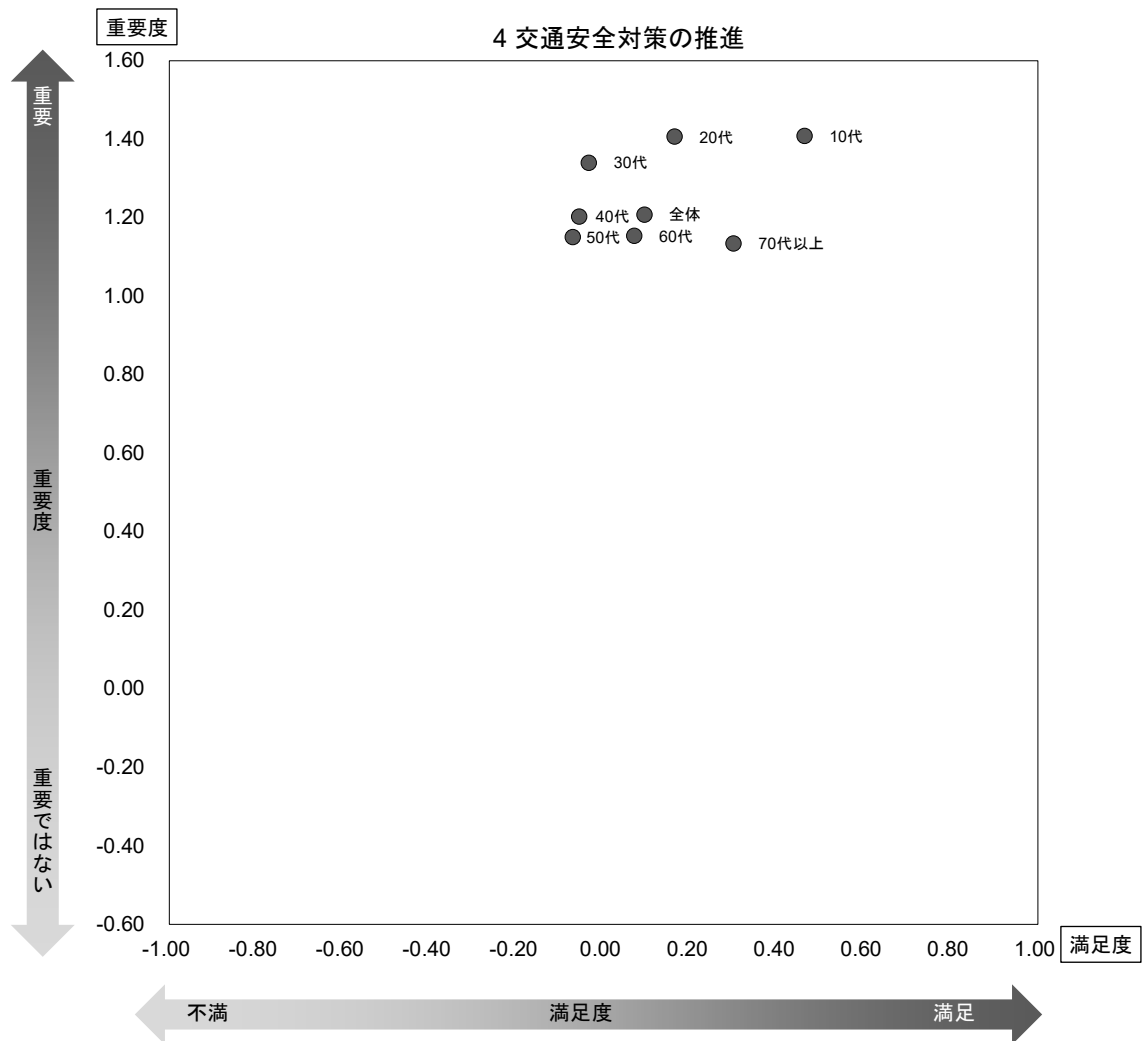
70 代以上	満足度平均値 0.24	重要度平均値 0.89
1 災害や火災から生活を守る消防力の強化 2 災害などの発生に備える防災機能の強化 3 安心して暮らせる防犯体制の整備 4 交通安全対策の推進 5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動 6 移住・定住環境の充実 7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給 8 公共下水道整備や水洗化の推進 9 生活困窮者が自立できる ための地域福祉の充実 10 安心して子どもを産み育てられる環境の充実 11 すこやかな生活のための健康づくりの推進 12 市民が安心して受診できる医療体制の充実 13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興 14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実 16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実 17 国民健康保険の円滑な運営 18 豊かな自然をいかした農林業の振興 19 創業・活性化支援による工業の振興 20 商店街の活性化と商業の振興 21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化 22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発 23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策 24 国県道などの主要幹線 道路や橋りょうの整備 25 生活に身近な道路の整備 26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立 27 良好な市街地の形成 28 自然景観や歴史的景観などを守る活動 29 身近な公園などの整備 30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進 31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組 32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進 33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進 34 小・中学校の教育の充実 35 小・中学校の施設の充実 36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成 37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実 38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承 39 地域づくり団体などの活動基盤の強化 40 人権意識の向上と平和な社会の推進 41 あらゆる分野での男女共同参画の推進 42 国内外の交流都市との交流連携の強化 43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実 44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護 45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進 46 無駄のないスリムな行財政運営 47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用 48 周辺自治体との連携による業務の推進		

3. 48項目の項目別・年代別満足度・重要度（加重平均値）

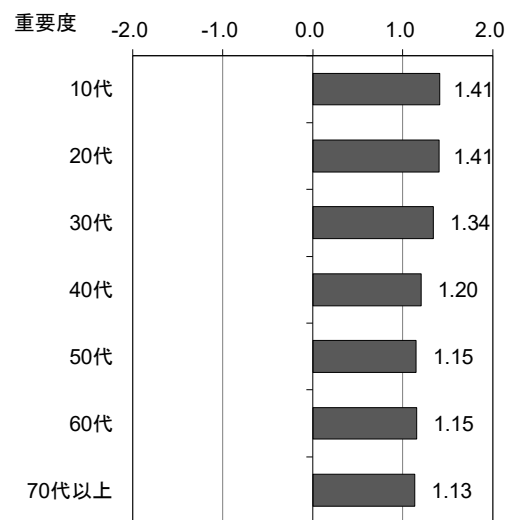




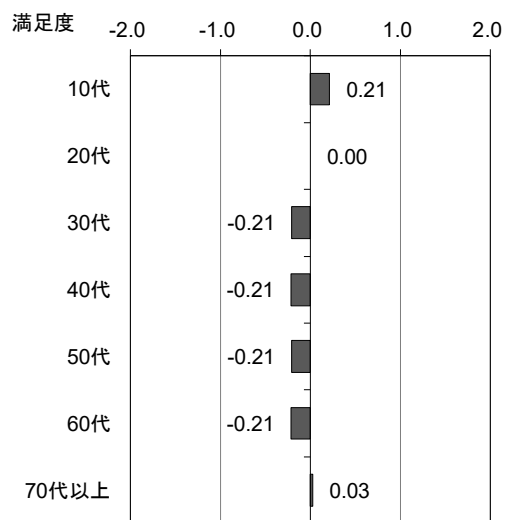
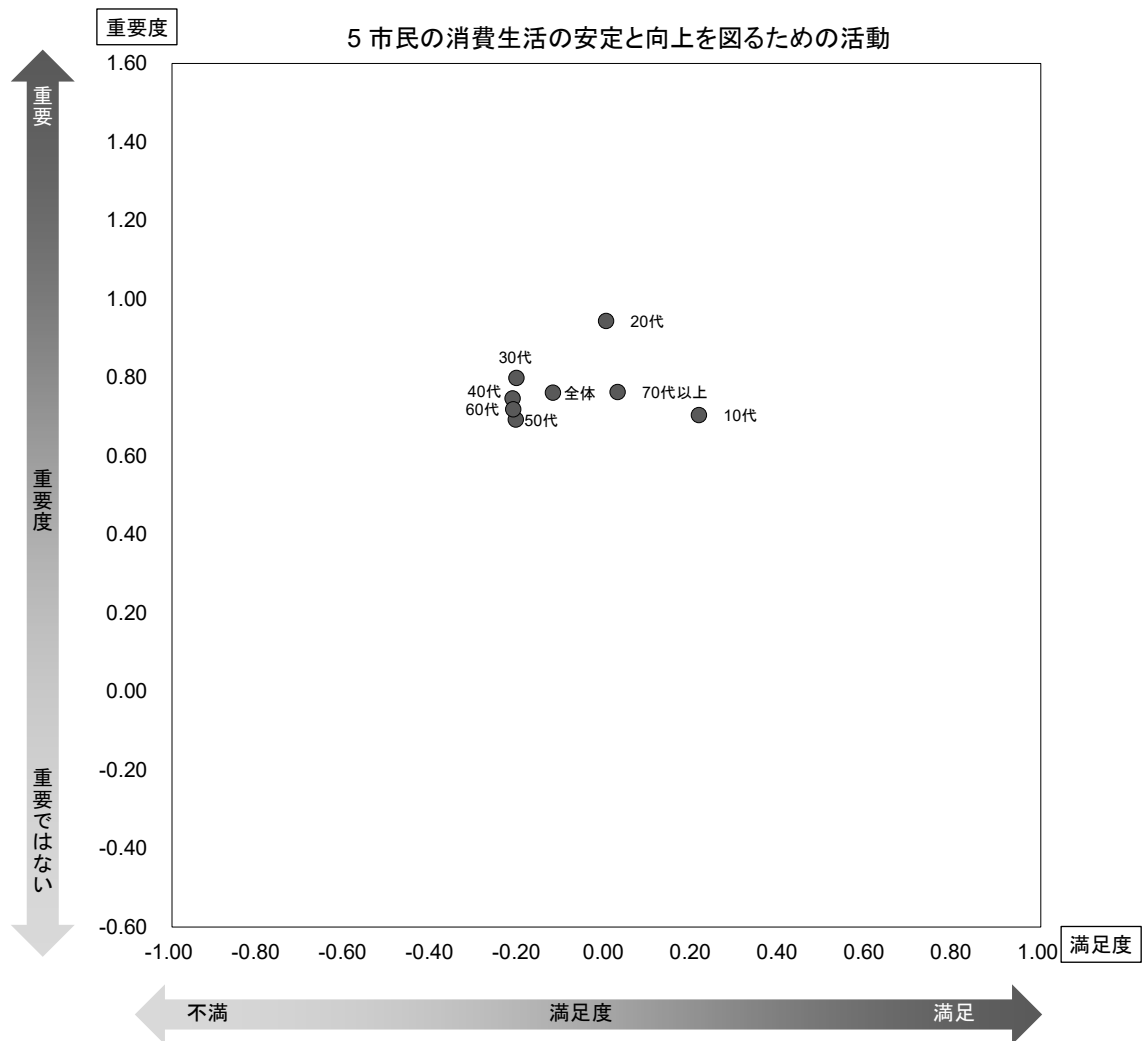




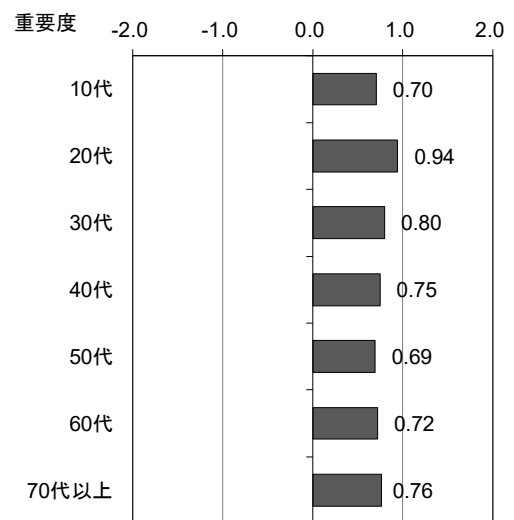
■4 交通安全対策の推進



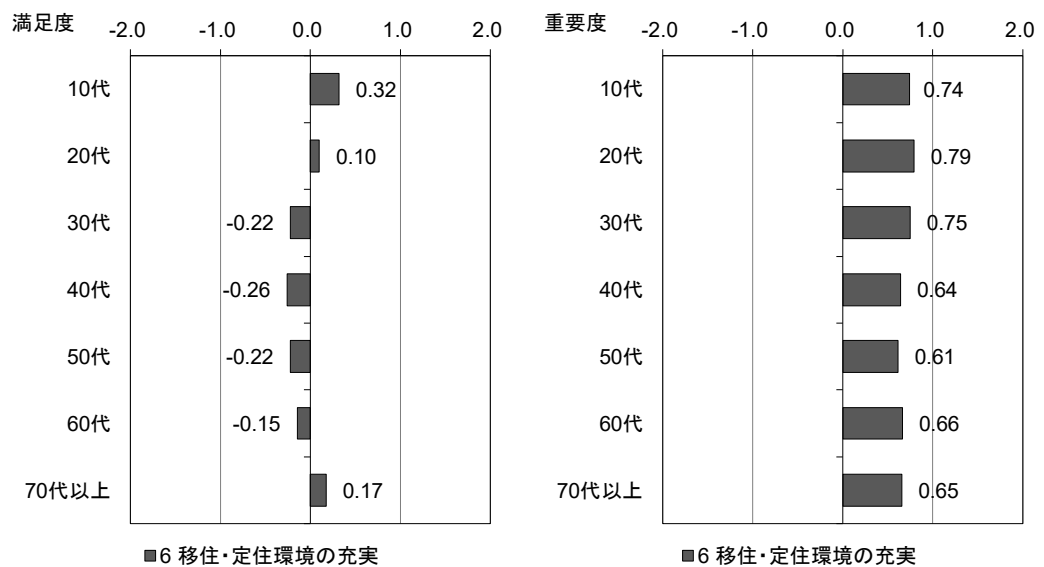
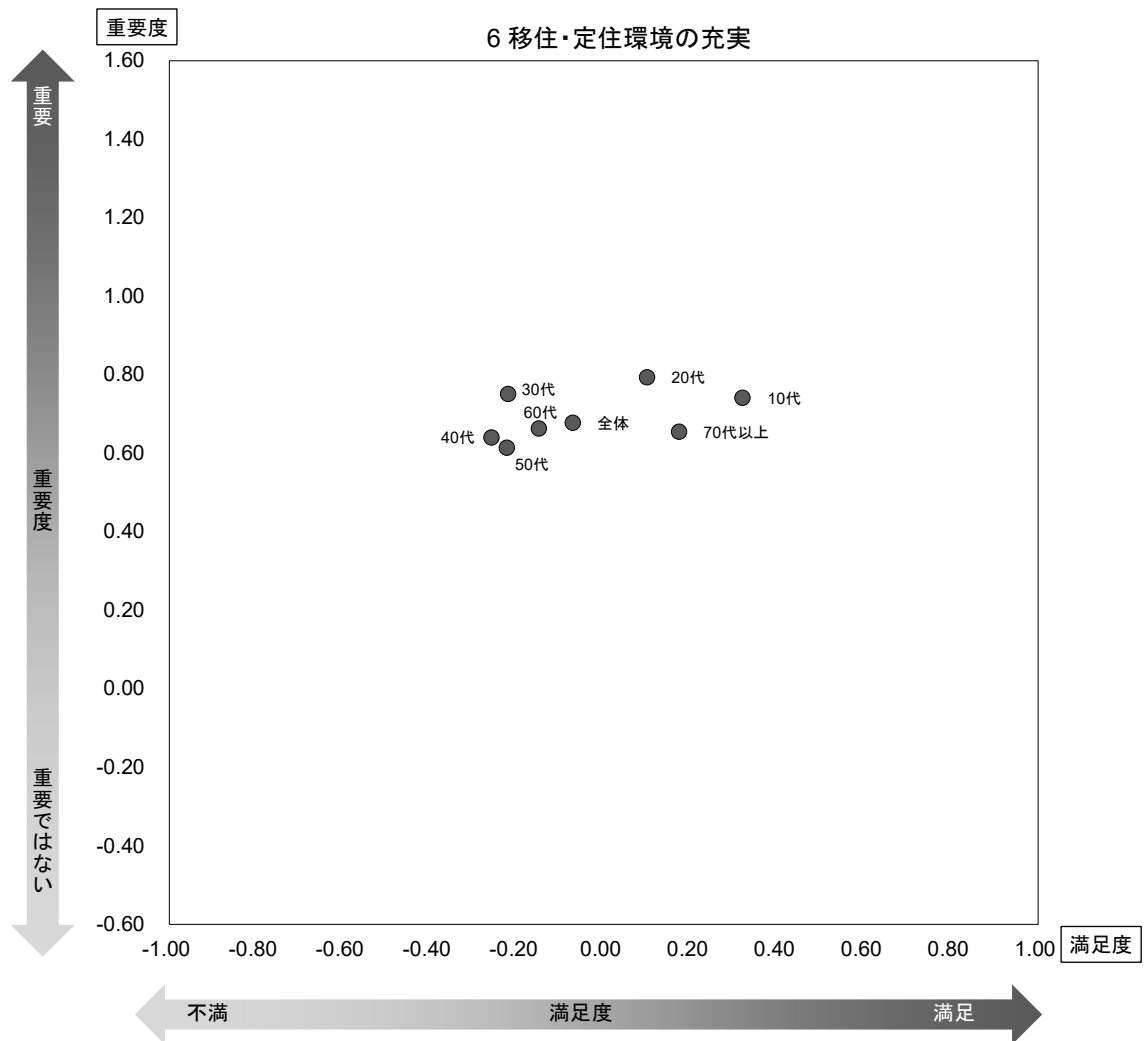
■4 交通安全対策の推進

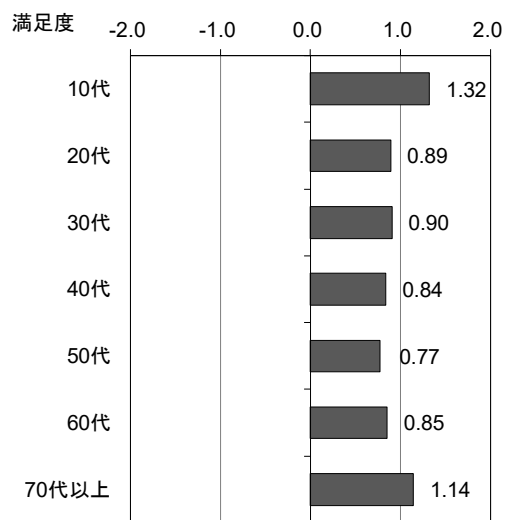
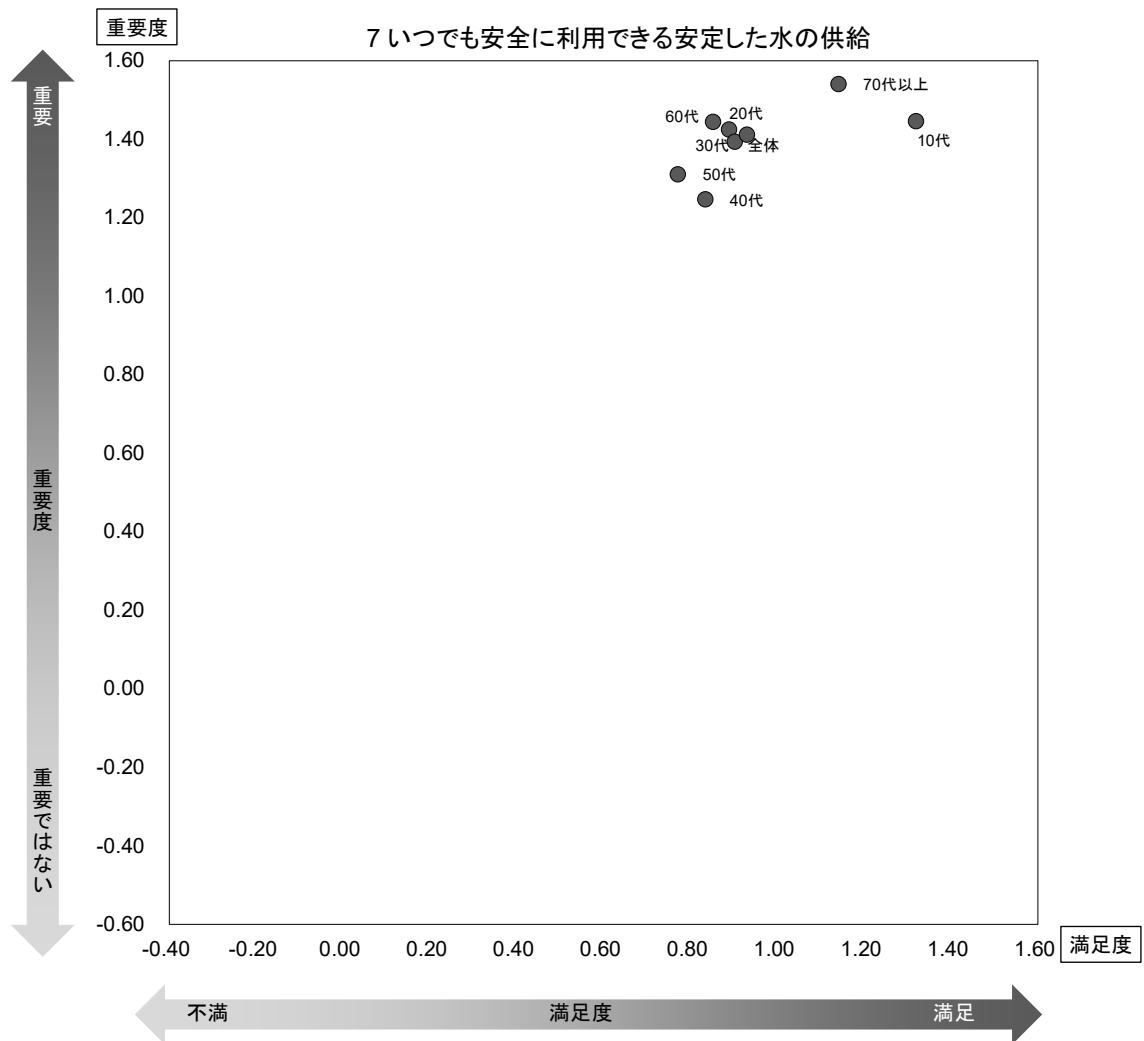


■ 5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動

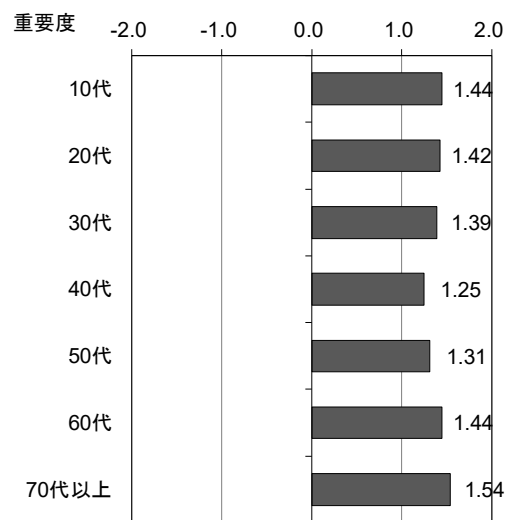


■ 5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動

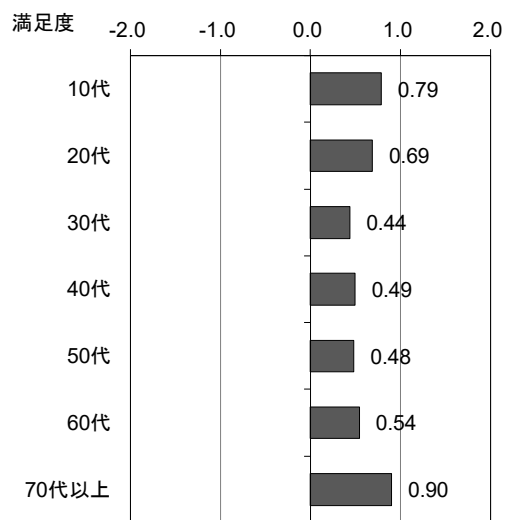
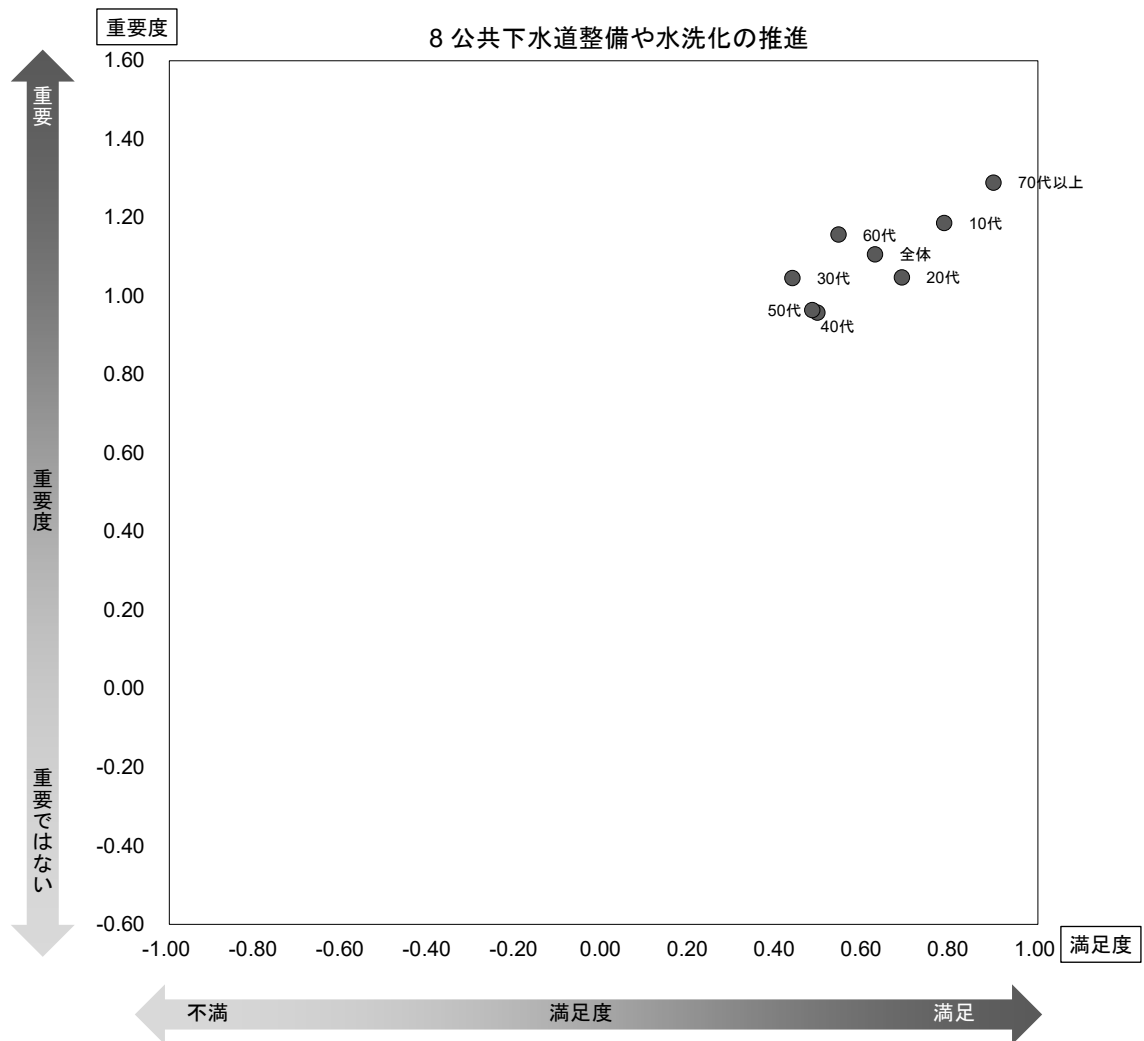




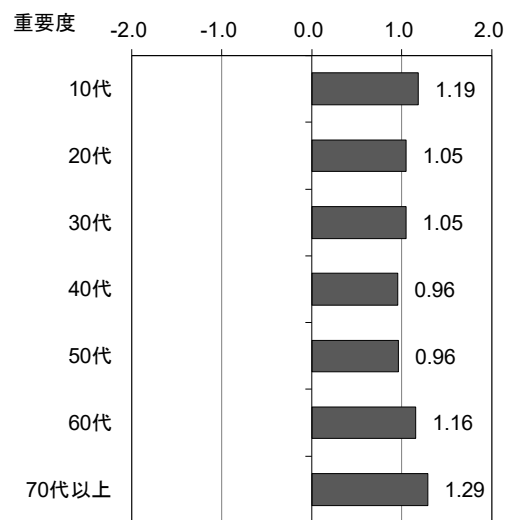
■ 7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給



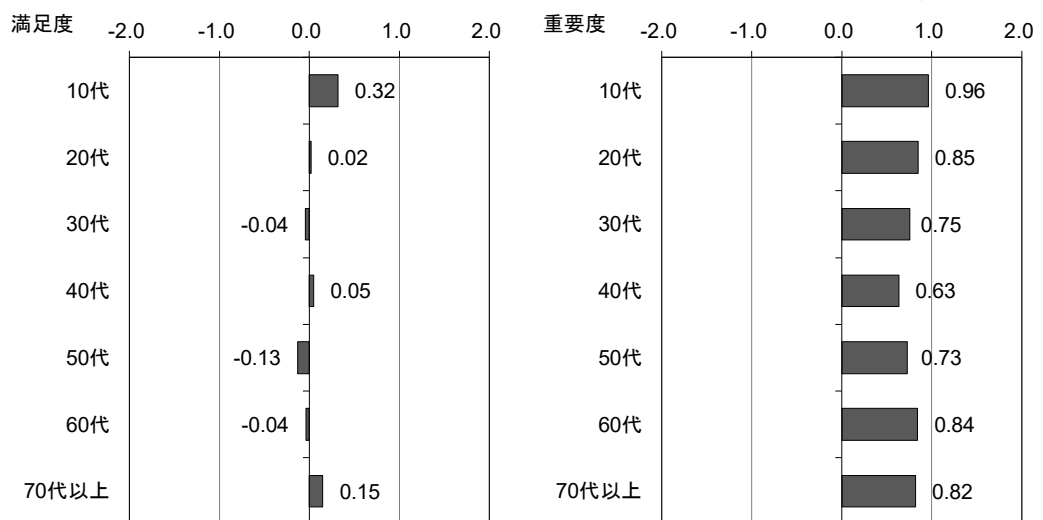
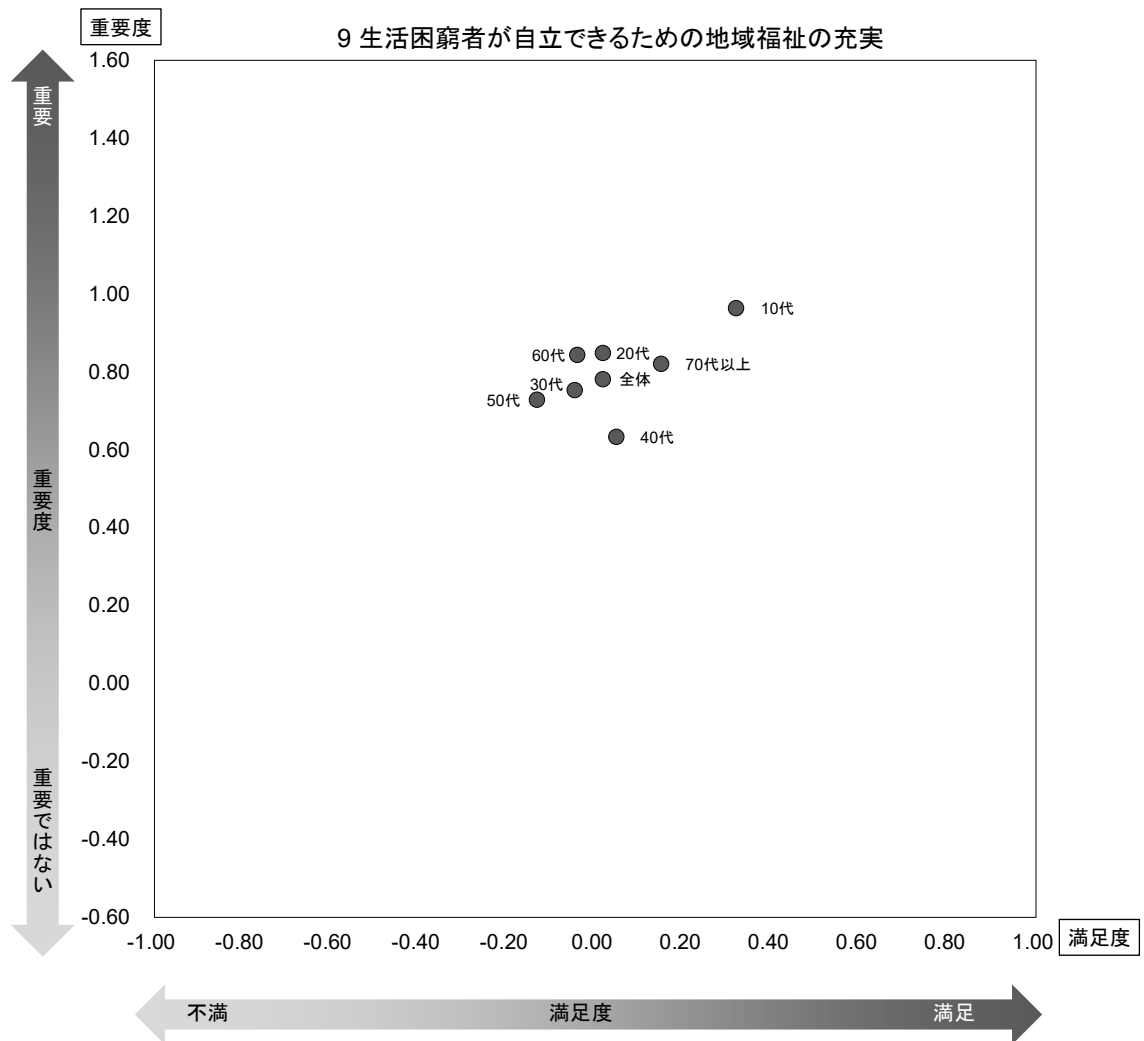
■ 7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給



■ 8 公共下水道整備や水洗化の推進

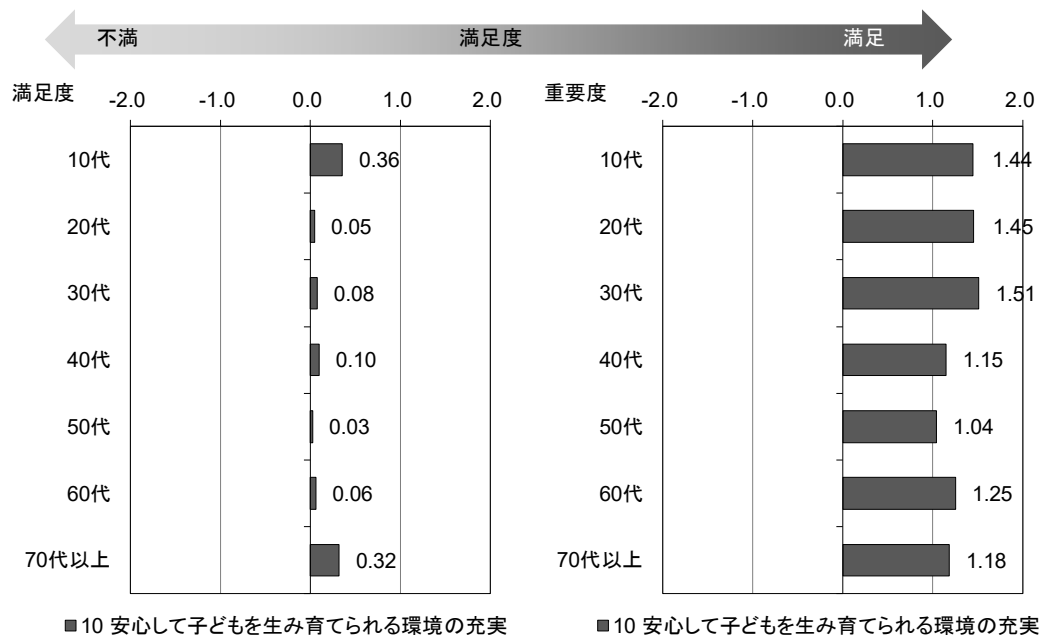
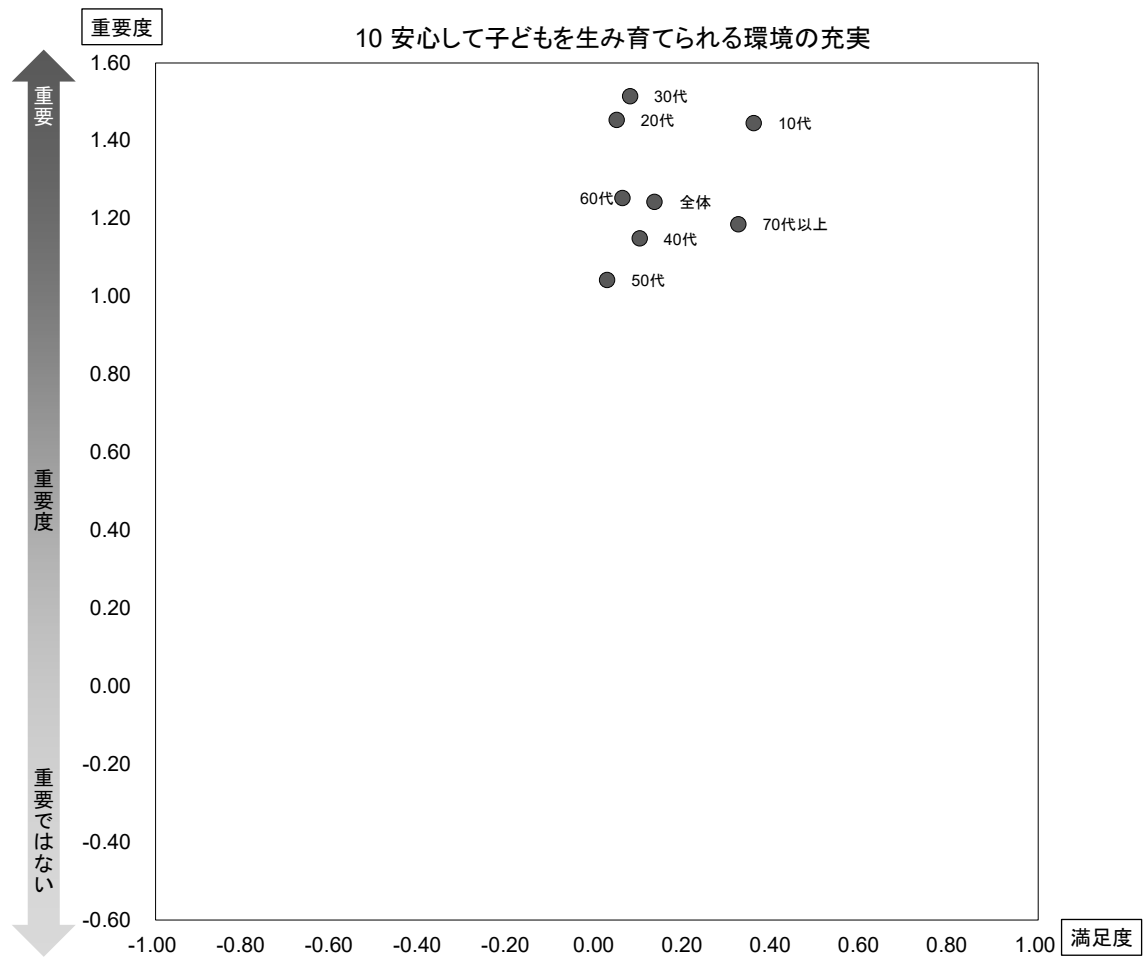


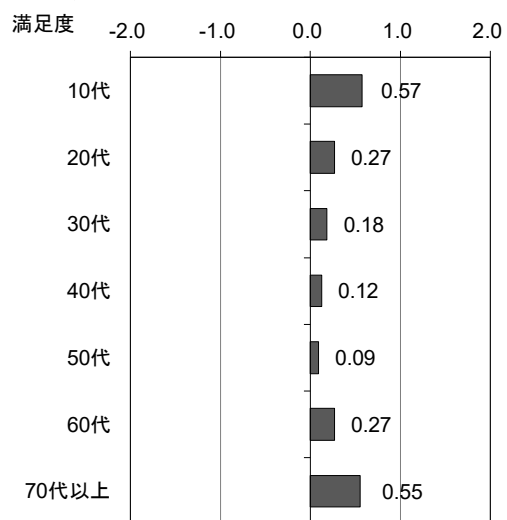
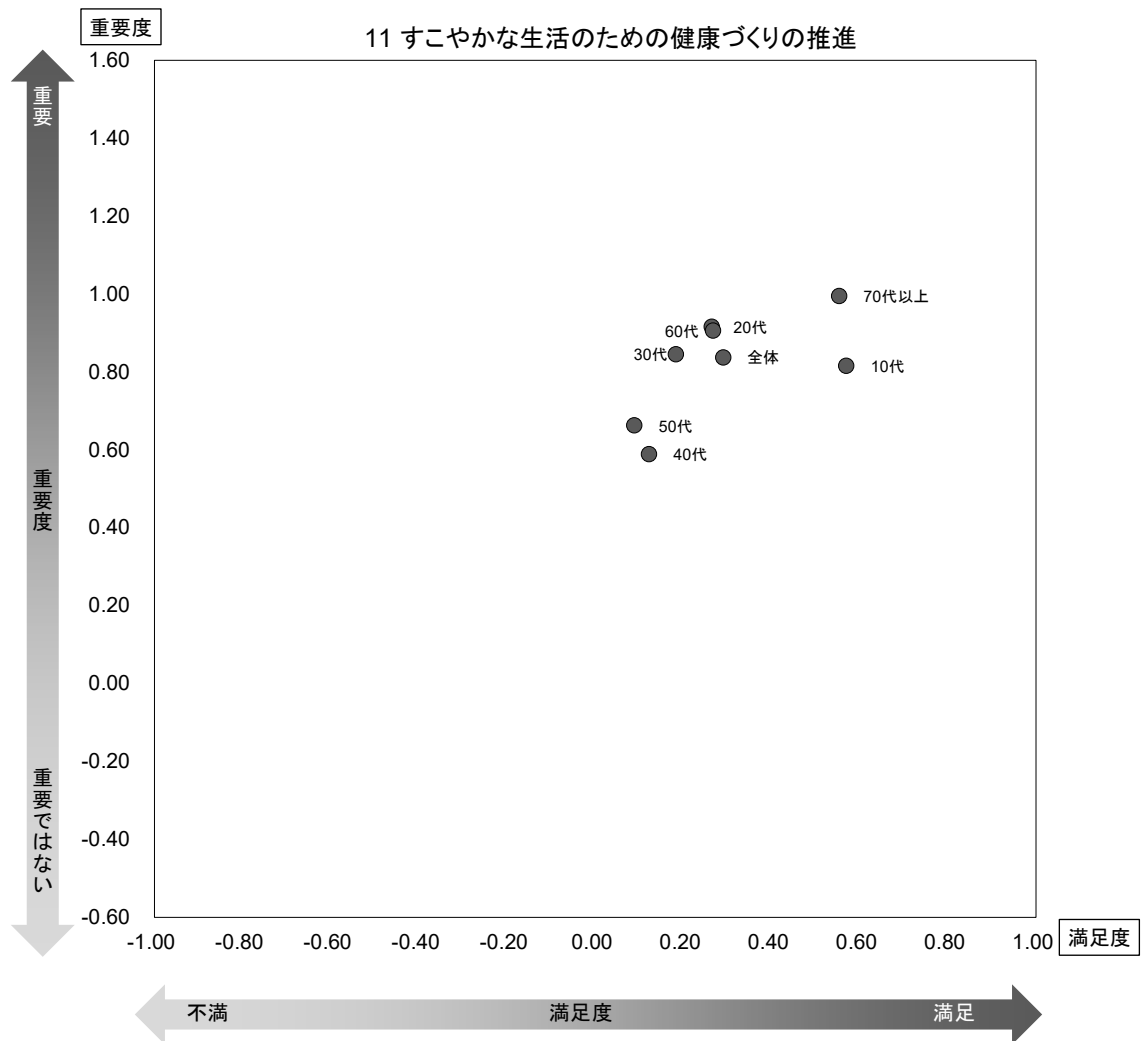
■ 8 公共下水道整備や水洗化の推進



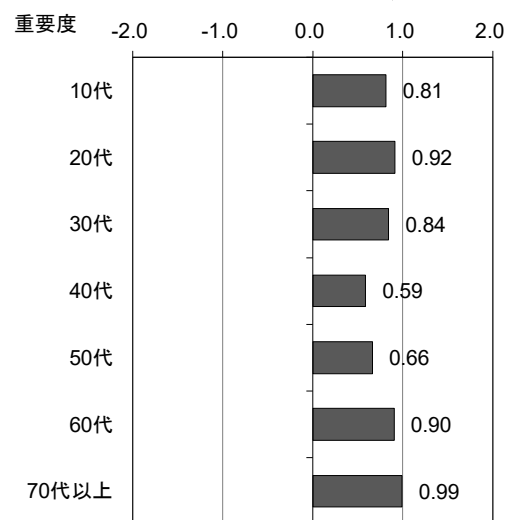
■9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実

■9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実

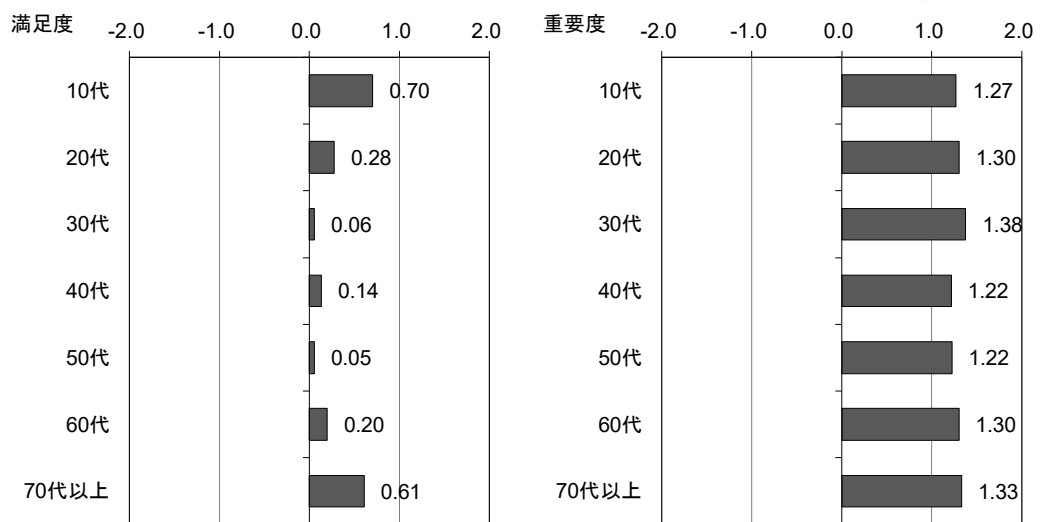
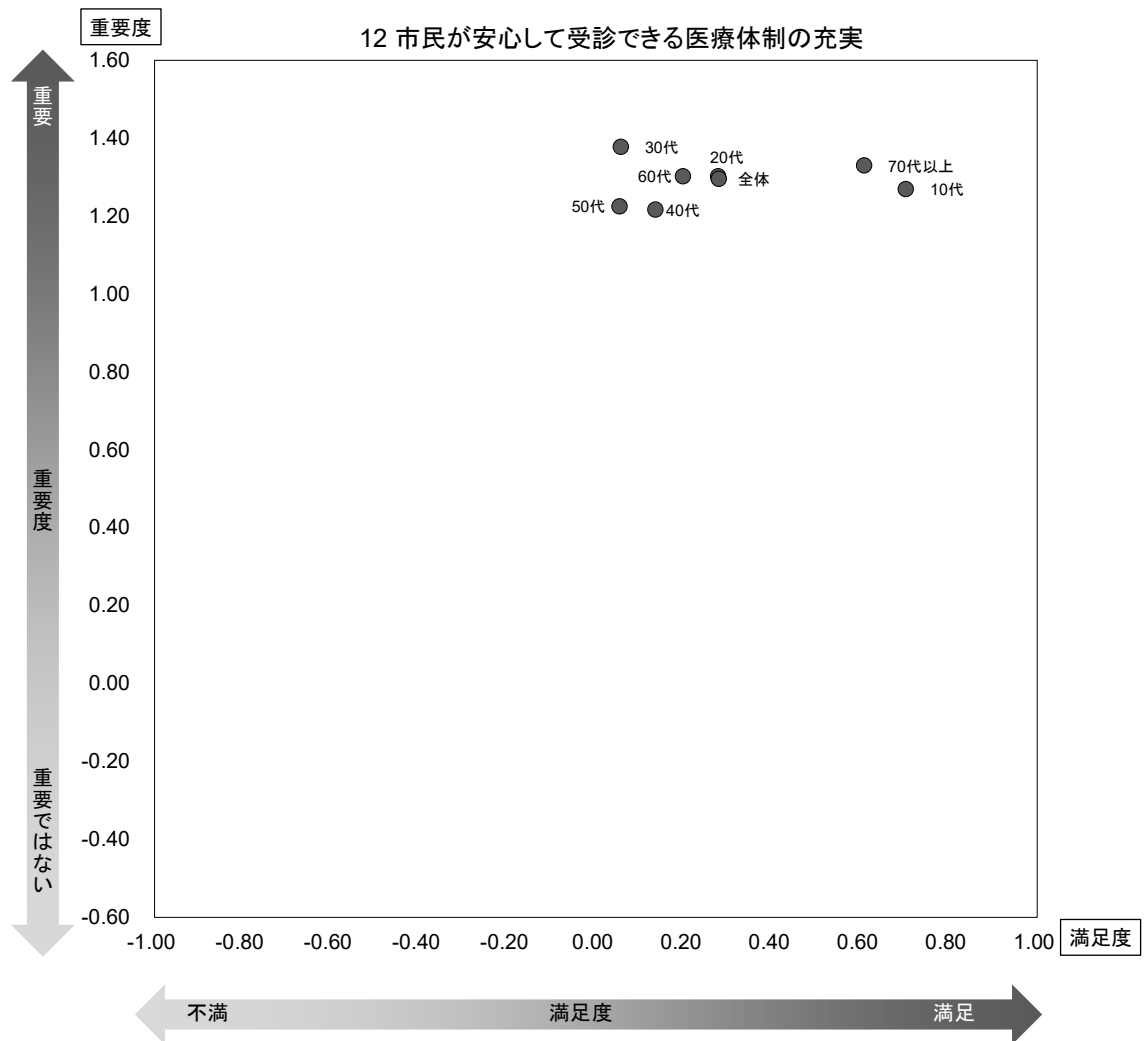




■ 11 すこやかな生活のための健康づくりの推進

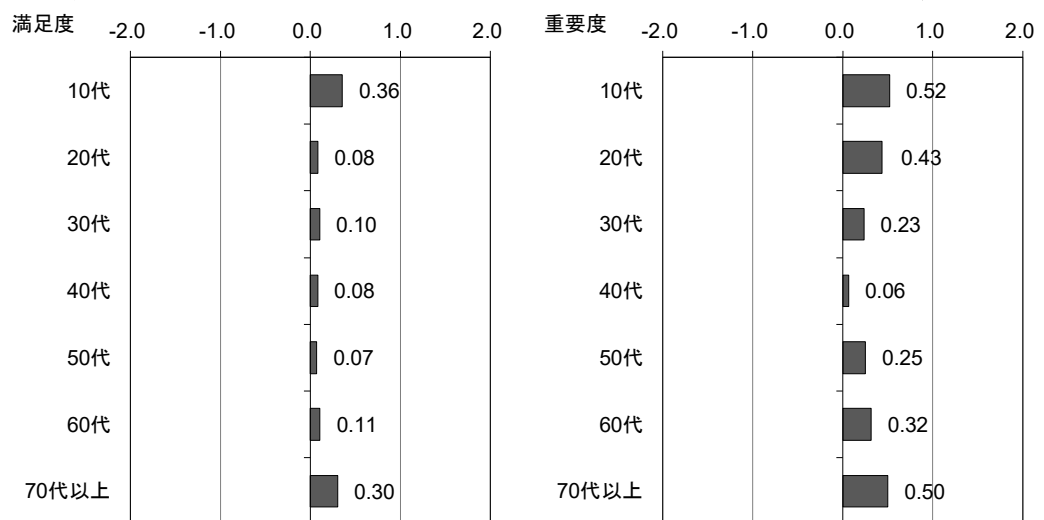
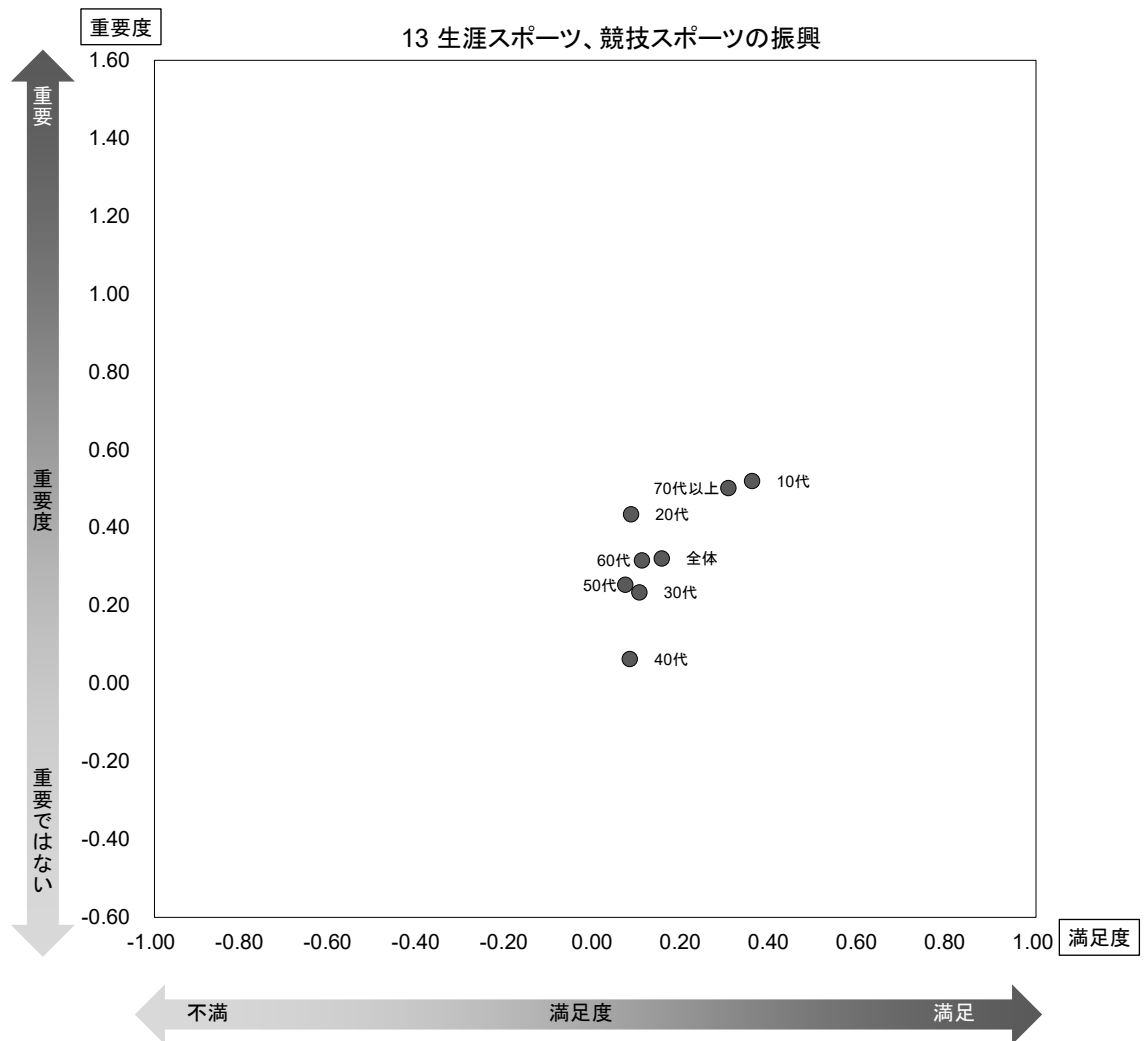


■ 11 すこやかな生活のための健康づくりの推進



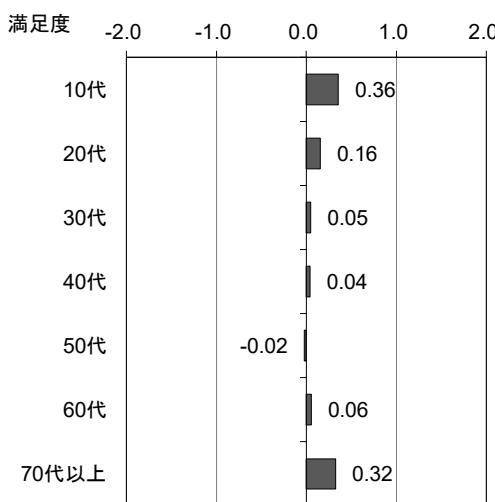
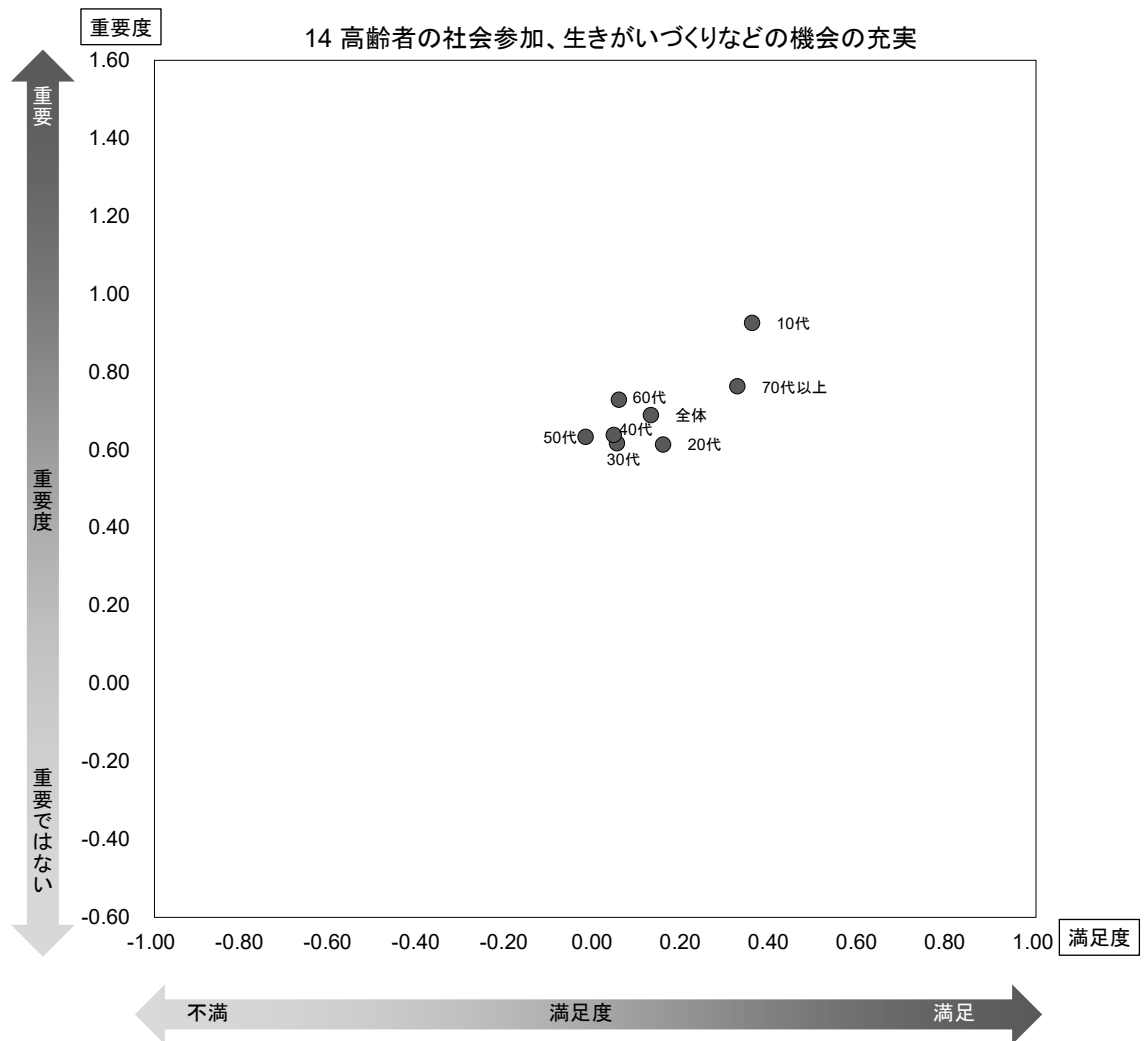
■ 12 市民が安心して受診できる医療体制の充実

■ 12 市民が安心して受診できる医療体制の充実

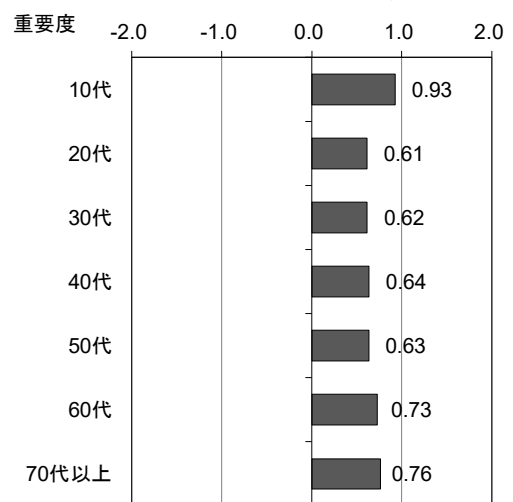


■ 13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興

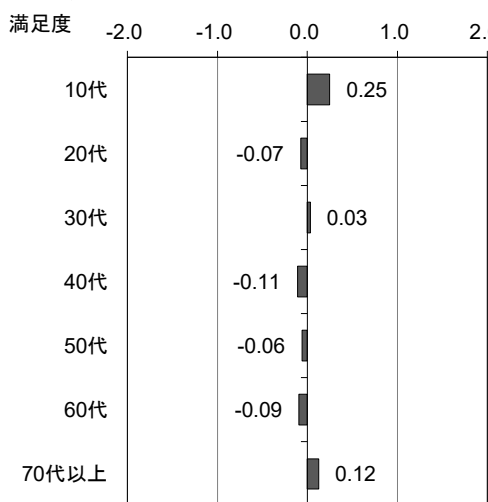
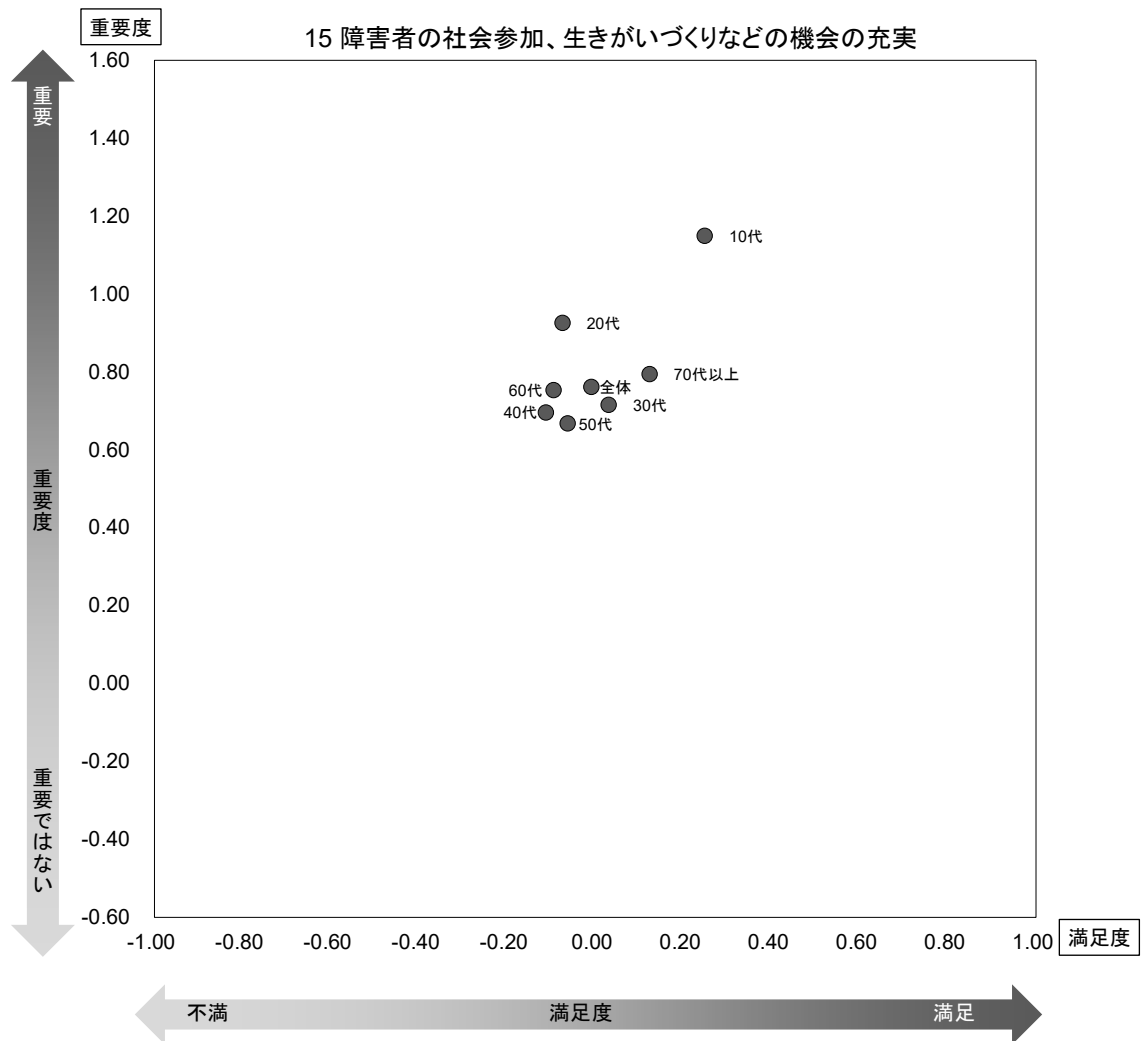
■ 13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興



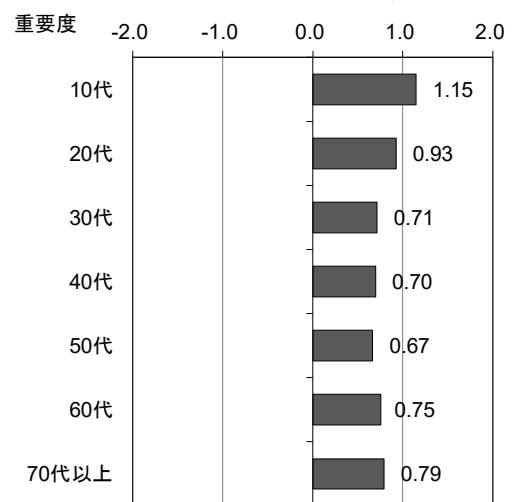
■ 14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実



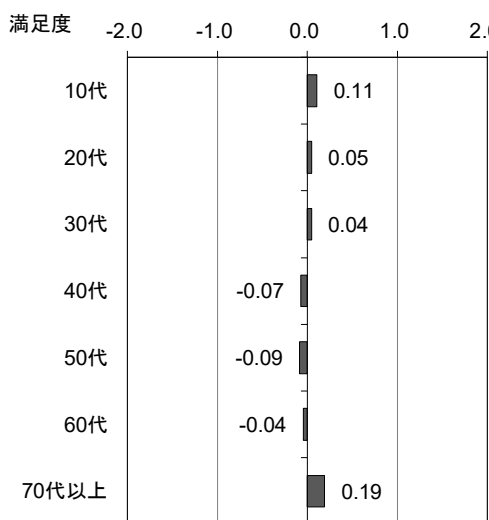
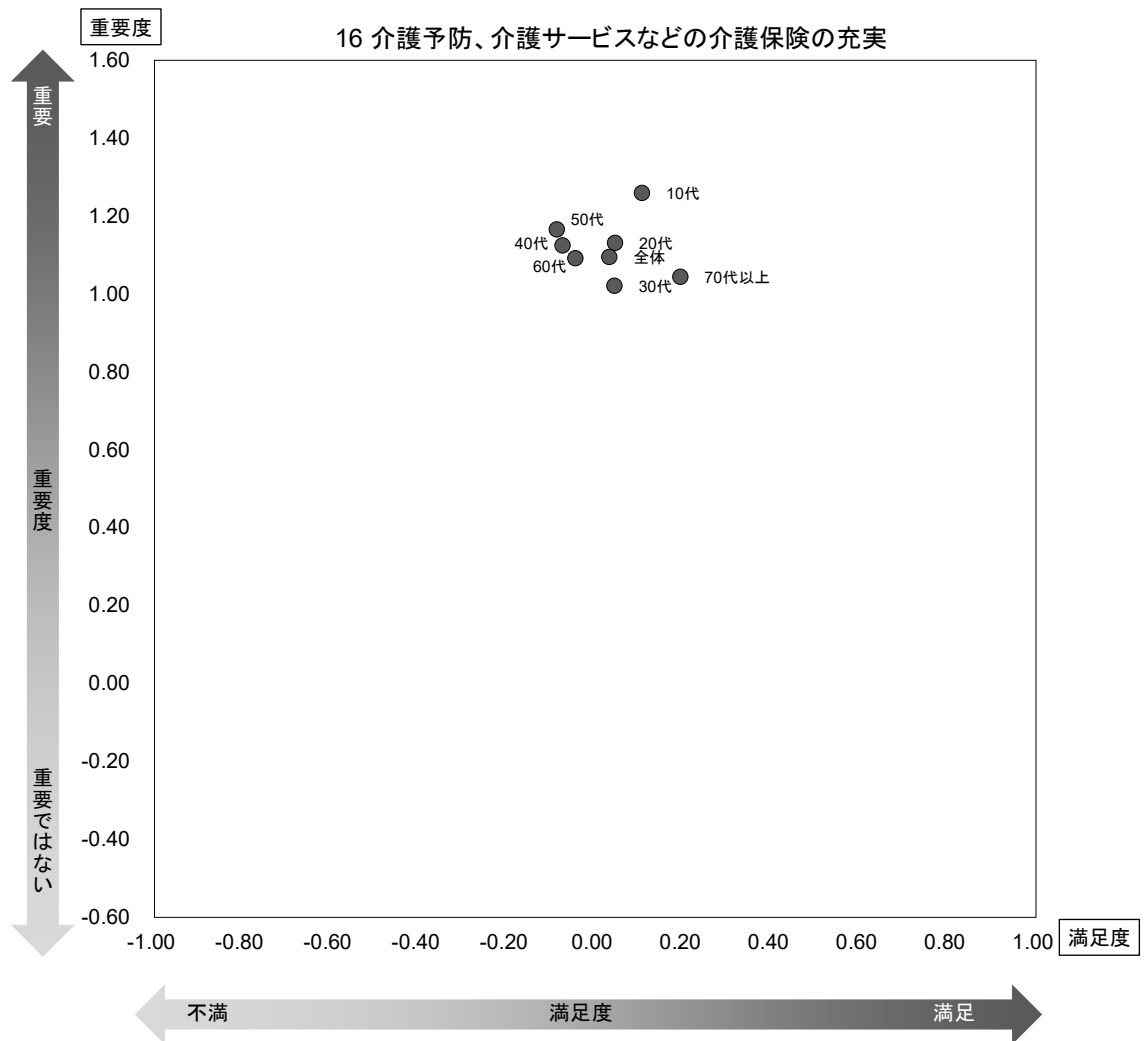
■ 14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実



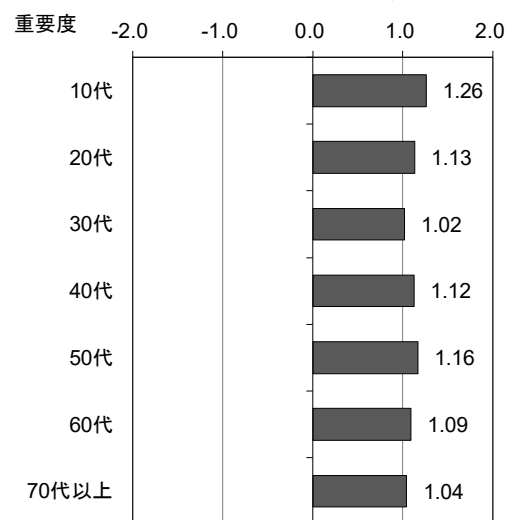
■ 15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実



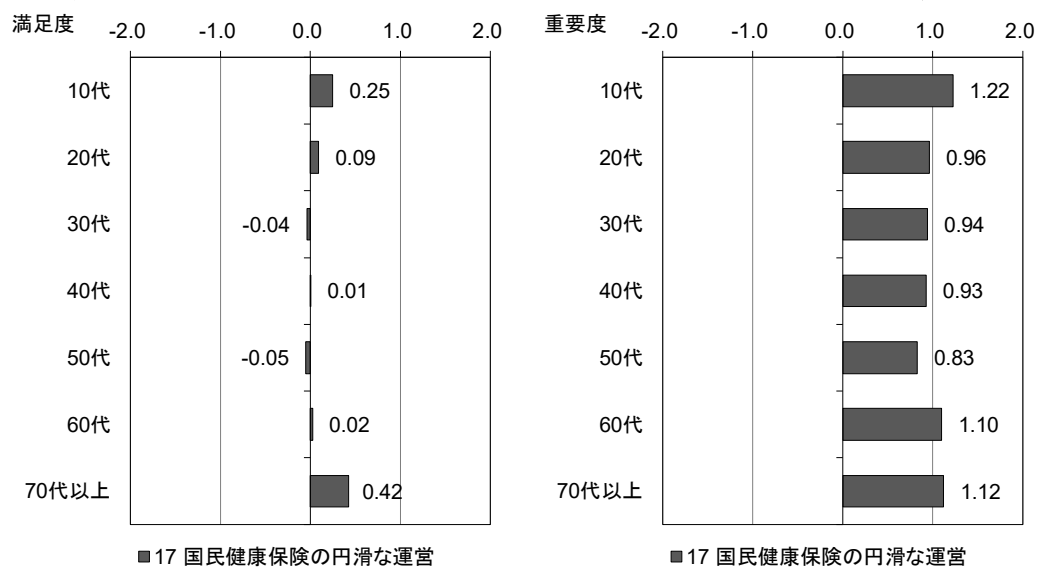
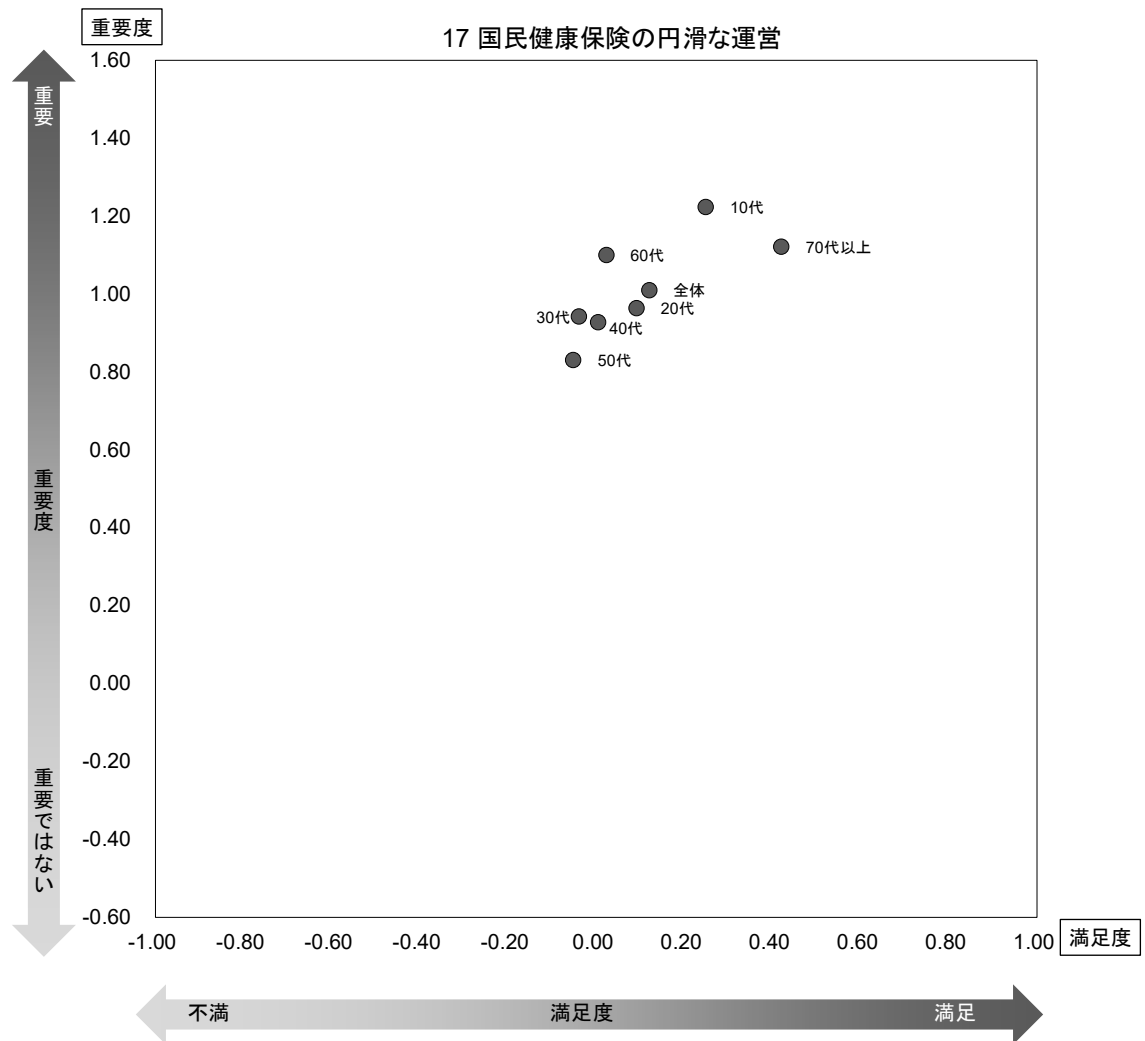
■ 15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実

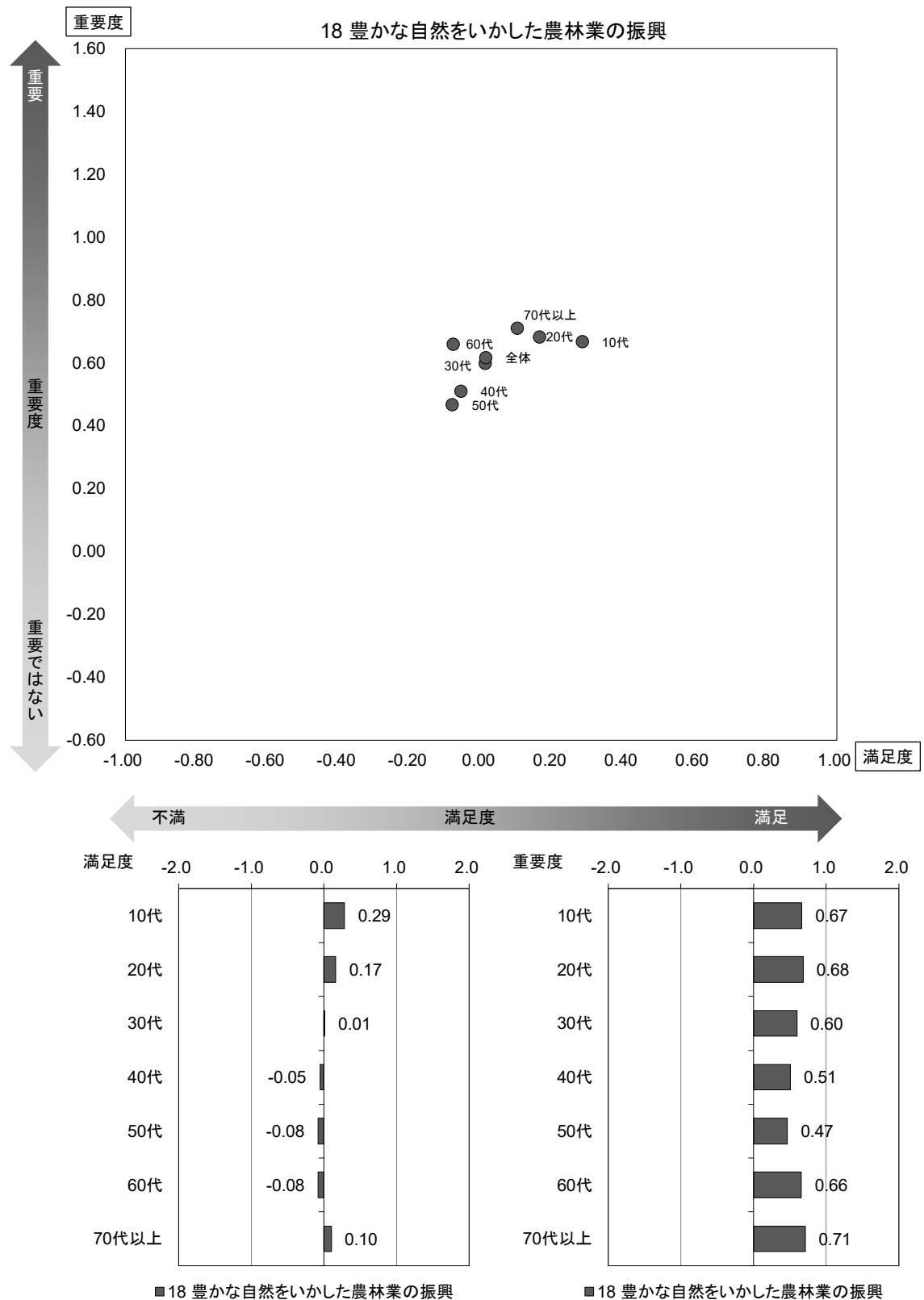


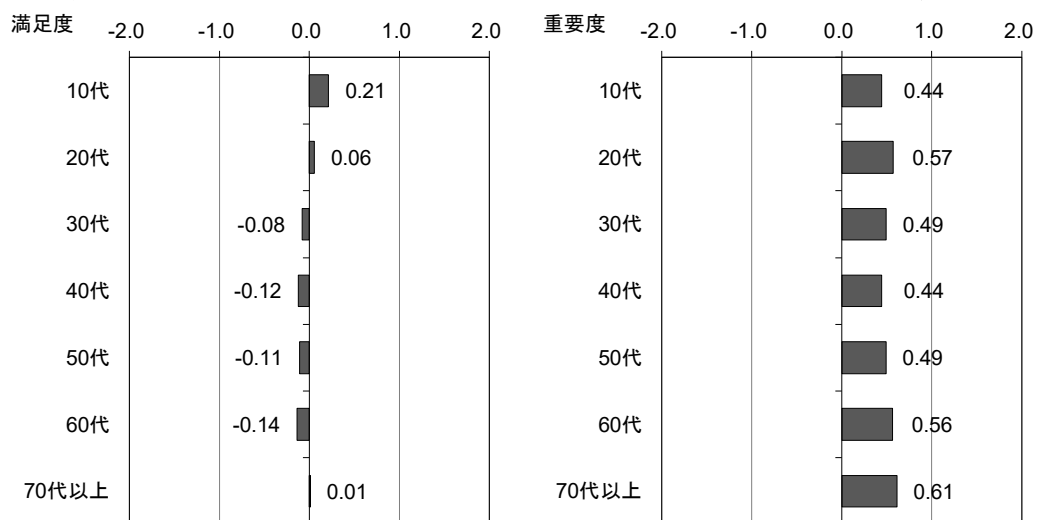
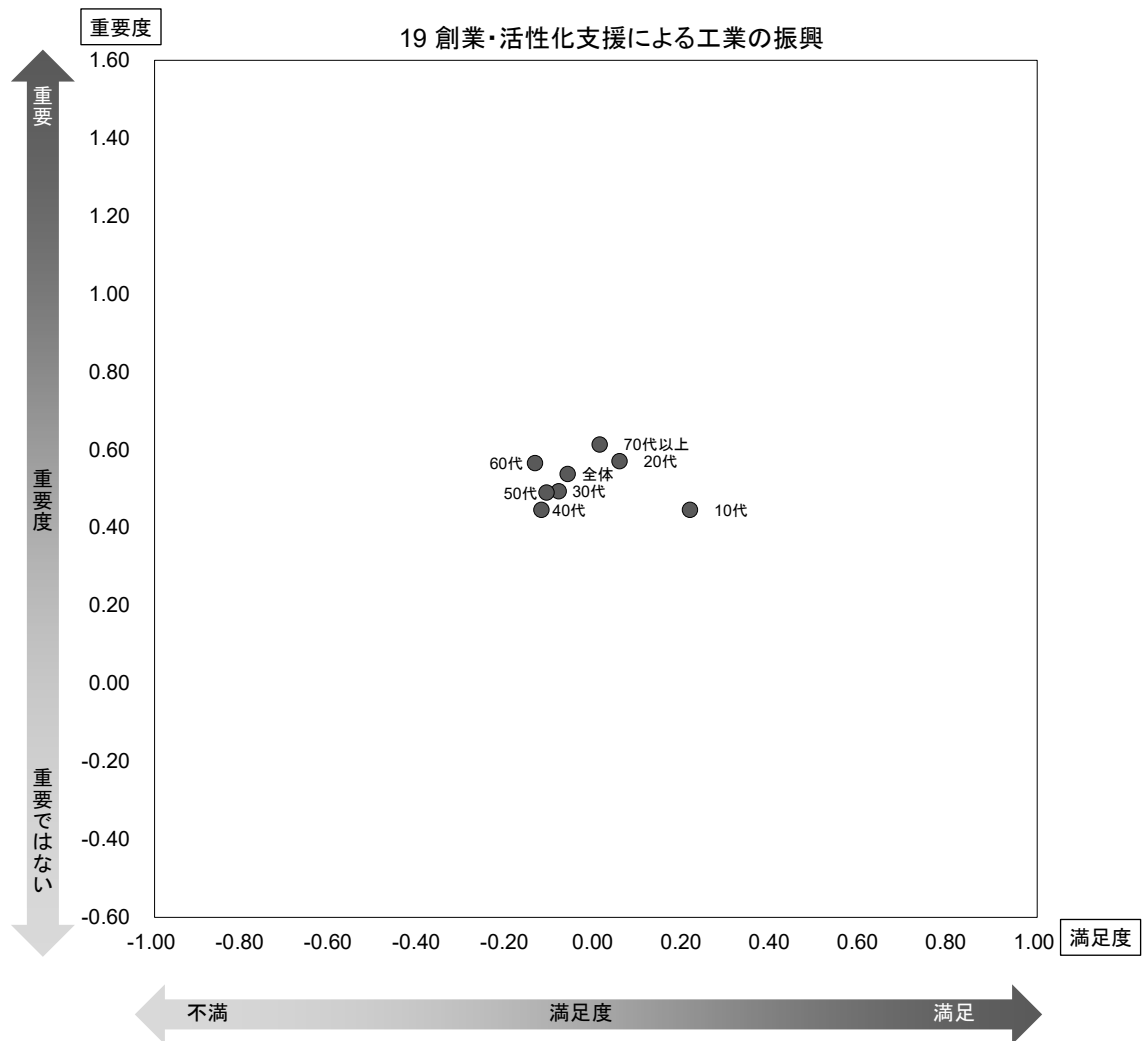
■ 16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実



■ 16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実

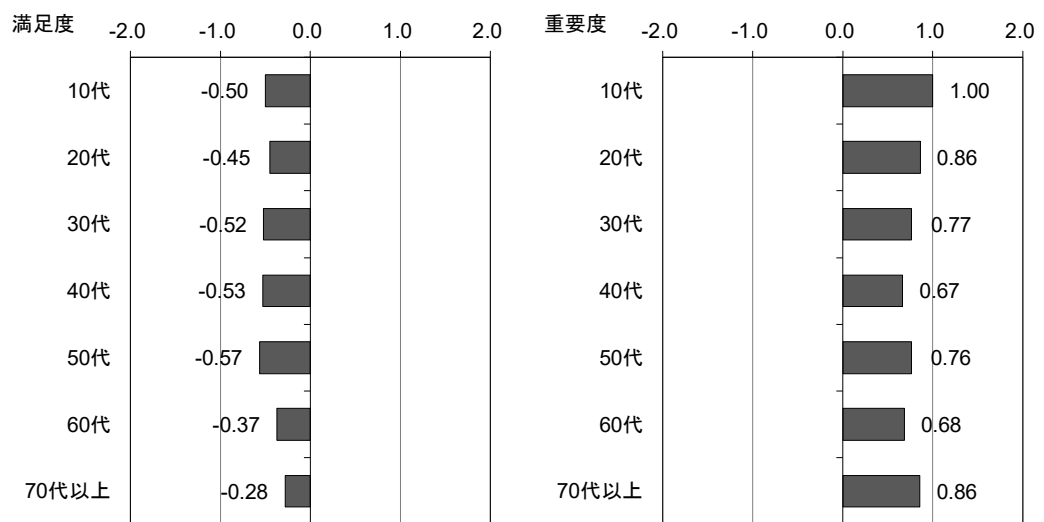
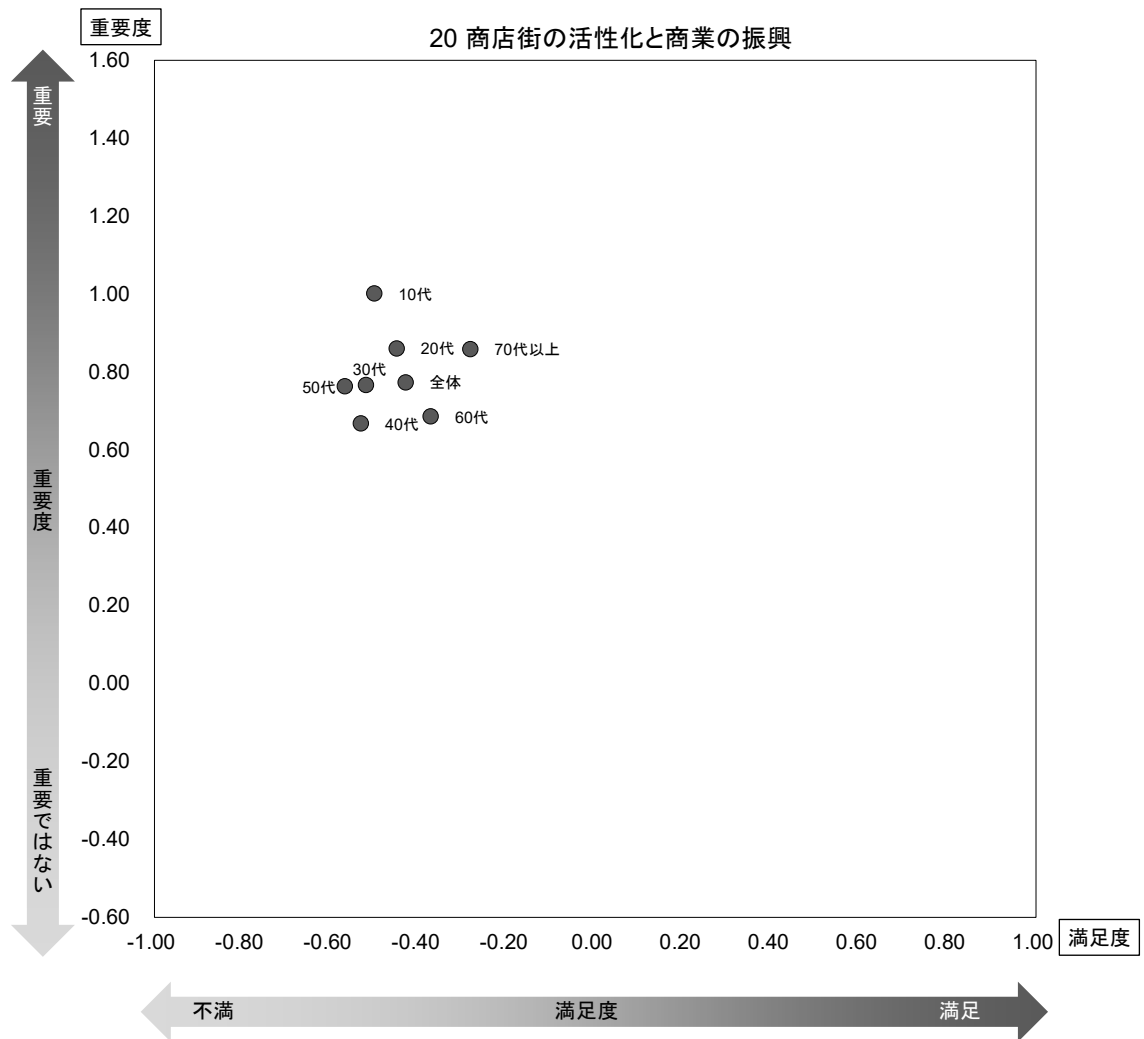






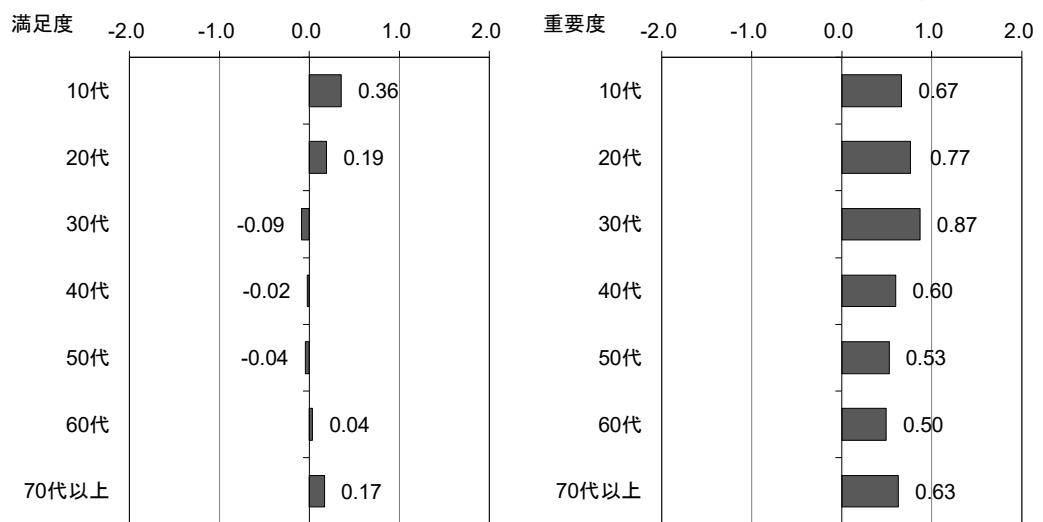
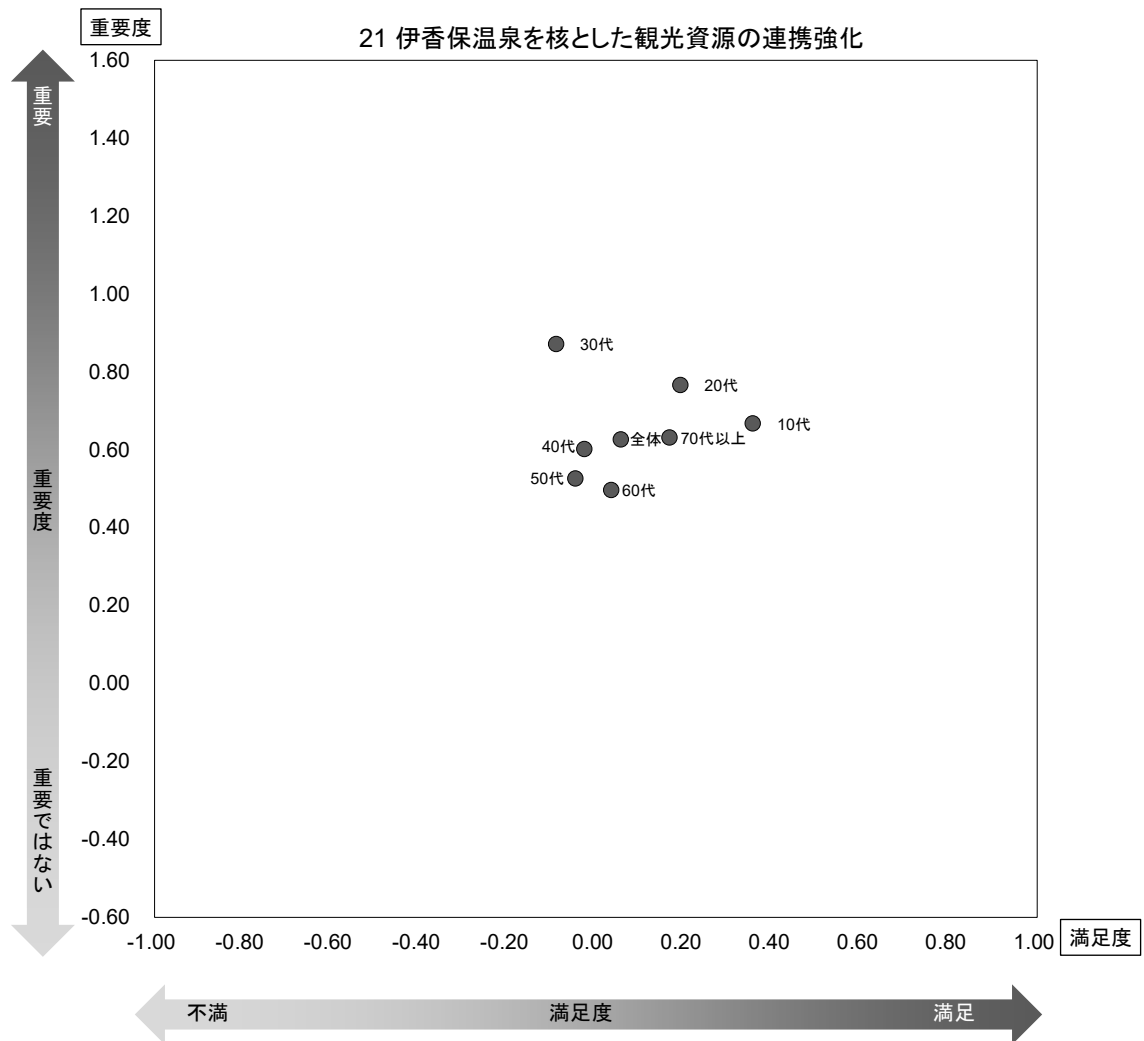
■ 19 創業・活性化支援による工業の振興

■ 19 創業・活性化支援による工業の振興



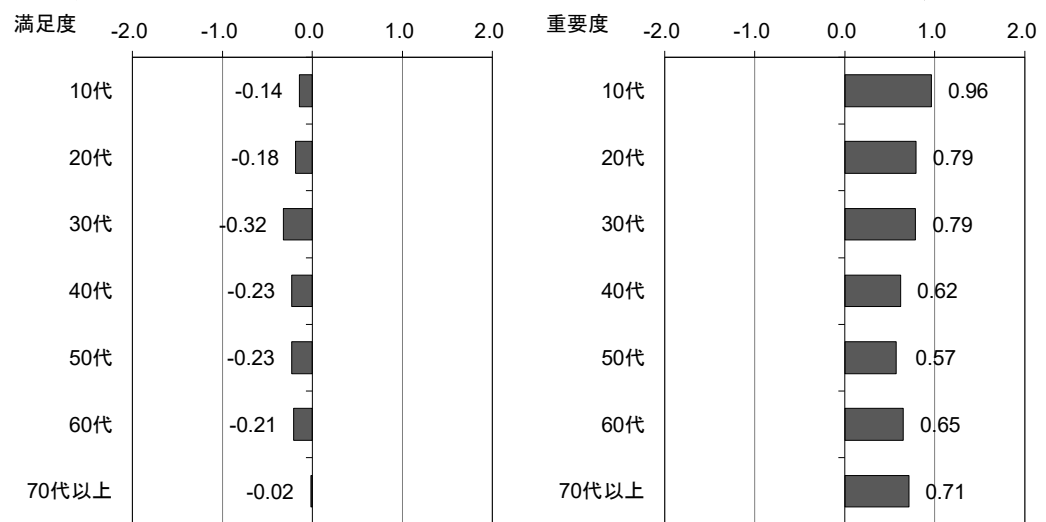
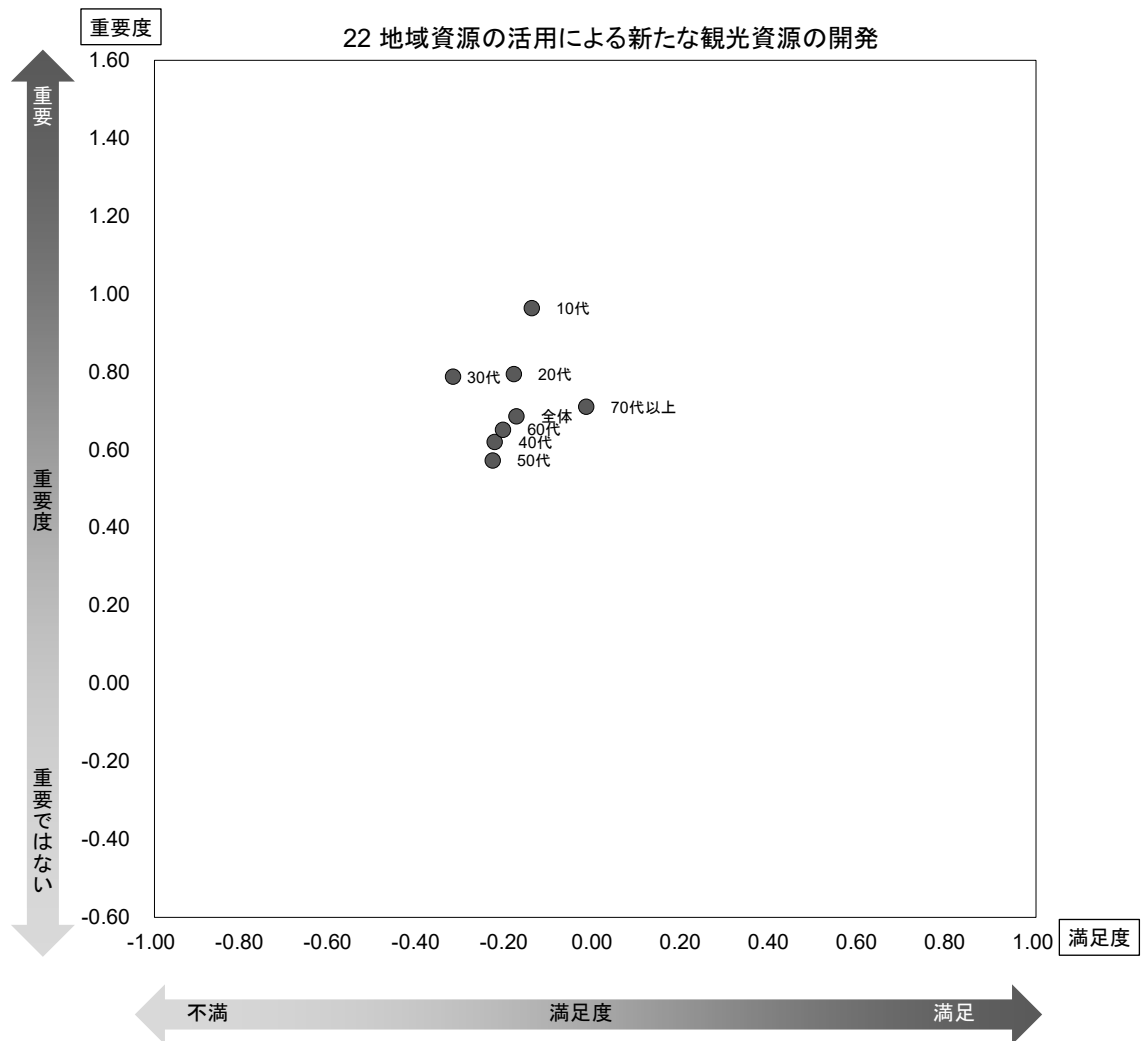
■ 20 商店街の活性化と商業の振興

■ 20 商店街の活性化と商業の振興



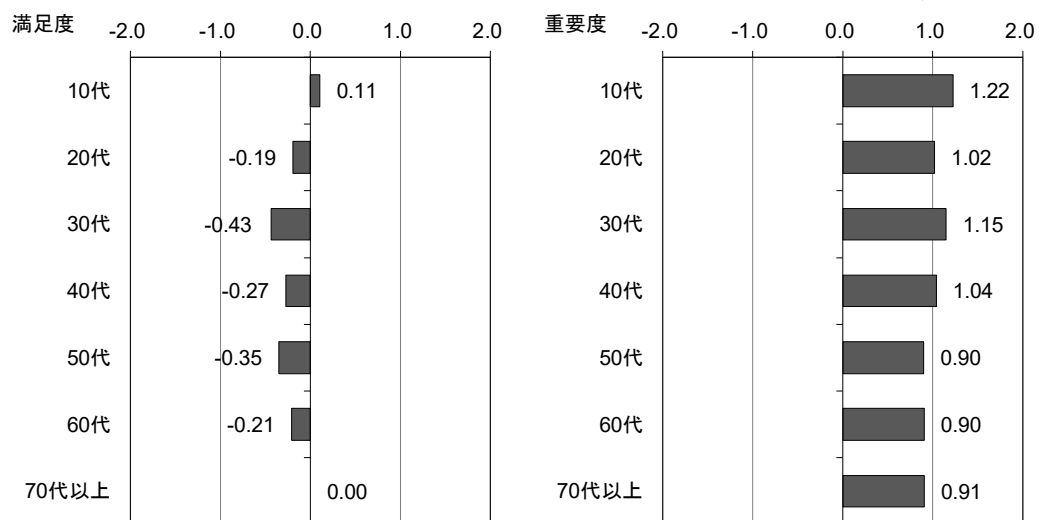
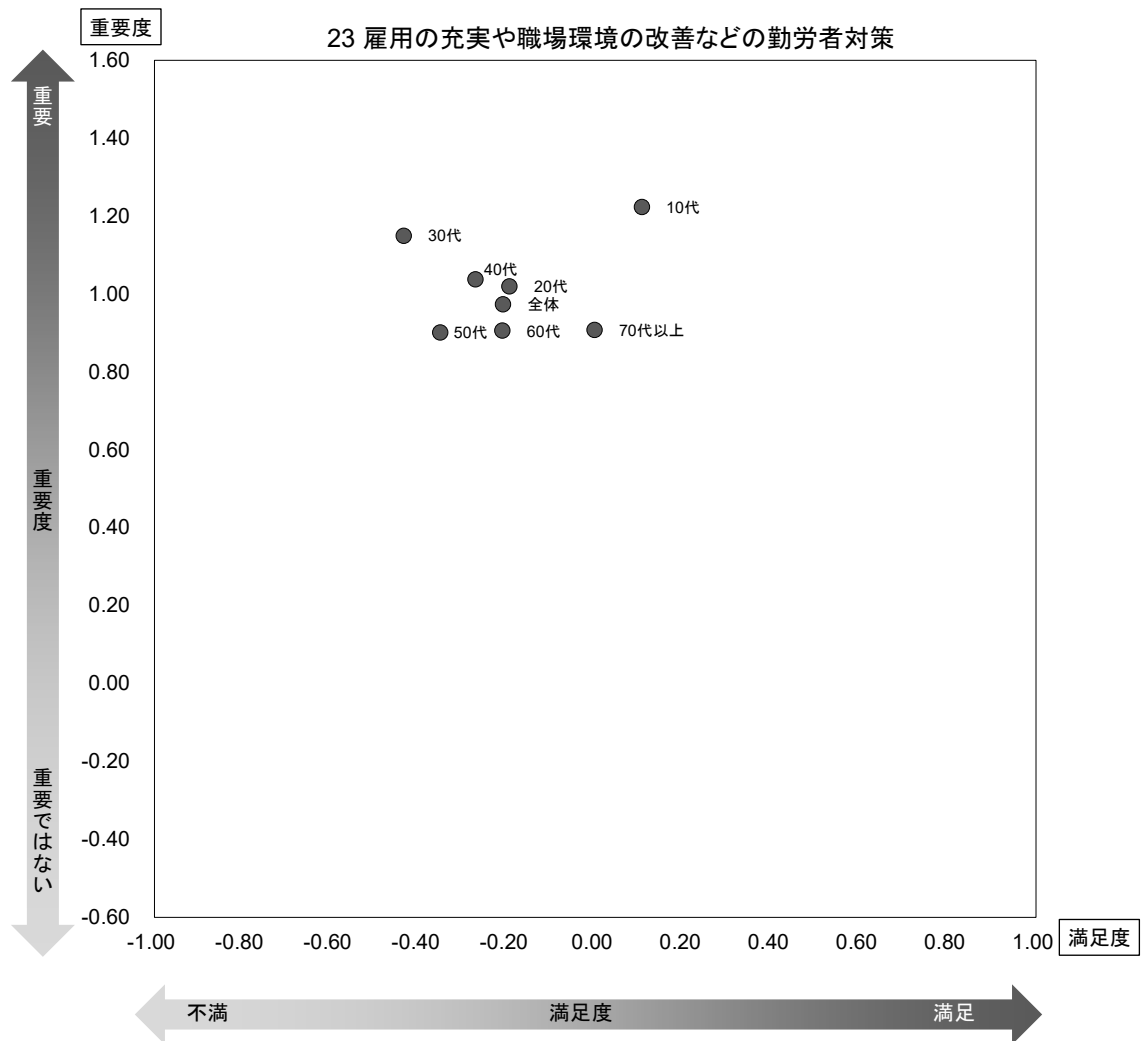
■ 21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化

■ 21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化



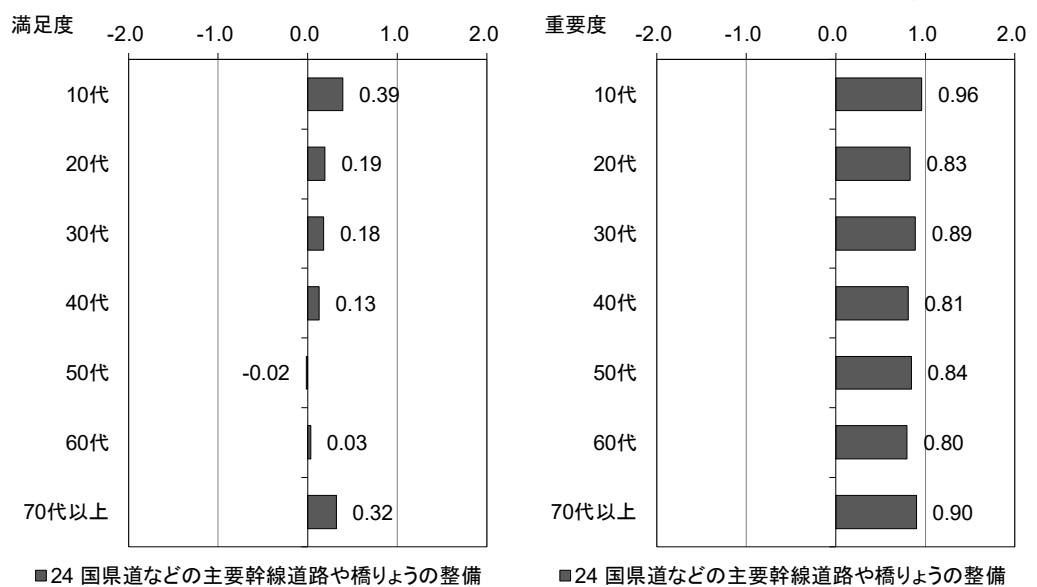
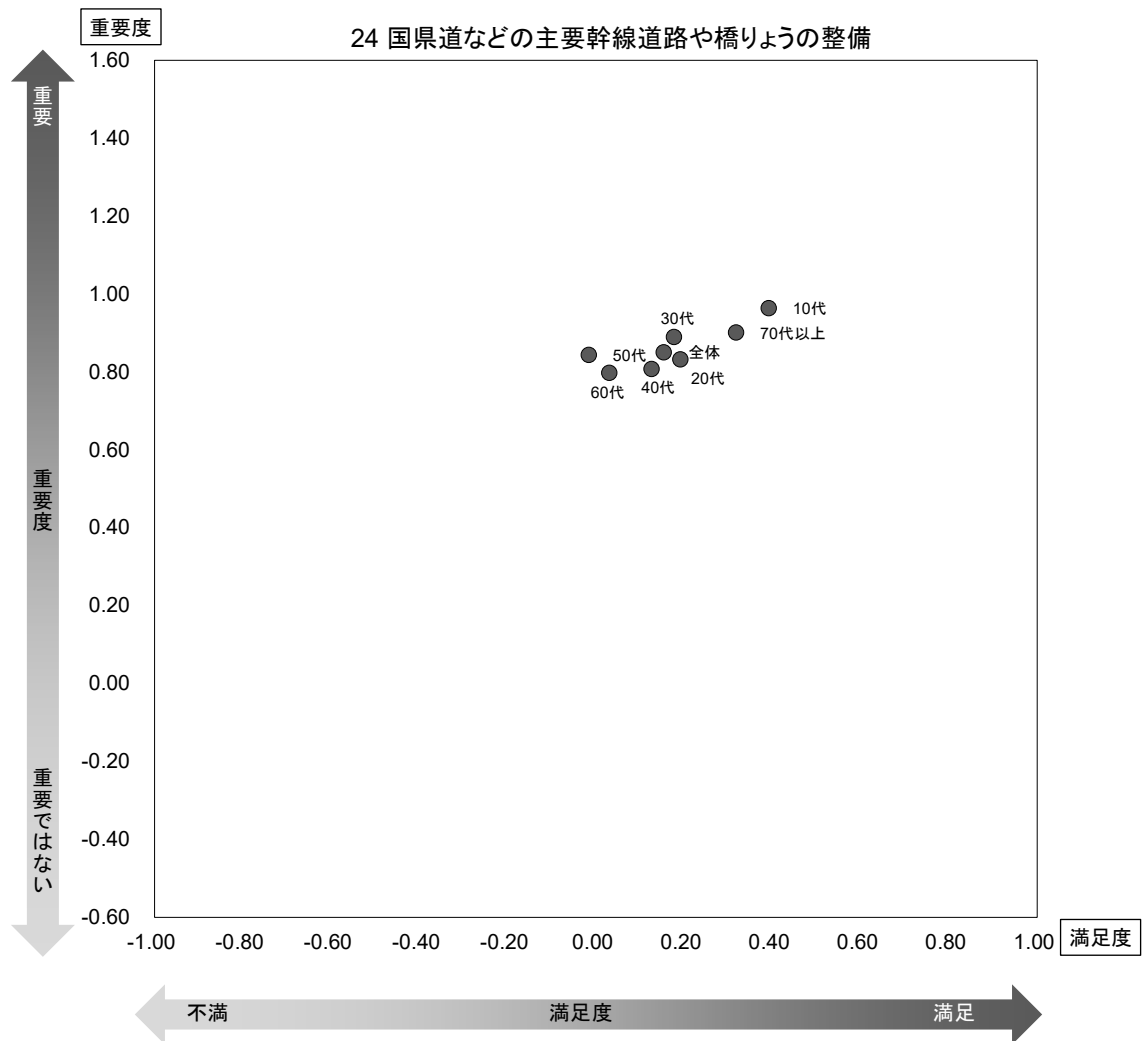
■ 22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発

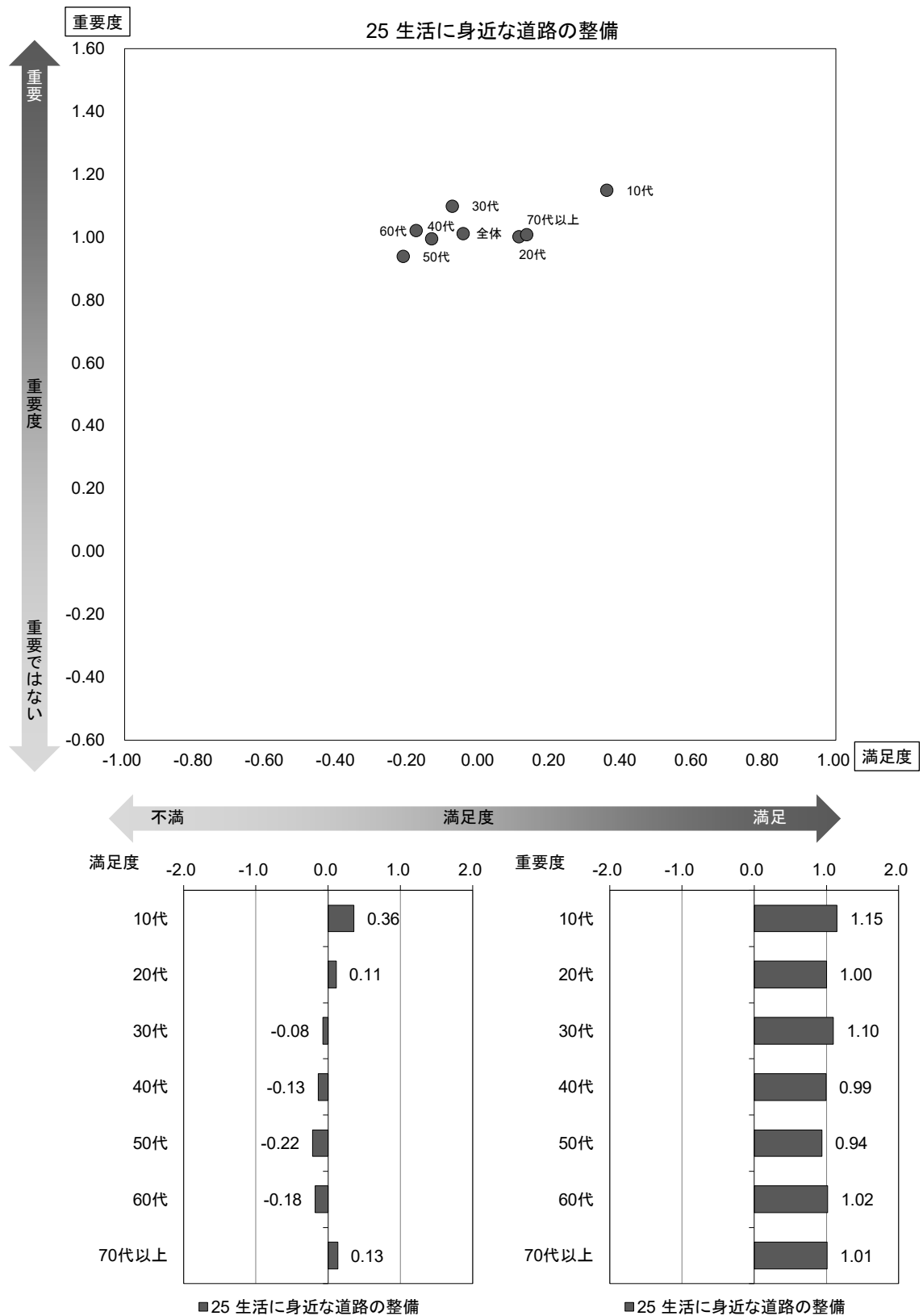
■ 22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発

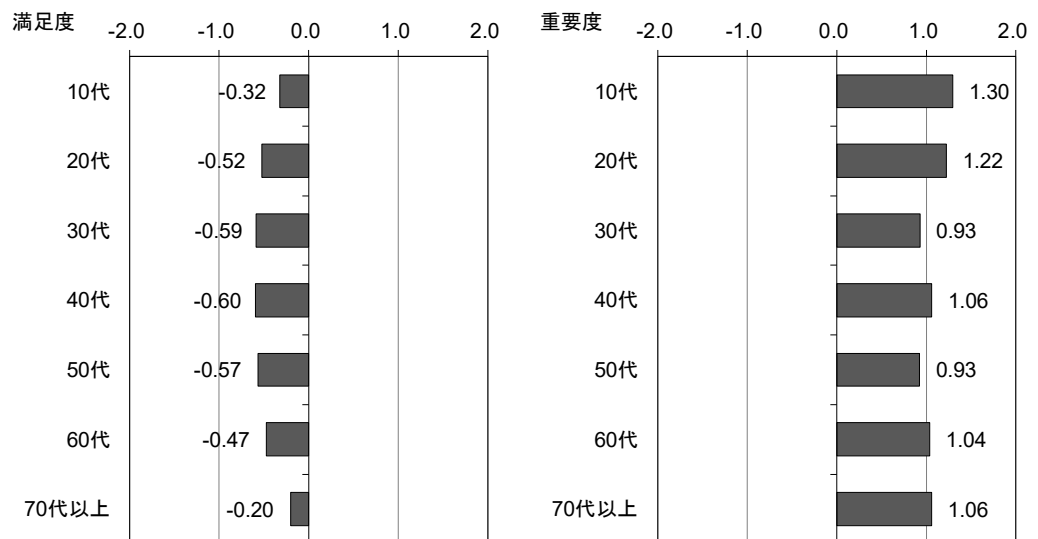
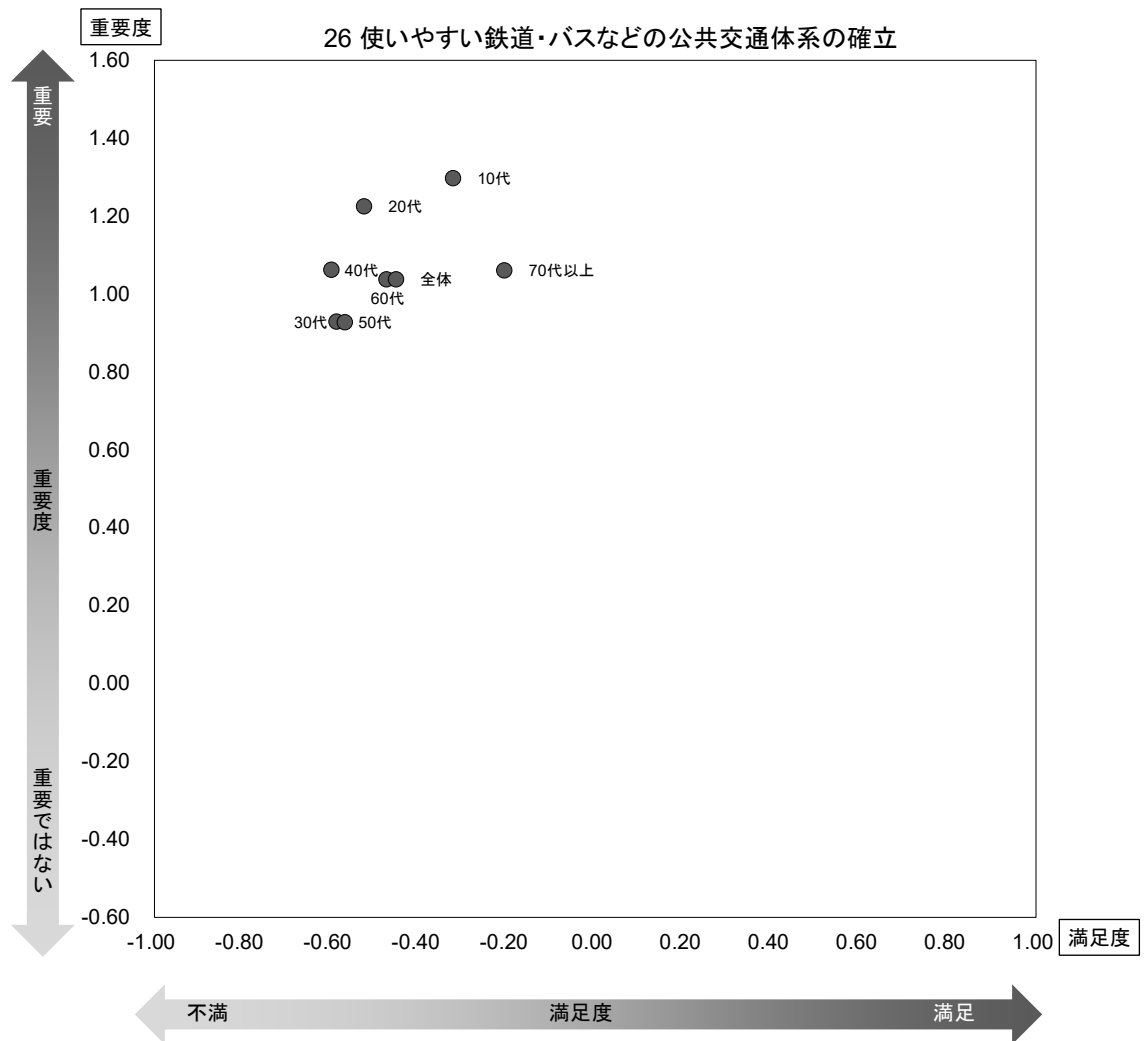


■ 23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策

■ 23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策

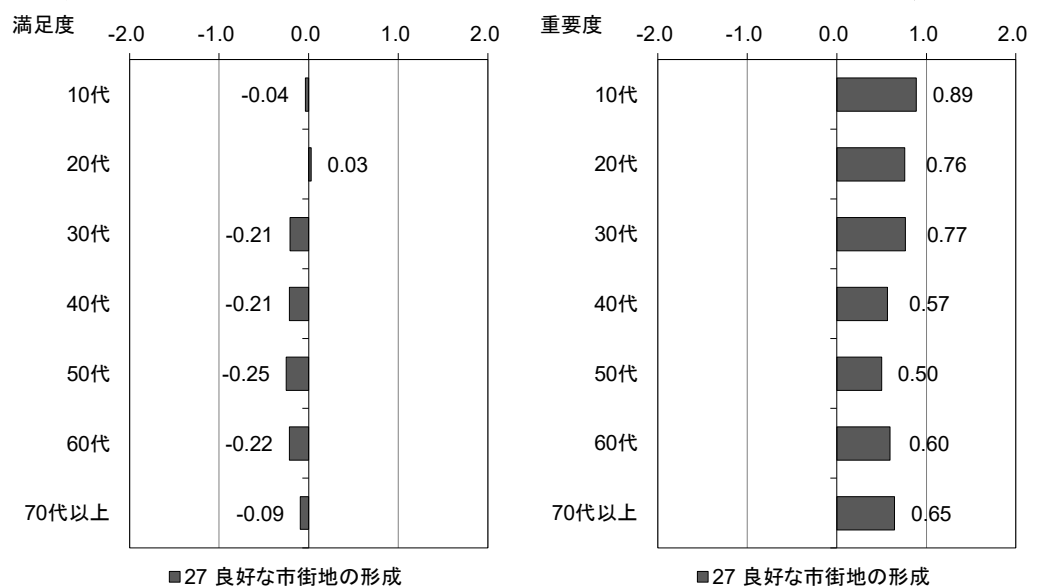
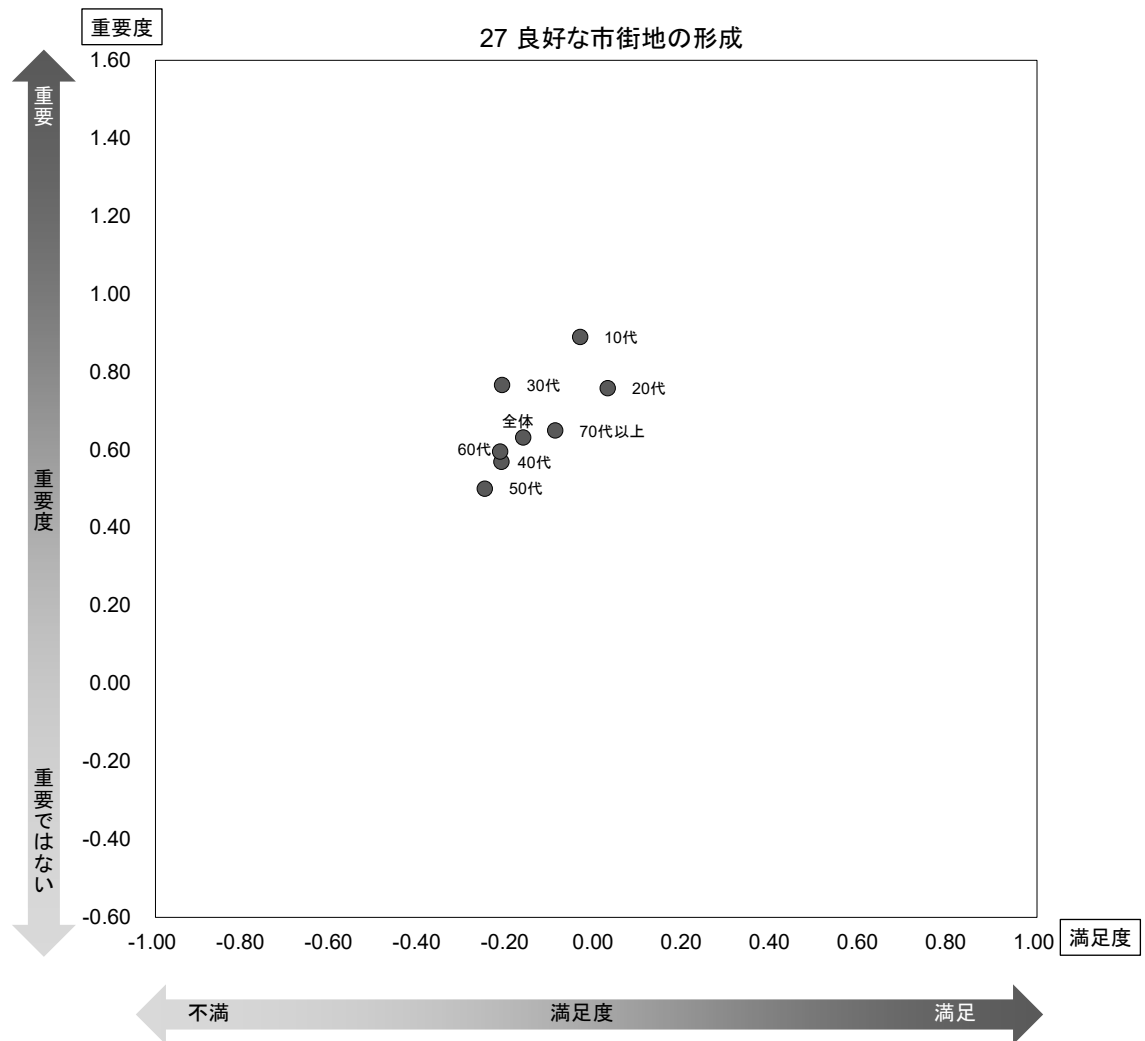


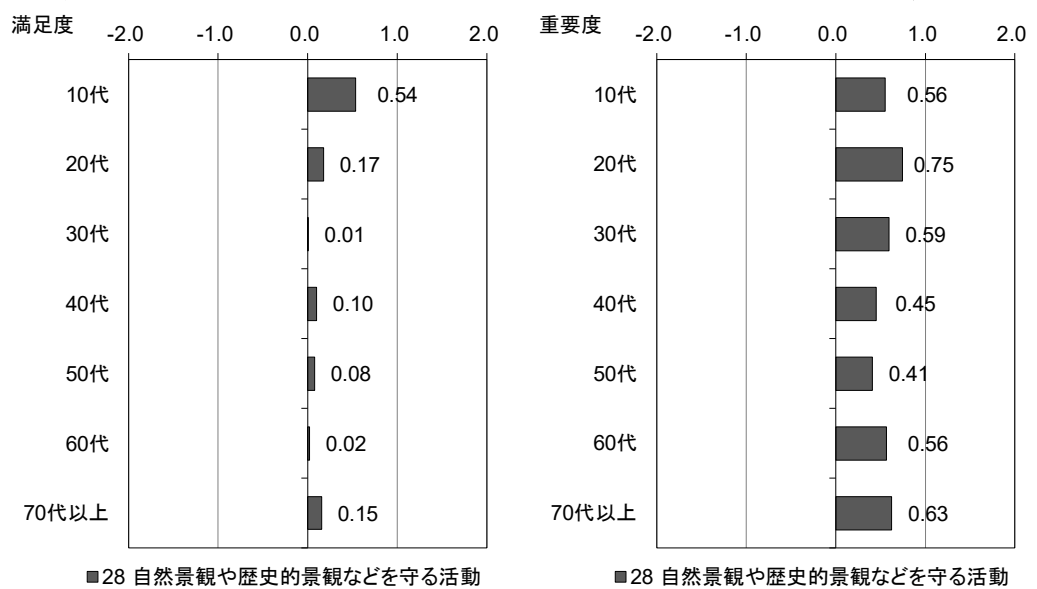
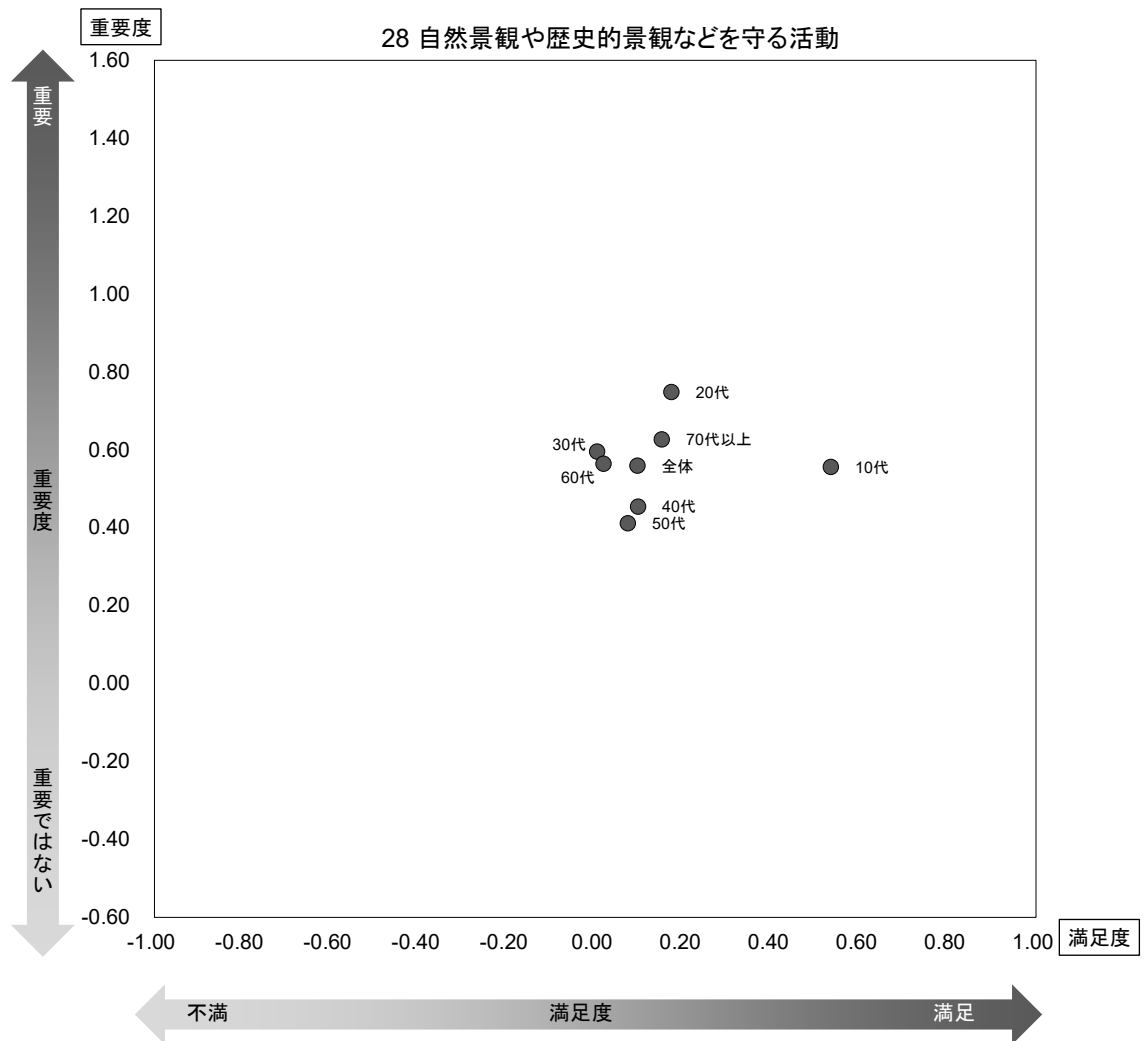


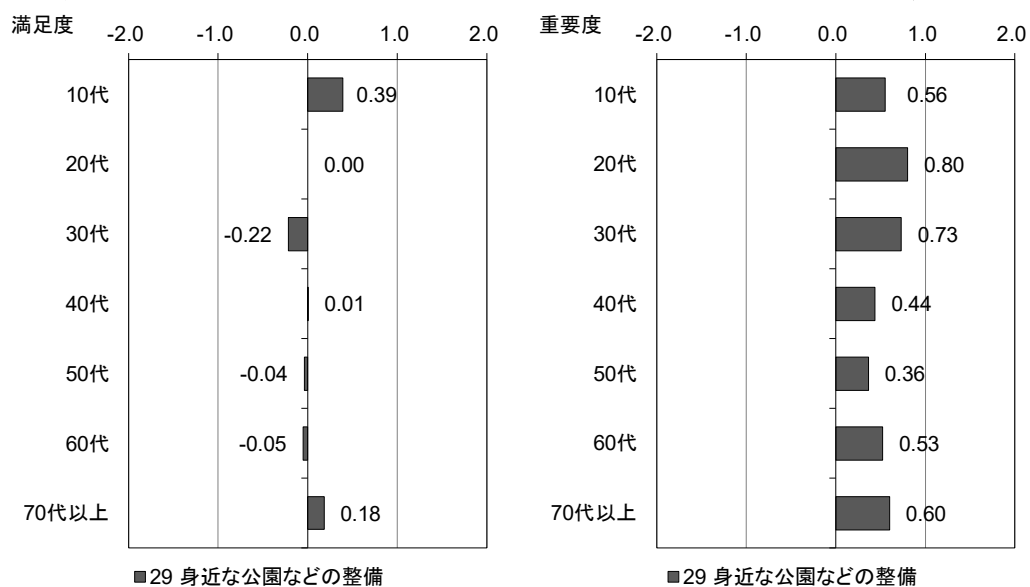
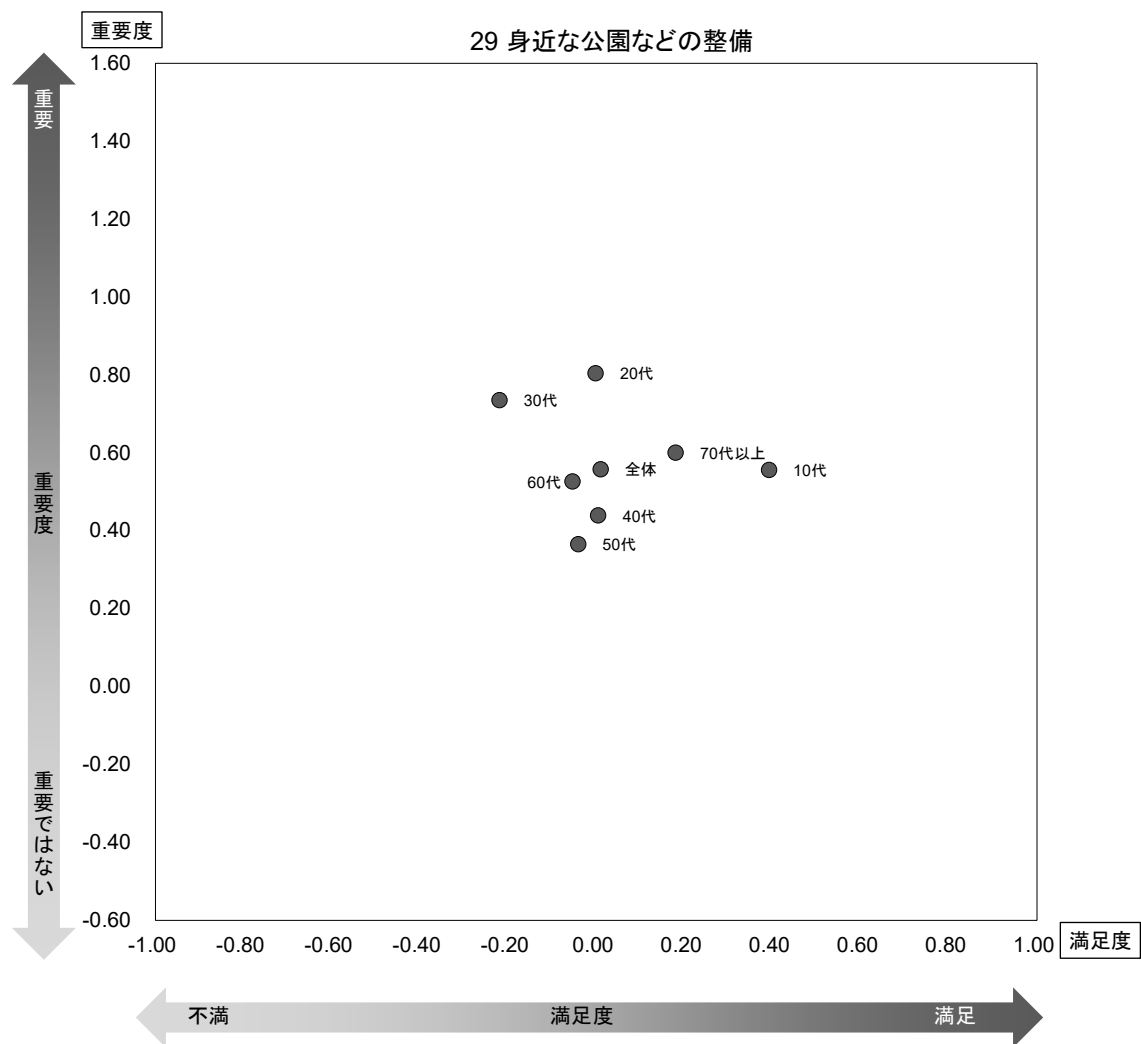


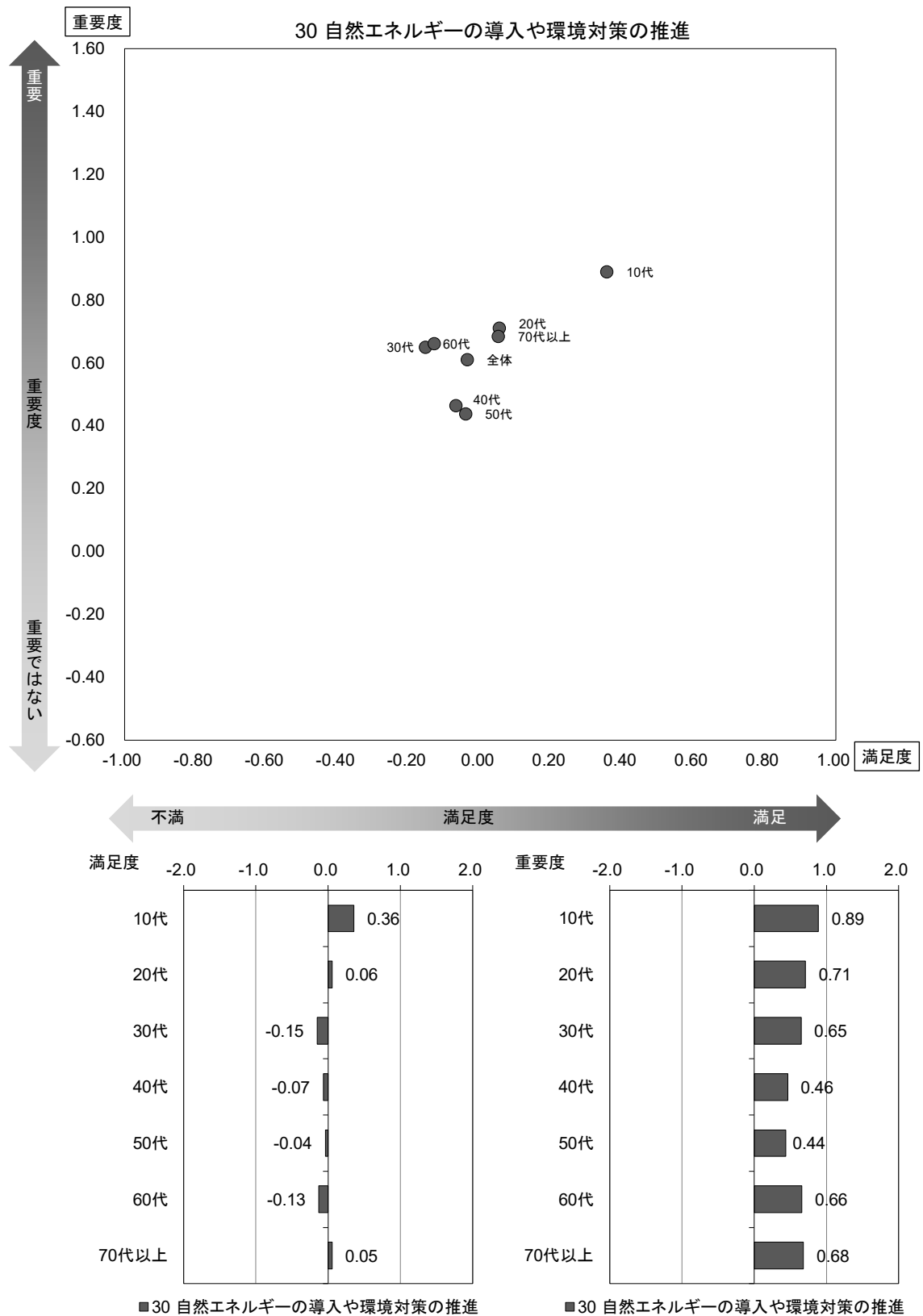
■26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立

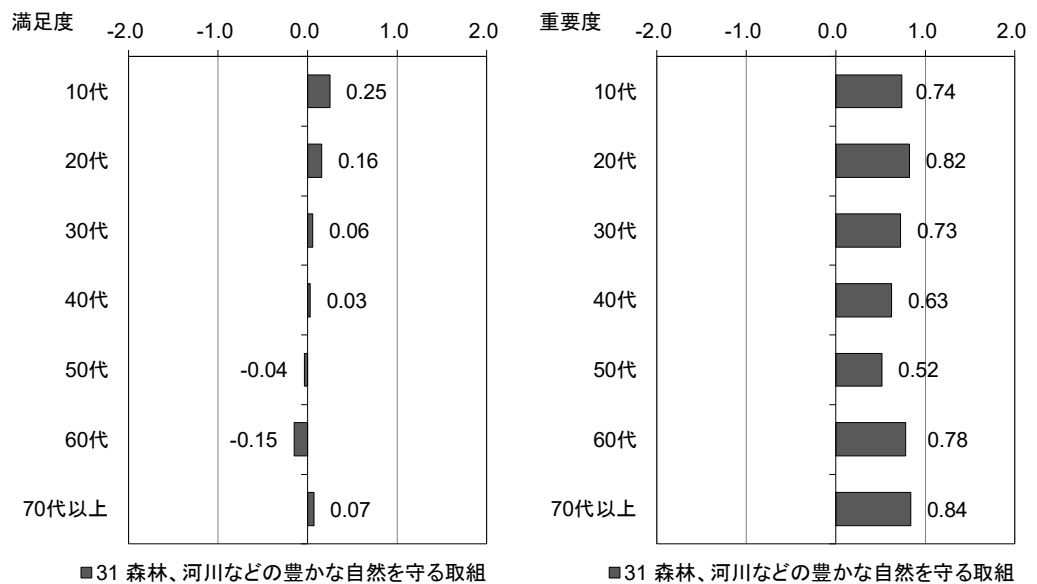
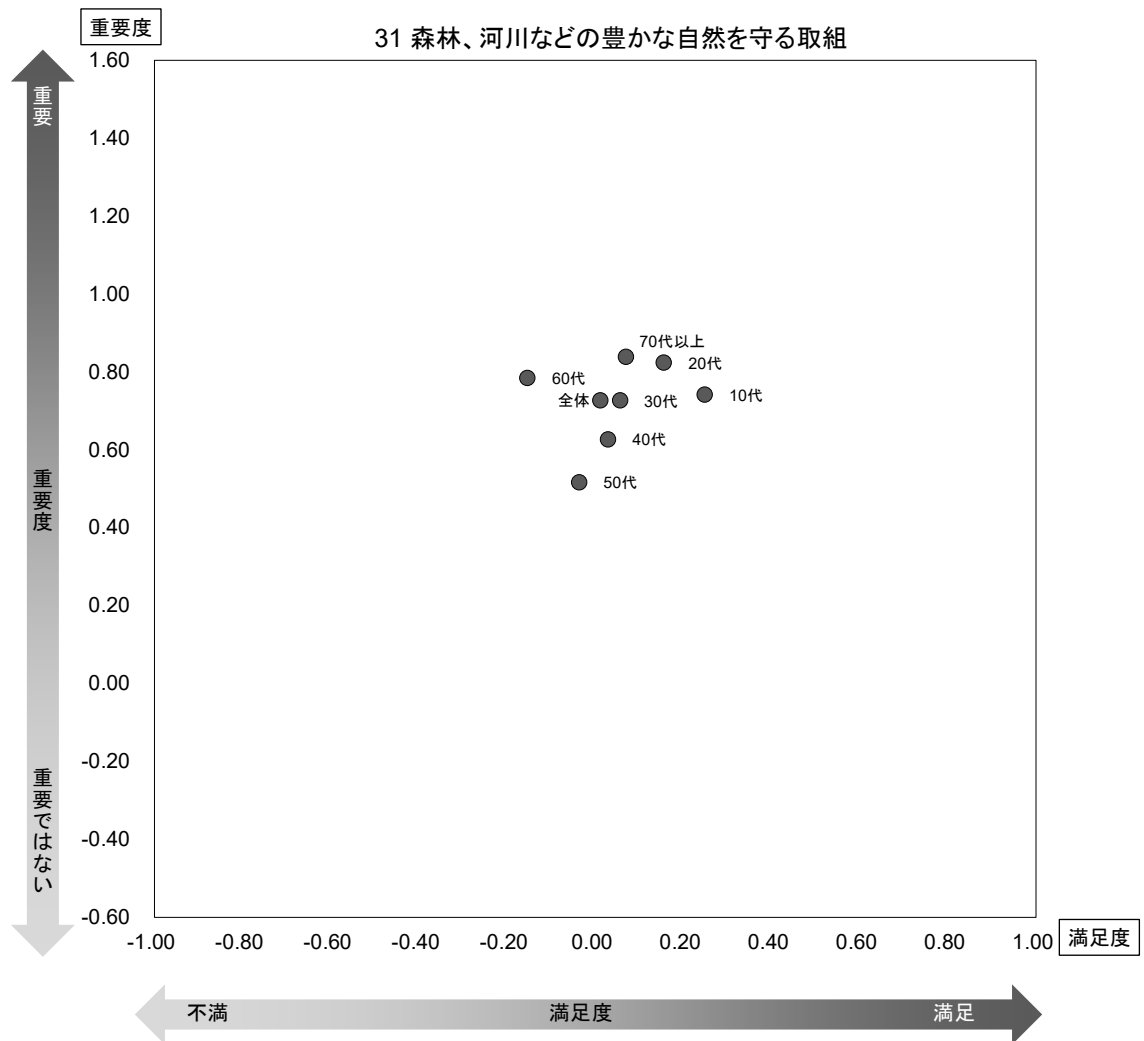
■26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立

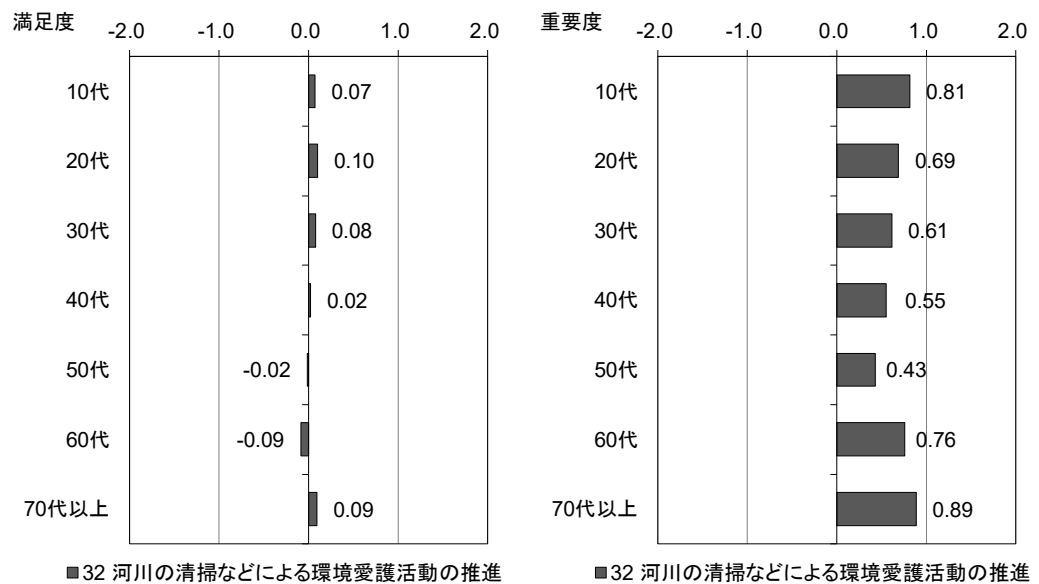
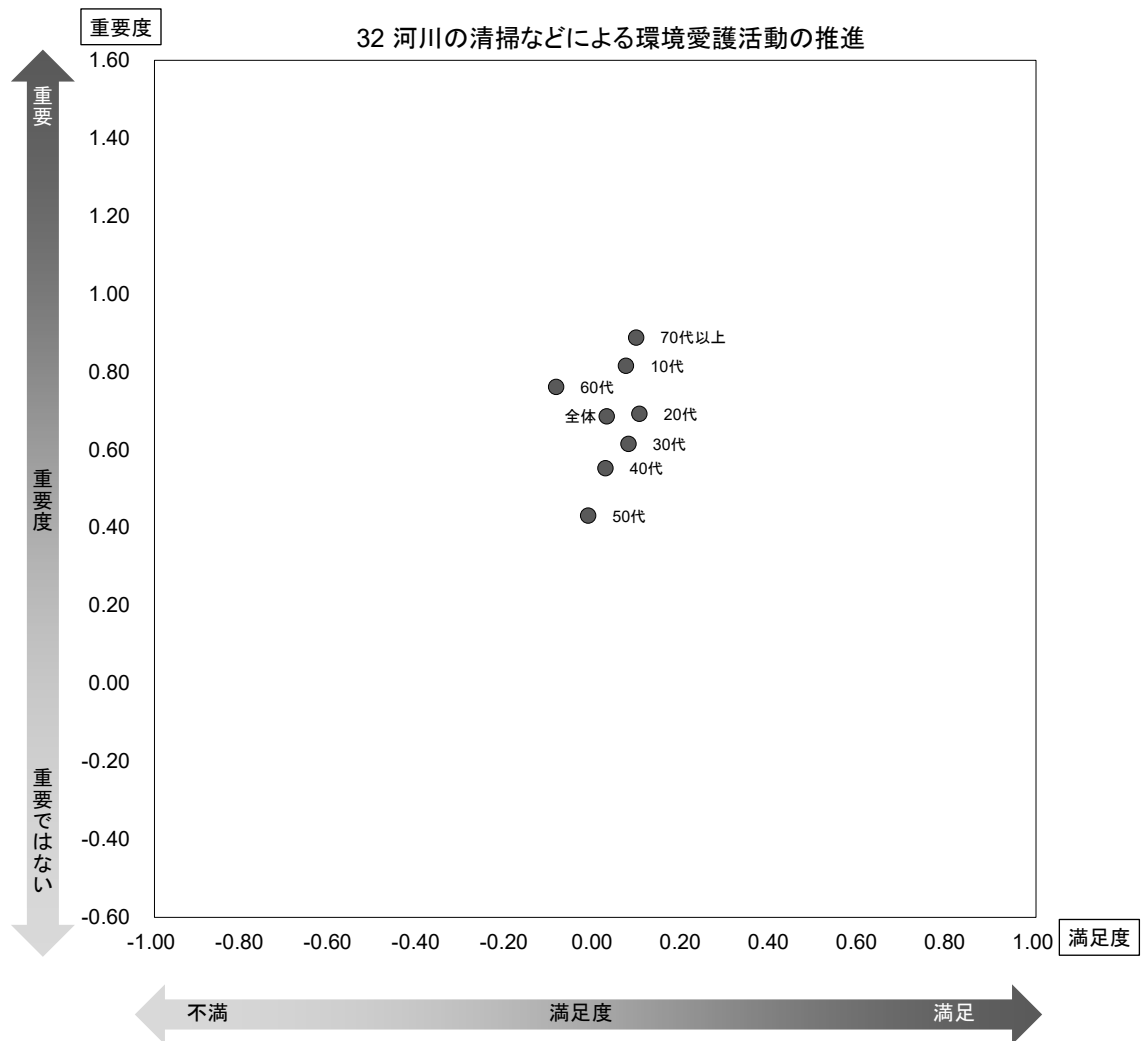


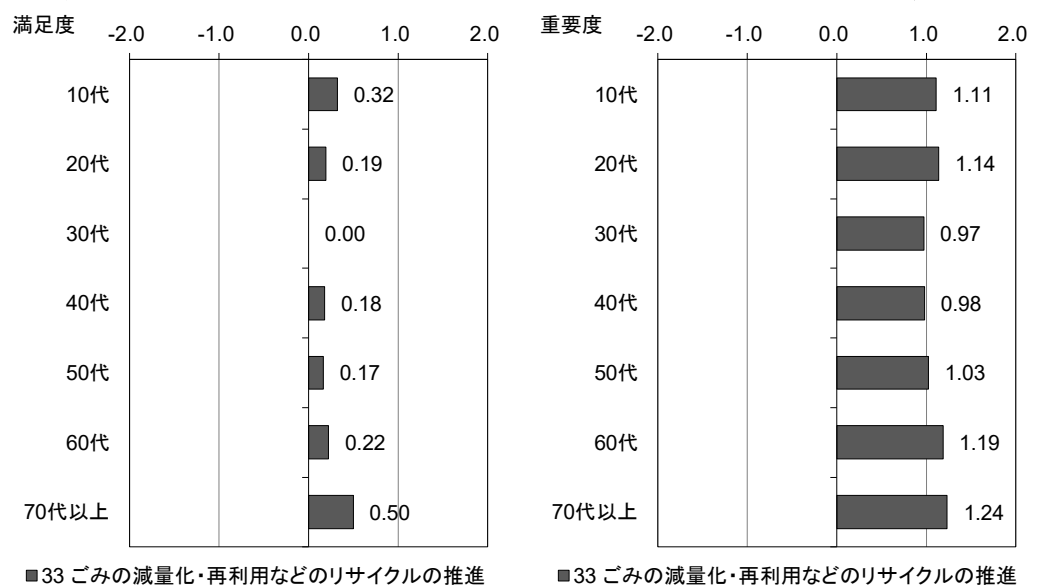
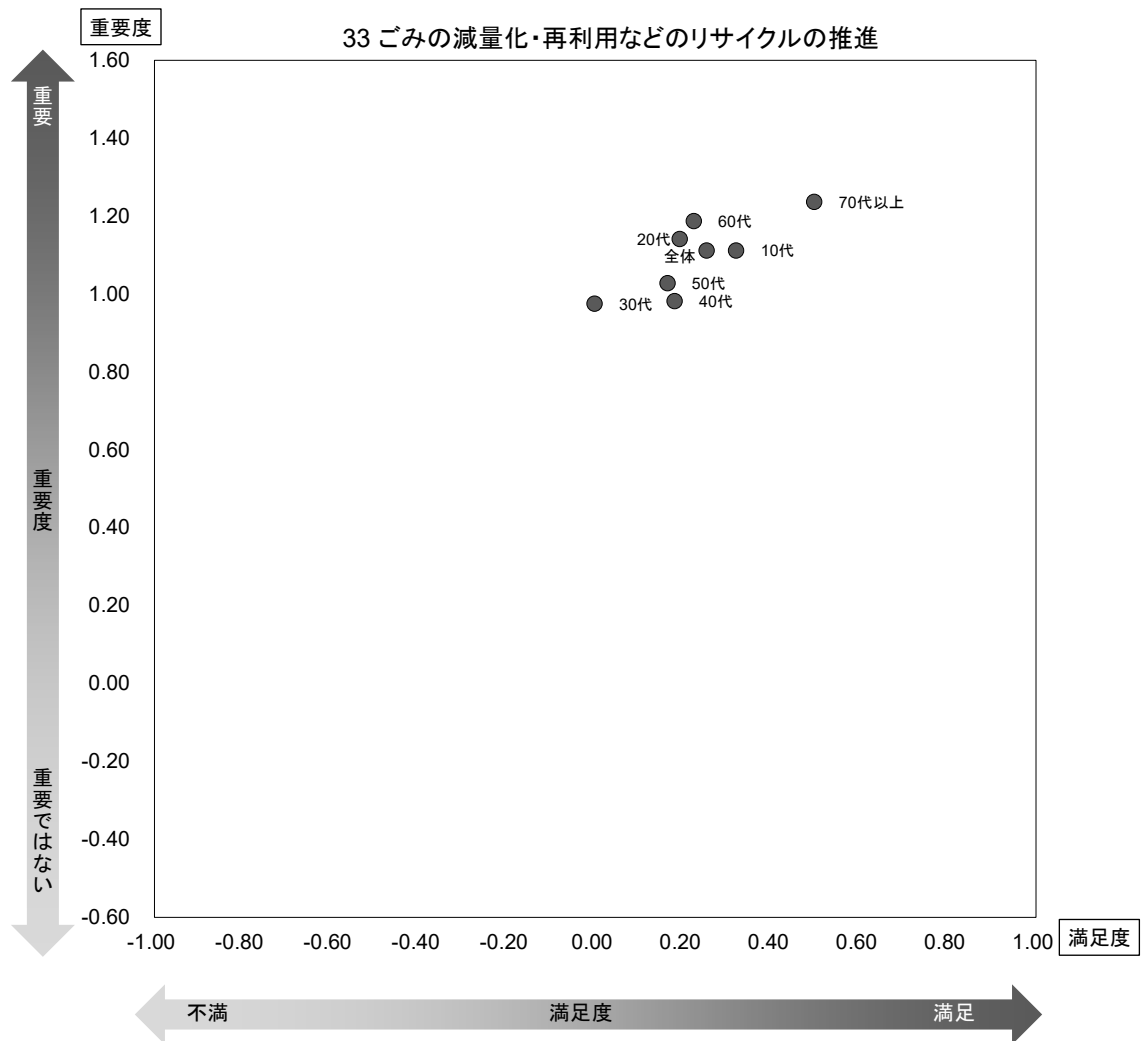


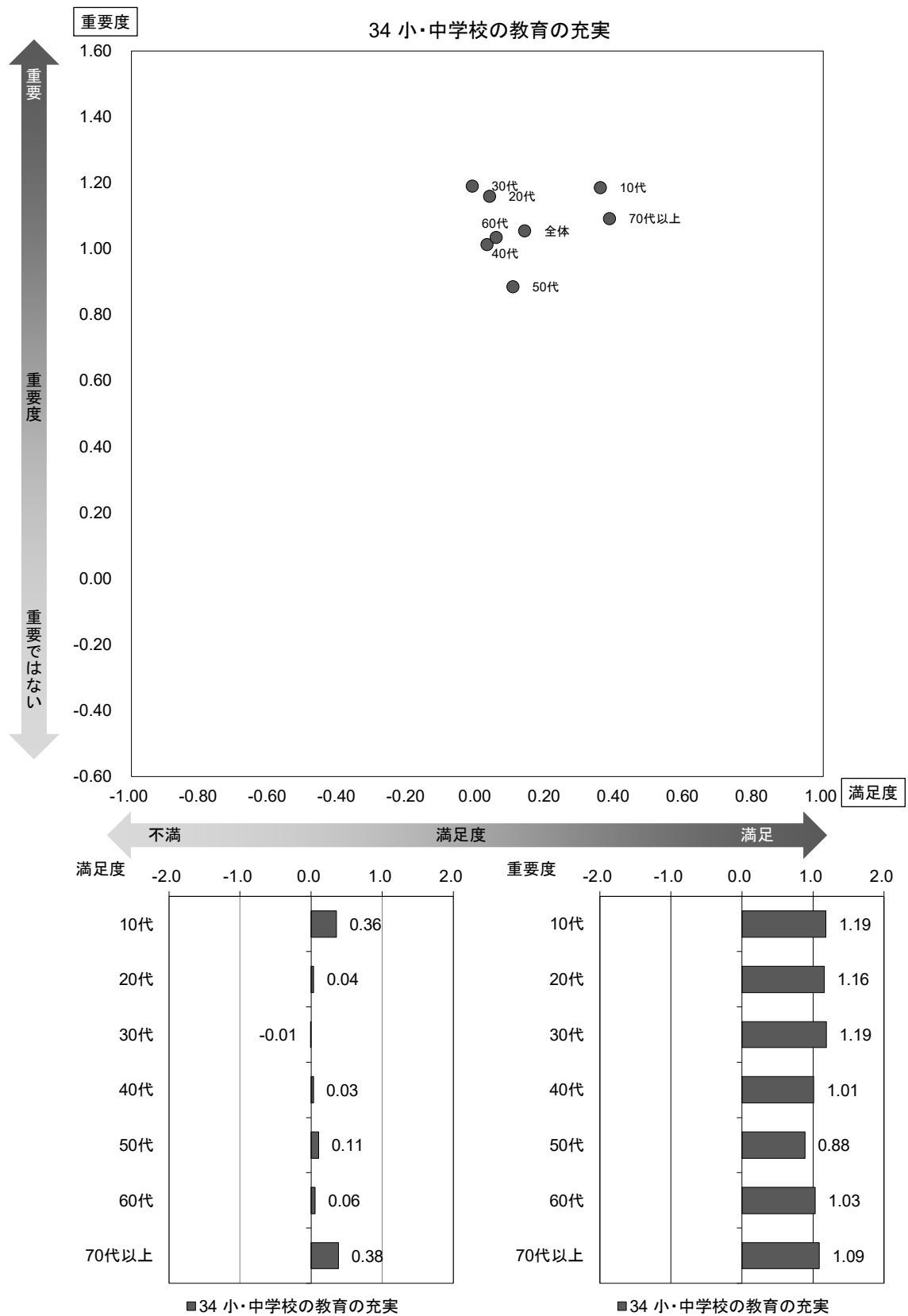


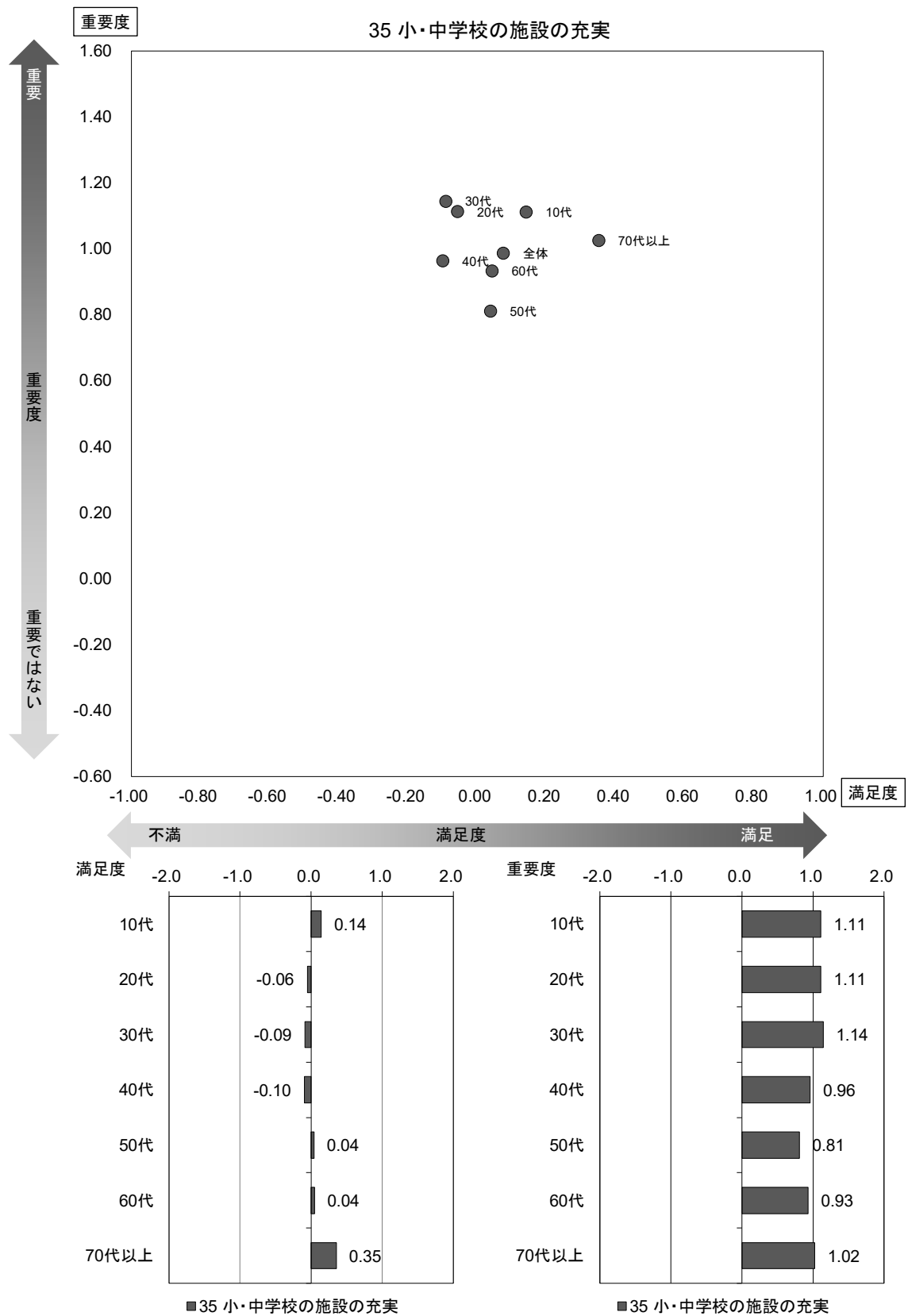


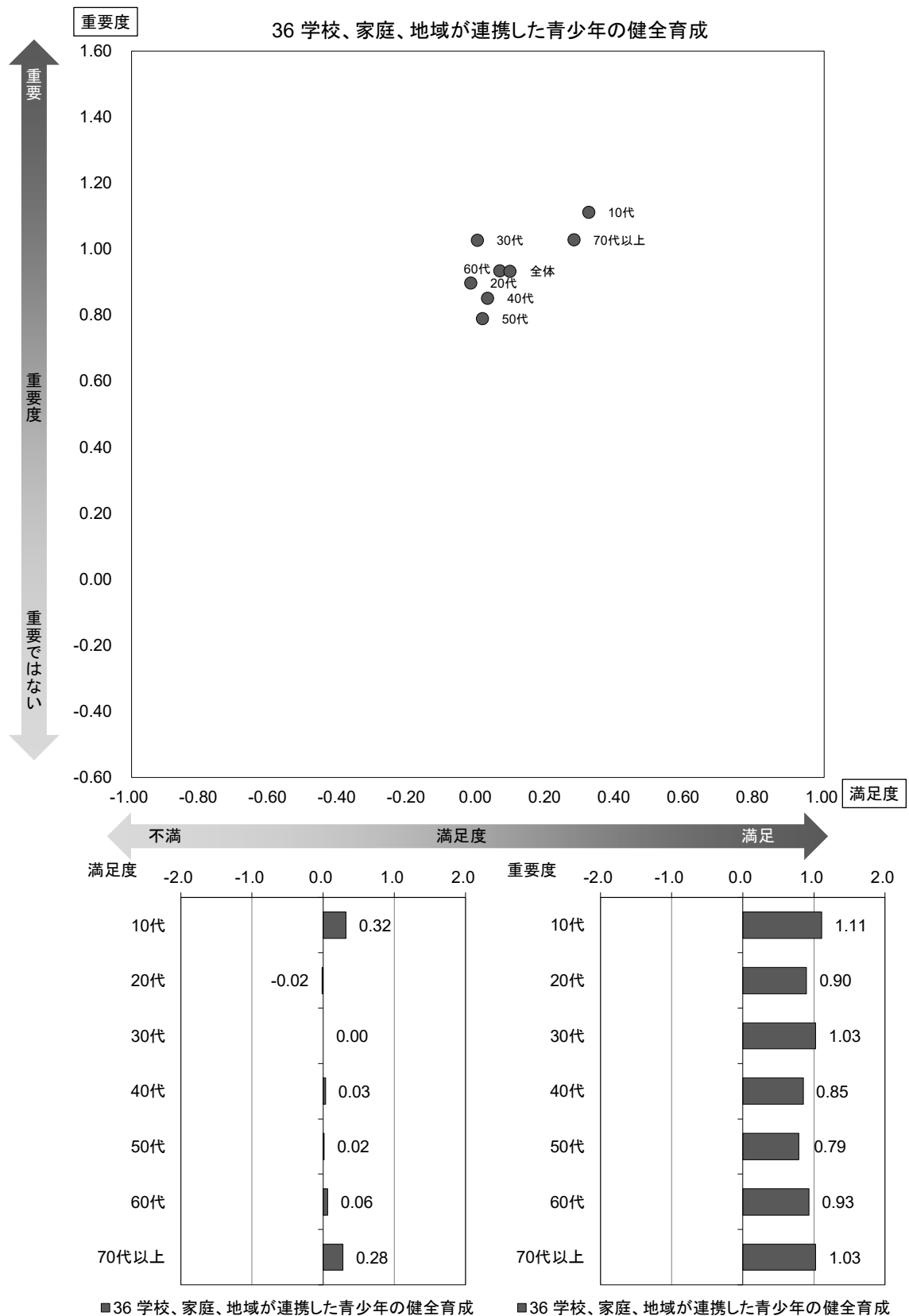


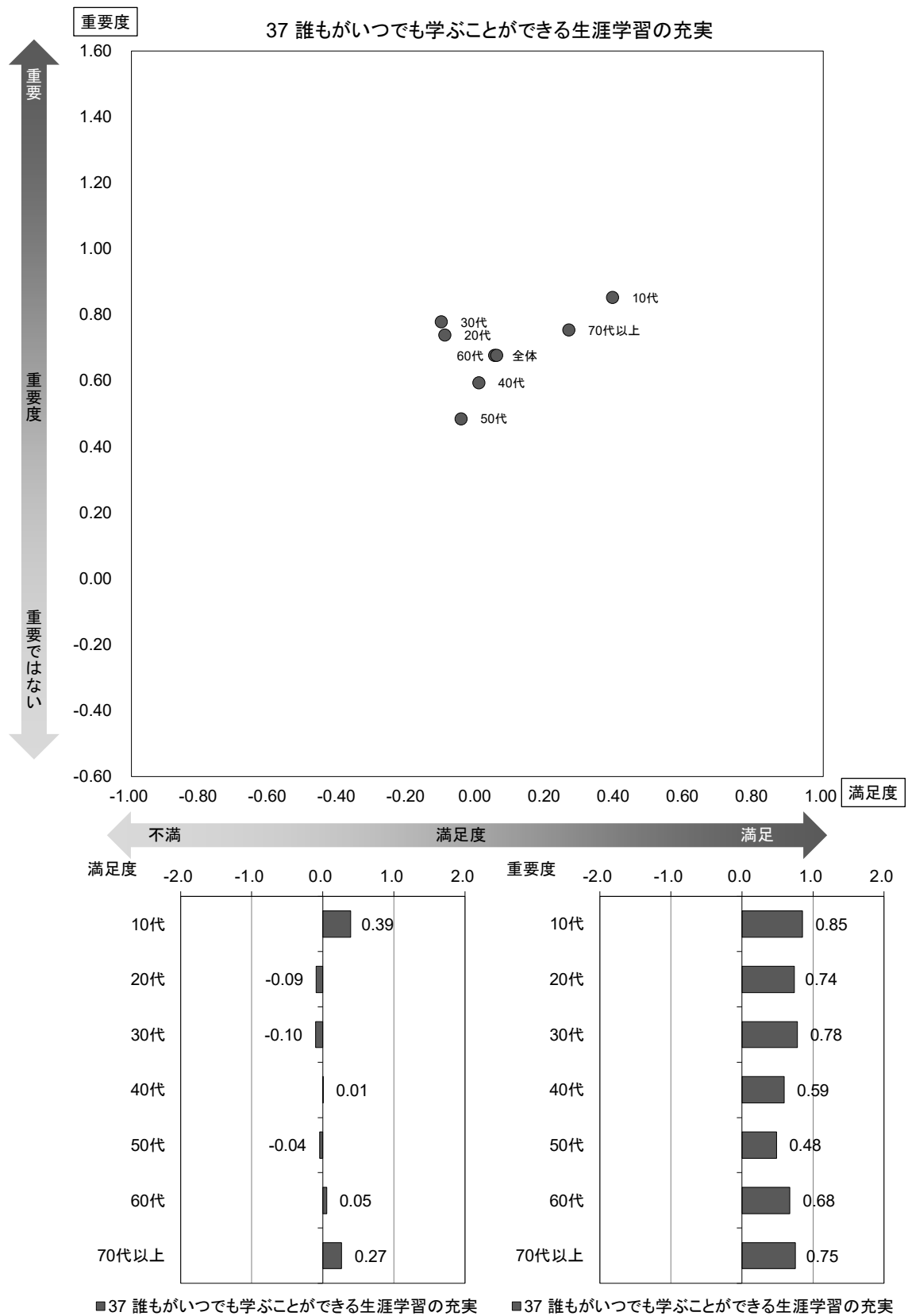


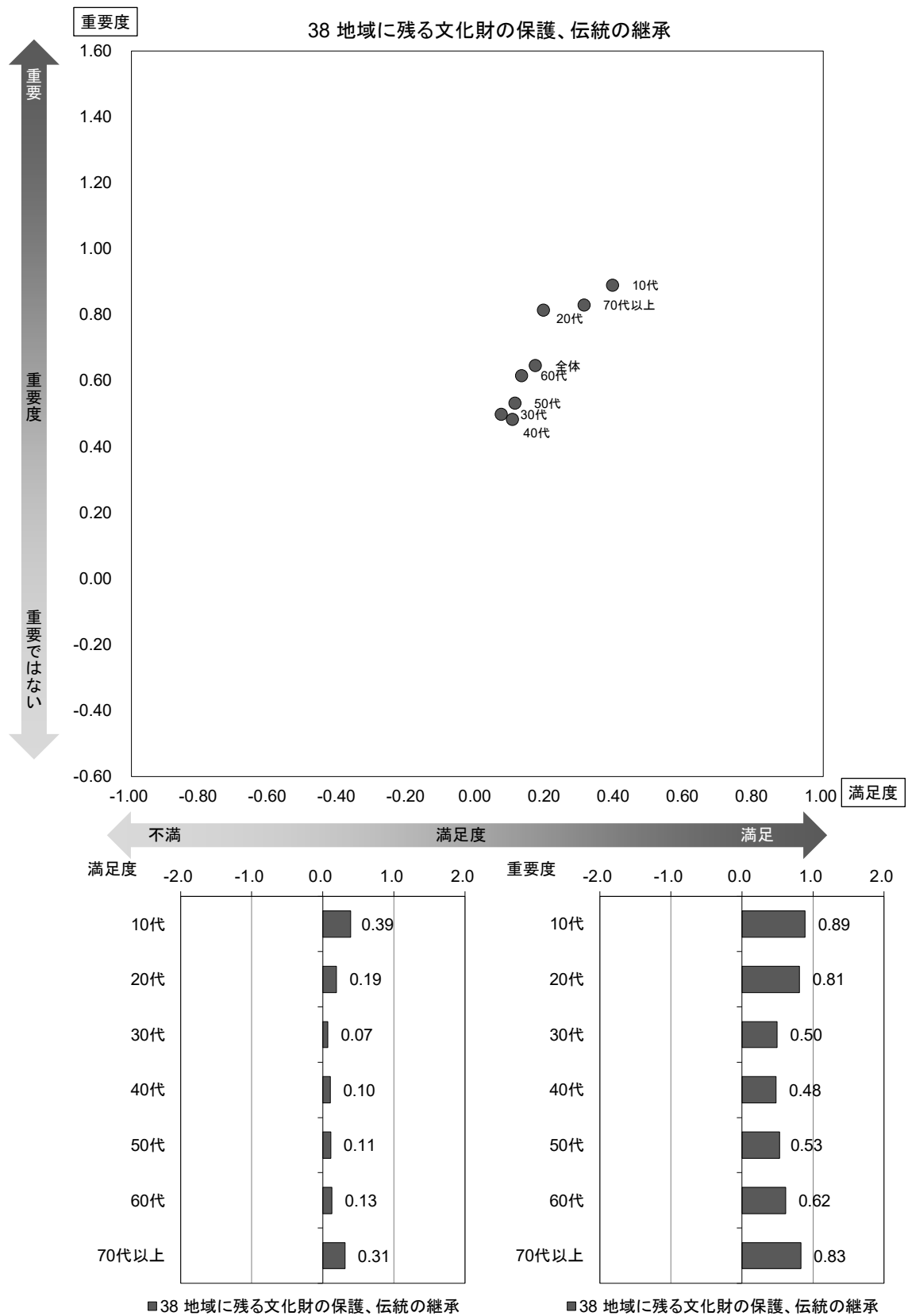


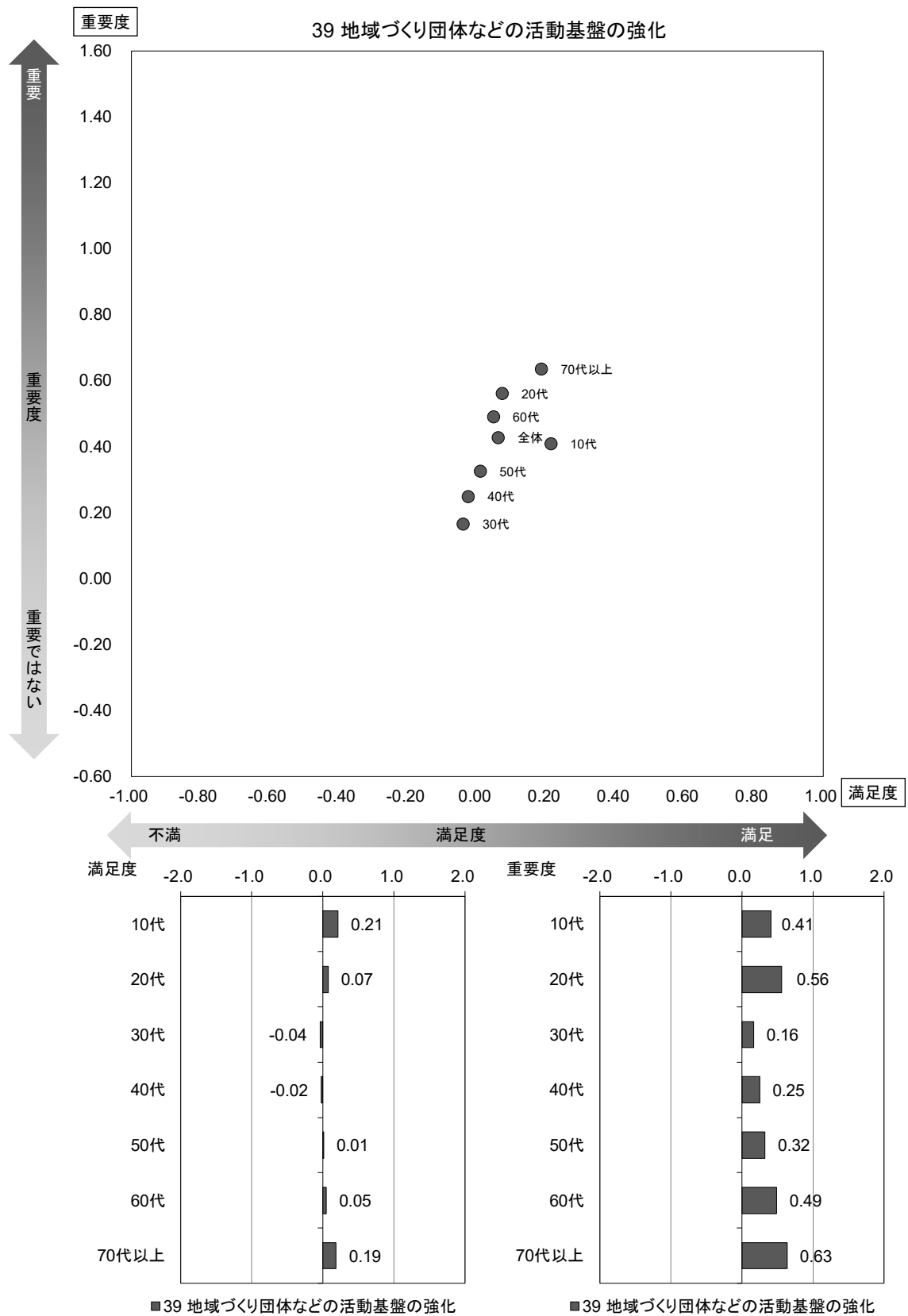


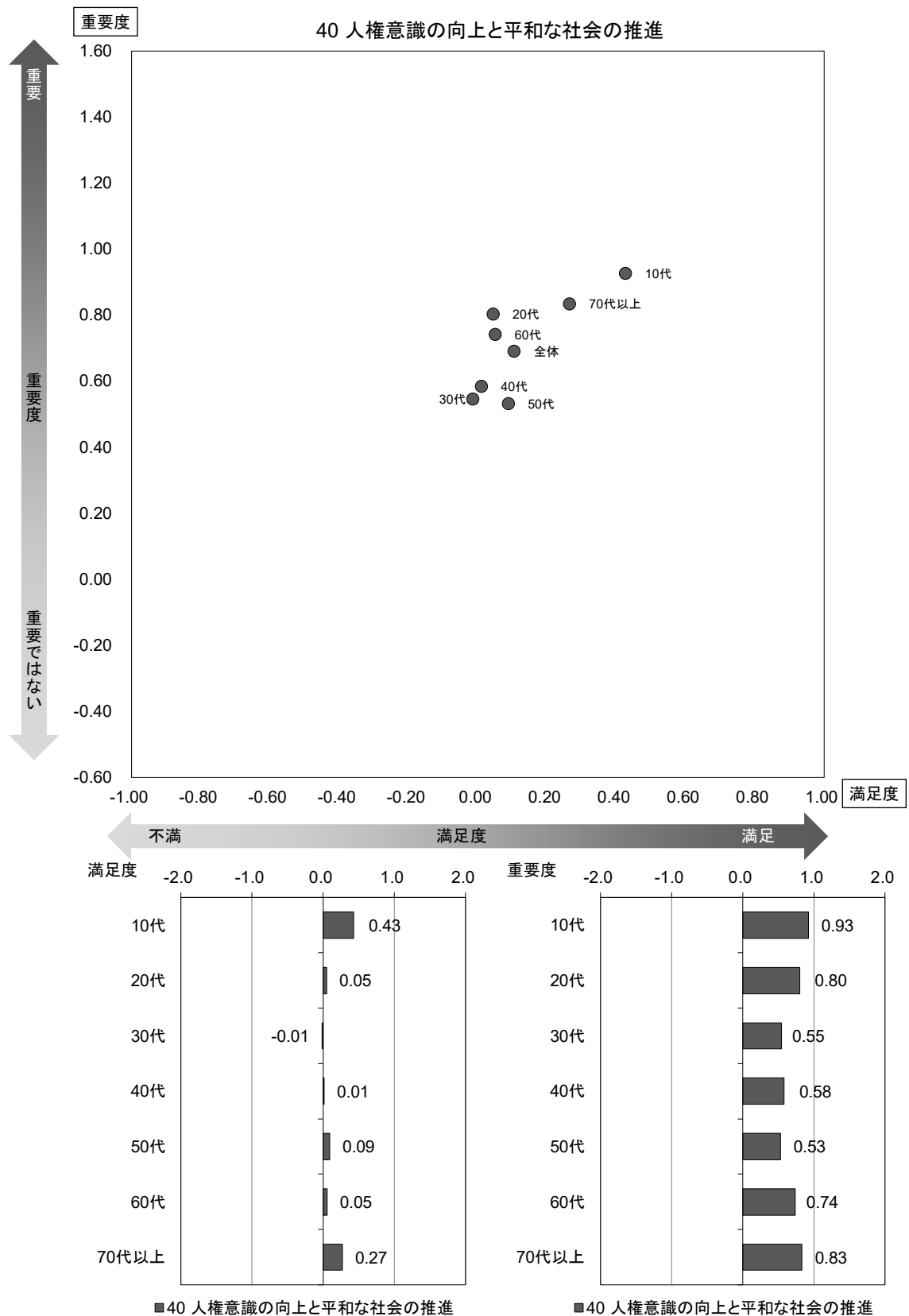


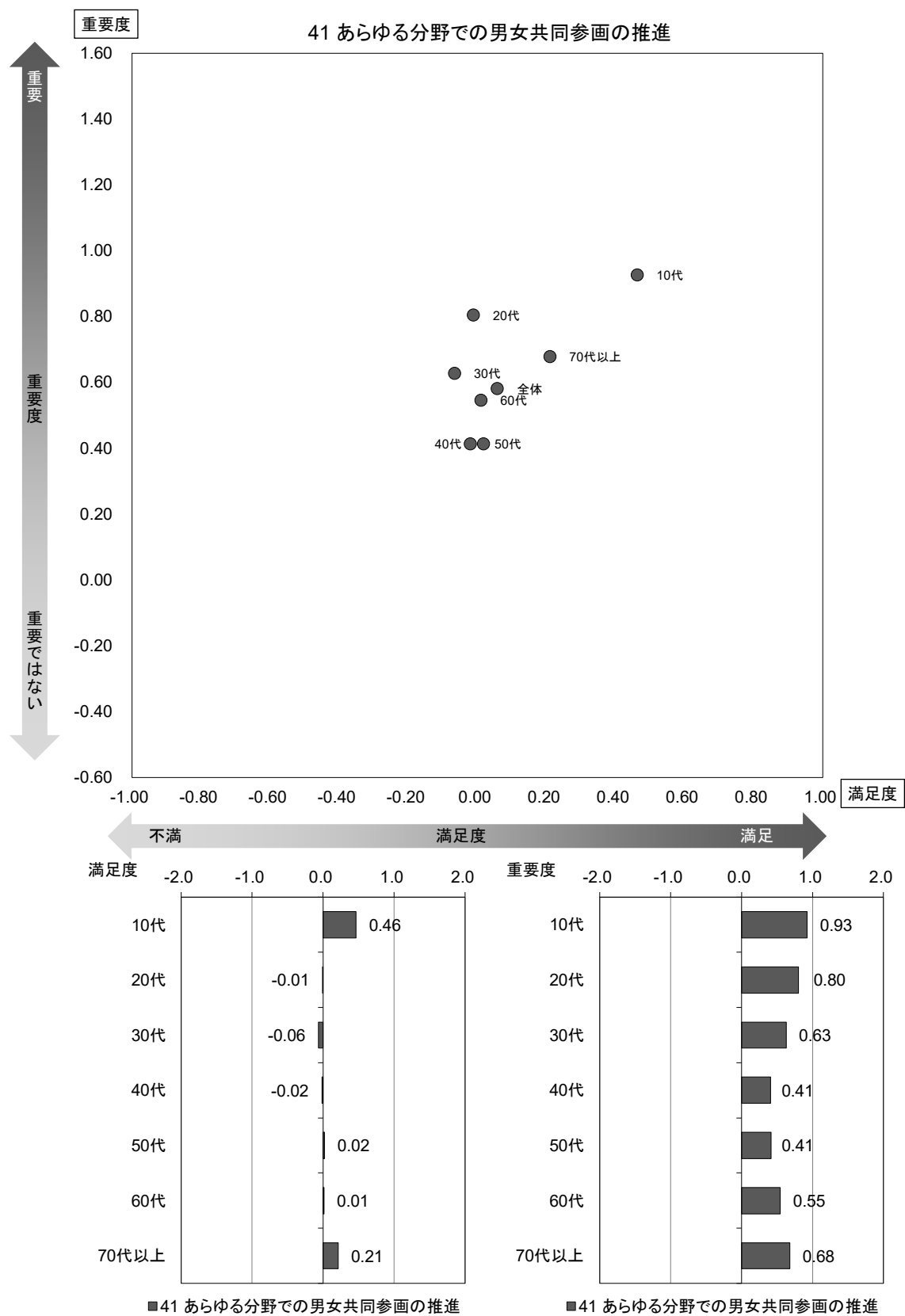


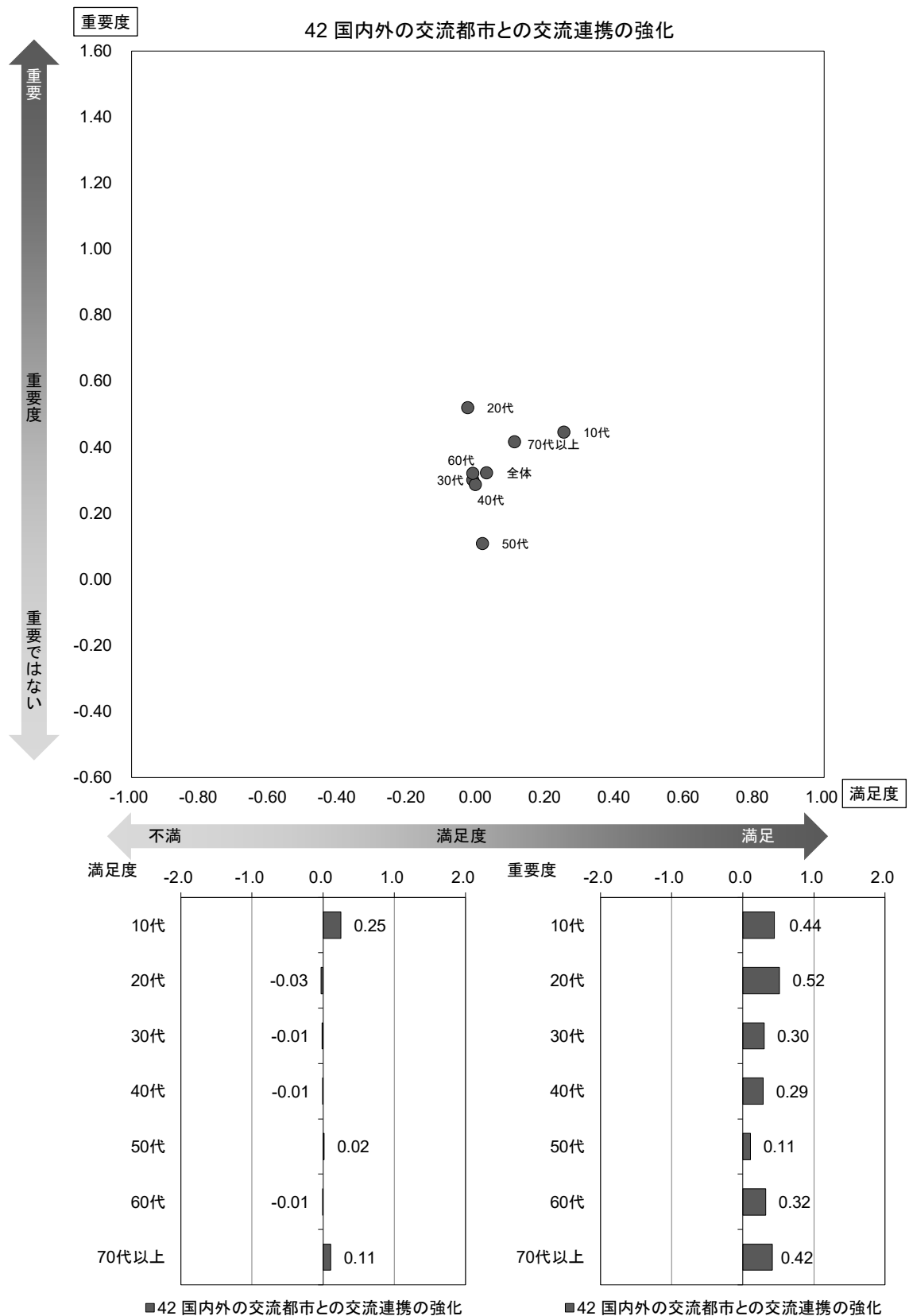


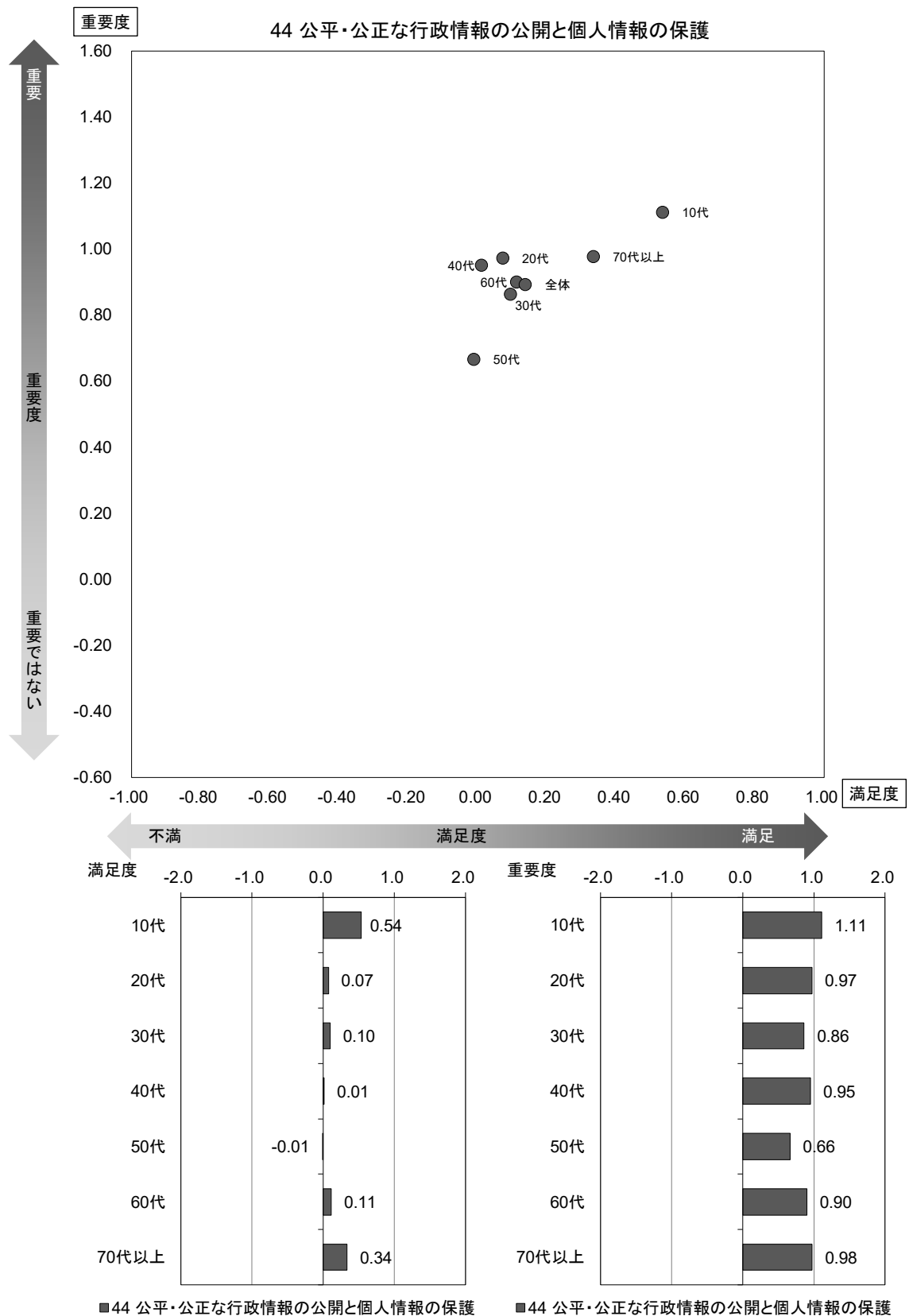


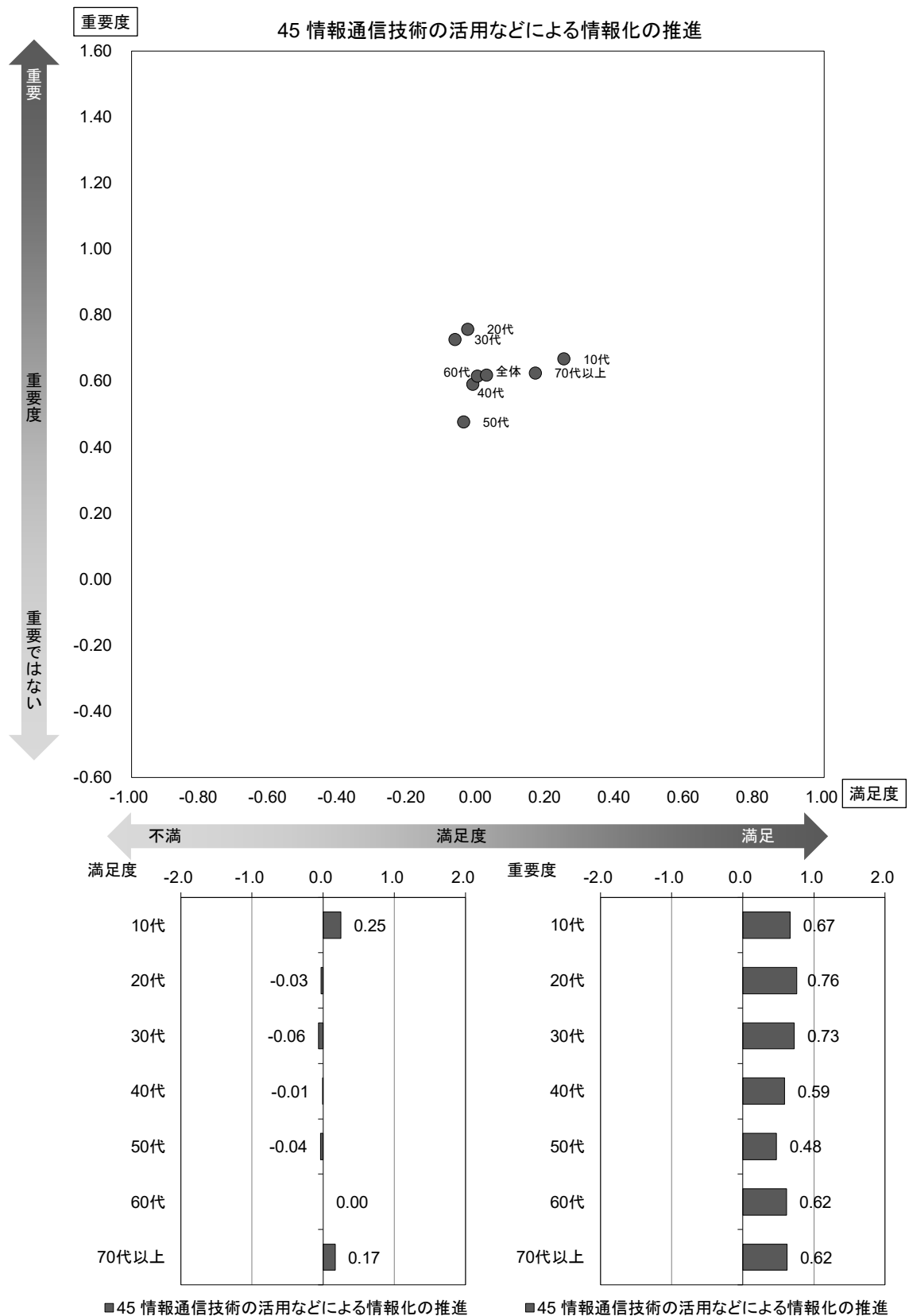


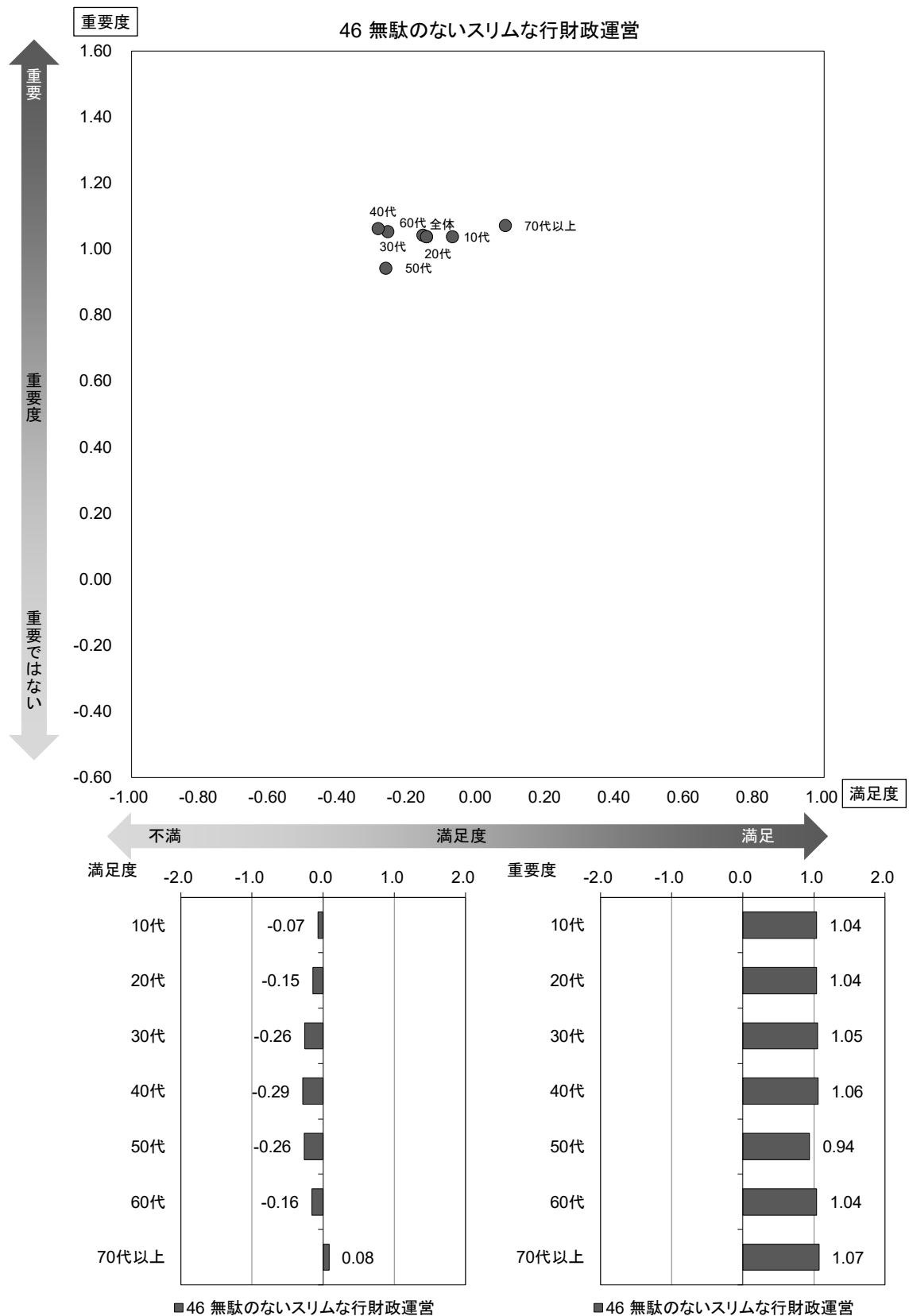


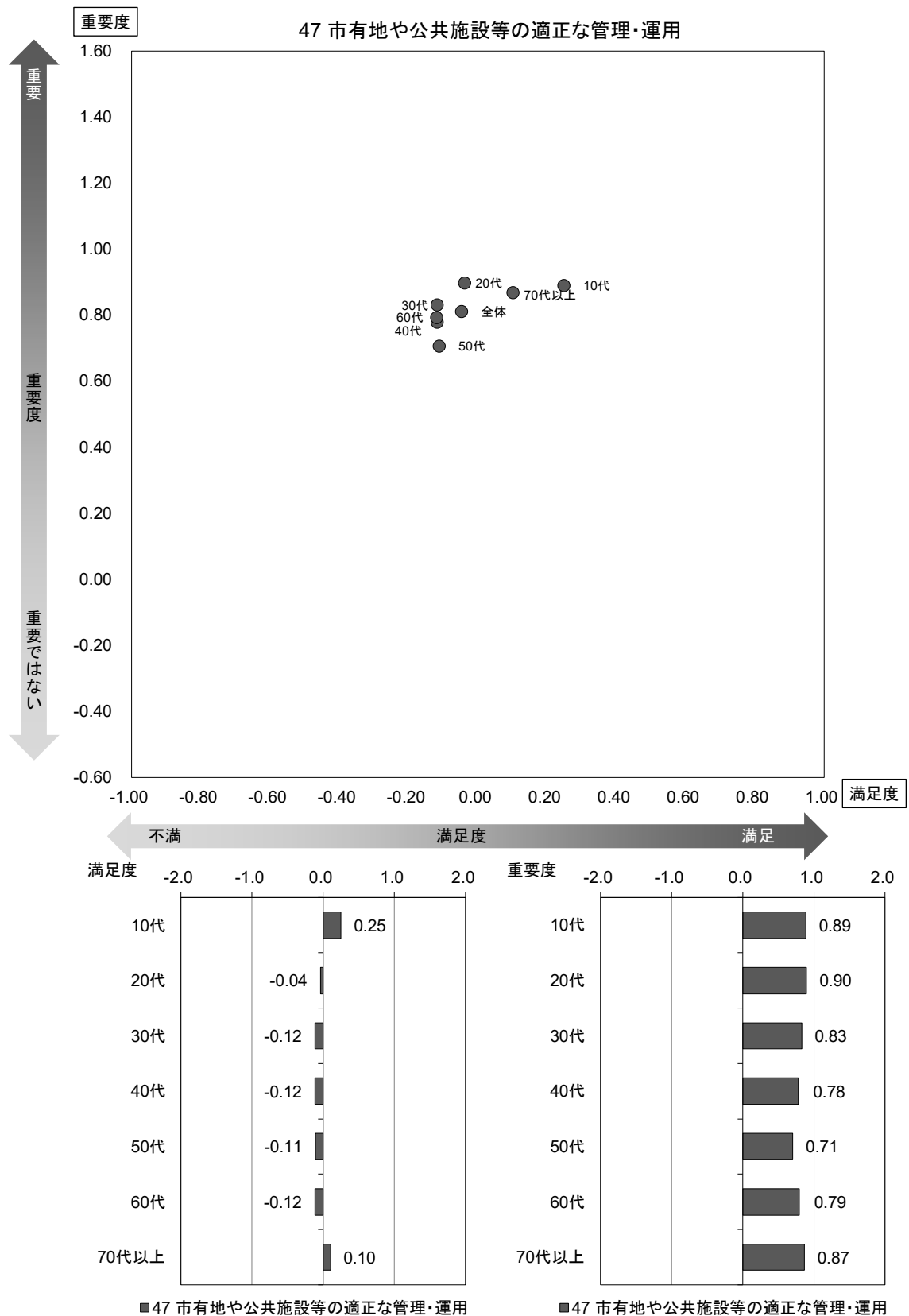


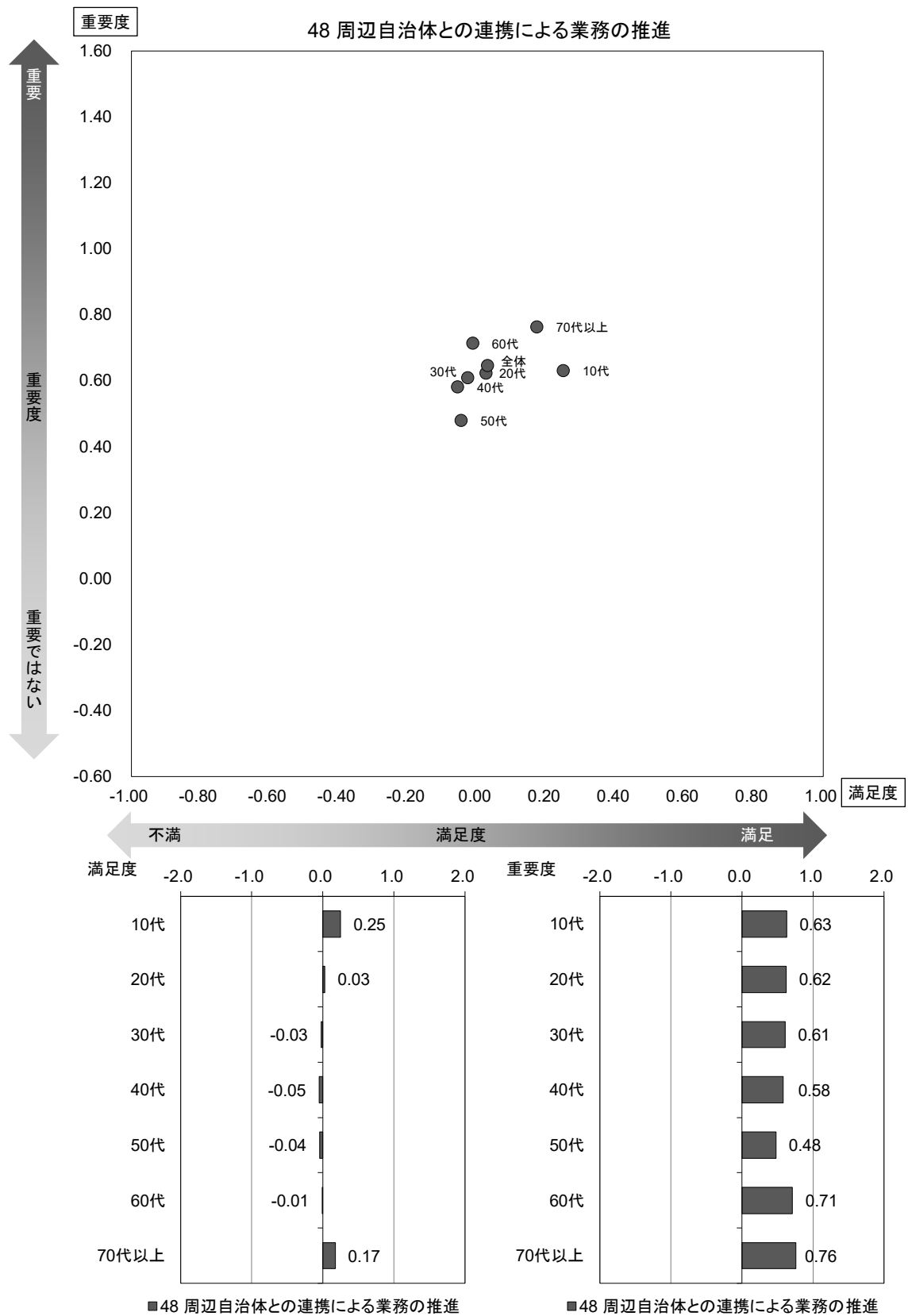






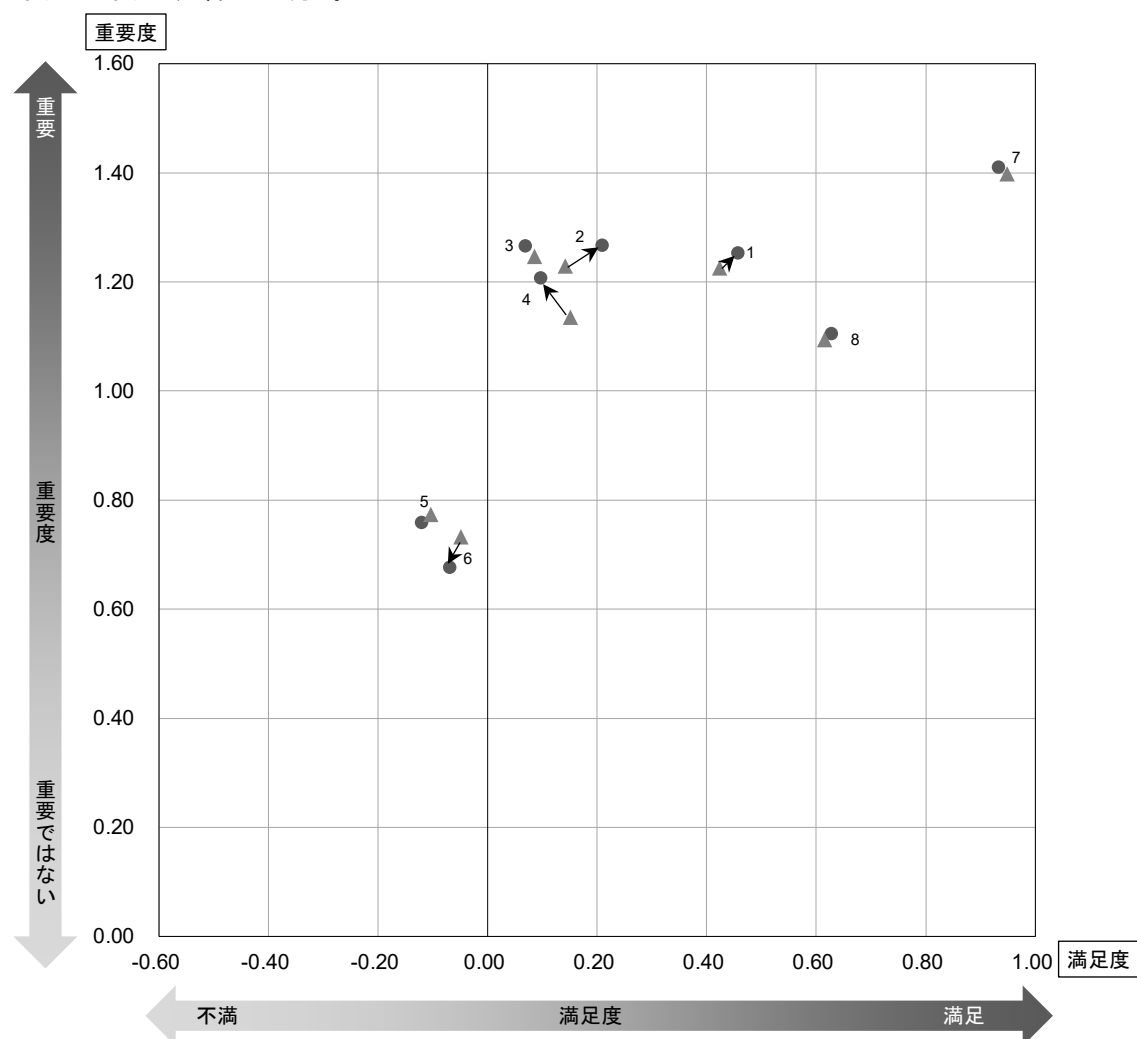






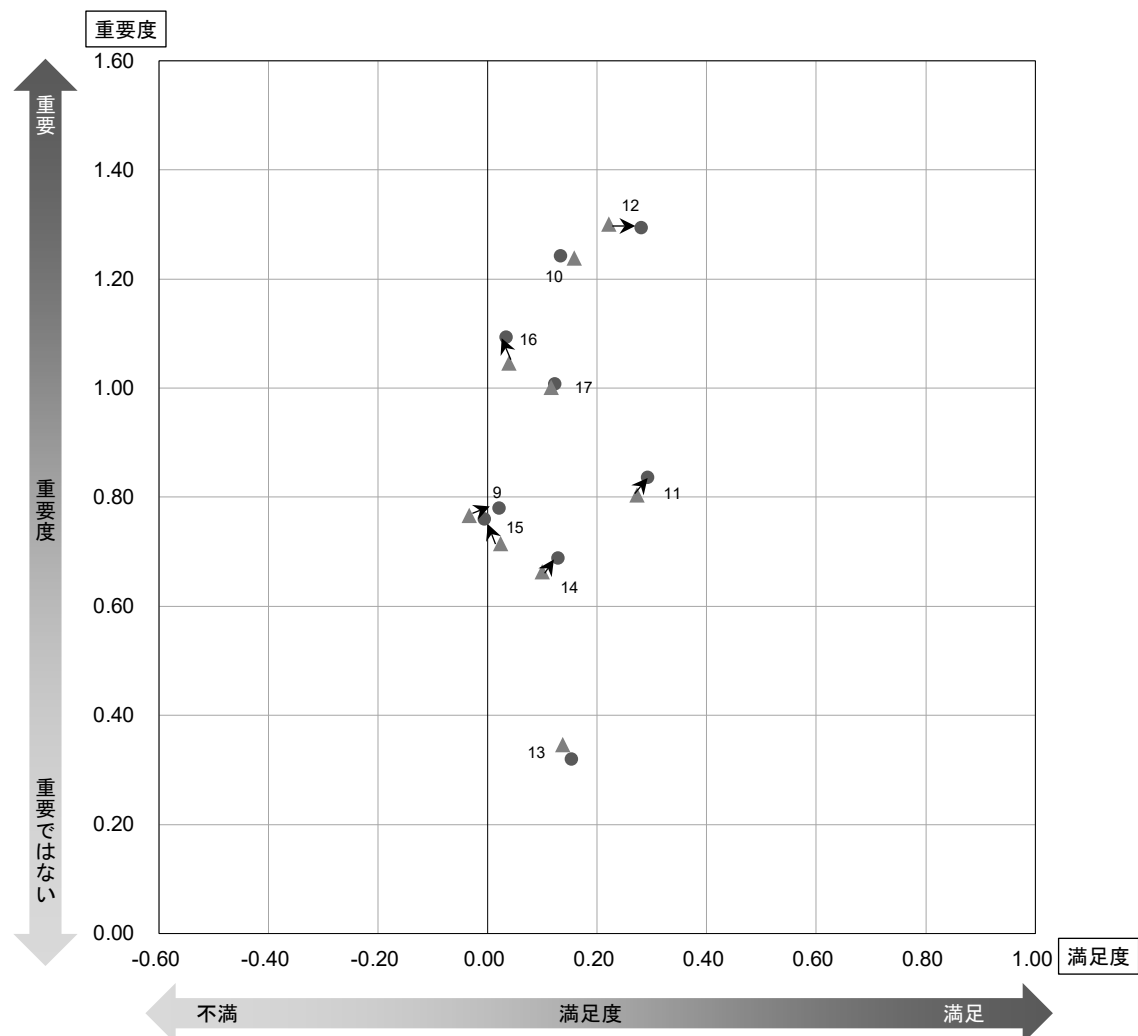
4. 分野別満足度・重要度の経年変化（加重平均値）

（１）安全・安心、暮らし分野



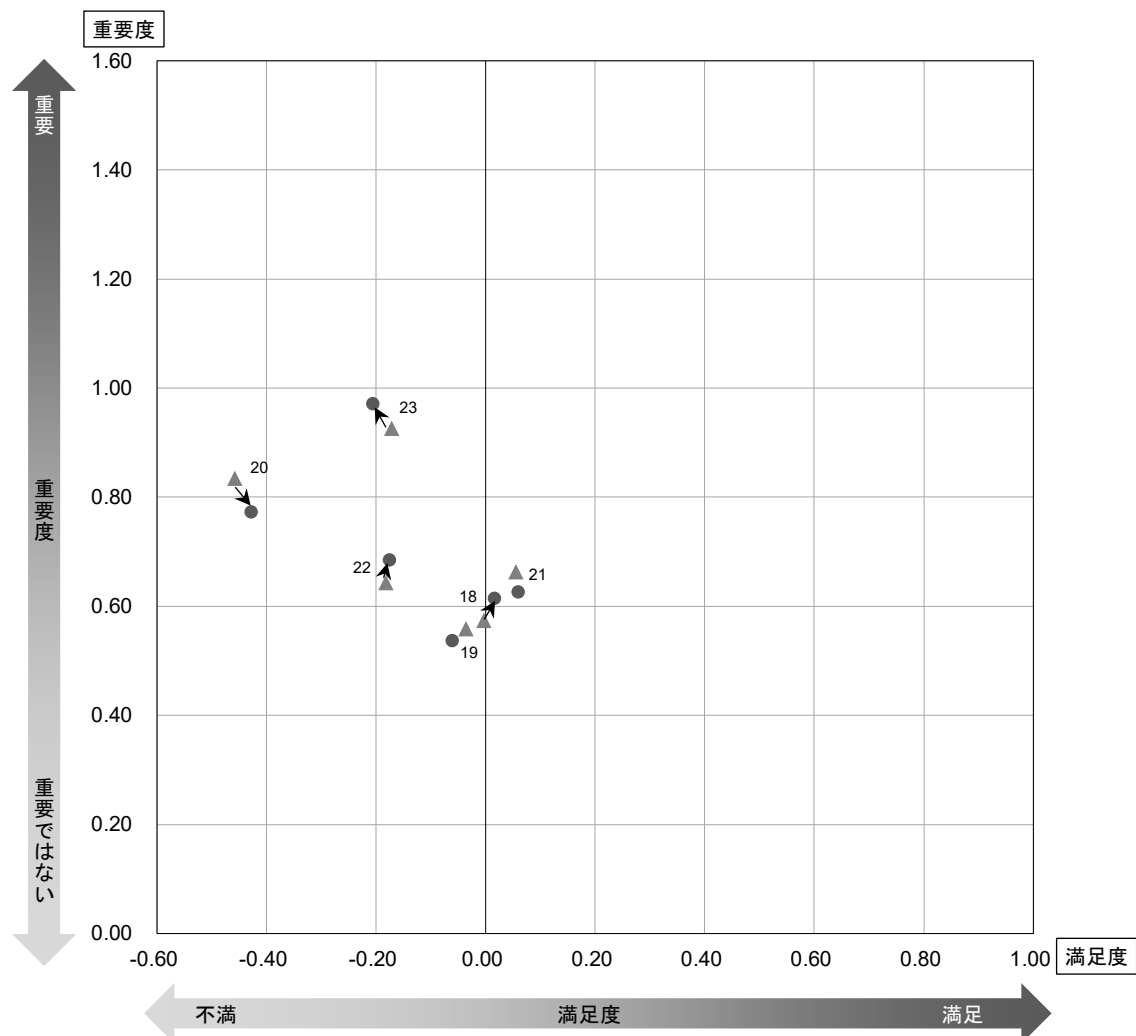
	今回調査 ●		前回(H30年度)調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
1 災害や火災から生活を守る消防力の強化	0.46	1.25	0.42	1.23
2 災害などの発生に備える防災機能の強化	0.21	1.27	0.14	1.23
3 安心して暮らせる防犯体制の整備	0.07	1.27	0.09	1.25
4 交通安全対策の推進	0.10	1.21	0.15	1.14
5 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	-0.12	0.76	-0.10	0.77
6 移住・定住環境の充実	-0.07	0.68	-0.05	0.73
7 いつでも安全に利用できる安定した水の供給	0.93	1.41	0.95	1.40
8 公共下水道整備や水洗化の推進	0.63	1.11	0.61	1.09

(2) 健康、福祉、スポーツ分野



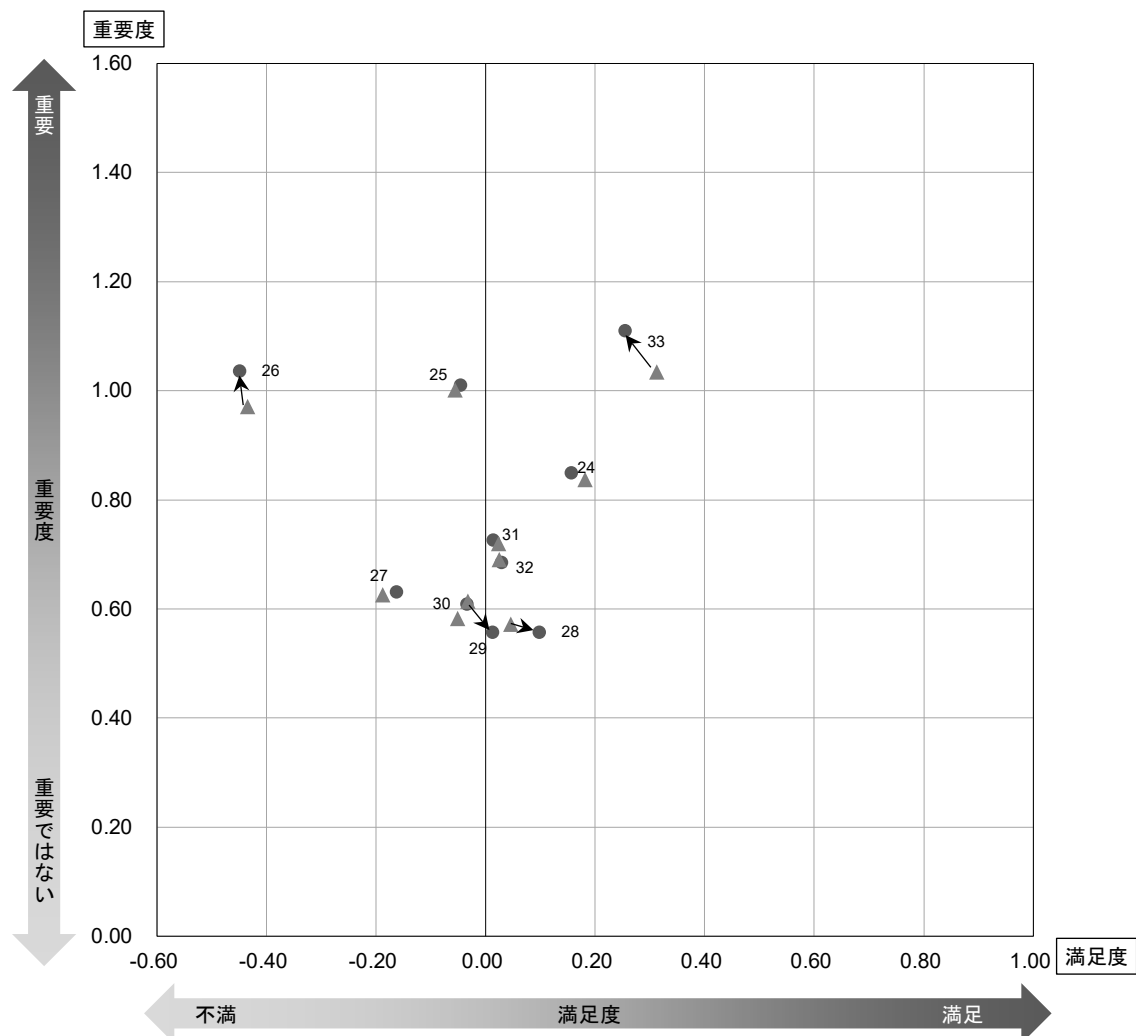
	今回調査 ●		前回(H30年度)調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
9 生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実	0.02	0.78	-0.03	0.77
10 安心して子どもを産み育てられる環境の充実	0.13	1.24	0.16	1.24
11 すこやかな生活のための健康づくりの推進	0.29	0.84	0.27	0.80
12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	0.28	1.29	0.22	1.30
13 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	0.15	0.32	0.14	0.35
14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	0.13	0.69	0.10	0.66
15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	-0.01	0.76	0.02	0.71
16 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	0.03	1.09	0.04	1.05
17 国民健康保険の円滑な運営	0.12	1.01	0.12	1.00

(3) 産業分野



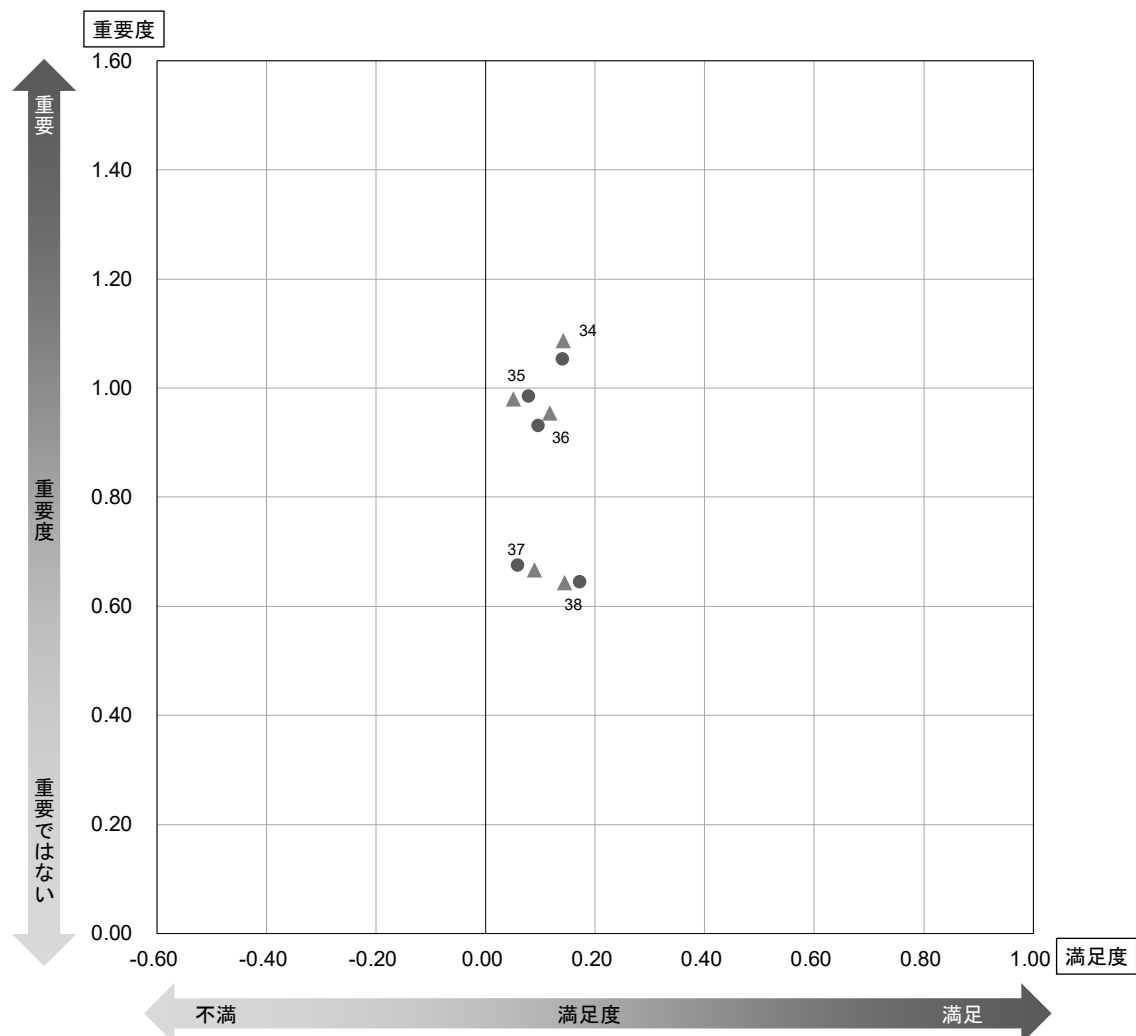
	今回調査 ●		前回(H30年度)調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
18 豊かな自然をいかした農林業の振興	0.01	0.62	0.00	0.57
19 創業・活性化支援による工業の振興	-0.06	0.54	-0.04	0.56
20 商店街の活性化と商業の振興	-0.43	0.77	-0.46	0.83
21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	0.06	0.63	0.05	0.66
22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	-0.18	0.69	-0.18	0.64
23 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	-0.21	0.97	-0.17	0.93

(4) 都市基盤、自然環境分野



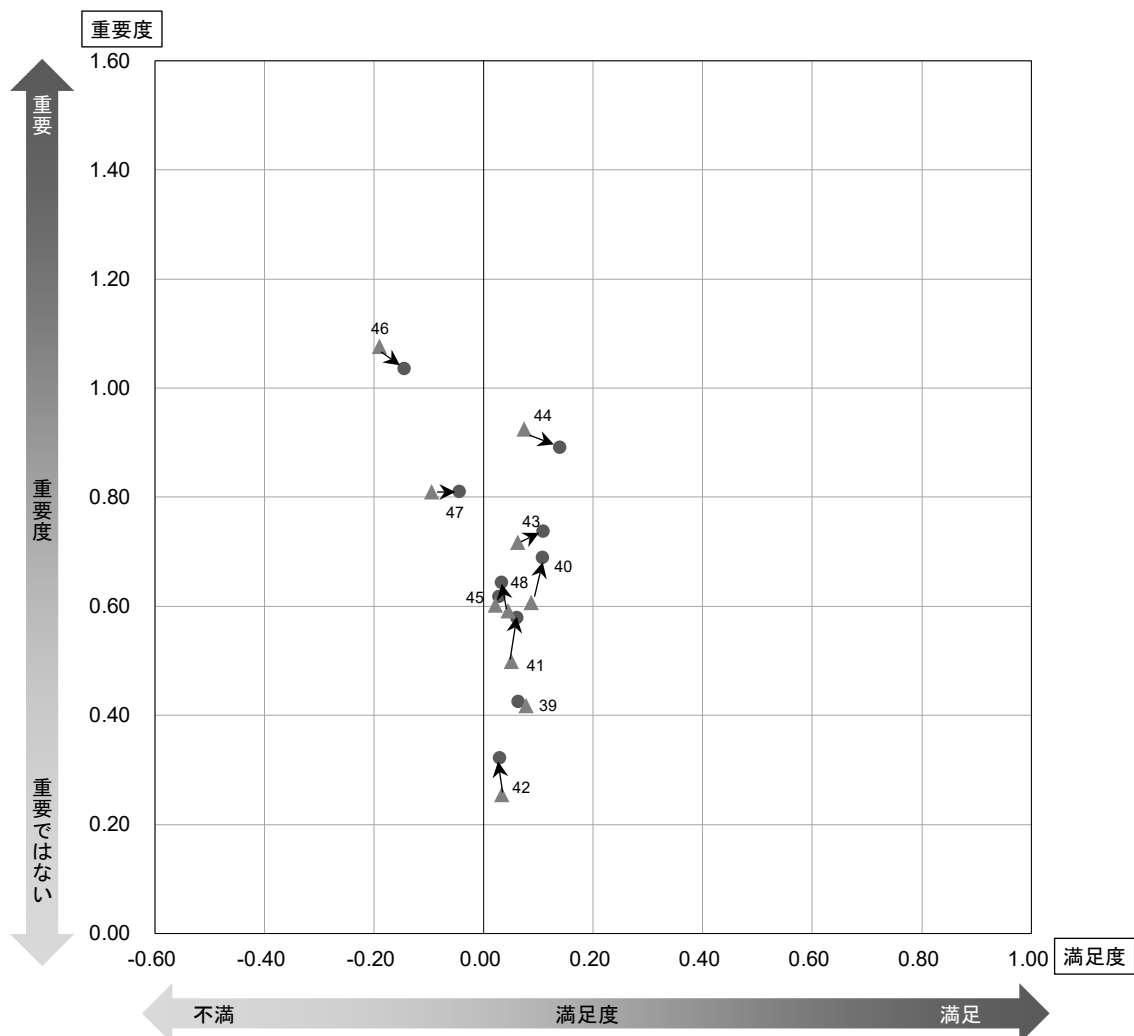
	今回調査 ●		前回(H30年度)調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
24 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備	0.16	0.85	0.18	0.84
25 生活に身近な道路の整備	-0.05	1.01	-0.06	1.00
26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立	-0.45	1.04	-0.44	0.97
27 良好な市街地の形成	-0.16	0.63	-0.19	0.63
28 自然景観や歴史的景観などを守る活動	0.10	0.56	0.05	0.57
29 身近な公園などの整備	0.01	0.56	-0.03	0.61
30 自然エネルギーの導入や環境対策の推進	-0.04	0.61	-0.05	0.58
31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組	0.01	0.73	0.02	0.72
32 河川の清掃などによる環境愛護活動の推進	0.03	0.69	0.02	0.69
33 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進	0.25	1.11	0.31	1.03

(5) 教育、文化分野



	今回調査 ●		前回(H30年度)調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
34 小・中学校の教育の充実	0.14	1.05	0.14	1.09
35 小・中学校の施設の充実	0.08	0.99	0.05	0.98
36 学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成	0.09	0.93	0.12	0.95
37 誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実	0.06	0.68	0.09	0.67
38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承	0.17	0.65	0.14	0.64

(6) 自治、協働分野



	今回調査 ●		前回(H30年度)調査 ▲	
	満足度	重要度	満足度	重要度
39 地域づくり団体などの活動基盤の強化	0.06	0.43	0.08	0.42
40 人権意識の向上と平和な社会の推進	0.11	0.69	0.09	0.61
41 あらゆる分野での男女共同参画の推進	0.06	0.58	0.05	0.50
42 国内外の交流都市との交流連携の強化	0.03	0.32	0.03	0.25
43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実	0.11	0.74	0.06	0.72
44 公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護	0.14	0.89	0.07	0.93
45 情報通信技術の活用などによる情報化の推進	0.03	0.62	0.02	0.60
46 無駄のないスリムな行財政運営	-0.15	1.04	-0.19	1.08
47 市有地や公共施設等の適正な管理・運用	-0.05	0.81	-0.09	0.81
48 周辺自治体との連携による業務の推進	0.03	0.64	0.04	0.59

5. 市民意識調査及び中学生・高校生意識調査の回答統合による3区分比較

(1) 目的

市民の幅広いニーズや意見を把握するため、市民意識調査及び中学生・高校生意識調査を統合し、「10代」「20代から50代」「60代以上」の3区分に分け、比較分析を行いました。

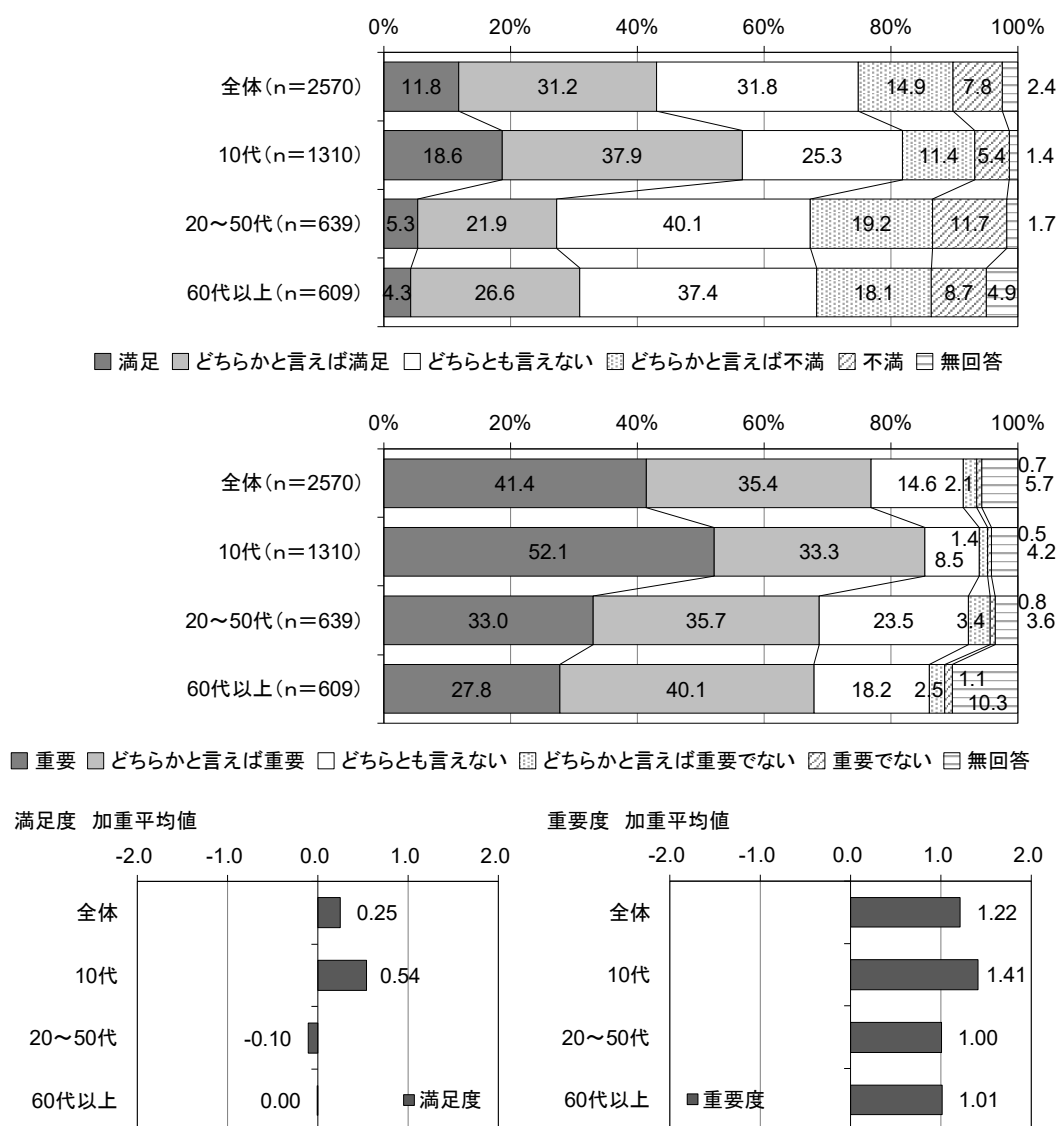
(2) 設問比較対照表

No.	設問内容		
1	市の取組の満足度・重要度		
	No.	市民意識調査 問 4	中学生・高校生意識調査 問 1
	①	25 生活に身近な道路の整備	1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる
	②	26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立	2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している
	③	31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組	3 森林や河川などの自然環境が豊かである
	④	27 良好な市街地の形成	4 市街地が整備され、快適に暮らせる
	⑤	2 災害などの発生に備える防災機能の強化	5 災害などに備える防災機能が整備されている
	⑥	3 安心して暮らせる防犯体制の整備	6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている
	⑦	29 身近な公園などの整備	7 身近な公園や広場が整備されている
	⑧	12 市民が安心して受診できる医療体制の充実	8 病院・診療所などの医療サービスが充実している
	⑨	10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している
	⑩	14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	
	⑪	15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	
	⑫	34 小・中学校の教育の充実	10 学校の教育や施設が充実している
	⑬	35 小・中学校の施設の充実	
	⑭	38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承	11 地域の祭など伝統文化が豊かである
	⑮	20 商店街の活性化と商業の振興	12 日々の買い物が便利である
	⑯	21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	13 観光地やレジャー施設が充実している
	⑰	22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	
	⑱	39 地域づくり団体などの活動基盤の強化	14 地域のボランティア団体などが充実している
⑲	43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実	15 市からの情報が充実している	
2	市民会館について		
	市民意識調査 問 9	中学生・高校生意識調査 問 2	
3	マイナンバーカードについて		
	市民意識調査 問 11	中学生・高校生意識調査 問 4	
	市民意識調査 問 12	中学生・高校生意識調査 問 5	
	市民意識調査 問 13	中学生・高校生意識調査 問 6	
4	成年後見制度について		
	市民意識調査 問 14	中学生・高校生意識調査 問 9	
	市民意識調査 問 15	中学生・高校生意識調査 問 10	
	市民意識調査 問 16	中学生・高校生意識調査 問 11	
5	読書について		
	市民意識調査 問 20	中学生・高校生意識調査 問 12	
	市民意識調査 問 21	中学生・高校生意識調査 問 13	
	市民意識調査 問 22	中学生・高校生意識調査 問 14	

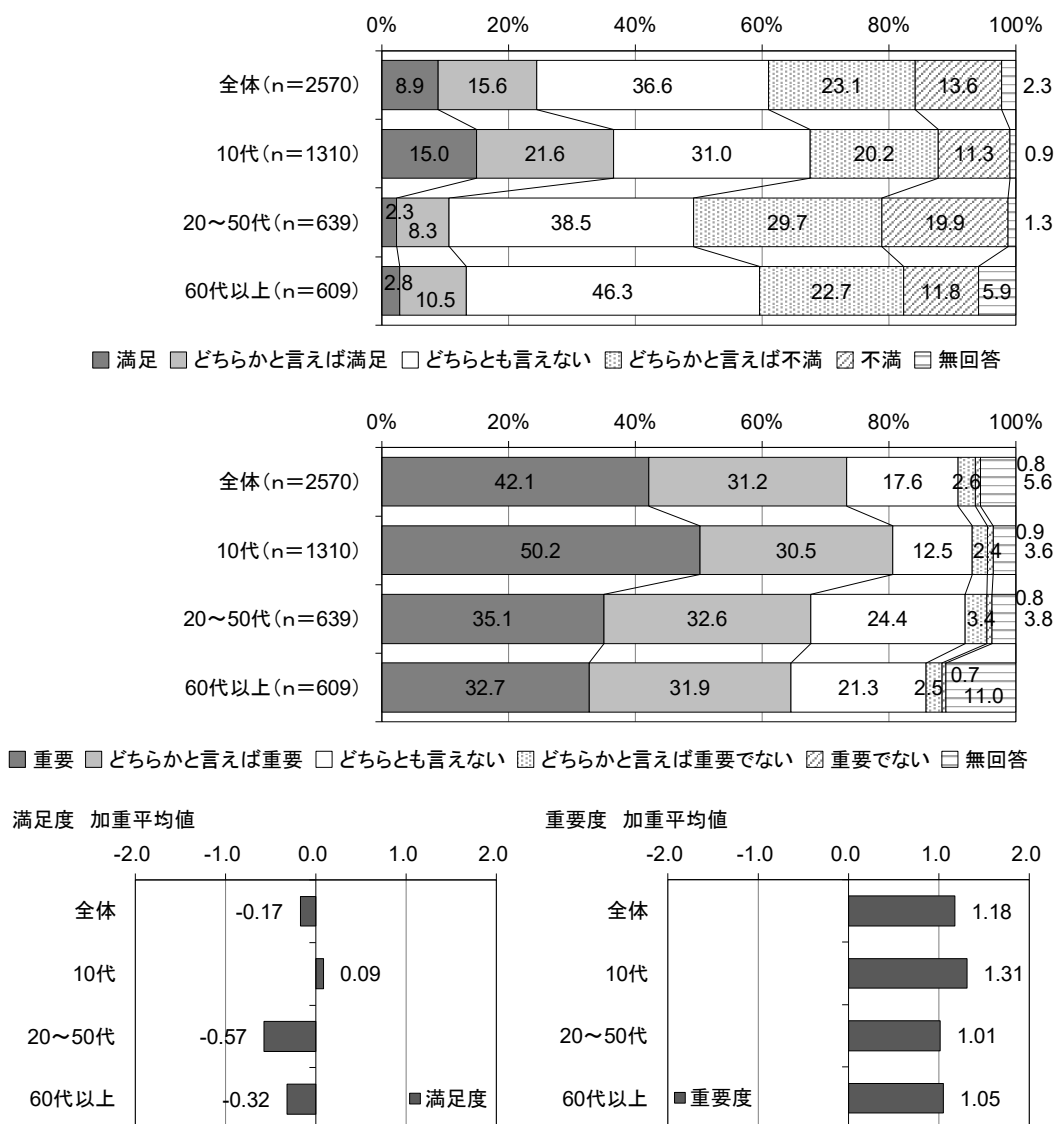
(3) 比較結果

No.1 市の取組の満足度・重要度

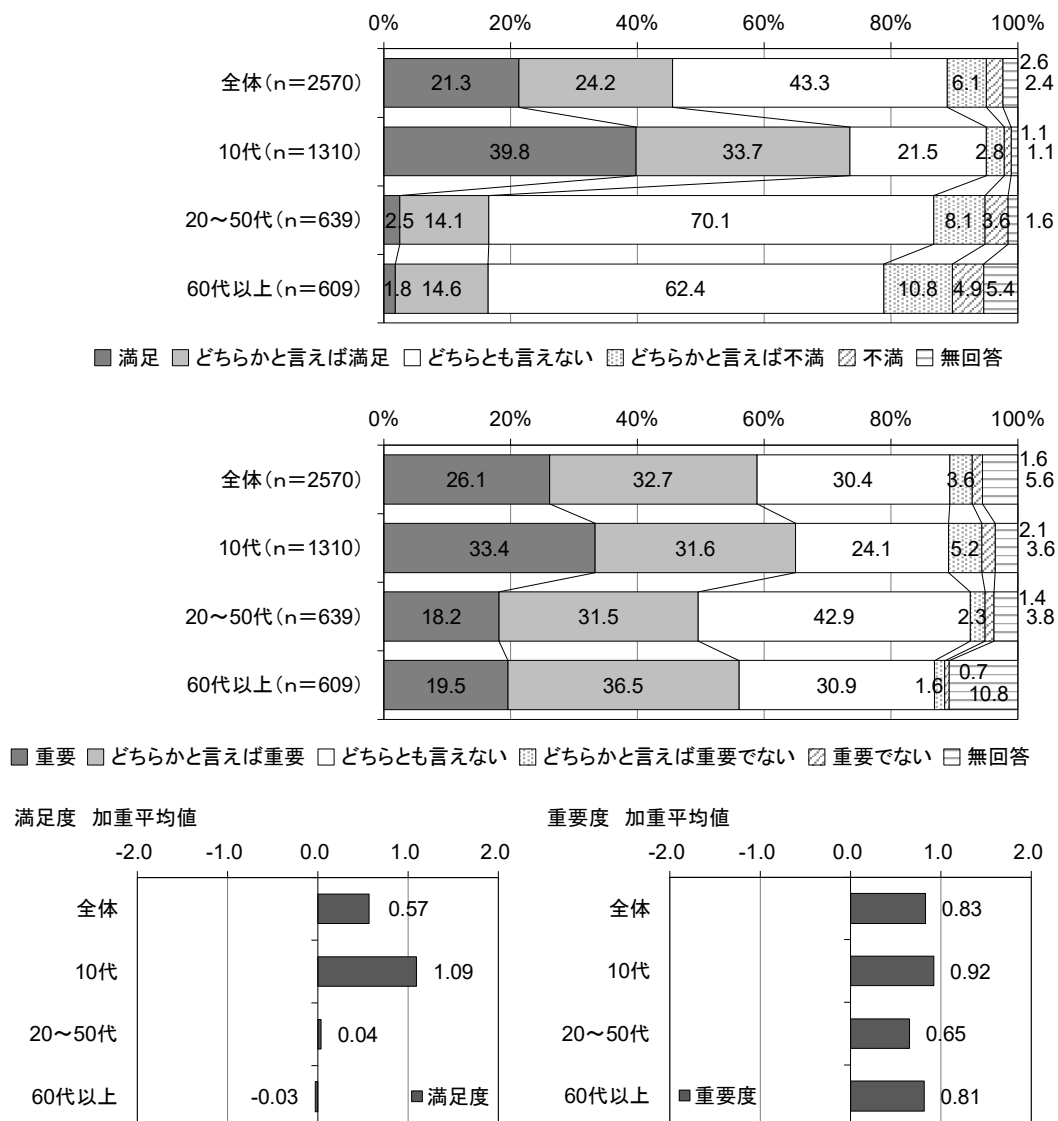
1-① 市民_25 生活に身近な道路の整備 中高生_1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる



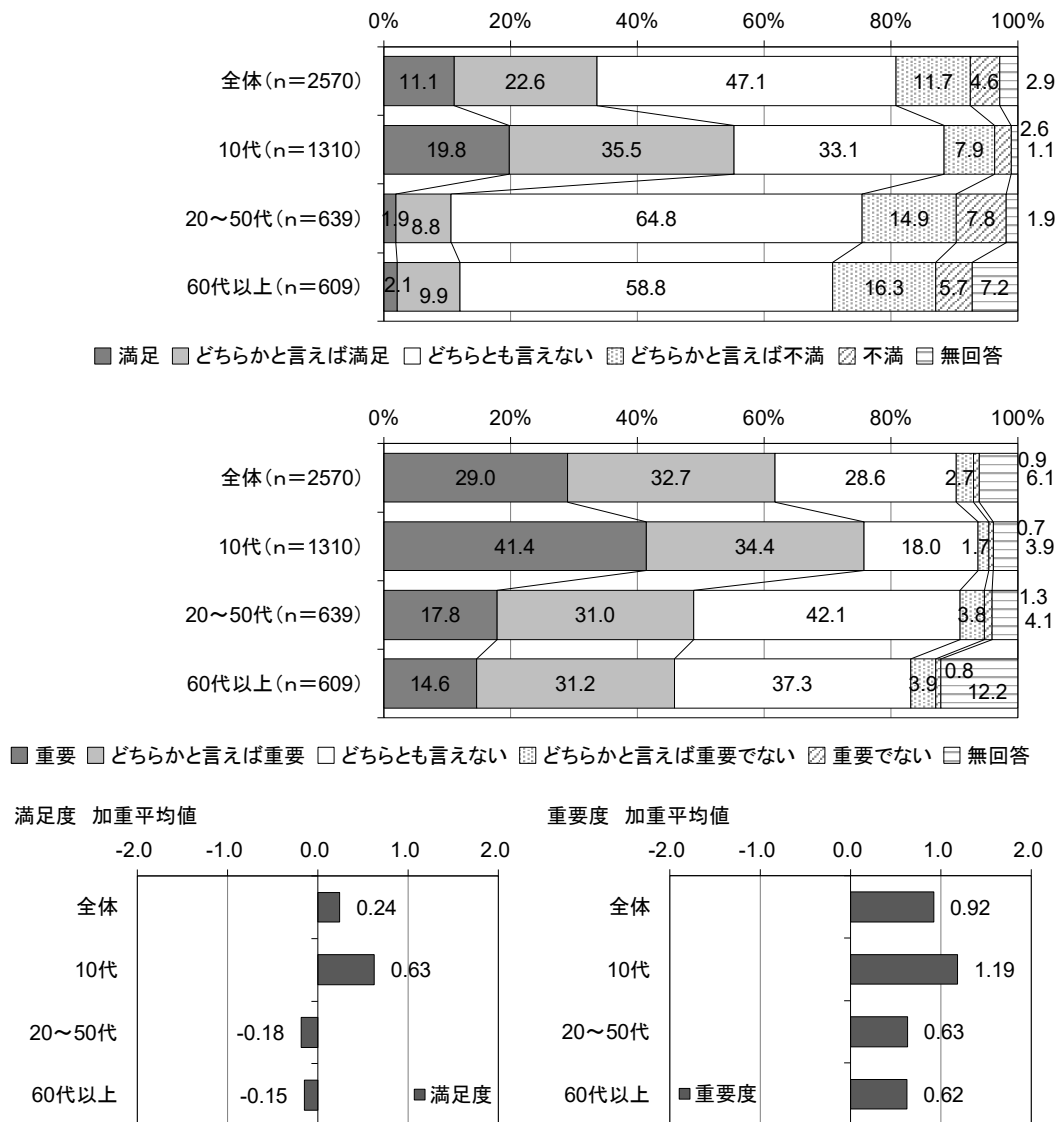
1-② 市民_ 26 使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立
 中高生_ 2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している



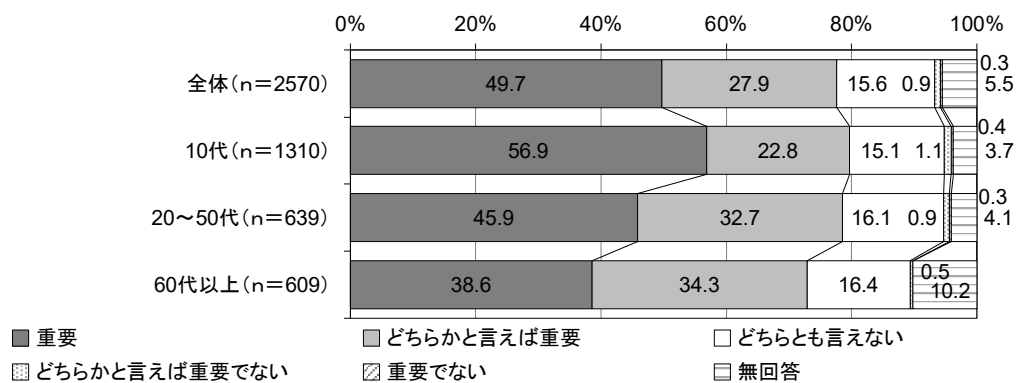
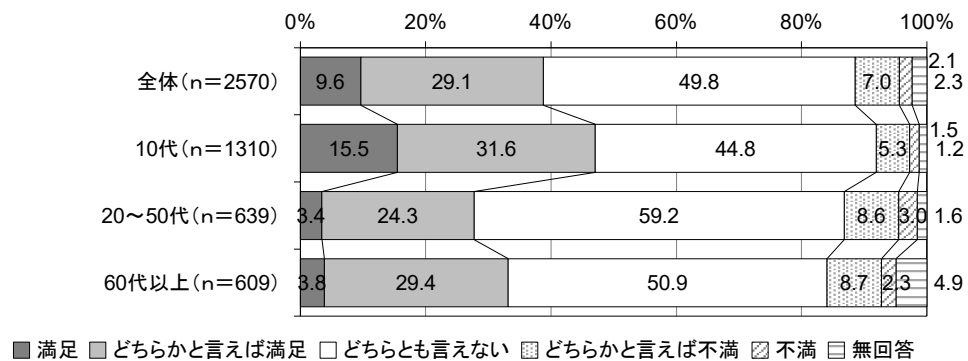
1-③ 市民_ 31 森林、河川などの豊かな自然を守る取組
 中高生_ 3 森林や河川などの自然環境が豊かである



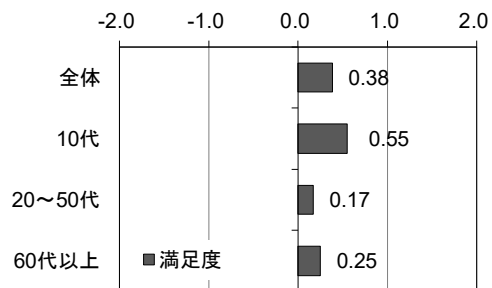
1-④ 市 民_ 27 良好な市街地の形成
 中高生_ 4 市街地が整備され、快適に暮らせる



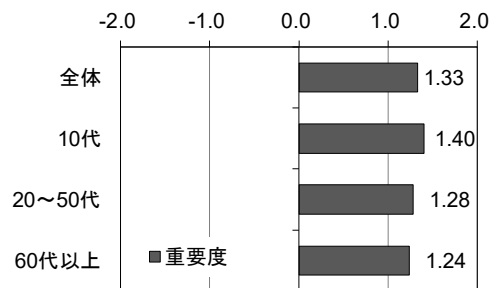
1-⑤ 市 民_ 2 災害などの発生に備える防災機能の強化
 中高生_ 5 災害などに備える防災機能が整備されている



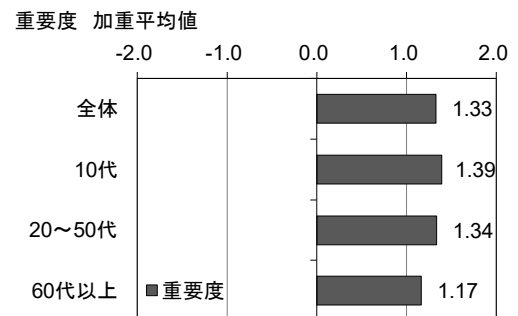
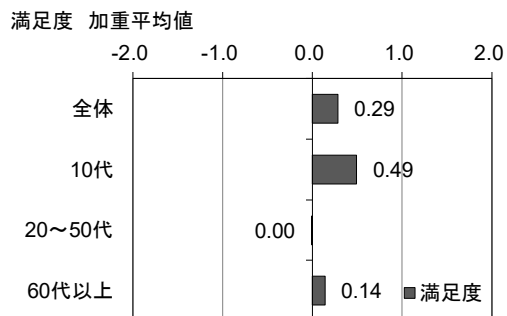
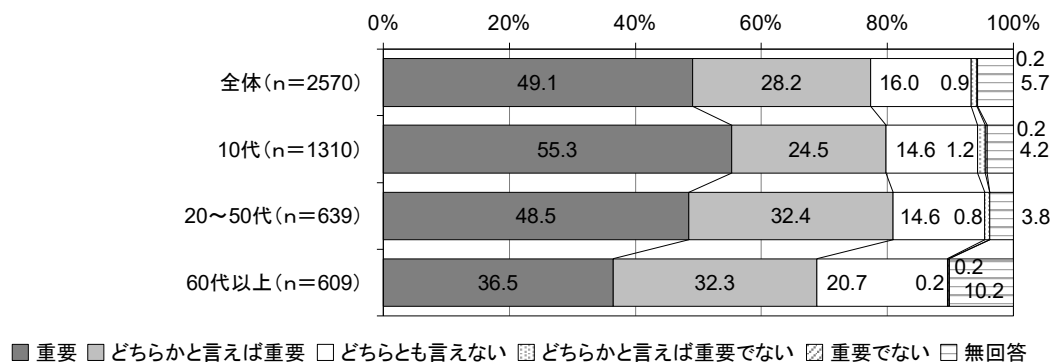
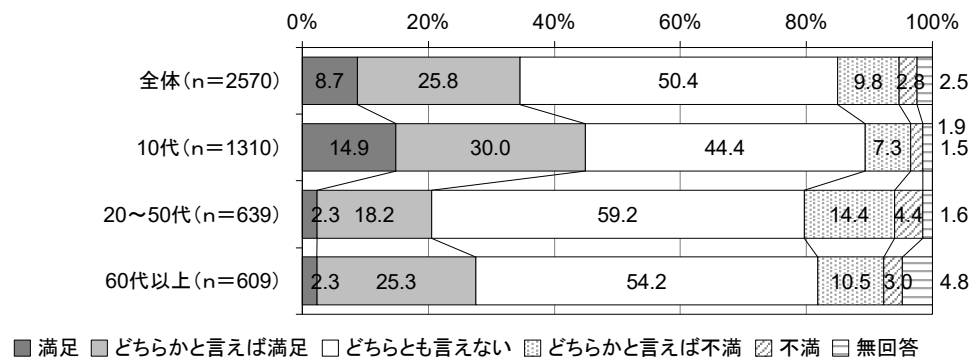
【満足度】



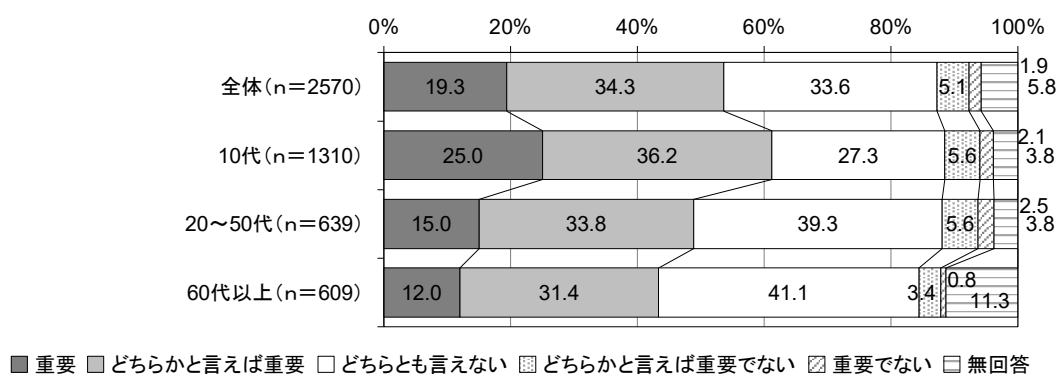
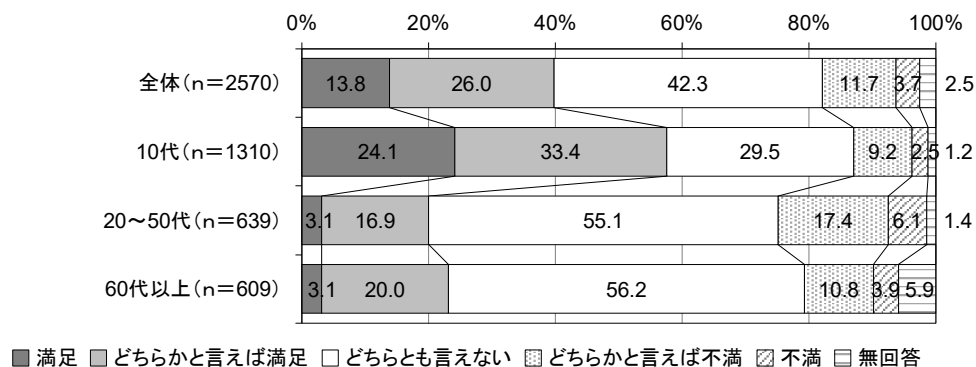
【重要度】



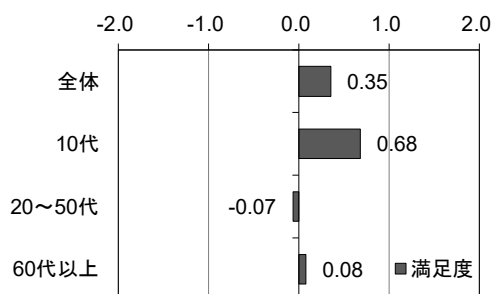
1-⑥ 市 民_ 3 安心して暮らせる防犯体制の整備
 中高生_ 6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている



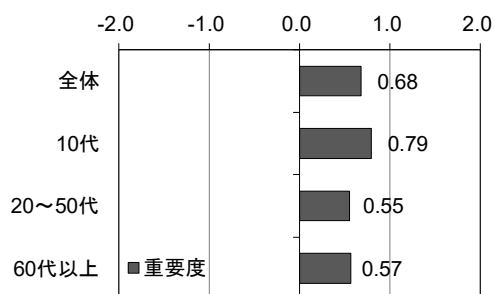
1-⑦ 市 民_ 29 身近な公園などの整備
 中高生_ 7 身近な公園や広場が整備されている



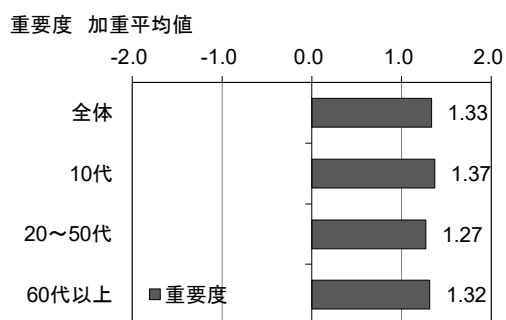
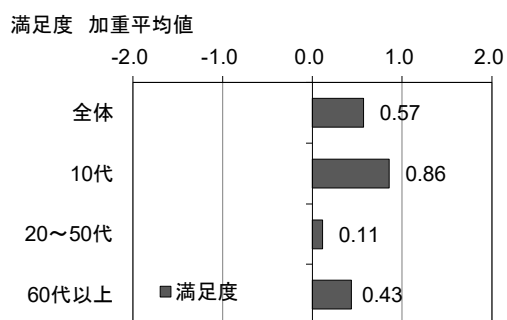
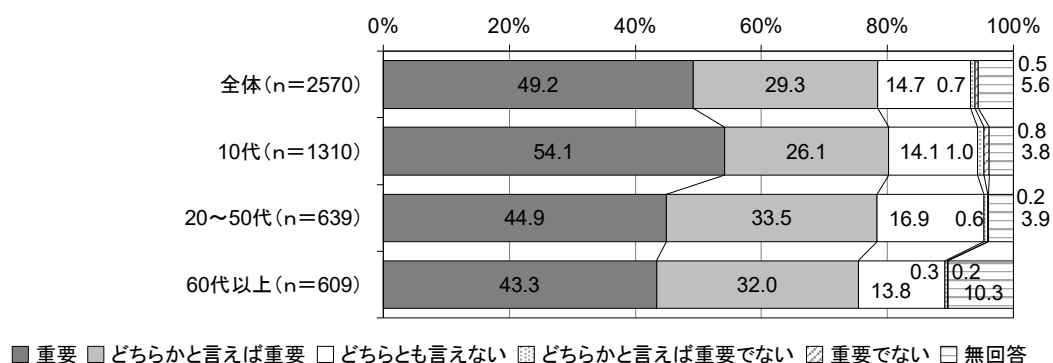
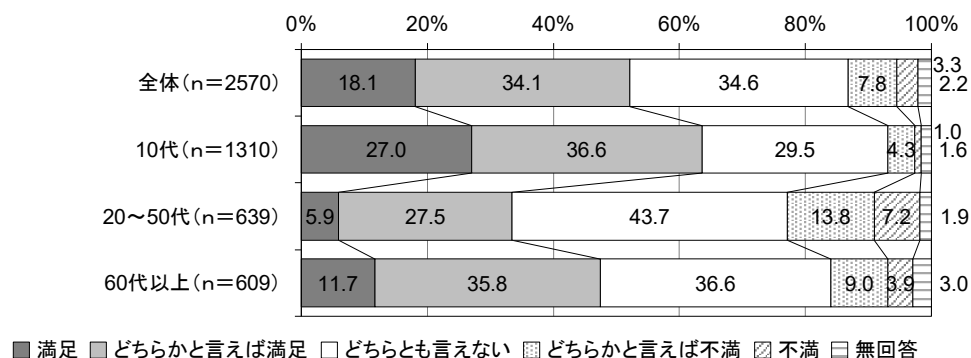
満足度 加重平均値



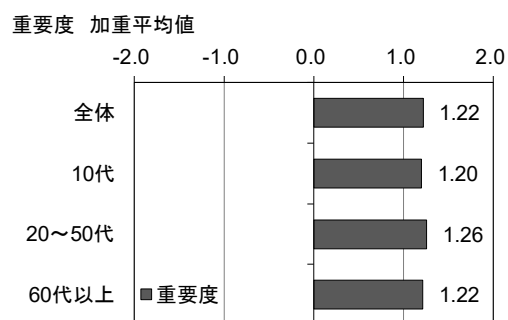
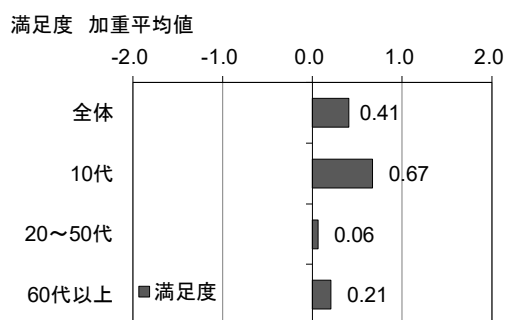
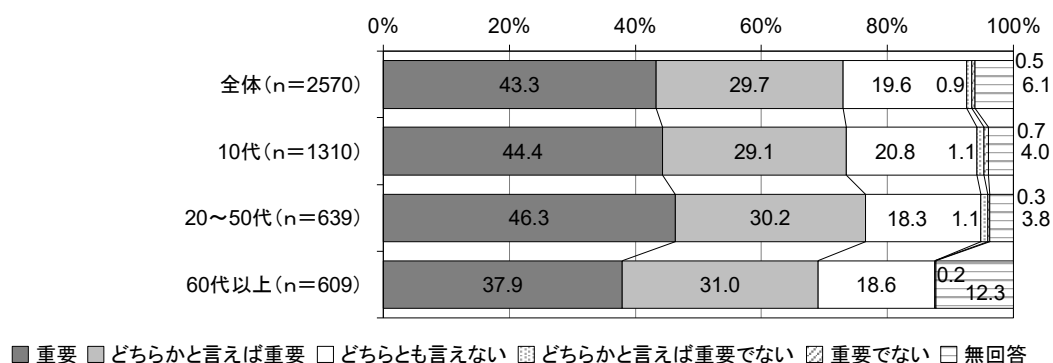
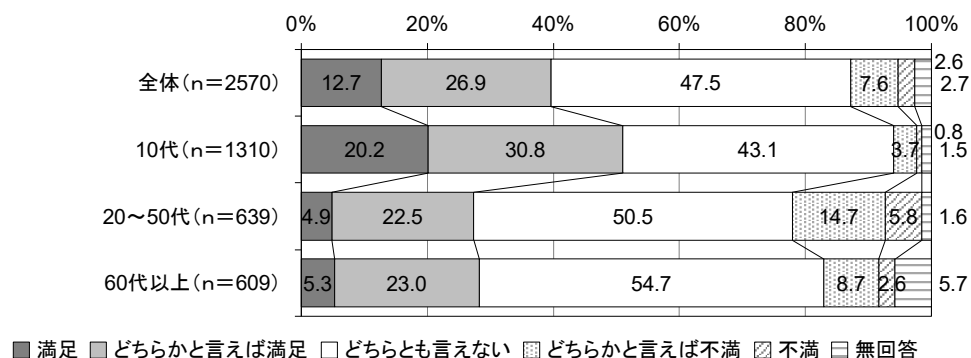
重要度 加重平均値



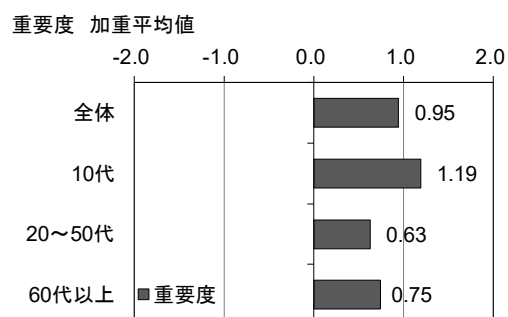
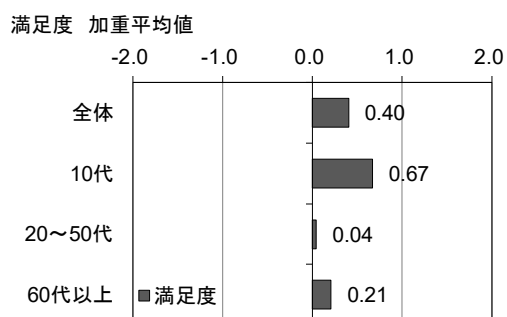
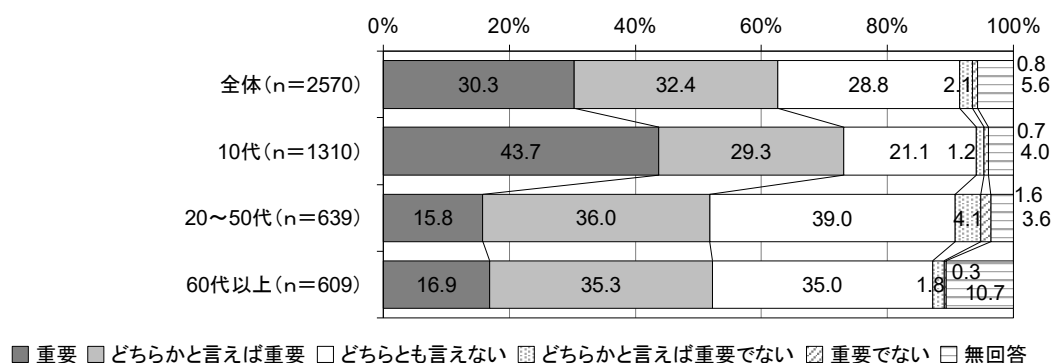
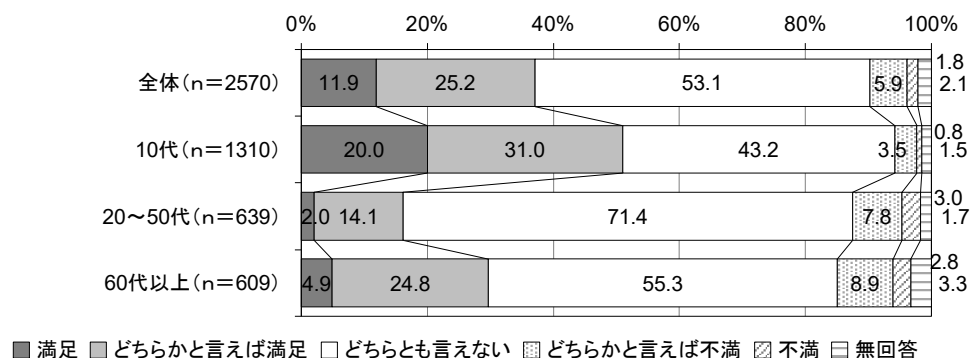
1-⑧ 市 民_ 12 市民が安心して受診できる医療体制の充実
 中高生_ 8 病院・診療所などの医療サービスが充実している



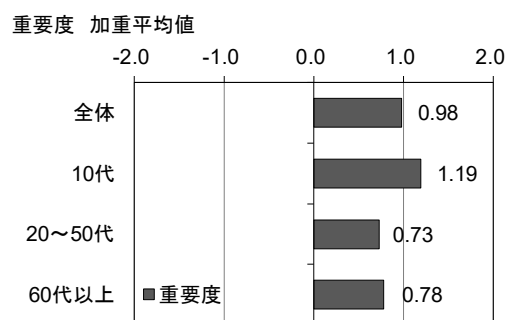
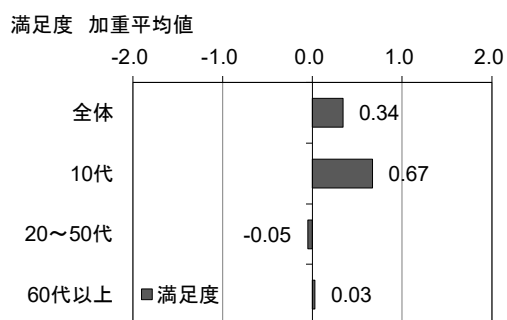
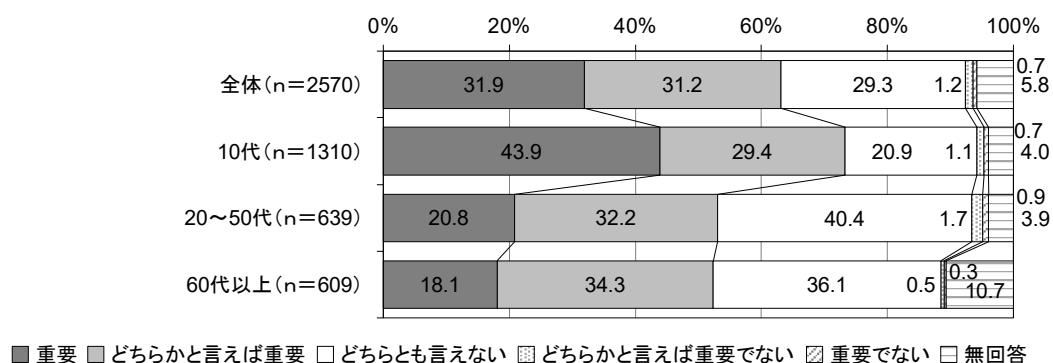
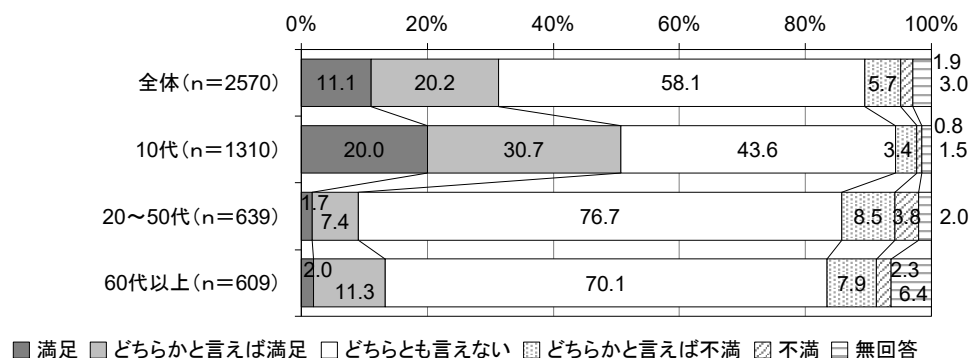
1-⑨ 市 民_ 10 安心して子どもを生み育てられる環境の充実
 中高生_ 9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している



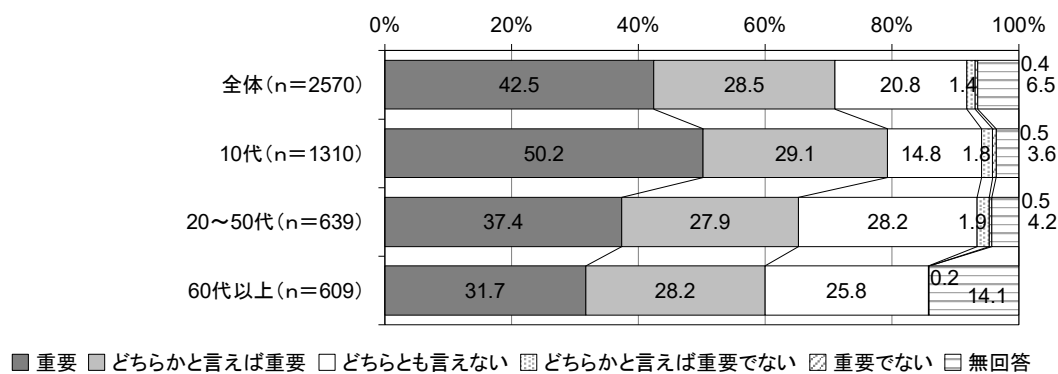
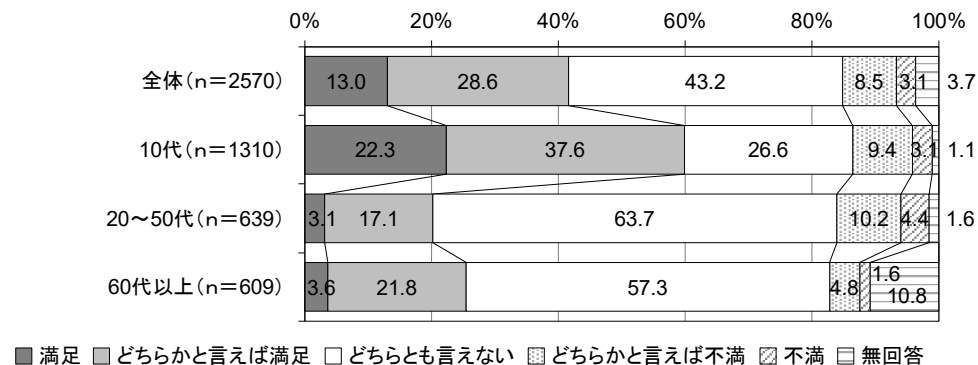
1-⑩ 市 民_ 14 高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実
 中高生_ 9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している



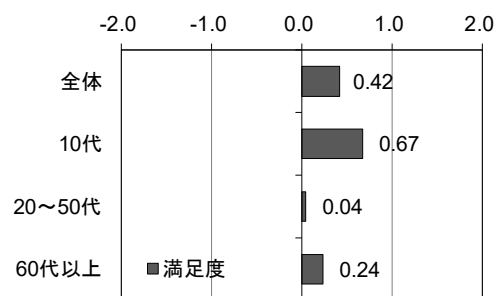
1-⑪ 市 民_ 15 障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実
 中高生_ 9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している



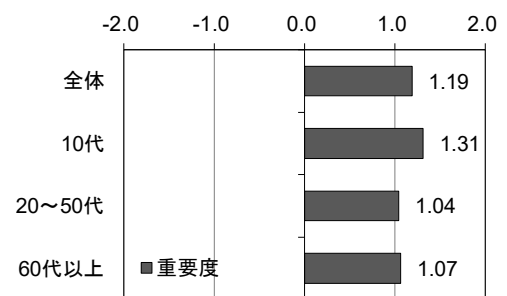
1-⑫ 市 民_ 34 小・中学校の教育の充実
 中高生_ 10 学校の教育や施設が充実している



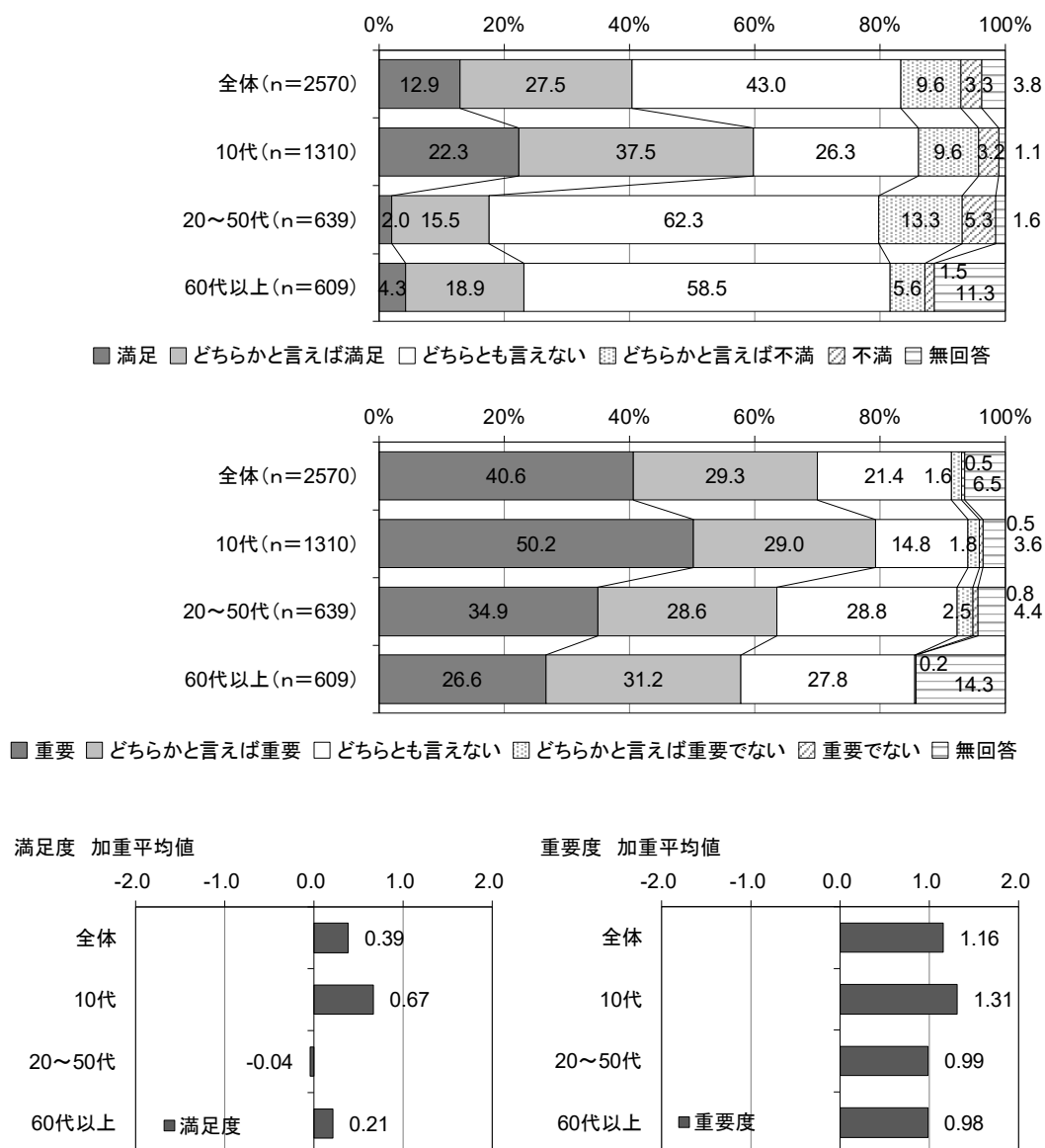
満足度 加重平均値



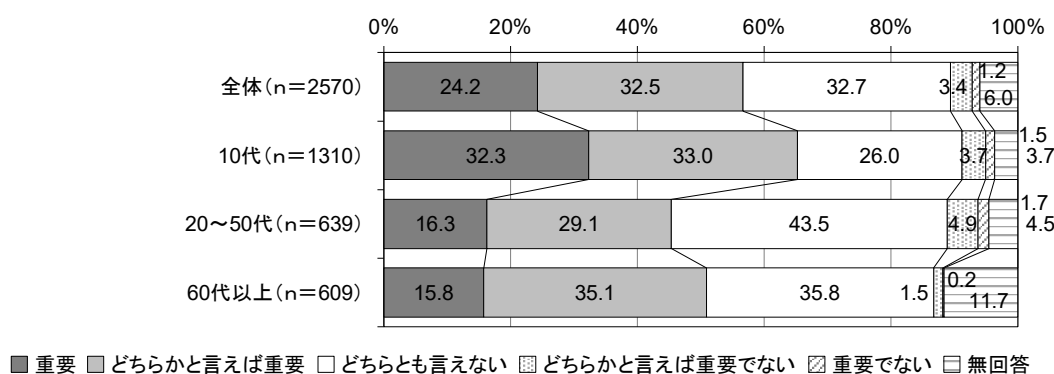
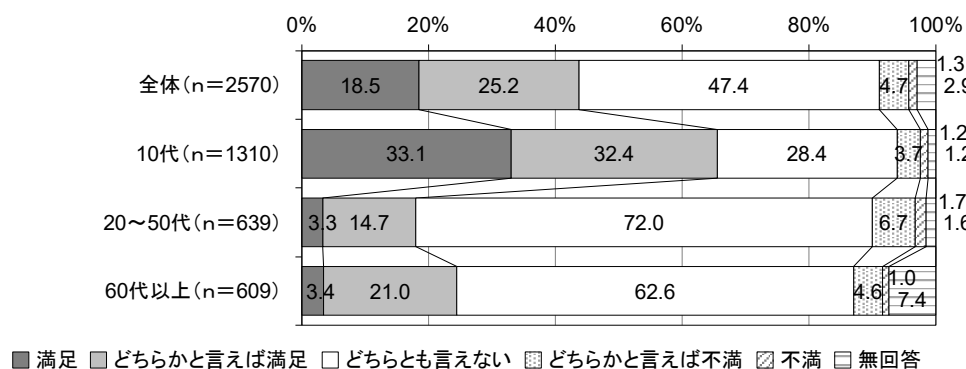
重要度 加重平均値



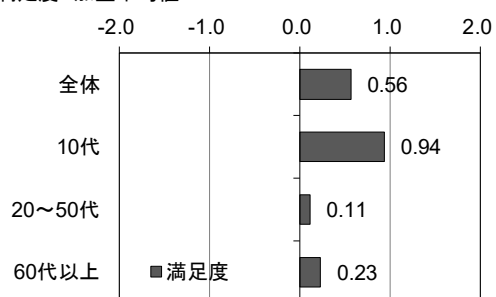
1-⑬ 市 民_ 35 小・中学校の施設の充実
 中高生_ 10 学校の教育や施設が充実している



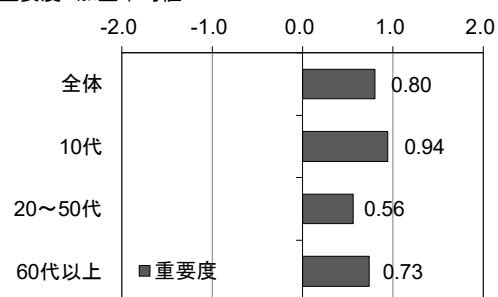
1-⑭ 市 民_ 38 地域に残る文化財の保護、伝統の継承
 中高生_ 11 地域の祭など伝統文化が豊かである



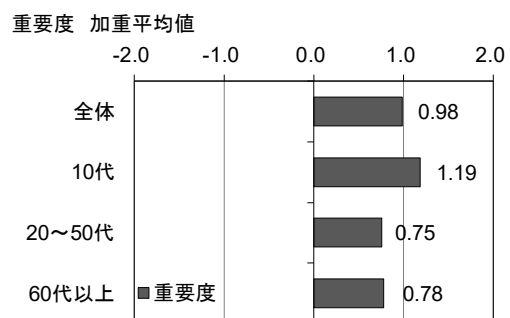
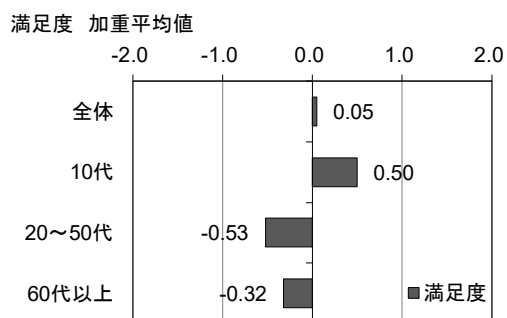
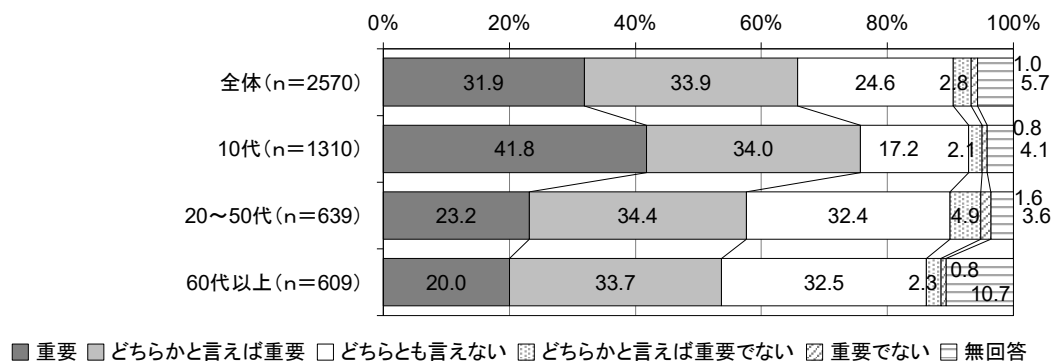
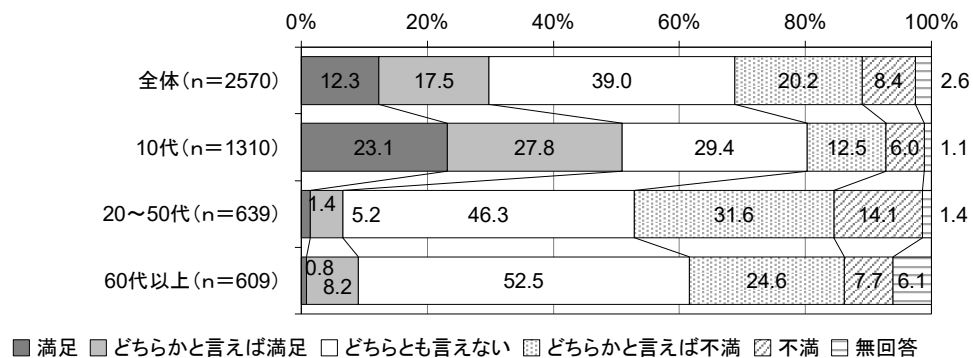
満足度 加重平均値



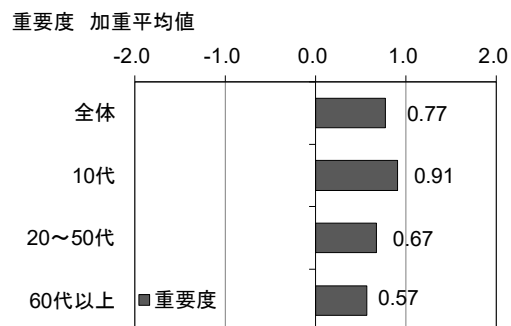
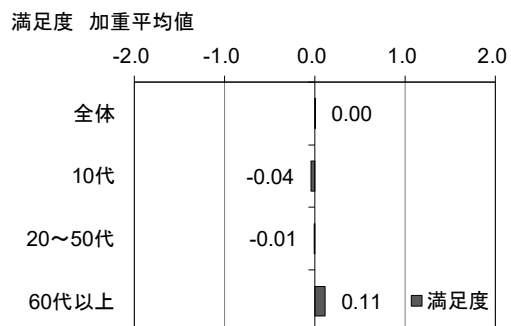
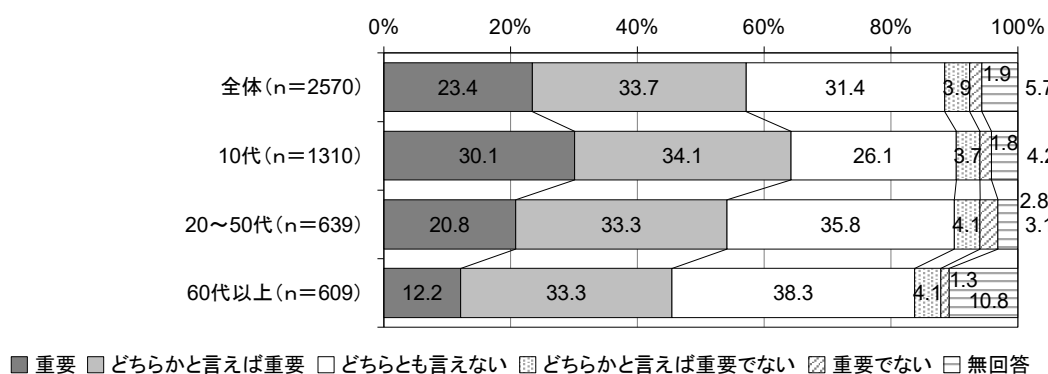
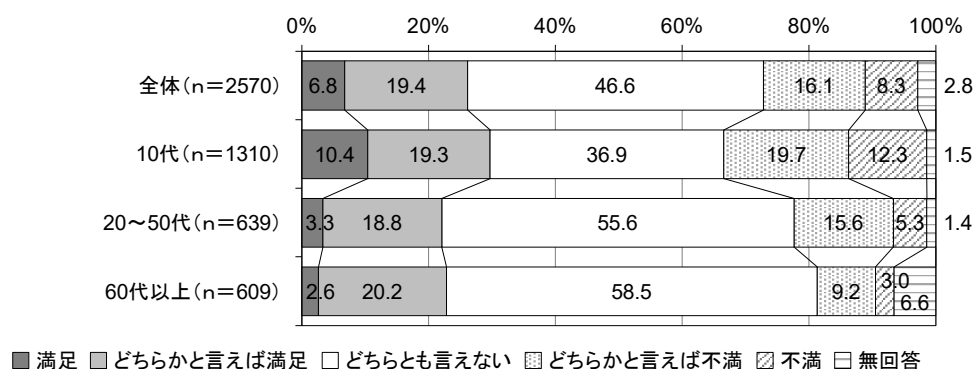
重要度 加重平均値



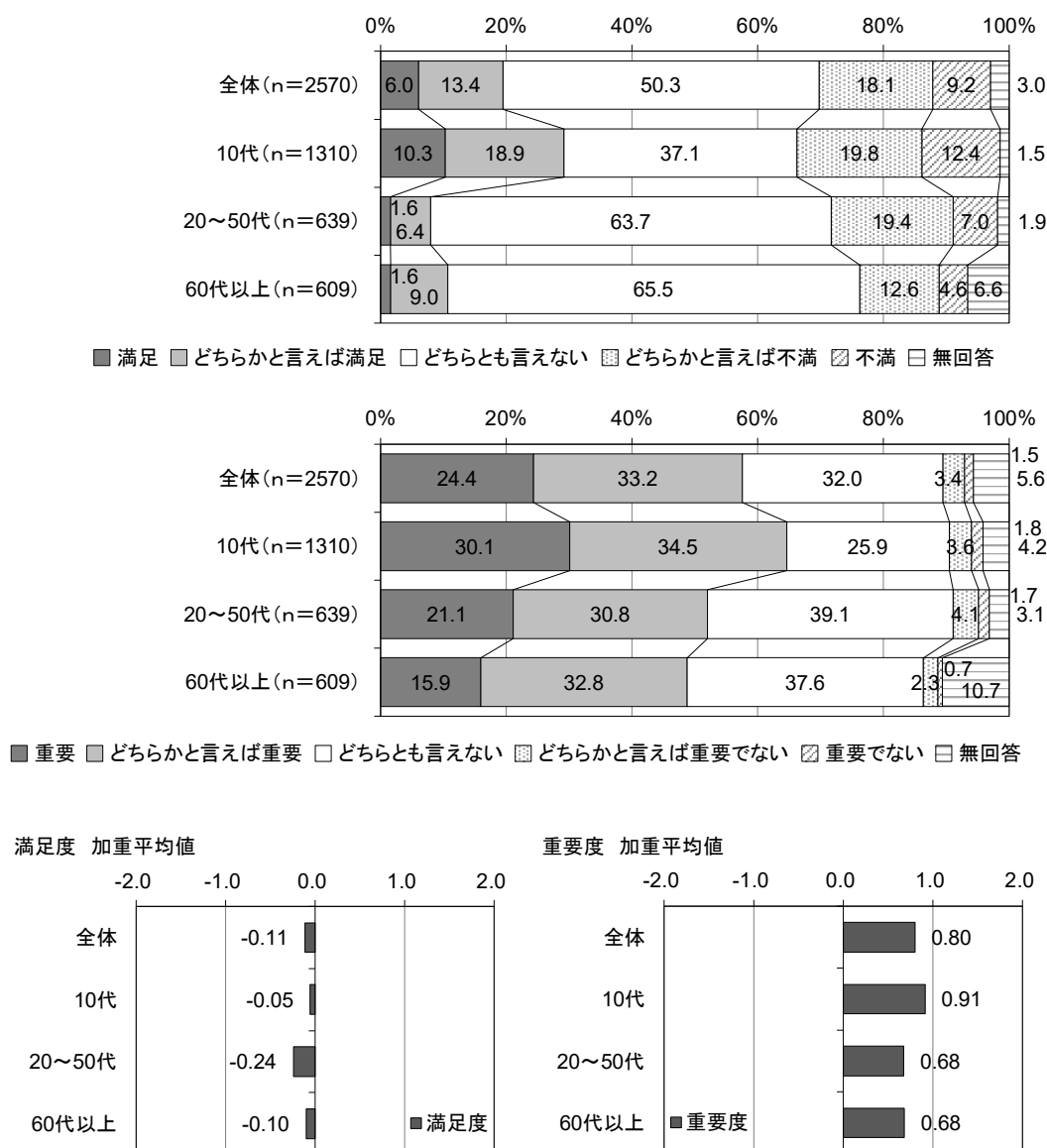
1-⑮ 市 民_ 20 商店街の活性化と商業の振興
 中高生_ 12 日々の買い物が便利である



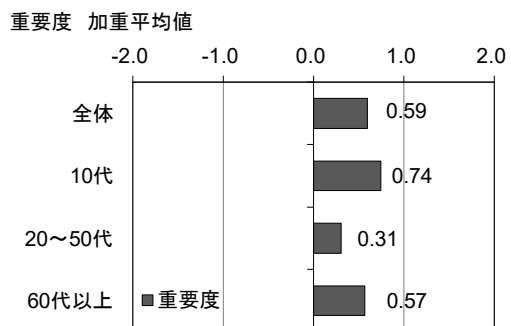
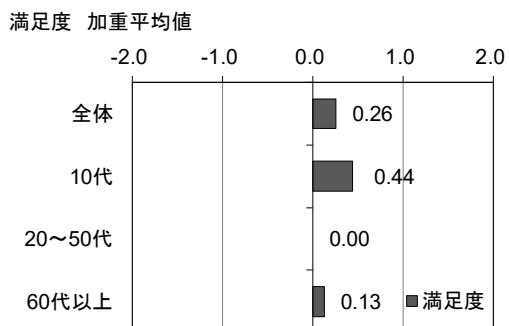
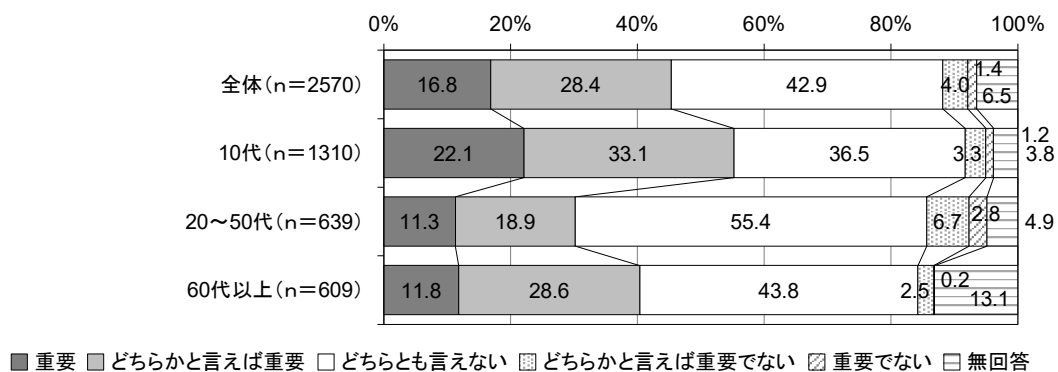
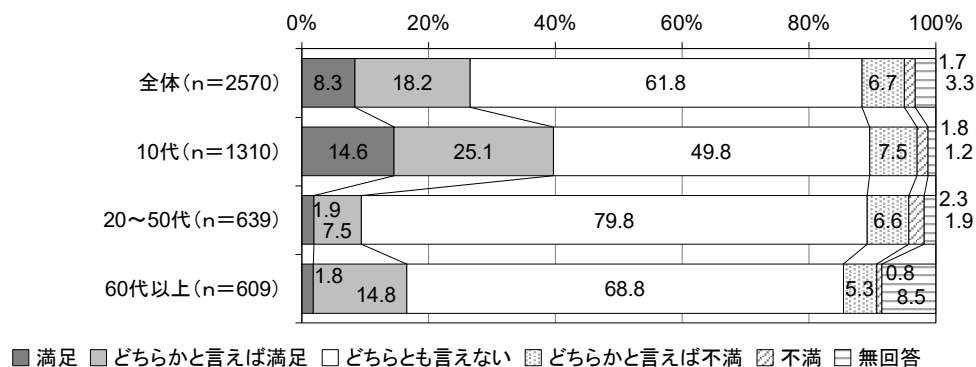
1-⑯ 市民_ 21 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化
 中高生_ 13 観光地やレジャー施設が充実している



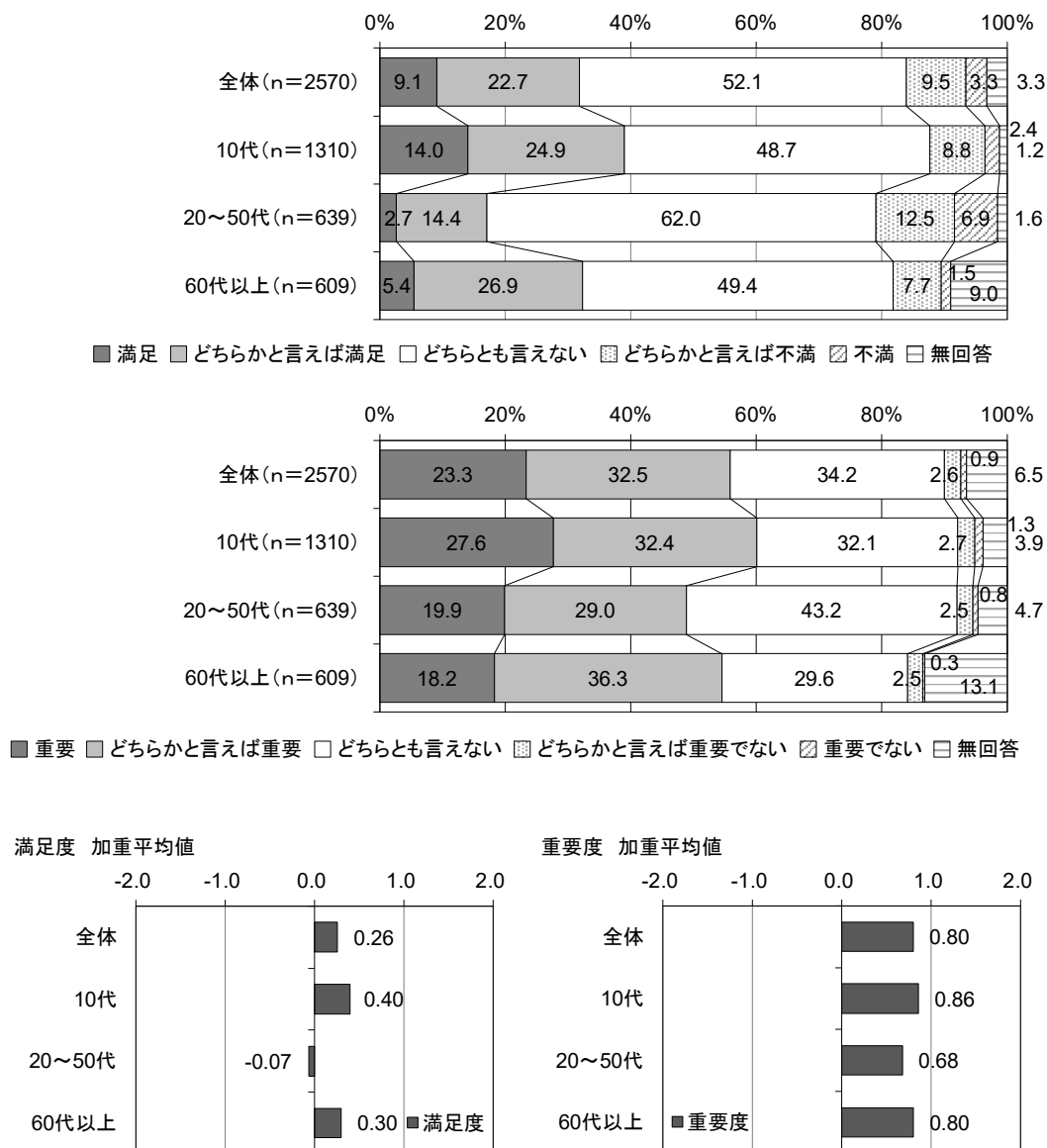
1-⑰ 市民_ 22 地域資源の活用による新たな観光資源の開発
 中高生_ 13 観光地やレジャー施設が充実している



1-⑱ 市民_ 39 地域づくり団体などの活動基盤の強化
 中高生_ 14 地域のボランティア団体などが充実している

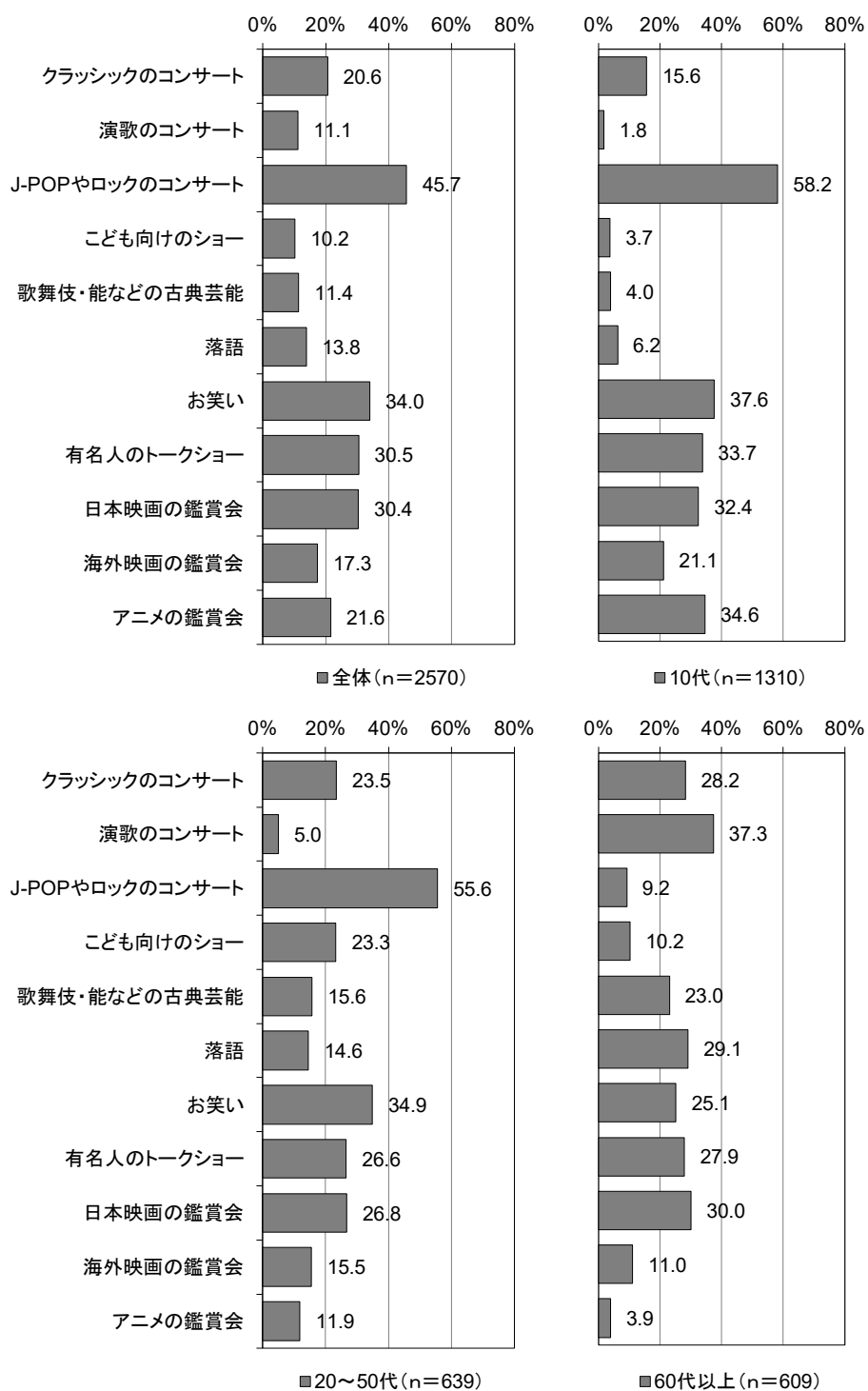


1-⑱ 市民_ 43 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
 中高生_ 15 市からの情報が充実している

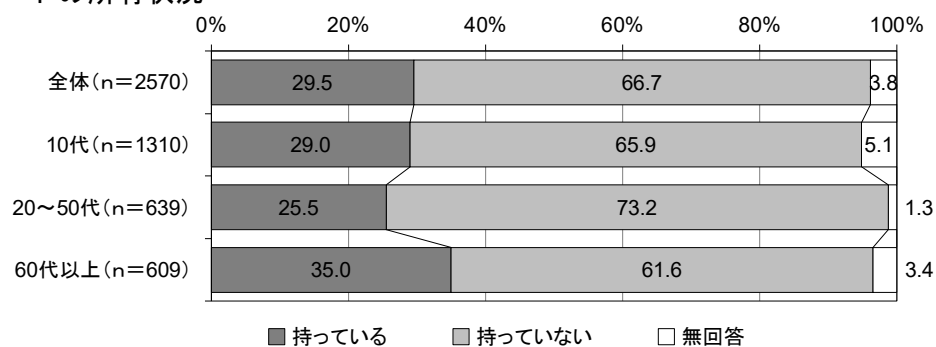


2 市民会館について

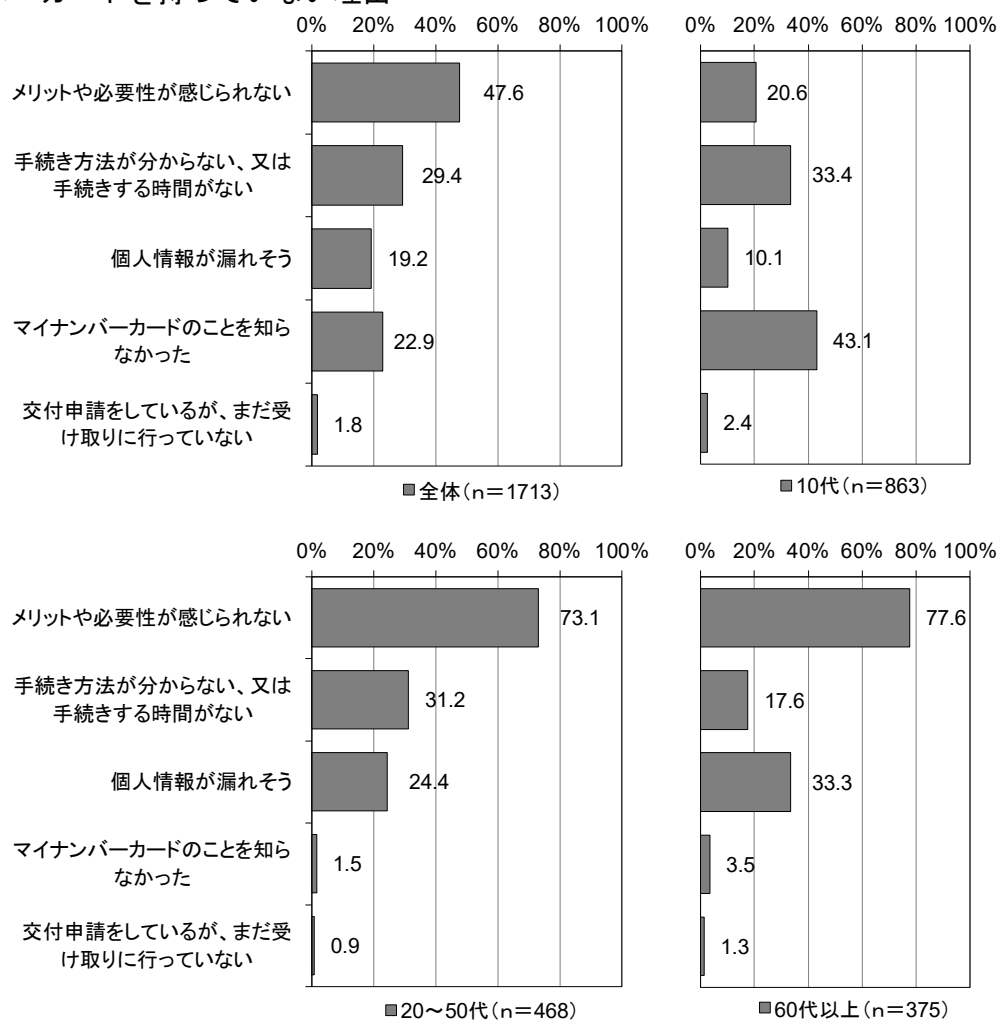
行ってみたいと思う市民会館事業



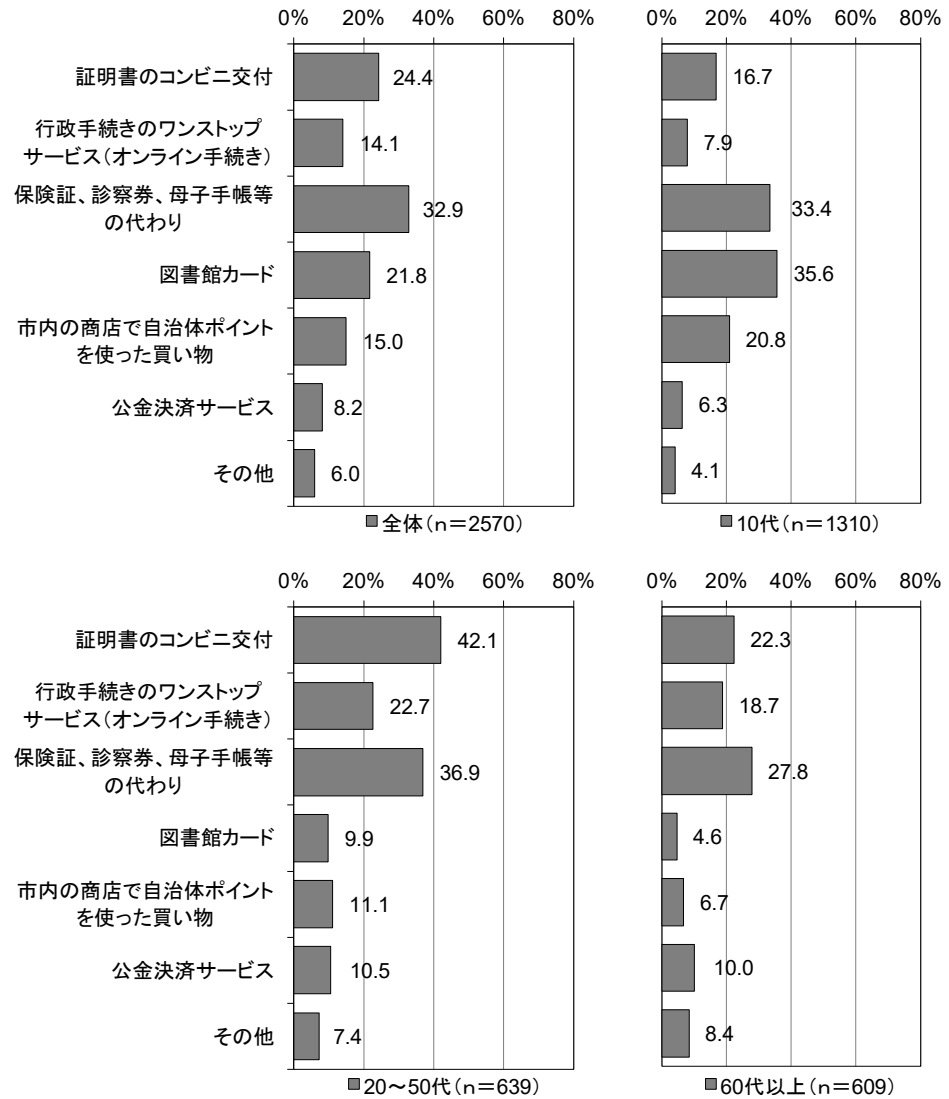
3 マイナンバーカードについて マイナンバーカードの所有状況



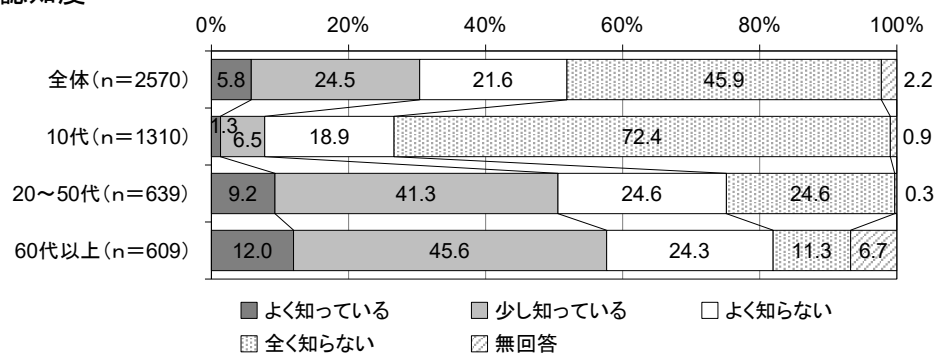
マイナンバーカードを持っていない理由



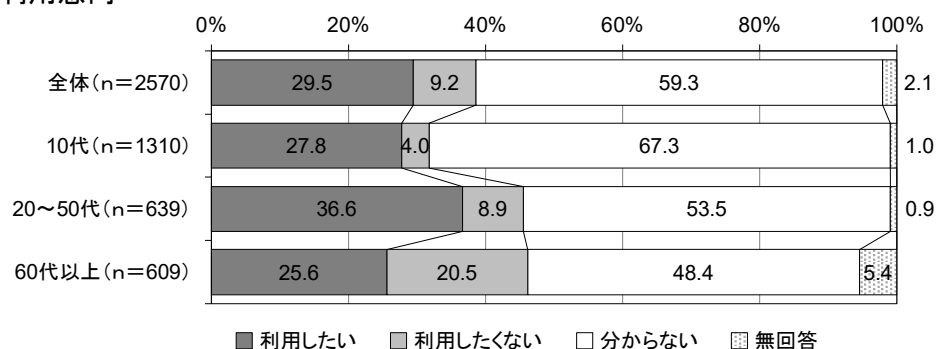
マイナンバーカードで利用したいサービス



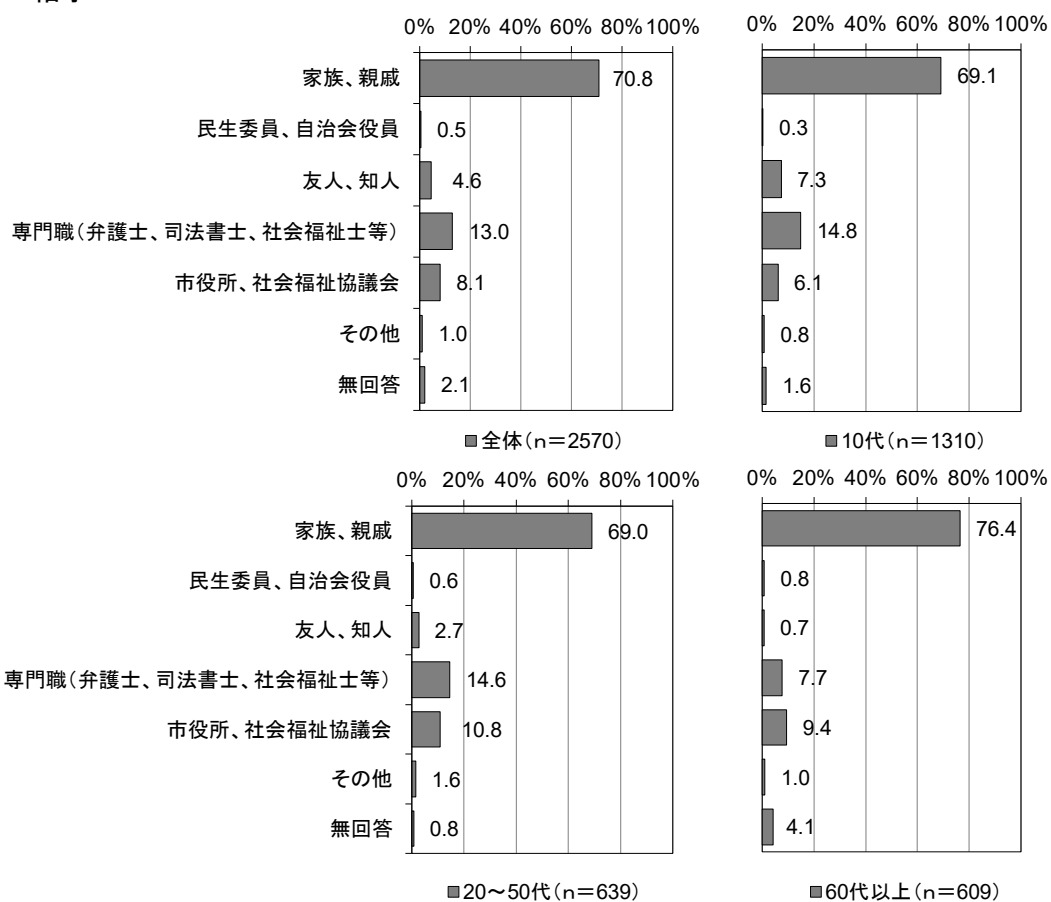
4 成年後見制度について 成年後見制度の認知度



成年後見制度の利用意向

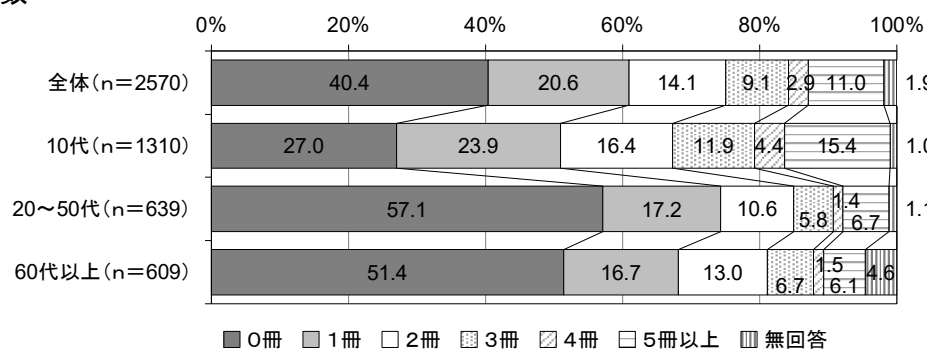


相談先・相手

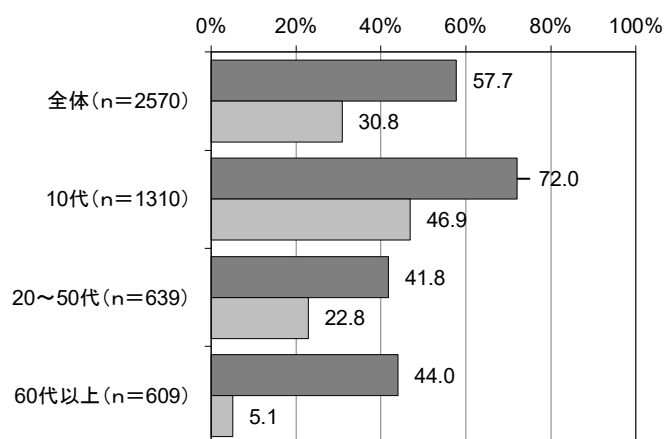
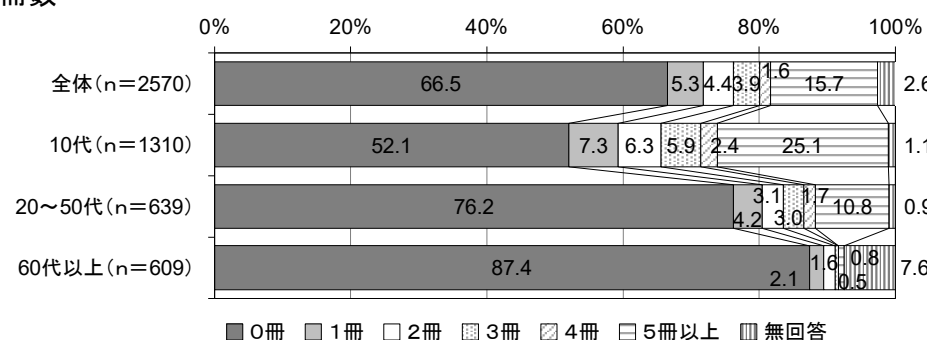


5 読書について

紙書籍の読書冊数

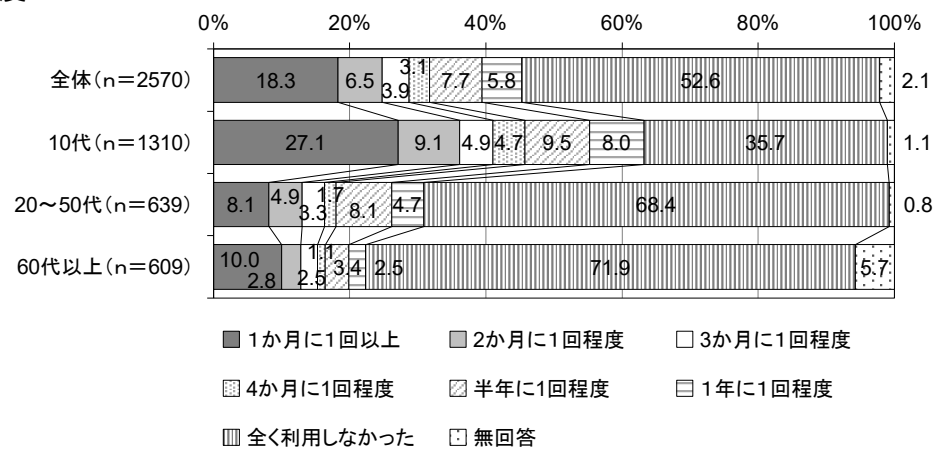


電子書籍の読書冊数



■ 紙書籍 「1冊」から「5冊以上」の合計
□ 電子書籍 「1冊」から「5冊以上」の合計

図書館の利用頻度



6. 調査票

令和元年度 渋川市市民意識調査

市民意識調査ご協力をお願い

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、市の将来像「やすらぎとふれあいに満ちた“ほっと”なまち」の実現に向けて、行財政運営を行っています。

この調査は、市の取組などについて評価や意見をいただき、これからのまちづくりにいかすため、市内在住の18歳以上の方の中から無作為に抽出した4,000人を対象に実施するものです。

なお、本調査の結果につきましては、各事業の見直しや改善、翌年度の予算編成等の参考とさせていただくとともに、ホームページ等で公表する予定です。

お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

令和元年5月

渋川市長 高 木 勉

ご記入に当たって

- 1 封筒の宛名のご本人様をご回答ください。
- 2 質問ごとに「3つまで選んで○」「あてはまるもの全てに○」など、選び方が指定されていますので、あてはまる選択肢の番号を○印で囲んでください。
- 3 「その他」を選んだ場合は、()の中に具体的な内容を記入してください。
- 4 ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒「市民意識調査担当 行」に入れて、

令和元年6月4日(火)までにご投函ください(切手は不要です)。

- 5 ご回答いただいた内容は、調査の目的以外に使用することはありません。また、ご回答いただいた内容は統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた方が特定されることはありません。

(お問合せ先)

渋川市 総合政策部 新政策課 総合政策係

電話：0279-22-2401(直通) FAX：0279-24-6541

E-mail：hp-shinseisaku@city.shibukawa.gunma.jp

市政との関わりについてお伺いします。

【問1】あなたは、合併後のまちづくりについて、どのように感じていますか。まちが整備され、生活が便利になったと感じるかどうかで判断してください。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 進んだ | 2. どちらかと言えば進んだ |
| 3. どちらとも言えない | 4. どちらかと言えば進んでいない |
| 5. 進んでいない | |

【問2】あなたは、合併後のさまざまな分野での市民サービスについてどのように感じていますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 向上している | 2. どちらかと言えば向上している |
| 3. どちらとも言えない | 4. どちらかと言えば向上していない |
| 5. 向上していない | |

【問3】あなたは、これからもずっと渋川市に住み続けたいと思いますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------------------------|
| 1. 住み続けたい | 2. 一度、市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい |
| 3. 市外に移りたい | 4. わからない |

あなたご自身のことについてお伺いします。

【1】あなたの性別は、どちらですか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

【2】あなたの年代は、どれですか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------|--------|
| 1. 10代 | 2. 20代 |
| 3. 30代 | 4. 40代 |
| 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代以上 | |

【3】あなたの主なご職業は、どれに当たりますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1. 正社員・正職員 | 2. 派遣・嘱託・契約社員 |
| 3. パート・アルバイト | 4. 自営業（農林水産関連） |
| 5. 自営業（商工関連） | 6. 家事専業 |
| 7. 学生 | 8. 無職 |
| 9. その他（ ） | |

【4】あなたの家族構成は、どれに当たりますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|----------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦のみ |
| 3. 二世帯同居 | 4. 三世帯同居 |
| 5. その他（ ） | |

【5】あなたのお住まいは、どちらですか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------|----------|
| 1. 渋川地区 | 2. 伊香保地区 |
| 3. 小野上地区 | 4. 子持地区 |
| 5. 赤城地区 | 6. 北橘地区 |

【6】あなたは、渋川市に住んで何年になりますか。1つ選んで○をつけてください。
なお、転居されたことのある方は、通算の年数でお答えください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 3年未満 | 2. 3年以上5年未満 |
| 3. 5年以上10年未満 | 4. 10年以上20年未満 |
| 5. 20年以上30年未満 | 6. 30年以上 |

市の現状の評価についてお伺いします。

【問4】あなたは、市の取組について、どのように感じていますか。次の1～48の各項目について、「満足度」欄及び「重要度」欄の5段階評価の中から、1つずつ選んで○をつけてください。

項目	主な取組	満足度					重要度				
		満足	どちらかと言えば満足	どちらかとも言えない	どちらかと言えば不満	不満	重要	どちらかと言えば重要	どちらかとも言えない	どちらかとも言えない	重要でない
(例)	災害や火災から生活を守る消防力の強化	5	④	3	2	1	5	4	③	2	1
1	災害や火災から生活を守る消防力の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2	災害などの発生に備える防災機能の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3	安心して暮らせる防犯体制の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4	交通安全対策の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5	市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6	移住・定住環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7	いつでも安全に利用できる安定した水の供給	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8	公共下水道整備や水洗化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9	生活困窮者が自立できるための地域福祉の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11	すこやかな生活のための健康づくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12	市民が安心して受診できる医療体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13	生涯スポーツ、競技スポーツの振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14	高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目	主な取組	満足度					重要度				
		満足	とても満足 ではない	まあまあ満足 ではない	まあまあ不満 ではない	不満	重要	とても重要 ではない	まあまあ重要 ではない	まあまあ重要 ではない	重要でない
15	障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16	介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17	国民健康保険の円滑な運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18	豊かな自然をいかした農林業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19	創業・活性化支援による工業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20	商店街の活性化と商業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21	伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22	地域資源の活用による新たな観光資源の開発	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
23	雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
24	国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
25	生活に身近な道路の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
26	使いやすい鉄道・バスなどの公共交通体系の確立	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
27	良好な市街地の形成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
28	自然景観や歴史的景観などを守る活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
29	身近な公園などの整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
30	自然エネルギーの導入や環境対策の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
31	森林、河川などの豊かな自然を守る取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
32	河川の清掃などによる環境愛護活動の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目	主な取組	満足度					重要度				
		満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば重要でない	どちらかと言えば不満	不満	重要	どちらかと言えば重要	どちらかと言えば重要でない	どちらかと言えば重要でない	重要でない
33	ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
34	小・中学校の教育の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
35	小・中学校の施設の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
36	学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
37	誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
38	地域に残る文化財の保護、伝統の継承	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
39	地域づくり団体などの活動基盤の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
40	人権意識の向上と平和な社会の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
41	あらゆる分野での男女共同参画の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
42	国内外の交流都市との交流連携の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
43	市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
44	公平・公正な行政情報の公開と個人情報の保護	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
45	情報通信技術の活用などによる情報化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
46	無駄のないスリムな行財政運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
47	市有地や公共施設などの適正な管理・運用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
48	周辺自治体との連携による業務の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

ネーミングライツ（命名権）についてお伺いします。

【問5】あなたは、「ネーミングライツ」について知っていますか。1つ選んで○をつけてください。

※「ネーミングライツ」とは、スポーツ施設や文化ホールなどの施設の名称に、スポンサー企業の社名や商品ブランド名を付与する権利のことです。

- | | |
|----------|-------------------|
| 1. 知っている | 2. 知らないが、聞いたことがある |
| 3. 知らない | |

【問6】前問【問5】で「1 知っている」を選んだ人にお伺いします。

あなたは、市内の公共施設にネーミングライツを導入することについてどう思いますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 導入すべきである | 2. どちらかという導入すべきである |
| 3. どちらでもいい（分らない） | 4. どちらかという導入すべきではない |
| 5. 導入すべきではない | |

【問7】前問【問6】で「1 導入すべきである」又は「2 どちらかという導入すべきである」を選んだ人にお伺いします。

あなたが、そう思った理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 市の収入になるから | 2. 企業等の宣伝になるから |
| 3. 他市等でもやっているから | 4. 施設の名称を変えた方がいいから |

【問8】前々問【問6】で「4 どちらかという導入すべきではない」又は「5 導入すべきではない」を選んだ人にお伺いします。

あなたが、そう思った理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 今までどおりの名称がいいから | 2. 名称が変わると分からなくなってしまいうから |
| 3. 契約が変わる度に名称が変わると不便だから | 4. 企業等の所有施設と勘違いされてしまいうから |

市民会館についてお伺いします。

【問9】市民会館では様々な文化教養事業を企画しています。あなたが、行ってみたいと思う市民会館の事業は何ですか。3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. クラシックのコンサート | 2. 演歌のコンサート |
| 3. J-POPやロックのコンサート | 4. こども向けのショー |
| 5. 歌舞伎・能などの古典芸能 | 6. 落語 |
| 7. お笑い | 8. 有名人のトークショー |
| 9. 日本映画の鑑賞会 | 10. 海外映画の鑑賞会 |
| 11. アニメの鑑賞会 | |

【問10】市民会館の文化教養事業の企画について、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

マイナンバーカードについてお伺いします。

【問11】あなたは、マイナンバーカードを持っていますか。1つ選んで○をつけてください。



【おもて面】

【うら面】

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 持っている | 2. 持っていない |
|----------|-----------|

【問12】前問【問11】で「2 持っていない」を選んだ人にお伺いします。
あなたが、マイナンバーカードを持っていない理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. メリットや必要性が感じられない | 2. 手続き方法が分からない、又は手続きする時間がない |
| 3. 個人情報が増えそう | 4. マイナンバーカードのことを知らなかった |
| 5. 交付申請をしているが、まだ受け取りに行っていない | |

【問13】マイナンバーカードを利用したサービスについてお伺いします。
あなたが、利用してみたいと思うサービスは何ですか。あてはまるもの全て
に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|
| 1. 証明書のコンビニ交付 | 2. 行政手続きのワンストップサービス
(オンライン手続き) |
| 3. 保険証、診察券、母子手帳等の代わり | 4. 図書館カード |
| 5. 市内の商店で自治体ポイントを使っ
た買い物 | 6. 公金決済サービス |
| 7. その他 () | |

成年後見制度についてお伺いします。

【問14】あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|------------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている |
| 3. よく知らない | 4. 全く知らない |

【問15】あなたは、あなた自身や親戚が認知症等により判断が十分にできなくなったとき、後見人等を定めて権利や財産を守るための制度「成年後見制度」を利用したいですか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------|------------|
| 1. 利用したい | 2. 利用したくない |
| 3. 分からない | |

【問16】あなたが、もし加齢や病気等により判断能力が低下し、預貯金や不動産等の財産の管理、家族の世話、様々なサービスを利用するための契約行為に不安を感じたとき、誰(どこ)に相談しますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. 家族、親戚 | 2. 民生委員、自治会役員 |
| 3. 友人、知人 | 4. 専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士等) |
| 5. 市役所、社会福祉協議会 | 6. その他 () |

がん検診の受診についてお伺いします。

【問17】あなたは、平成30年4月から平成31年3月までに、次のがん検診を受けましたか。それぞれの検診ごとに1つ選んで○をつけてください。

①胃がん検診（バリウムによるレントゲン撮影や内視鏡（胃カメラ）による撮影など）

1. 受けた	2. 受けなかった
--------	-----------

検診を受けた人は、どのような機会に受けたかお答えください。

- | | |
|------------------------------|------------------------------------|
| 1. 市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施） | 2. 勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診 |
| 3. 人間ドック | 4. その他（個人的に医療機関にて受診など） |

②肺がん検診（胸のレントゲン撮影や喀痰（かくたん）検査など）

1. 受けた	2. 受けなかった
--------	-----------

検診を受けた人は、どのような機会に受けたかお答えください。

- | | |
|------------------------------|------------------------------------|
| 1. 市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施） | 2. 勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診 |
| 3. 人間ドック | 4. その他（個人的に医療機関にて受診など） |

③大腸がん検診（便潜血反応検査（検便）など）

1. 受けた	2. 受けなかった
--------	-----------

検診を受けた人は、どのような機会に受けたかお答えください。

- | | |
|------------------------------|------------------------------------|
| 1. 市が実施した検診（保健センター、公民館などで実施） | 2. 勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診 |
| 3. 人間ドック | 4. その他（個人的に医療機関にて受診など） |

【問18】 女性のみお答えください。

あなたは、平成30年4月から平成31年3月までに、次のがん検診を受けましたか。それぞれの検診ごとに1つ選んで○をつけてください。

①子宮がん（子宮頸がん）検診（子宮の細胞診検査など）

- | | |
|--------|-----------|
| 1. 受けた | 2. 受けなかった |
|--------|-----------|

検診を受けた人は、どのような機会に受けたかお答えください。

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 市が実施した検診（保健センター、公民館、指定医療機関などで実施） | 2. 勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診 |
| 3. 人間ドック | 4. その他（個人的に医療機関にて受診など） |

②乳がん検診（マンモグラフィ撮影や乳房超音波検査など）

- | | |
|--------|-----------|
| 1. 受けた | 2. 受けなかった |
|--------|-----------|

検診を受けた人は、どのような機会に受けたかお答えください。

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 市が実施した検診（保健センター、公民館、指定医療機関などで実施） | 2. 勤め先又は健康保険組合など（家族の勤め先を含む）が実施した検診 |
| 3. 人間ドック | 4. その他（個人的に医療機関にて受診など） |

【問19】 前々問【問17】、前問【問18】のがん検診を受けなかった人にお伺いします。

あなたが、がん検診を受けなかった理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 知らなかったから | 2. 時間がとれないから |
| 3. 場所が遠いから | 4. 費用がかかるから |
| 5. 検査等に不安があるから | 6. 検診の時に医療機関に入通院していたから |
| 7. 毎年受ける必要性を感じないから | 8. 健康状態に自信があり、必要性を感じないから |
| 9. 心配な時はいつでも医療機関を受診できるから | 10. 結果が不安なため、受けたくないから |
| 11. 面倒だから | 12. その他 |

読書についてお伺いします。

【問20】あなたは、先月1か月の間に紙の本を何冊ぐらい読みましたか。図書館や友人などから借りて読んだ本も入れてください（電子書籍・教科書・学習参考書・マンガ・雑誌を除く。）。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------|---------|
| 1. 0冊 | 2. 1冊 |
| 3. 2冊 | 4. 3冊 |
| 5. 4冊 | 6. 5冊以上 |

【問21】あなたは、先月1か月の間に電子書籍を何冊ぐらい読みましたか。電子図書館で借りて読んだ本も入れてください（マンガ・雑誌を含む。）。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------|---------|
| 1. 0冊 | 2. 1冊 |
| 3. 2冊 | 4. 3冊 |
| 5. 4冊 | 6. 5冊以上 |

【問22】あなたは、平成30年1月から平成30年12月までに、どのくらいの頻度で図書館を利用しましたか。（渋川市外の図書館や、学校や公民館にある図書室などを含む。）。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 1か月に1回以上 | 2. 2か月に1回程度 |
| 3. 3か月に1回程度 | 4. 4か月に1回程度 |
| 5. 半年に1回程度 | 6. 1年に1回程度 |
| 7. 全く利用しなかった | |

市政についてお伺いします。

【問23】あなたが渋川市の市長になったら、市民が住みやすいまちをつくるために、どのようなことに力を入れたいですか。（ご自由にお書きください。）

ご協力ありがとうございました。
令和元年6月4日（火）までにご投函ください。